

資料編：佐藤忠良旧蔵書目録

赤 間 和 美

- ・ 宮城県美術館では、2011年3月の佐藤忠良氏の逝去時にアトリエ内に残されていた書籍、スクラップ帳、エフェメラ等を遺族から一括受贈した。本目録は、これら遺贈資料のうち、旧蔵書などの公刊資料(映像資料を除く)を目録化したものである。(1)は佐藤忠良氏の作品集及び佐藤忠良氏の名前を含む美術館・記念館・展示室がある施設に関するもの、(2)は佐藤忠良氏の個展に関するもの(取材記事などを除く)、(3)佐藤忠良氏の著作、(4)は新制作[派]協会に関するもの、(5)は桑沢デザイン研究所・東京造形大学に関するもの、(6)は教科書に関するもの、(7)は佐藤忠良氏の作画があるもの、(8)は佐藤忠良氏の著述があるもの、(9)は佐藤忠良氏の作品や佐藤忠良に関する言及があるもの、(10)はその他の蔵書類である。
- ・ 公刊物やスクラップブックなどと一緒に保管されていた私信等の未公刊資料は原則記載していない。
- ・ 原則、和書は著編者名『書名』巻数(号数)出版者 出版年月 所収記事著編者名「所収記事等名」等の順で記した。洋書の場合は、著編者名、書名、vol. no. 出版地：出版者、出版年月、所収記事著編者名“所収記事等名”の順で記載した。
- ・ 展覧会の図録やパンフレット、チラシ、ポスターについては、和書は『展覧会図録名』または「展覧会の名称」最初の会期会場、洋書は書名、または“資料名”最初の会期、開催地：会場の順に記載し、出版者と出版年は原則省略した。
- ・ 切り抜き記事等の資料に手書きで記されているものや記事内容から掲載年や書紙誌名を類推できるものは、[]で補記した。このほか、[]は編者による注釈である。[レゾネ掲載なし]としたものは、『佐藤忠良 彫刻七十年の仕事』(講談社2008年3月)に掲載のないものであり、当館で資料扱いとしている石膏の番号(以下、石膏原型番号)を補記した。このほか、関連する佐藤忠良氏の作品を《作品名》で補記したものもある。
- ・ 刊行物のうち16頁以下のものはパンフレットとした。
- ・ (7-4)作画 逐次刊行物、(10-3)蔵書等 逐次刊行物については、『書誌名』ごとに五十音順に記載した。
- ・ (9-1-03)関連文献 図書、(9-2-01)関連文献 展覧会 図録、(9-3)関連文献 逐次刊行物、(10-3)蔵書等 逐次刊行物の洋書は末尾にまとめて記した。
- ・ 新聞は原則、発行者を省略した。地方版の別は確認が取れたもののみ記載した。保存の都合上、新聞等は切り抜きでないものも切り抜きに分類した。また、スクラップブックやファイル、封筒にまとめられ、切り抜きなどの分離が難しいものは、占める割合によって、(7-6)作画 スクラップブック、(8-5)著述収録 スクラップブック、(9-5)関連文献 スクラップブックに分類した。
- ・ 佐藤忠良氏が表紙やカットを手がけた刊行物は(7)作画に分類し、水彩や素描、ブロンズ彫刻の図版が表紙や挿図として使われているものは(9)関連文献とした。
- ・ (10)蔵書のうち末尾に「廃棄」と記したものは、保存状態が悪い、本館書庫の蔵書と重複しているなどの理由により廃棄したものである。
- ・ (10-1-01)蔵書等 図書 美術 海外作家関係、(10-1-02)蔵書等 図書 美術 日本作家関係、(10-2-01)蔵書等 展覧会 図録 海外作家関係、(10-2-02)蔵書等 展覧会 図録 日本作家関係は、関連する作家名を文頭に示し、関連する作家名が同上のものは——.とした。海外作家は姓ごとにアルファベット順にしたが、名の方が一般的な略称の場合は名を優先した。
- ・ 長女で俳優の佐藤オリエ氏に関する文献は(10-6)に分類した。
- ・ 本目録の作成にあたっては、2014年から2025年にかけて、折原朋子氏、中鉢優氏、佐藤亜佑美氏、細浦真知子氏、野々瀬真理氏にご協力いただきました。また、三上満良氏(元宮城県美術館副館長)にご助言をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

目次

(1-1-01) 作品集	52 頁	(9-1-01) 関連文献 評伝	74 頁
(1-1-02) 作品集 チラシ、パンフレットなど		(9-1-02) 関連文献 所蔵作品目録 (作品選、ガイドブックを含む)	
(1-2-01) 所蔵作品目録		(9-1-03) 関連文献 図書	
(1-2-02) 施設関係 パンフレット		(9-1-04) 関連文献 図書 切り抜き	
(1-2-03) 施設関係 ポスター		(9-1-05) 関連文献 チラシ、パンフレットなど (展覧会を除く)	
(2-1) 個展 図録	52 頁	(9-2-01) 関連文献 展覧会 図録	
(2-2) 個展 チラシ、パンフレットなど		(9-2-02) 関連文献 展覧会 チラシ、パンフレットなど	
(2-3) 個展 ポスター		(9-2-03) 関連文献 展覧会 ポスター	
(3) 著作(文集・対談集・共著を含む)	55 頁	(9-3) 関連文献 逐次刊行物	
(4-1-01) 新制作[派]協会関係 図書・展覧会 図録など	55 頁	(9-4) 関連文献 逐次刊行物 切り抜き	
(4-1-02) 新制作[派]協会関係 展覧会 チラシなど		(9-5-01)～(9-5-26) 関連文献 スクラップブック	
(4-2) 新制作[派]協会関係 逐次刊行物		(9-6-01) 関連文献 複製印刷物、レターセット(順不同)	
(4-3) 新制作[派]協会関係 その他資料		(9-6-02) 関連文献 ポストカード(順不同)	
(5-1) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 図書など	57 頁	(9-6-03) 関連文献 テレホンカードほか(順不同)	
(5-2) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 逐次刊行物		(9-6-04) 関連文献 ポスター(展覧会を除く、順不同)	
(5-3) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 その他資料		(9-6-05) 関連文献 カレンダー	
(6-1) 教科書 現代美術社 小学校図画工作教科書	57 頁	(10-1-01) 蔵書等 図書 美術 海外作家関係(作家名順)	111 頁
(6-2) 教科書 現代美術社 中学校美術教科書		(10-1-02) 蔵書等 図書 美術 日本作家関係(作家名順)	
(6-3) 教科書 現代美術社 高等学校美術教科書		(10-1-03) 蔵書等 図書 美術(建築、絵画、彫刻、工芸など)	
(6-4) 教科書 その他教科書		(10-1-04) 蔵書等 図書 解剖学	
(6-5) 教科書 その他資料(チラシ、校正など)		(10-1-05) 蔵書等 図書 北海道関係	
(7-1) 作画 絵本	59 頁	(10-1-06) 蔵書等 図書 シベリア抑留・戦争関係	
(7-2-01) 作画 図書 童話・児童文学		(10-1-07) 蔵書等 図書 辞書・事典類	
(7-2-02) 作画 図書 文学・随筆		(10-1-08) 蔵書等 図書 観光・地図	
(7-2-03) 作画 図書 その他		(10-1-09) 蔵書等 図書 演劇関係	
(7-3-01) 作画 演劇・映画関係 チラシ、パンフレットなど		(10-1-10) 蔵書等 図書 絵本	
(7-3-02) 作画 演劇・映画関係 ポスター		(10-1-11) 蔵書等 図書 その他	
(7-4) 作画 逐次刊行物		(10-1-12) 蔵書等 図書 澤地久枝	
(7-5) 作画 逐次刊行物 切り抜き		(10-1-13) 蔵書等 図書 切り抜き	
(7-6-01)～(7-6-02) 作画 スクラップブック		(10-1-14) 蔵書等 チラシ、パンフレットなど(展覧会を除く)	
(8-1-01) 著述収録 図書	63 頁	(10-2-01) 蔵書等 展覧会 図録 海外作家関係(作家名順)	
(8-1-02) 著述収録 図書 切り抜き		(10-2-02) 蔵書等 展覧会 図録 日本作家関係(作家名順)	
(8-1-03) 著述収録 チラシ、パンフレットなど (展覧会を除く)		(10-2-03) 蔵書等 展覧会 図録 その他	
(8-2-01) 著述収録 展覧会 図録		(10-2-04) 蔵書等 展覧会 図録 切り抜き	
(8-2-02) 著述収録 展覧会 チラシ、パンフレットなど		(10-2-05) 蔵書等 展覧会 チラシ、パンフレットなど	
(8-3) 著述収録 逐次刊行物		(10-2-06) 蔵書等 展覧会 ポスター	
(8-4) 著述収録 逐次刊行物 切り抜き		(10-3) 蔵書等 逐次刊行物	
(8-5-01)～(8-5-03) 著述収録 スクラップブック		(10-4) 蔵書等 逐次刊行物 切り抜き	
		(10-5-01) 蔵書等 ポストカード(順不同)	
		(10-5-02) 蔵書等 ポスター(展覧会を除く、順不同)	
		(10-5-03) 蔵書等 カレンダー(順不同)	
		(10-6-01) 蔵書等 佐藤オリエ関連 プログラム、チラシなど	
		(10-6-02) 蔵書等 佐藤オリエ関連 逐次刊行物 (切り抜きを含む)	
		(10-6-03) 蔵書等 佐藤オリエ関連 ポスター	

(1-1-01) 作品集

- 『彫刻 = 佐藤忠良 1949-1971』現代彫刻センター 1971年11月 船山馨「忠さんのこと」、佐藤忠良「作品集にそえて」
- 『佐藤忠良作品集』現代彫刻センター（通常版）1973年10月 本間正義「佐藤忠良さんの彫刻」、佐藤忠良「私の宿題」
- 『佐藤忠良作品集 大きな帽子』現代美術社（版画付特装版）1978年12月 佐藤忠良「少年記」「モデルと私 1-3」、佐藤オリエ「がっかり臉の父」
- 『佐藤忠良作品集 大きな帽子』現代美術社（初版）1978年12月 佐藤忠良「少年記」「モデルと私 1-3」、佐藤オリエ「がっかり臉の父」
- 『佐藤忠良自選素描集 旅の走り描き』現代美術社 1980年9月 佐藤忠良「他の国で考えたこと」「シベリヤ記」「スケッチ旅行の仲間たち」「朝鮮、中国」「あとがき」
- 『佐藤忠良自選素描集 アトリエの中から』現代美術社 1980年9月 佐藤忠良「土の手をやすめて」
- 『佐藤忠良 The Sculpture of Churyo Sato』現代彫刻センター 1982年2月 本間正義「佐藤忠良の世界」[本間正義著『私の近代美術論集 I』美術出版社 1988年に再録]、佐藤忠良「Churyo 独りごと」、亀倉雄策「編集ノート」
- 『佐藤忠良作品集 大きな帽子』現代美術社（第3版）1982年3月 佐藤忠良「少年記」「モデルと私 1-3」「あとがき」「あとがき、再び……」
- 『佐藤忠良素描集』現代美術社 1982年6月
- 『現代彫刻集 I 佐藤忠良（札幌芸術の森叢書）』札幌芸術の森 1987年3月 モニック・ローラン「佐藤忠良によせて」、匠秀夫「佐藤忠良の芸術」
- 『佐藤忠良（2分冊）』講談社（リトグラフ版画付特装版同時刊）1989年7月 三木多聞「佐藤忠良の歩みと彫刻」、酒井忠康「佐藤忠良あるいは彫刻をめぐる話」[酒井忠康著『森の掟』小沢書店 1993年に再録]、米倉守「『コソコソ』の健康空間」、佐藤忠良「あとがき」、既発表のエッセイ46編を再録、エッチング綴じ込み
- 『佐藤忠良作品集』河北新報社 1990年5月 佐藤忠良「ひとりごと」、モニック・ローラン「Sato Churyo」、酒井哲朗「佐藤忠良さんの芸術」
- 匠秀夫（監修）『佐藤忠良「彫刻の世界」特装限定版』札幌テレビ放送1990年12月 対談：佐藤忠良、佐藤オリエ「たゆみない創造への道」、匠秀夫「ロダンの正道を歩んだ人」
- 『佐藤忠良作品集 大きな帽子』現代美術社（新訂版）1991年10月 佐藤忠良「少年記」「モデルと私 1-3」「あとがき」「あとがき、再び……」
- 藤田観龍『佐藤忠良 彫刻写真集 全野外作品』本の泉社 2003年6月 佐藤忠良「独りごと」、笹戸千津子「一日土をいじらざれば一日の退歩」、三上満良「佐藤忠良さんの彫刻」
- 『佐藤忠良 彫刻七十年の仕事』講談社 2008年3月 高瀬良夫（撮影）「彫刻作品」、酒井忠康「佐藤忠良さんの肖像彫刻をめぐる」、佐藤忠良「彫刻私史」[『現代彫刻』(50)再録]、三上満良（編）「年譜・主要文献」、「作品総覧」

(1-1-02) 作品集 チラシ、パンフレットなど

- 『佐藤忠良自選素描集 アトリエの中から』（現代美術社 1980年）ほか チラシ [1980年9月]
- 『佐藤忠良自選素描集 旅の走り描き』（現代美術社 1980年）

チラシ

- 『佐藤忠良素描集』（現代美術社 1982年）関連封入品？ [1982年]
- 『佐藤忠良 The Sculpture of Churyo Sato』（現代彫刻センター 1982年）チラシ
- 『佐藤忠良 新作版画シリーズ「或る日の女Ⅲ」案内ハガキ [1987年]《イヤリング》
- 『佐藤忠良 I・II（特装版）』（講談社 1989年）チラシ、付録 チラシ《スカーフ》《チョコ》
- 『佐藤忠良作品集』（河北新報社 1990年）チラシ、申込書「ACCESSORIES by CHURYO SATO The Churyo Sato Gallery 彫刻家 佐藤忠良による装身具」パンフレット 佐藤忠良記念財団

(1-2-01) 所蔵作品目録

- 『美術館散歩Ⅲ 佐藤忠良』宮城県美術館協会 1990年
- 『所蔵作品目録 佐藤忠良コレクション』宮城県美術館 1991年3月
- 『佐川美術館 所蔵作品図録Ⅳ（佐藤忠良作品図録）』佐川美術館 1998年3月 本間正義「佐藤忠良の彫刻」
- 『佐藤忠良記念館 所蔵品選集』宮城県美術館 2001年3月 佐藤忠良「ひとりごと」、三上満良「佐藤忠良氏の歩みとその作品」ほか再録
- 『佐藤忠良記念子どもアトリエ図録』札幌芸術の森美術館 2008年9月 吉崎元章「佐藤忠良と札幌」、樋泉綾子「佐藤忠良 つくること、生きることの教え人」ほか

(1-2-02) 施設案内 パンフレット

- [佐藤忠良記念館 宮城県美術館]パンフレット [1990年6月]
- [宮城県美術館]パンフレット [1990年6月]
- [まほろばホール 佐藤忠良ギャラリー]パンフレット

(1-2-03) 施設関係 ポスター

- 「佐藤忠良記念館 OPEN 6/1 '90 宮城県美術館」[宮城県美術館]《帽子・夏》
- 「佐藤忠良記念館 OPEN 6/1 '90 宮城県美術館」[宮城県美術館]《母の顔》《群馬の人》《建築家》《ラップ帽》ほか
- 「札幌芸術の森野外美術館にオープン 佐藤忠良記念子どもアトリエ」[2008年9月27日]

(2-1) 個展 図録

- 『佐藤忠良展』1972年11月21日-26日 明治生命ビル8階ホール（岡山）佐藤忠良 [無題]
- 『佐藤忠良新作展』1973年2月15日-28日 現代彫刻センター（大阪）、ギャラリー ピッコラ 佐藤忠良 [無題]
- 『彫刻・佐藤忠良展』1975年10月3日-8日 ヨシダ画廊（編）、明治生命ホール（岡山）佐藤忠良「ごあいさつ」
- 『佐藤忠良新作展』1980年4月1日-30日 現代彫刻センター（大阪）
- 『明春国立ロダン美術館を飾る 佐藤忠良 彫刻・デッサン展』1980年5月9日-14日 十和田市商工会館 佐藤忠良「彫刻と私」
- Churyo Sato, 2 Mai - 29 Juin 1981, Paris: Musée Rodin [『佐藤忠良展』1981年5月2日-6月29日 パリ：ロダン美術館]

『フランス国立ロダン美術館における佐藤忠良展』1981年5月2日-6月29日 フランス国立ロダン美術館 旧礼拝堂
 『パリ・国立ロダン美術館開催記念 ブロンズの詩・佐藤忠良展』1982年1月14日-26日 日本橋高島屋
 『パリ・国立ロダン美術館開催記念 ブロンズの詩・佐藤忠良展』1982年4月24日-5月16日 広島県立美術館
 『佐藤忠良彫刻展 ロダン美術館より』1983年3月27日-5月15日 沖縄平和祈念堂美術館 佐藤忠良「メッセージ」
 CHURYO SATO, 13 September - 21 October 1983, New York: Wildenstein [1983年9月13日-10月21日 ウィルデンスタイン画廊]
 『佐藤忠良展』1985年5月21日-6月29日 現代彫刻センター 佐藤忠良[無題]
 『佐藤忠良展』1984年10月8日-11月2日 現代彫刻センター(大阪)
 『佐藤忠良展』1985年10月18日-12月21日 原画廊(水戸) 佐藤忠良[無題]
 『佐藤忠良の世界展 若い女性といとおしい子供たち』1988年7月23日-31日 北乃画廊(仙台) 佐藤忠良「ブロンズっこ」
 『佐藤忠良展』1988年9月15日-10月4日 有楽町アート・フォーラム
 『佐藤忠良展』1994年4月2日-5月8日 三重県立美術館 佐藤忠良「独りごと」
 『アトリエの展覧会 佐藤忠良展』[1995年9月30日-11月3日] 台東区立朝倉彫塑館 佐藤忠良「朝倉文夫先生と私」
 『佐藤忠良自選展』1995年11月6日-12月27日 現代彫刻センター
 『佐藤忠良展』1997年1月18日-3月30日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 佐藤忠良「猪熊さんと」
 『佐藤忠良展』1997年10月4日-28日 村内美術館 佐藤忠良「彫刻と私」
 『佐藤忠良・彫刻家の眼—近年の作品を中心に』1998年8月15日-9月23日 宮城県美術館 佐藤忠良「独りごと」
 『佐藤忠良の世界 デッサンと彫刻展』1998年10月23日-11月15日 区立杉並会館ギャラリー
 『憧れの時・佐藤忠良展』1998年10月31日-12月13日 夕張市美術館 佐藤忠良「夕張少年」
 『佐藤忠良 彫刻と素描展』2000年6月8日-13日 東京日本橋高島屋6階美術画廊、6月14日-20日 大阪・なんば高島屋6階美術画廊、6月28日-7月4日 京都四条・高島屋6階美術画廊
 『彫刻家の手 ブロンズの詩 佐藤忠良展』2000年6月8日-13日 東京日本橋高島屋8階ホール、6月15日-20日 大阪なんば高島屋グランドホール 佐藤忠良「作家のことば」
 『卒寿記念展 佐藤忠良 70年の歩み・アトリエの中から』[2002年7月20日-11月17日] 佐川美術館 佐藤忠良「ひとりごと」
 『開館5周年記念 佐藤忠良展』2002年4月19日-5月22日 泉美術館
 『土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック』2004年9月25日-11月23日 北海道立釧路芸術館
 『佐藤忠良展』2004年7月30日-9月20日 周南市美術博物館 佐藤忠良「個展に際して」
 『泉美術館所蔵作品による佐藤忠良の世界展』[2004年5月28日-7月21日] 泉美術館
 『彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画』2005年7月16日-9月4日 佐川美術館、9月17日-11月6日 木城えほんの郷、2006年1月21日-3月26日 宮城県美術館 佐藤忠良[無題]

『もうひとつの佐藤忠良展』2007年3月1日-6日 日本橋高島屋 佐藤忠良[無題]
 『佐藤忠良 杉並区在住50年』2009年1月13日-25日 杉並区役所本庁2階ギャラリー
 『宮城県美術館佐藤忠良記念館所蔵 佐藤忠良展』2010年4月17日-6月6日 川崎市立美術館、6月16日-8月1日 佐世保市博物館、8月11日-9月26日 倉敷市立美術館、10月6日-11月14日 渋川市美術館
 『ある造形家の足跡 佐藤忠良展』2010年12月23日-2011年3月6日 世田谷美術館

(2-2) 個展 チラシ、パンフレット など

『佐藤忠良個展』パンフレット [1962年]10月5日-8日 大丸ギャラリー (札幌) 佐藤忠良[無題]
 『佐藤忠良 彫刻展』パンフレット 1963年3月11日-17日 フクオカ画廊
 『彫刻 佐藤忠良展』封筒、パンフレット 1973年11月16日-21日 松屋(銀座)
 『彫刻・佐藤忠良展』チラシ、観覧券、割引券 1975年10月3日-8日 西武 旭川店
 『パリ展開催記念 ブロンズの詩 佐藤忠良展』チラシ 1981年8月1日-9月15日 国立国際美術館
 “Churyo Sato Invitation” 30 Avril 1981, Paris: Musée Rodin [『佐藤忠良展開会式』1981年4月30日 パリ:ロダン美術館]
 『ブロンズの詩 佐藤忠良展』招待券 1981年8月1日-9月15日 国立国際美術館
 『ブロンズの詩 佐藤忠良展』チラシ 1982年3月6日-4月11日 宮城県美術館
 『ブロンズの詩 佐藤忠良展』チラシ 1982年8月27日-9月26日 大分県立芸術会館
 『ブロンズの詩 佐藤忠良展』チラシ 1983年3月5日-20日 北海道立近代美術館
 『ブロンズの詩 佐藤忠良展』チラシ 1983年4月16日-5月15日 網走市立美術館
 『佐藤忠良展 ニューヨーク展』案内状 1983年9月13日-10月21日 ウィルデンスタイン画廊 ニューヨーク
 『版画集「童心頌」刊行記念 佐藤忠良版画展』案内ハガキ 1984年6月23日-7月8日 フォーブル美術
 『佐藤忠良展』案内ハガキ 1984年10月8日-11月2日 大阪・現代彫刻センター
 『佐藤忠良展』案内ハガキ 1985年5月21日-6月29日 現代彫刻センター
 “CHURYO KIÁLLÍTÁS BUDAPEST” Július, 1985, Budapest: KISDUNA GALERIA [『忠良展示会ブタベスト』1985年7月(会期不明)ブタベスト:キストゥナ・ギャラリー]
 『或る日の女シリーズ 佐藤忠良 版画と素描展』案内ハガキ [1987年4月29日-5月4日] 丸光4階ギャラリー
 『ササニシキ顕彰碑完成記念 佐藤忠良』パンフレット (2種) 1987年11月18日-23日 地域産業創造センター ふるさとプラザ 佐藤忠良「ササニシキ顕彰碑によせて」
 『佐藤忠良展 その歩みと展望』チラシ、招待券、案内状 1988年9月15日-10月4日 有楽町アート・フォーラム
 『佐藤忠良のすべて』チラシ 1988年11月22日-12月4日 岩手県民会館
 『佐藤忠良のすべて』チラシ、招待券 1989年6月17日-7月30日 茨城県近代美術館

「佐藤忠良のすべて」チラシ、招待券 1989年8月19日-9月24日 北海道立旭川美術館
「佐藤忠良 16の小さな作品たち」パンフレット 1989年10月7日-11月12日 手で見るギャラリー・TOM
「佐藤忠良のすべて」チラシ、封筒 1989年11月11日-12月17日 いわき市立美術館
「佐藤忠良のすべて」チラシ、案内ハガキ 1990年1月22日-28日 学校法人郡山開成学園 建学記念講堂ギャラリー
「佐藤忠良のすべて」チラシ、案内状 1990年2月20日-3月25日 大原美術館 児島虎次郎記念館
「佐藤忠良のすべて」チラシ、オープニング・セレモニー案内 1990年4月6日-5月6日 山梨県立美術館
「現代具象彫刻の頂点 佐藤忠良展」1992年4月5日-26日 朝倉文夫記念館
「佐藤忠良展」チラシ、案内ハガキ 1994年2月11日-23日 セシオン杉並
「佐藤忠良展」チラシ、招待券、案内状 1994年4月2日-5月8日 三重県立美術館
「佐藤忠良 彫刻と「本」の仕事」チラシ 1995年9月9日-9月17日 小牛田町近代文学館
「佐藤忠良自選展」パンフレット 1995年11月6日-12月27日 現代彫刻センター
「佐藤忠良 こどもの世界」チラシ、パンフレット 1996年6月1日-7月7日 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
「ブロンズの詩 佐藤忠良の世界」チラシ、優待券 1998年10月6日-12月27日 佐川美術館
「佐藤忠良の世界 デッサンと彫刻展」チラシ 1998年10月23日-11月15日 区立杉並会館ギャラリー
「憧れの時・佐藤忠良展」チラシ 1998年10月31日-12月13日 夕張市美術館
「沼津信用金庫創立50周年記念 佐藤忠良展」案内ハガキ 2000年4月3日-28日 ぬましんストリートギャラリー
「彫刻家の手 ブロンズの詩 佐藤忠良展」招待券 2000年6月8日-13日 日本橋高島屋8階ホール
「佐藤忠良 彫刻と素描展」案内状 2000年6月8日-13日 日本橋高島屋6階美術画廊
「彫刻家の手 ブロンズの詩 佐藤忠良展」案内状 2000年6月15日-20日 大阪・なんば高島屋7階グランドホール
「佐藤忠良 彫刻と素描展」案内状 2000年6月14日-20日 大阪・なんば高島屋6階美術画廊
「開館5周年記念 佐藤忠良展」チラシ、招待券 2002年4月19日-5月22日 泉美術館
「佐藤忠良彫刻展 関彰コレクション」チラシ 2002年7月13日-9月1日 スタジオ'S
「卒寿記念展 佐藤忠良 70年の歩み・アトリエの中から」チラシ 2003年5月31日-7月13日 豊橋市美術博物館
「佐藤忠良展」チラシ 2003年10月11日-11月3日 ELICONA
「泉美術館所蔵作品による 佐藤忠良の世界展」チラシ、招待券 2004年5月28日-7月21日 泉美術館
「佐藤忠良展」チラシ 2004年7月30日-9月20日 周南市美術博物館
「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」チラシ、招待券 2004年9月25日-11月23日 北海道立釧路芸術館
「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」チラシ、招待券 2005年3月5日-27日 北九州市立美術館
「彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画展」チラシ 2005年7月16日-9月4日 佐川美術館
「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」チラシ、パ

ンフレット 2006年1月31日-3月12日 川村記念美術館
「彫刻の誠実 佐藤忠良展」2006年7月26日-8月27日 せきかわ歴史とみちの館
「佐藤忠良 ブロンズの詩 造形の美展」目録 2006年10月17日-2007年3月4日 佐川美術館
「佐藤忠良展 彫刻とスケッチ」2007年4月1日-15日 大泉町文化むら 展示ホール
「佐藤忠良の世界」パンフレット 2007年9月25日-30日 学校法人 郡山開成学園
「丸沼芸術の森25周年記念展 佐藤忠良の小宇宙」チラシ 2008年10月18日-31日 丸沼芸術の森
「宮城県美術館 佐藤忠良記念館所蔵 佐藤忠良展」チラシ 2010年4月17日-6月6日 川越市立美術館
「白寿記念 佐藤忠良展」チラシ 2011年3月26日-9月4日 佐川美術館

(2.3) 個展 ポスター

「彫刻・佐藤忠良展」[1973年] 11月16日-21日 銀座松屋
「彫刻・佐藤忠良展」[1975年] 10月3日-8日 西武旭川店8階 特別催事場
「佐藤忠良展」1976年4月7日-18日 原画廊
「佐藤忠良展」1976年4月23日-27日 下館中央公民館
「現代彫刻家 佐藤忠良展」1977年3月30日-4月3日 足利市民会館
「現代彫刻家 佐藤忠良展」1977年4月14日-17日 佐野市民会館
「現代彫刻家 佐藤忠良展」1977年5月11日-15日 大田原市総合文化会館
「現代彫刻家 佐藤忠良展」1977年5月21日-25日 今市市総合会館
「彫刻の巨匠 佐藤忠良展」1977年7月10日-15日 栃木市市民会館
「彫刻の巨匠 佐藤忠良展」1977年8月20日-25日 鹿沼市産業文化会館
「彫刻の巨匠 佐藤忠良展」1977年8月26日-28日 小山市中央公民館
「現代彫刻家 佐藤忠良展」1977年11月8日-12日 水海道市民会館
「現代彫刻家 佐藤忠良 特別展」1977年12月15日-20日 取手市立市民センター
「現代彫刻家 佐藤忠良 特別展」1978年1月12日-16日 市民センター龍ヶ崎
「現代彫刻家 佐藤忠良 特別展」1979年12月8日、9日 真岡市附属体育館
「現代彫刻家 佐藤忠良 特別展」1979年12月12日-14日 黒磯市公会堂
“Churyo Sato” 2 Mai - 29 Juin 1981, Paris: Musée Rodin [1981年5月2日-6月29日 ロダン美術館]
「ブロンズの詩 パリ展開催記念 佐藤忠良展」[1981年] 8月1日-9月15日 国立国際美術館
「ブロンズの詩 パリ・国立ロダン美術館開催記念 佐藤忠良展」(2種) [1982年] 1月14日-26日 日本橋高島屋
「ブロンズの詩 パリ・国立ロダン美術館開催記念 佐藤忠良展」[1982年] 3月6日-4月11日 宮城県美術館
「ブロンズの詩 パリ・国立ロダン美術館開催記念 佐藤忠良展」1982年4月24日-5月16日 広島県立美術館
「ブロンズの詩 パリ・国立ロダン美術館開催記念 佐藤忠良展」[1982年] 5月26日-6月20日 熊本県立美術館

「ブロンズの詩 パリ・国立ロダン美術館開催記念 佐藤忠良展」[1982年]8月27日-9月26日 大分県立芸術会館
「ブロンズの詩 佐藤忠良展」(2種) [1983年]3月5日-20日 北海道立近代美術館
「ササニシキ顕彰碑完成記念 佐藤忠良展」1987年11月18日-23日 地域産業創造センター ふるさとプラザ2階特設会場
「佐藤忠良展 その歩みと展望」(2種) [1988年]9月15日-10月4日 有楽町アート・フォーラム
「佐藤忠良のすべて」1988年11月22日-12月4日 岩手県民会館
「佐藤忠良のすべて」1989年1月4日-2月5日 福岡県立美術館
「佐藤忠良のすべて」1989年4月7日-23日 長岡市美術センター
「佐藤忠良のすべて」1989年4月29日-6月11日 札幌芸術の森 [札幌芸術の森開館ポスターを含む]
「佐藤忠良のすべて」[1989年]6月17日-7月30日 茨城県近代美術館
「佐藤忠良のすべて」1989年8月19日-9月24日 北海道立旭川美術館
「佐藤忠良のすべて」1989年9月30日-11月5日 北海道立函館美術館
「佐藤忠良のすべて」1989年11月11日-12月17日 いわき市立美術館
「佐藤忠良のすべて」1990年2月20日-3月25日 児島虎次郎記念館(倉敷アイビースクエア内)
「佐藤忠良のすべて」1990年4月6日-5月6日 山梨県立美術館
「慈愛を刻む 齋藤清版画展 同時開催 佐藤忠良彫刻作品展 佐藤忠行氏所蔵作品による」[1993年]11月2日-23日 夕張市美術館
「佐藤忠良展」1994年4月2日-5月8日 三重県立美術館
「彫刻の詩50年 佐藤忠良展」1994年10月1日-30日 すまい
「佐藤忠良 彫刻と「本」の仕事」1995年9月9日-17日 小午田町近代文学館
「輔仁会館開館記念 佐藤忠良 母校展」1997年6月22日-7月6日 札幌西高 輔仁会館
「佐藤忠良「本」の仕事展」[ほか]1997年9月17日-11月10日(前期)、11月14日-1998年1月13日(後期) まほろばホール
「開館15周年記念 佐藤忠良展」1997年10月4日-28日 村内美術館
「憧れの時・佐藤忠良展」1998年10月31日-12月13日 夕張市美術館
「彫刻家の手 ブロンズの詩 佐藤忠良展」(2種) 2000年6月8日-13日 日本橋高島屋8階ホール
「開館5周年記念 佐藤忠良展」2002年4月19日-5月22日 泉美術館
「佐藤忠良 彫刻展 関彰コレクション」2002年7月13日-9月1日 スタジオ'S
「卒寿記念展 佐藤忠良 70年の歩み・アトリエの中から」2002年7月20日-11月17日 佐川美術館
「佐藤忠良展 卒寿、今なお現役 ふるさと大和町展」2003年4月16日-5月8日 まほろばホール
「佐藤忠良展」2003年10月11日-11月3日 ELICONA
「泉美術館所蔵作品による 佐藤忠良の世界展」2004年5月28日-7月21日 泉美術館
「佐藤忠良展」2004年7月30日-9月20日 周南市美術博物館

「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」2004年9月25日-11月23日 北海道立釧路芸術館
「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」2005年3月5日-27日 北九州市立美術館
「彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画」2006年1月21日-3月26日 宮城県美術館
「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」2006年1月31日-3月12日 川村記念美術館
「大泉町発足50周年記念 佐藤忠良展 彫刻とスケッチ」2007年4月1日-15日 大泉町文化むら展示ホール
「杉並区在住50年 佐藤忠良」2009年1月13日-25日 杉並区役所本庁舎2階ギャラリー
「佐藤忠良展 ある造形家の足跡」2010年12月23日-2011年3月6日 世田谷美術館
「白寿記念 佐藤忠良展」2011年3月26日-9月4日 佐川美術館

(3) 著作(文集・対談集・共著を含む)

建島覚造、佐藤忠良、尾川宏、舟越保武、植木茂、井上武吉『新技法シリーズ I 彫刻をつくる』美術出版社 1965年11月 佐藤忠良「塑造」
佐藤忠良、舟越保武『対談 彫刻家の眼』講談社1983年6月(版付特装版同時刊)
『佐藤忠良のクロッキー入門』求龍堂 1983年11月
『子供たちが危ない 彫刻家の教育論』(岩波ブックレット41) 岩波書店 1985年2月
谷川徹三、佐藤忠良、舟越保武『私は人間である 芸術と人生』夢想社 1991年12月
佐藤忠良、中村雄二郎、小山清男、若桑みどり、中原佑介、神吉敬三『遠近法の世界 人間の眼は空間をどうとらえてきたか』平凡社 1992年6月 佐藤忠良「目と手」
『触ることから始めよう』講談社 1997年3月
『忠良せんせい古里に触れる』インテリジェント・コスモス研究機構 2001年8月
佐藤忠良、安野光雅『ねがいは「普通」』文化出版局 2002年7月 佐藤忠良「安野さんとの対話」
佐藤忠良(述)、奥田史郎、道家暢子(編)『彫刻の〈職人〉 佐藤忠良 写真の人生を語る』草の根出版会 2003年12月

(4-1-01) 新制作[派]協会関係 図書・展覧会 図録など

『新制作派』(1) 新制作派協会 1936年11月
『新制作派』(4) 美術工藝會 1939年1月 佐藤忠良「描素的に」
「新制作派協会第4回展覧会目録」パンフレット 1940年1月13日-28日 大阪市立美術館
『新制作派』(5) 美術工藝會 1940年9月 佐藤忠良「二つの彫刻から」
『新制作派作品集』美術工藝會 1941年9月
『第18回新制作協会展』1954年[9月21日-10月7日 東京都美術館 ほか]
『第19回新制作協会展』1955年[9月21日-10月7日 東京都美術館 ほか]
『第20回新制作協会展』1956年[9月21日-10月7日 東京都美術館 ほか]
『第21回新制作協会展』1957年[9月25日-10月7日 東京都美術館 ほか]
『第24回新制作協会展』1960年[9月23日-10月10日 東京都美術館 ほか] 佐藤忠良[無題]

『第28回新制作協会展』1964年[9月22日-10月10日 東京都美術館 ほか]

『第30回新制作協会展図録[会員作品集]』1966年[9月22日-10月10日 東京都美術館 ほか]座談会:佐藤忠良、池辺陽、深尾庄介、稗田一穂、五十嵐芳三、渡辺恂三、堀文子、玉置正敏、加山又造「日本の芸術の主体性について」

『第32回新制作協会展図録』1968年[9月22日-10月10日 東京都美術館 ほか]

『第35回新制作協会展彫刻部図録』1971年9月22日-10月10日 東京都美術館 佐藤忠良[無題]

『第36回新制作協会展図録』1972年9月21日-10月10日 東京都美術館

『第37回新制作協会展図録』1973年9月22日-10月10日 東京都美術館

『第38回新制作協会展図録』1974年9月22日-10月10日 東京都美術館

『第39回新制作協会展図録』1975年9月23日-10月10日 東京都美術館

『新制作40年記念素描集』新制作協会 1976年9月 座談会:佐藤忠良、猪熊弦一郎、伊勢正義、菊池一雄、山口文象、池辺陽「新制作の40年」

『第41回新制作協会展図録』1977年9月21日-10月8日 東京都美術館

『第42回新制作協会展図録』1978年9月27日-10月12日 東京都美術館

『第43回新制作協会展図録』1979年9月27日-10月12日 東京都美術館

『第44回新制作協会展図録』1980年9月26日-10月12日 東京都美術館

『第45回新制作協会展図録』1981年9月20日-10月6日 東京都美術館

『第46回新制作展図録』1982年9月21日-10月6日 東京都美術館

『第47回新制作展図録』1983年9月21日-10月6日 東京都美術館

『第48回新制作展図録』1984年9月27日-10月13日 東京都美術館

『第49回新制作展図録』1985年9月27日-10月3日 東京都美術館

『第50回新制作展図録』1986年9月18日-10月13日 東京都美術館

『新制作50年』新制作協会 1986年9月 佐藤忠良「刊行のことば 50年の歴史と将来への展望」、座談会:佐藤忠良、伊勢正義、猪熊弦一郎、脇田和、菊池一雄、舟越保武、吉田芳夫、内田武夫、小松益喜、瀬島好正、竹田道太郎、荻太郎「新制作50年の回顧と展望」

『第51回新制作展図録』1987年9月18日-10月3日 東京都美術館 佐藤忠良[岩野勇三追悼]

『第52回新制作展図録』1988年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第54回新制作展図録』1990年9月19日-10月3日 東京都美術館 佐藤忠良「ヨーさん」[吉田芳夫追悼]

『第55回新制作展図録』1991年9月19日-10月3日 東京都美術館

『第56回新制作展図録』1992年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第57回新制作展図録』1993年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第58回新制作展図録』1994年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第59回新制作展図録』1995年9月19日-10月3日 東京都美術館

『第60回新制作展図録』1996年9月19日-10月3日 東京都美術館

『第61回新制作展図録』1997年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第62回新制作展図録』1998年9月18日-10月3日 東京都美術館 佐藤忠良「永さん」[芥川永追悼]

『第63回新制作展図録』1999年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第64回新制作展図録』2000年9月19日-10月3日 東京都美術館 佐藤忠良「カクちゃん」[山本恪二追悼]

『第65回新制作展図録』2001年9月19日-10月3日 東京都美術館

『第66回新制作展図録』2002年9月19日-10月3日 東京都美術館

『第67回新制作展図録』2003年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第68回新制作展図録』2004年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第69回新制作展図録』2005年9月18日-10月3日 東京都美術館

『第70回記念新制作展図録』2005年9月18日-10月3日 東京都美術館 座談会:佐藤忠良、荻太郎、赤穴宏、小野かおる、澄川喜一「新制作70回展を迎えて…」

『第71回新制作展図録』2007年9月19日-10月1日 国立新美術館

『第72回新制作展図録』2008年9月17日-29日 国立新美術館

『第73回新制作展図録』2009年9月16日-29日 国立新美術館

『第74回新制作展図録』2010年9月15日-27日 国立新美術館

(4-1-02) 新制作[派]協会関係 展覧会 チラシなど

[新制作協会、帰京した剣持勇の歓迎会の案内]ハガキ
 「新制作派協会オリジナル・リトグラフ展」案内ハガキ
 [1978年]10月13日-18日 渋谷東急本店
 「新制作展 京都展 彫刻部」チラシ 2003年10月21日-30日
 京都市美術館

(4-2) 新制作[派]協会関係 逐次刊行物

『新制作』(1) 新制作協会 1981年6月 佐藤忠良「バリ・新制作」

『新制作』(6) 新制作協会 1984年1月

『新制作』(9) 新制作協会 1985年6月

『新制作』(10) 新制作協会 1986年1月

『新制作』(11) 新制作協会 1986年[6月] ※切り抜き

『新制作』(12) 新制作協会 1987年1月

『新制作』(13) 新制作協会 1987年6月 ※切り抜き

(4-3) 新制作[派]協会関係 その他資料

『新制作協会名簿』新制作協会 1996年
 『新制作協会名簿』新制作協会 1999年
 『新制作協会名簿』新制作協会 2000年
 『新制作協会名簿』新制作協会 2006年
 総会資料等 1985年

(5-1) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 図書など

- 『学校法人 桑沢学園 桑沢デザイン研究所・同窓会名簿』桑沢デザイン研究所・研究科 1961年12月
- 『桑沢デザイン研究所 研究科グラフィックコース1961年度卒業記念』桑沢デザイン研究所研究科 1962年3月
- 『桑沢デザイン研究所10年の歩み』桑沢学園 桑沢デザイン研究所 1963年10月 佐藤忠良「不自由と情熱の時代」
- 『東京造形大学 入学案内』[東京造形大学] [1970年]
- 『東京造形大学の10年』桑沢学園 東京造形大学 1977年3月 佐藤忠良「手作り大学」
- 『桑澤洋子先生66年のあゆみ』[桑沢学園 桑沢デザイン研究所] [1977年4月]
- 『桑沢洋子随筆集遺稿』桑沢学園 1979年11月 佐藤忠良「桑沢洋子という人」
- 『専門学校桑沢デザイン研究所の25年』桑沢学園 専門学校桑沢デザイン研究所 1979年12月 佐藤忠良「研究所創生のころ」
- 『創立30周年を迎えて』専門学校 桑沢デザイン研究所[1984年11月] 佐藤忠良「桑沢学園とともに」
- 『Guidance'85 専門学校 桑沢デザイン研究所[学校案内]』
- 『専門学校桑沢デザイン研究所 平成3年度 教職員住所録』
- 『東京造形大学1998』東京造形大学企画室 1997年8月 対談：海本健、佐藤忠良「学長対談 螺旋形に生きる」
- 『ZOKEI 造形』桑沢学園 東京造形大学 1997年12月
- 『2001年度 平成13年度 東京造形大学 教職員住所録』
- 『2003年度 平成15年度 東京造形大学 教職員住所録』
- 『2004年度 平成16年度 東京造形大学 教職員住所録』
- 『桑沢文庫 4 桑沢洋子とデザイン教育の軌跡』桑沢学園 2005年5月 佐藤忠良、沢良子(聞き手) [無題]
- 『東京造形大学』[東京造形大学] [2006年]
- 『東京造形大学 教員一覧』[東京造形大学] [2006年]
- 『桑沢デザイン研究所 校舎建て替えの渋谷・赤坂日記』野口允晤 2008年3月
- 『卒業研究・卒業制作 大学院 修士論文・修士制作 優秀作品集 2009』東京造形大学 2010年5月
- 『東京造形大学 大学案内』東京造形大学 2010年7月
- 『掲載書不明』不明[学校案内か《桑沢洋子像》]※切り抜き
- 『掲載書不明』不明[学校案内か 美術学校・II類一彫刻 彫刻とは読んで字のごとく…]※切り抜き

(5-2) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 逐次刊行物

- 『KDS (KD ニュース)』(44) KDS会編集部 1958年4月 佐藤忠良「私のフロタージュ」※切り抜き
- 『NEWS』(73) 桑沢デザイン研究所同窓会 1977年7月
- 『NEWS』(88) 桑沢デザイン研究所同窓会 1981年2月(五味)「桑沢洋子先生の胸像、ついに完成」
- 『東京造形大学広報』(17) 東京造形大学教務部 1988年6月
- 『NEWS』(121) 桑沢デザイン研究所同窓会 1990年3月 佐藤忠良(講演録)「価値感の多様化という言葉による危機(1950年代のデザインから学ぶ)」
- 『図書館だより』(36) 東京造形大学図書館 1993年12月 佐藤忠良「三木俊治宛書簡の再録」
- 『東京造形大学広報』(103) 広報室 2003年4月

(5-3) 桑沢デザイン研究所・東京造形大学関係 その他資料

- 『第3回デザイン・シンポジウム資料』(林進、金子至、安東武男、真鍋一男、石元泰博、高山正喜久、篠原一男) [1962年]
- [昭和40年度 入学選考作問委員(デッサン)委嘱状]学校法人 桑沢学園 桑沢デザイン研究所 1964年11月
- [東京造形大学 教授任命書類]学校法人 桑沢学園 1966年3月
- [昭和42年度 学年暦]学校法人 桑沢学園 桑沢デザイン研究所 1967年4月
- [1984年度 造形彫刻 卒業アルバム TKYO ZOKEI UNIV. 16TH] [1985年3月]
- [東京造形大学 名誉教授記(写真4枚挟み込み)] 1986年10月
- [年賀状]学校法人 桑沢学園 1993年1月
- [桑沢学園賞 賞状・副賞目録] 2000年1月
- [高山正喜久 授業資料か?] 2000年7月27日-28日
- [私信(桑沢賞授賞式用注文)] 2002年3月
- [桑沢案内切り抜き(肖像写真)]

(6-1) 教科書 現代美術社 小学校図画工作教科書

- 安野光雅、井上武美、掛樋進、佐藤忠良、萩原栄、四田昌二、依光正憲、久保貞次郎、高山正喜久『子どもの美術 1 新訂版』1984年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「まごへのてがみりゅうくんへ」
- 同上『子どもの美術 2 新訂版』1984年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「ピカソ ロバにのったボール」
- 安野光雅、井上武美、掛樋進、佐藤忠良、萩原栄、四田昌二、依光正憲、久保貞次郎、高山正喜久、平林浩『子どもの美術 3 新訂版』1984年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「海老原喜之助 曲馬」
- 安野光雅、井上武美、掛樋進、佐藤忠良、萩原栄、四田昌二、依光正憲、久保貞次郎、高山正喜久『子どもの美術 4 新訂版』1984年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「ゴッホ ゆうびん配達人ルーラン」
- 安野光雅、井上武美、掛樋進、佐藤忠良、萩原栄、四田昌二、依光正憲、久保貞次郎、高山正喜久、福富雅江、古田一夫『子どもの美術 5 新訂版』1984年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「デューラー アルコの風景」
- 安野光雅、井上武美、掛樋進、佐藤忠良、萩原栄、四田昌二、依光正憲、久保貞次郎、高山正喜久『子どもの美術 6 新訂版』1985年1月(1979年3月検定、1982年3月改定検定) 佐藤忠良「ダリバンかご」「ミミズク」
- 佐藤忠良、安野光雅、遠藤一夫、落合利行、宮津濃、依光正憲、井上武美、太田幸雄、掛樋進、四田昌二、関戸勇『子どもの美術 1』1986年2月(1985年3月検定) さとうちゅうりょう「がいこくの がっこう」
- 同上『子どもの美術 2』1986年2月(1985年3月検定) さとうちゅうりょう「ピカソ『ロバにのったボール』」
- 同上『子どもの美術 3』1986年2月(1985年3月検定) さとうちゅうりょう「えびはらきのすけ『曲馬』」
- 同上『子どもの美術 4』1986年2月(1985年3月検定) さとうちゅうりょう「ゴッホ『ゆうびん配達人ルーラン』」
- 同上『子どもの美術 5』1986年2月(1985年3月検定) 佐藤忠良「デューラー『アルコの風景』」「孫への手紙」

同上『子どもの美術 6』1986年2月(1985年3月検定)佐藤忠良「ダリ『パンかご』」

佐藤忠良、安野光雅、井上武美、遠藤一夫、落合利行、依光正憲、太田幸雄、掛樋進、宮津濃、四田昌二、伊東信治、関戸勇『子どもの美術 1』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)さとうちゅうりょう「がいこくのがっこう」

同上『子どもの美術 2』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)さとうちゅうりょう「ピカソ『ロバにのったボール』」

同上『子どもの美術 3』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)さとうちゅうりょう「えびはらきのすけ『曲馬』」

同上『子どもの美術 4』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)さとうちゅうりょう「ゴッホ『ゆうびん配達人ルーラン』」

同上『子どもの美術 5』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)佐藤忠良「デューラー『アルコの風景』」「『孫への手紙』」

同上『子どもの美術 6』1989年2月(1985年3月検定、1988年2月改訂検定)佐藤忠良「ダリ『パンかご』」

佐藤忠良、安野光雅、池田栄、箕田源二郎、依光正憲、落合利行、井上武美、遠藤一夫、太田幸雄、掛樋進、伊東信治、北川喜代子、佐藤寛、笹塚悦子、豊口熙子、平野正美、関戸勇『子どもの美術 1』1993年2月(1991年2月検定)

同上『子どもの美術 2』1993年2月(1991年2月検定)

同上『子どもの美術 3』1993年2月(1991年2月検定)

同上『子どもの美術 4』1993年2月(1991年2月検定)

同上『子どもの美術 5』1993年2月(1991年2月検定)

同上『子どもの美術 6』1993年2月(1991年2月検定)

安野光雅、佐藤忠良(編)『子どもの美術:安野光雅と佐藤忠良らが創った図画工作教科書(1~6、別冊)』[復刊ドットコム][2013年9月][1979年3月検定版の復刻版か]、[別冊に]対談:佐藤忠良、安野光雅「新しく図画工作・美術の教科書を出版する前に 於1977年早春」

(6-2) 教科書 現代美術社 中学校美術教科書

佐藤忠良(編集代表)『少年の美術 教授資料』1981年4月

佐藤忠良(編集代表)『少年の美術 教授資料』1987年4月 箕田源二郎『人間と絵画の歴史』を含む

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男『少年の美術 1』1983年1月(1980年3月検定)佐藤忠良「美術を学ぶ人へ」「わたしたちは、なぜ顔に興味を持つか?」

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男、針生一郎『少年の美術 2』1983年1月(1980年3月検定)佐藤忠良「彫刻にこめられた心」

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男、小川正隆、瀬木慎一、本間正義、三木多聞『少年の美術 3』1982年1月(1983年3月検定)佐藤忠良「彫刻を立たせる」

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男、遠藤一夫、北條聰『少年の美術 1』1984年2月3日(1980年3月検定、1983年3月改定検定)佐藤忠良「美術を学ぶ人へ」「わたしたちは、なぜ顔に興味を持つか?」表紙:佐藤忠良《帽子》(素描)

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男、北條聰、針生一郎『少年の美術 2』

1984年2月3日(1980年3月検定、1983年3月改定検定)佐藤忠良「彫刻にこめられた心」表紙:佐藤忠良《未菜》(素描)

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、太田幸雄、北村隆博、阪本文男、小川正隆、北條聰、瀬木慎一、本間正義、三木多聞、渡辺恂三『少年の美術 3』見本版(1980年3月検定、1983年3月改定検定)佐藤忠良「彫刻を立たせる」表紙:佐藤忠良《本を見る裸婦》(素描)

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、井上武美、井上馨、遠藤一夫、太田幸雄、北村隆博、関戸勇『少年の美術 1』1987年2月(1986年3月検定)佐藤忠良「なぜ美術を学ぶのか」

同上『少年の美術 2』1987年2月(1986年3月検定)

同上『少年の美術 3』1987年2月(1986年3月検定)

佐藤忠良、秋岡芳夫、安野光雅、磯田尚男、井上武美、井上馨、遠藤一夫、太田幸雄、香取淳子、唐木信允、北村隆博、三嶋真人、山本幹雄、関戸勇『少年の美術 1』1990年2月(1986年3月検定、1989年改訂検定)

同上『少年の美術 2』1990年2月(1986年3月検定、1989年改訂検定)

同上『少年の美術 3』1990年2月(1986年3月検定、1989年改訂検定)

佐藤忠良、安野光雅、秋岡芳夫、磯田尚男、井上武美、遠藤一夫、太田幸雄、香取淳子、唐木信允、北村隆博、三嶋真人、山本幹雄、関戸勇『少年の美術 1』1994年2月(1992年2月検定)

同上『少年の美術 2・3 I』1993年2月(1992年2月検定)

同上『少年の美術 2・3 II』1993年2月(1992年2月検定)佐藤忠良「中川一政氏を悼む」[『朝日新聞』1991年2月6日掲載の再録]

(6-3) 教科書 現代美術社 高等学校美術教科書

佐藤忠良、磯田尚男、阪本文男、中原佑介『美術・その精神と表現 1』1985年2月(1981年3月検定)表紙:佐藤忠良《帽子・夏》、佐藤忠良「この本を読む人へ」「デッサンの始まりに」「彫刻を志す人へ《不自由を承知のうえで》」

佐藤忠良、磯田尚男、遠藤一夫、北條聰、阪本文男、中原佑介『美術・その精神と表現 2』1984年2月(1982年3月検定)佐藤忠良「カンカン帽」「ピカソと彫刻」

佐藤忠良、磯田尚男、北條聰、阪本文男、笹戸千津子、日高敏隆、村井和夫『美術・その精神と表現 3』1984年2月(1983年3月検定)佐藤忠良「ワイエス」「ベン・シャーン」

佐藤忠良(編集代表)『美術・その精神と表現 3 教授資料』1984年4月

佐藤忠良、石本正、磯田尚男、岩崎孝、小原久男、北條聰、阪本文男、中原佑介『新訂=美術・その精神と表現 1』1987年2月(1981年3月検定、1984年3月改訂)佐藤忠良「この本を読む人へ」「デッサンの始まりに」「セザンヌの彫刻的な構成」「彫刻を志す人へ《不自由を承知のうえで》」

佐藤忠良、石本正、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、北條聰、阪本文男、田村進、中原佑介、奈良孝哉『新訂=美術・その精神と表現 2』1988年2月(1982年3月31日検定、1985年改訂検定)佐藤忠良「カンカン帽」「ピカソと彫刻」

佐藤忠良、磯田尚男、岩崎孝、池田太郎、遠藤一夫、小原久男、鈴木吾郎、田村進、奈良孝哉、花巻庄司、早坂貞彦、関戸勇『美術 自然から学ぶ 1』1988年2月(1987年3月検定)

佐藤忠良、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、斎藤真理、鈴木吾郎、田村進、中谷有逸、花巻庄司、前田精史、村井和夫、関戸勇『美術 自然から学ぶ 2』1990年2月(1988年3月)

佐藤忠良、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、鈴木吾郎、田村進、中谷有逸、花巻庄司、村井和夫『美術 自然から学ぶ 3』1995年2月(1989年3月検定)

佐藤忠良、石本正、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、鈴木吾郎、十川忍、田村進、中谷有逸、西村肇、村井和夫、太田弘『美術 自然から学ぶ 1』2001年2月(1993年2月検定)

佐藤忠良、安野光雅、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、鈴木吾郎、十川忍、田村進、中原佑介、中谷有逸、西村肇、村井和夫、関戸勇、太田弘『美術・その精神と表現』2002年2月(1993年2月検定)

佐藤忠良、石本正、磯田尚男、岩崎孝、遠藤一夫、小原久男、北條聰、阪本文男、田村進、中原佑介、奈良孝哉、太田弘『新訂 美術・その精神と表現2』2001年2月(1998年2月検定) 佐藤忠良「カンカン帽」「ピカソと彫刻」

(6-4) 教科書 その他教科書

『美術2』光村図書出版 見本版(1973年4月) 佐藤忠良《かもしかと少年》掲載

『しょうがく こくご1ねん上』日本書籍 見本版(1979年3月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『こくご1上 かざぐるま』光村図書 1981年2月(1979年3月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『改訂 しょうがくこくご1上』教育出版 見本版(1985年3月検定 1988年3月改訂) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『しょうがっこう こくご1ねん上』学校図書 1989年1月(1985年3月検定 1988年3月改訂) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『新版 こくご1上』教育出版 1992年1月(1991年12月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『こくご1上』(切り抜き含む)教育出版 見本版(1995年1月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『新編 あたらしいこくご1上』東京書籍 見本版(1995年1月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『新訂 あたらしいこくご1上』東京書籍 見本版(1999年1月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『あたらしいこくご1上』東京書籍 見本版(2001年1月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『ひろがる ことば しょうがくこくご1上』教育出版 見本版(2001年1月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『精選現代文1』明治書院 2004年1月(2003年3月検定) 佐藤忠良、舟越保武「無駄のすすめ」

『ひろがる ことば しょうがくこくご1上』教育出版 見本版(2010年3月検定) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

『しょうがく こくご1上』教育出版 見本版(検定年不明) 佐藤忠良(画)「おおきなかぶ」

福島中学校教育研究会『美術の学習Ⅱ・Ⅲ』福島教材社[2006年] 佐藤忠良「群馬の人」掲載

(6-5) 教科書 その他資料(チラシ、校正など)

「現代美術社出版案内」チラシ 1979年

『美術・その精神と表現1・2・3』チラシ [1984年-85年]

『美術・その精神と表現1』表紙校正?

『美術・その精神と表現1-2 内容案内』

『美術・その精神と表現2』第4次原稿

「丸森町教育を語る会 教育講演会資料 佐藤忠良氏「無駄なことを体験させるのが図画工作科の目的だ」(子どもの美術教授資料から)」

「小国掛図1上13-15 おおきなかぶ(1-3)」不明 佐藤忠良(画)

[現代美術社]不明[レゾネ掲載なし、石膏原型番号395]

(7-1) 作画 絵本

平野直『やまなしもぎ』福音館書店[1959年9月]「こどものとも」(42) 別版あり

神沢利子『いちごつみ』福音館書店[1961年4月]「こどものとも」(61) 別版あり

内田莉沙子『おおきなかぶ』福音館書店(1962年5月初版) 1972年7月「こどものとも」(74) 別版あり

内田莉沙子『ゆきむすめ』福音館書店(1963年2月初版) 1966年1月「こどものとも」(83) 別版あり

セルゲイ・ミハルコフ、浜田廣介『もりは おおさわぎ』偕成社(1965年12月初版) 1981年3月

セルゲイ・ミハルコフ、内田莉沙子『三びきのこぶた』偕成社(1966年7月初版) 1976年4月

グリム、佐藤義美『ねむりのもりのひめ』偕成社 1966年12月

イソップ、山中恒『イソップのおはなし』偕成社 1967年12月

西郷竹彦『わらしべちょうじゃ』ポプラ社(1968年1月初版) 1982年11月 別版あり

ウィリアム・コズロフ、内田莉沙子『ほくたちの家』偕成社 1969年6月

君島久子『おひやくしょうとえんまさま』福音館書店[1969年9月]「こどものとも」(162) 別版あり

中村草田男『ビーバーの星』福音館書店 1969年10月 別版あり

ヴィクトル・ユーゴー、薩摩忠『ああ無情』世界文化社[1970年7月]

婦人之友絵本制作部『はなやひつじとはなしたこども』婦人之友社(1970年11月初版) 1976年4月

神沢利子『さんびきのくま』世界文化社 1971年12月

椋鳩十『ぎんいろの巣』ポプラ社 1973年5月

山本茂実『野麦峠をこえて』ポプラ社 1973年10月

内田莉沙子『ハバヤガーのしろいとり』福音館書店 1973年11月「こどものとも」(212) 別版あり

大川悦生『ふたりがかけた橋』ポプラ社 1975年7月 ※カバー色校

西本鶏介『七つのほしのものがたり』フレーベル館 1976年7月 別版あり

木島始(文)『木』(『絵本のたのしみ』含む) 福音館書店 2001年2月「こどものとも」(539) 別版あり

『こどものとも 復刻版 400号記念出版』(創刊号~50号) 福音館書店 1989年10月 付『こどものともの歩み』

『おおきなかぶ』(英語版) The Gigantic Turnip [R. I. C. Publications] [2004年9月]

『おおきなかぶ』(中国語簡体字版) 拔萝卜 BA LUOBO 南海出版公司 2008年6月

『おおきなかぶ』(中国語繁体字版) 好大的蘿蔔樂山文化事業有限公司 2009年11月

『おおきなかぶ』(シンハラ語版) CHILD'S WORLD Picture

Books 2006年5月

『おおきなかぶ』(タイ語版) Amarin 1999年6月
『おおきなかぶ』(クメール語版) JSRC 刊行年不詳
『ゆきむすめ』(英語版) The Snow Daughter ラボ教育センター [1969年10月]
『ゆきむすめ』(中国語簡体字版) 雪姑娘 XUEGUNIANG 南海出版公司 2008年12月
『木』(韓国語版) 福音館書店 2007年4月

(7-2-01) 作画 図書 童話・児童文学

神西清『月が消えた話』河出書房 1955年10月
岡本喬『ヒメジョオンのは蝶(童話集)』書肆ユリイカ 1958年9月
真篠将、浜野政雄(共編)『こども歌唱全集5』東芝音楽工業 1961年
タクラ・テル『たまをあらそう』理論社 1962年12月
グリム『あいうえおブック(2)え・お』世界文化社 1965年6月
『おおかみと7ひきのこやぎ』挿絵
レフ・トルストイ、工藤精一郎『世界文学全集(35)復活』集英社 1968年12月
高井節子『おかあさんの赤いくつ』ポプラ社 1970年12月
杉みき子『小さな雪の町の物語』童心社 1972年2月
真鍋和子『千本のえんとつ』ポプラ社 1972年9月
国分一太郎『リンゴ畑の四日間』偕成社 1976年12月
岡本良雄『三人の0点くん』偕成社 1977年7月 別版あり
杉きみ子『5年の読み物特集 学習・科学 1976』学習研究社 1976年7月
『青いヤッケの男の子』挿絵 ※切り抜き
杉みき子『白いとんねる』偕成社 1977年10月
小川一枝『赤ひげとぶどう酒商人ほか』家の光協会 1978年9月
加藤多一『原野にとぶ橋』偕成社 1978年10月
杉みき子『小さな町の風景』偕成社 1982年9月 別版あり
更科源蔵『父母の原野』偕成社 1983年2月
更科源蔵『おさない原野』偕成社 1984年1月
更科源蔵『少年たちの原野』偕成社 1984年10月 別版あり
更科源蔵『移住者の原野』偕成社 1986年6月

(7-2-02) 作画 図書 文学・随筆

船山馨『衣裳』通文閣 1941年7月
船山馨『裾野』皇民社 1943年11月
岸田国士『暖流』新潮社(1947年8月初版) 1976年10月
壺井栄『妻の座』冬芽書房 1949年10月
小澤清『町工場』冬芽書房 1950年2月
イーナ・コンスタンチノワ、野坂りょう『カシンの少女 イーナ・コンスタンチノワの日記と手紙』五月書房 [1952年7月] ※カバーのみ
徳永直『静かなる山々』蒼樹社 1952年9月
許南麒『巨済島』理論社 1952年9月
真鍋呉夫『嵐の中の一本の木』理論社 1954年1月
足柄定之『鉄路のひびき』理論社 1954年1月
斎藤芳郎『粘土』理論社 1955年2月初版 別版あり
江馬修『氷の河』(第1部、第2部) 理論社 1955年7月
徳永直『静かなる山々』(第1部上・下、第2部上・下) 角川書店 1955年9月(角川小説新書)
片山昌造『員数外 一軍層の記』大日本雄弁会講談社 1956年11月
阿部知二『雅歌』宝文館 1957年6月

藤巻幸造『婦人の新生活』農山漁村文化協会 [1957年8月] ※カバーのみ
浪江虔(編)『真実は死なない=板谷敬記念文集』1958年7月
小田切秀雄(編)、犬田卯『日本農民文学史』農山漁村文化協会 [1958年10月] ※カバーのみ
国分一太郎、浪江虔(編)『手紙と文章の書き方』農山漁村文化協会 [1959年8月] ※カバーのみ
農村演劇懇話会(編)『農村演劇脚本集 5』農山漁村文化協会 1959年9月
馬場昭、安孫子麒、吉田寛一『農村経済入門』農山漁村文化協会 1959年9月
船山馨『石狩平野』河出書房 1967年8月
船山馨『続 石狩平野』河出書房 1968年4月
船山馨『お登勢』毎日新聞社 1969年4月
船山馨『石狩平野』(全1冊) 河出書房新社 1970年12月
船山馨『お登勢』角川書店 1970年5月(角川文庫)
船山馨『花埋み』河出書房新社 1970年8月
船山馨『放浪家族』河出書房 1970年11月
赤岩栄『赤岩栄著作集 第6巻』教文館 1970年12月
諸星澄子『蔵王絶唱』立風書房 1970年12月
渡辺淳一『ガラスの結晶』講談社 1970年12月
有馬頼義『乃武子の災難』講談社 1971年2月
江夏美好『下々の女』河出書房新社 1971年2月
船山馨『幕末の暗殺者』角川書店(1971年10月初版) 1975年4月(角川文庫)
渡辺淳一『十五歳の失踪』講談社 1972年3月
船山馨『北国物語』角川書店 1973年4月(角川文庫)
渡辺淳一『雪舞』河出書房新社 1973年9月
船山馨『続 お登勢』毎日新聞社 1973年9月
藤原審爾『へそまがり』中央公論社 1974年4月
島崎藤村『日本文学全集10 島崎藤村集(2)』集英社 1974年5月
船山馨『見知らぬ橋』(上・下) 角川書店 1974年7月(角川文庫)
『船山文学碑(お登勢) 建設記念誌』船山文学「お登勢」の碑建設委員会 1975年5月 表紙、佐藤忠良「馨と『お登勢』と僕」
更科源蔵『北海道・草原の歴史から』新潮社 1975年8月
船山馨『石狩平野』(上・中・下) 角川書店 1975年9月(角川文庫)
船山馨『破獄者』角川書店 1975年11月(角川文庫)
石坂洋次郎『麦死なず』新潮社 1976年3月(新潮文庫)
渡辺義通『猫との対話』三一書房 1977年3月 扉絵: 佐藤忠良
島田とみ子『心豊かな老い』東京キリスト教女子青年会 1977年8月
船山馨『続お登勢』角川書店 1977年10月(角川文庫)
船山馨『みみずく散歩』構想社 1978年1月
札幌市教育委員会文化資料室(編)『さっぽろ文庫3 札幌風物誌』札幌市 1978年1月
船山馨『蘆火野』(上・下) 角川書店 1978年1月(角川文庫)
和田武雄『日日の投影』日本評論社 1978年7月
船山馨『放浪家族』集英社 1979年8月(集英社文庫)
船山馨『花と濤』(上・下) 角川書店 1980年3月(角川文庫)
船山馨『茜いろの坂』(上・下) 新潮社 1980年9月
『北海道文学全集』(全15巻) 立風社 1983年6月-1984年8月
和田武雄『医の風景』日本評論社 1983年11月
船山馨『茜いろの坂』新潮社 1984年1月(新潮文庫)
宮本輝『星々の悲しみ』文藝春秋 1984年8月(文春文庫)

赤岩栄『愛と真実の人びと (10) キリスト—人間を愛しぬいた人』岩崎書店 1986年1月
 佐藤朔『詩集 青銅の首』思潮社 1987年5月
 山根基世『であいの旅』毎日新聞社 1988年7月
 山根基世『歩きながら』文化出版局 1989年4月
 山根基世『であいの旅』文藝春秋 1991年10月(文春文庫) 佐藤忠良「解説」
 山根基世『旅のあとさき』文化出版局 1991年11月
 山根基世『日本列島幸せ探し』講談社 1993年9月
 山根基世『歩きながら』文藝春秋 1994年4月(文春文庫)
 綿貫益弘『四万十・丹波』麴町出版 1994年6月
 山根基世『ネコのあぶく』毎日新聞社 1995年8月
 武田ひろ子『句日記 追憶』ミネルヴァ書房 2003年9月
 秋山ちえ子『風の流れに添って—ラジオ生活五十七年』講談社 2005年10月
 山根基世『ことばで「私」を育てる』講談社 2006年5月(講談社文庫)
 秋山ちえ子『種を蒔く日—九十歳を生きる』講談社 2008年1月

(7-2-03) 作画 図書 その他

『世界の子守唄フェスティバル記念 童夢』パンフレット 世界の子守唄フェスティバル実行委員会 1988年11月
 『全国自治体病院協議会雑誌』[全国自治体病院協議会] 1993年1月
 『寺本知のとわずかたり にんげんはすばらしい』豊中市同和事業促進協議会創立40周年 豊中水平社創立70周年 部落解放同盟螢池支部創立25周年 記念事業実行委員会 1994年1月
 『中国帰国者日本語教室20年のあゆみ』東京キリスト教女子青年会 2000年10月
 『詩集 大樹の詩』著者不詳[堀進?][頌春 2002年 彫刻家・佐藤忠良氏の年賀状(2002年)]※切り抜き
 『第12回 日本心臓血管外科学会 プログラム』不明 ※切り抜き
 『JOY COOKING 春・夏・秋・冬』澤口ジョイ・クッキングスクール ※カバーのみ
 『化学肥料取扱15周年記念:ホクレンの肥料』ホクレン農業協同組合連合会不明 表紙:佐藤忠良か?

(7-3-01) 作画 演劇・映画関係 チラシ、パンフレットなど

『眞空地帯(第3回新演劇研究所発表会)』新演劇研究所 1953年1月15日-18日 飛行館 表紙絵、佐藤忠良「稽古場で」
 「映画ヒロシマの証人」チラシ 日本容器印刷・三報社[1968年]
 「ボタツ子行進曲」パンフレット 劇団風の子 不明
 「馬車道の女」パンフレット たむらプロダクション1979年1月 チラシ4種含む
 「馬車道の女」パンフレット 五五の会[1980年]
 「わが愛 馬車道の女」パンフレット 五五の会[1982年]
 「エリーダ 海夫人」パンフレット 1992年8月11日-9月6日 ベニサン・ピット
 「峯の雪」チラシ 劇団民藝 2010年6月22日-7月4日 紀伊国屋サザンシアター
 Ikebana International, no.64, Tokyo: Ikebana International, June, 1982, Miranda Kenrick "On Tour in a Japanese

Play"「馬車道の女」関連記事
 『民藝の仲間』(216) 劇団民藝 [1982年?]「十二月 下宿屋「四丁目ハウス」」
 『民藝の仲間』(220) 劇団民藝 1982年11月「驟雨 タナトロジー—死に方の研究」
 『民藝の仲間』(223) 劇団民藝 1983年「こわれがめ」
 『民藝の仲間』(229) 劇団民藝 1984年「林檎園日記」
 『民藝の仲間』(367) 劇団民藝 2010年12月「十二月 下宿屋「四丁目ハウス」」
 「『民藝の仲間』へのお誘い」チラシ [1986年]
 「民藝の仲間」会員証? 1986年、1987年、1988年 ※1987年は切り抜き

(7-3-02) 作画 演劇・映画関係 ポスター

「ボタツ子行進曲」劇団風の子 不明
 「山脈」劇団民藝 10月14日-25日 砂防会館ホール
 「地平線の五人兄弟」劇団風の子 [1972年]
 「カレドニア号出帆す!」劇団風の子 [1976年]
 「馬車道の女 三幕十場」[1979年1月~1983年2月頃]
 「十二月 下宿屋「四丁目ハウス」」劇団民藝 [1982年4月]4日-25日 三越劇場 ※欠損あり
 「驟雨」劇団民藝 [1982年]
 「こわれがめ」劇団民藝 [1983年]
 「林檎園日記 四幕」劇団民藝 [1984年]
 「エリーダ 海の夫人」1992年8月11日-9月6日 ベニサン・ピット
 「ジャングルの刻」劇団民藝 [開催年不明]8月31日-9月8日 砂防会館ホール
 「峯の幸」劇団民藝 2010年6月22日-7月4日 紀伊国屋サザンシアター

(7-4) 作画 逐次刊行物

『オール讀物』39(7) 文藝春秋 1984年7月 目次
 日本近代史研究(編)『画報現代史』(9, 10, 12) 国際文化情報社 1955年2月、4月、5月 表紙:佐藤忠良・朝倉攝
 『北の話』(70, 80, 100, 112, 120, 130, 140, 145, 150, 163, 170, 180, 186, 190, 194, 200) 凍原社 [1975年1月]、1977年8月、1980年12月、1982年12月、1984年4月、1985年12月、1987年8月、1988年6月、1989年4月、1991年6月、1992年8月、1994年4月、1995年4月、12月、1996年8月、1997年8月 ※70のみ切り抜き
 『月刊全生』(215-226) 社団法人整体協会 1982年1月-12月
 『月刊 都響』(225) 東京交響楽団 2006年2月
 『しんばし』[あい出版しんばし編集室] ※切り抜き
 『選択』10(3, 8), 11(4, 8), 12(4, 5), 13(4, 7, 11), 14(1-4), 15(9, 10), 16(6, 9, 10), 17(5, 9), 27(9, 10, 12), 28(1) 選択出版 1984年3月、8月、1985年4月、8月、1986年4月、5月、1987年4月、7月、11月、1988年1月-4月、1989年9月、10月、1990年6月、9月、10月、1991年5月、9月、2001年9月、10月、12月、2002年1月
 『選択』10(4-9), 11(1, 2, 4-12), 12(1-7, 9, 10, 12), 13(1-4, 6-10, 12), 14(1-11), 15(2-11), 16(1-9), 17(1-7, 9, 11, 12), 18(2-5, 7-8, 10-12), 19(2-7, 9-12), 20(1-12), 21(1-12), 22(1, 3-12), 23(5-12), 24(1-12), 25(1-12), 26(1-12), 27(1-11), 28(2-4, 6-12), 29(1-12), 30(1-10) 選択出版 1984年4月-9月、1985年1月、2月、4月-12月、1986年1月-7月、9月、10月、12月、1987年1月

-4月、6月-10月、12月、1988年1月-11月、1989年2月-11月、1990年1月-9月、1991年1月-7月、9月、11月、12月、1992年2月-5月、7月-8月、10月-12月、1993年2月-7月、9月-12月、1994年1-12月、1995年1-12月、1996年1月、3月-12月、1997年5月-12月、1998年1月-12月、1999年1月-12月、2000年1月-12月、2001年1月-11月、2002年2月-4月、6月-12月、2003年1月-12月、2004年1月-10月 ※切り抜き

『選択』10(3, 4, 8, 10-12), 12(1, 2, 9, 11), 13(5, 7, 11), 14(6, 12), 15(1, 3, 12) 選択出版 1984年3月、4月、8月、10月、11月、12月、1986年1月、2月、9月、11月、1987年5月、7月、11月、1988年6月、12月、1989年1月、3月、12月 ※切り抜き 額装

『選択』16(9, 11, 12), 17(8, 10), 18(1, 6, 9), 19(1, 8, 12), 21(11), 22(2), 23(7), 26(7), 27(2), 30(9, 10) 選択出版 1990年9月、11月、12月、1991年8月、10月、1992年1月、6月、9月、1993年1月、8月、12月、1995年11月、1996年2月、1997年7月、2000年7月、2001年2月、2004年9月、10月 ※切り抜き 額装

『全蚕文化』(3, 4-11) 全蚕労連教宣部・発行 1957年2月-1959年4月 ※切り抜き 額装

『せんいの仲間』(17) 岩瀬ふみ子 1962年夏季号

『総合演劇雑誌 テアトロ』(262, 269, 330, 340, 341, 342, 349) テアトロ社 1965年8月、1966年2月、1970年10月、1971年8月-10月、1972年4月 ※切り抜き

『トラベルニュース7月別冊附録 ふれあい』社団法人全国農協観光協会 1987年7月 ※切り抜き

『農村文化』30(1) 農山漁村文化協会 1951年1月 ※複写

『農村文化』31(8) 農山漁村文化協会 1952年8月 ※切り抜き

『農村文化』29(7), 30(2, 3, 4), 31(3,4), 32(4) 農山漁村文化協会 1950年8月、1951年2月、3月、4月、1952年3月、4月、1953年4月号 ※切り抜き 額装

『筆心 ジュニア版』1(9), 3(1, 2, 8), 4(1) 学苑社 1975年8月、1977年1月、2月、8月、1978年1月、5(1, 2, 4, 8), 6(8, 11), 7(3, 4, 6, 8, 10, 11), 8(1-12), 9(1, 2, 4, 7, 9, 10), 10(1-11), 11(1-7), 12(1, 2, 6), 13(1), 14(1, 7, 12), 15(3), 16(1), 17(12) 東京書道教育会 東京ペン字教育会 1979年1月、2月、4月、8月、1980年8月、11月、1981年3月、4月、6月、8月、10月、11月、1982年1月-12月、1983年1月、2月、4月、7月、9月、10月、1984年1月-11月、1985年1月-7月、1986年1月、2月、6月、1987年1月、1988年1月、7月、12月、1989年3月、1990年1月、1991年12月 ※切り抜き (9(1)を除く)

『肥料農薬レポート』(61, 63, 65, 66, 68-72, 74, 76, 78, 80, 81, 84-86, 88-91, 93, 94, 98, 100-122, 124-126) 全農肥料農薬部 [1975年? -1990年代] ※切り抜き

『文藝春秋 デラックス』3(11) 文藝春秋 1976年11月 森繁久弥「知床旅情」

『指』(124, 125, 128, 132, 214) 日本基督教團上原教會 1961年3月、4月、7月、11月、1969年5月 カット: 佐藤忠良

(7-5) 作画 逐次刊行物 切り抜き

『アカハタ』徳永直「静かなる山々」第2部 (9-14, 16, 17, 19-67, 69-144, 146, 148-177, 179-236) [1954年3月-12月]

『婦人民主新聞』水上勉「野火いくたび」(35, 36, 42, 43, 48, 50, 52-54, 59, 64, 69-71, 76-78, 83, 85, 86, 89-94, 97, 99-112, 114) 1963年11月17日-1965年7月4日

『サンケイ新聞』船山馨「見知らぬ橋」(1-419) [1970年5月

-1971年7月]

『北海道新聞』船山馨「茜いろの坂」(1-226) [1979年10月17日-1980年6月3日]

『北海タイムス』更科源蔵「移住者の原野」(1-39) 1985年1月1日-10月8日

『小説新潮』2(12) 新潮社 1948年12月 船山馨「居酒屋銅像譚」

[掲載紙不明] 1951年10月10日 挿絵1カット (男女)

『読売新聞』1952年8月3日夕刊 吉田一穂「鉄と混砂土と油」

[掲載紙不明] 1955年2月24日 挿絵1カット (家)

『婦人画報』(669-671) 婦人画報社 1960年4月 藤原審爾「結婚までを」(1-3)

『朝日新聞』1962年10月22日、23日「新・人国記」(17, 18)

『読売新聞』1971年12月《枯れヒマワリ》

『家の光』(巻号不詳) 家の光協会 1983年臨時増刊号 岩持静麻「自主努力で農業・農協運動の試練を克服」

『オール讀物』[40(11), 42(2)] 文藝春秋 [1985年11月] 挿絵4カット、1987年2月 挿絵1カット (赤ちゃん帽)

『日本経済新聞』1988年1月5日《老木》

『文京の教育』(205・206) 文京教育懇談会 1988年2月10日《冬に抗して立つ》

『絵画』(46) NHK 学園 1993年5月「鑑賞室」《アネモネ》

『日本経済新聞』1996年1月8日《もくれん》

[日本経済新聞] 2003年1月1日《樹》

[掲載誌不明] 壺井栄「花ぐもり」(10, 14, 17, 不詳, 不詳)

[掲載誌不明] [NHK?] 松岡励子「星へとんだ赤ハナのジジ」

[掲載誌不明] [味の素?] 挿絵1カット (春)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (はな)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (人物)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (人物)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (植物)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (植物)

『週刊朝日』(巻号不詳) 朝日新聞出版 挿絵1カット (人物)

『オール讀物』(巻号不詳) 文藝春秋 挿絵1カット (未菜)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (電柱)

[掲載誌不明] 挿絵24カット

[掲載紙不明] 挿絵1カット (プラム)

[掲載紙不明] 挿絵1カット (山羊)

[掲載紙不明] 挿絵1カット (地蔵)

[掲載書不明] 挿絵1カット (冬) 共産党関係

[掲載誌不明] 挿絵1カット (木)

[掲載誌不明] 挿絵1カット (植物) 結城昌治

[掲載誌不明] 目次カット

(7-6-01) 作画 スクラップブック 1950s

[掲載誌不明] 刊行年不詳 作画: 挿絵7カット
[朝倉撰、猪熊弦一郎ほかによる挿絵、その他の記事・写真]

(7-6-02) 作画 スクラップブック 1960s

『文化評論』(21, 24, 26, 30, 31, 33, 34, 36, 37) 新日本出版社 1963年8月、11月、12月、1964年3月-5月、7月、8月 作画: 目次絵

『あすの農業』(22, 25) 1962年10月、1963年1月 作画: 表紙絵、(25)に佐藤忠良「表紙の言葉」

『施肥改善はいかにすすめたか「施肥設計全戸樹立実行運動優良例」第1集』全国農業協同組合中央会、全購連 [刊

行年不詳] 作画: 表紙絵 ※切り抜き
『文藝』2 (11) 河出書房新社 1963年11月 作画: 表紙絵
『せいの仲間』(16) [岩瀬ふみ子] 1961年秋季号 作画: 表紙絵
『保育の友』14 (4, 7) 全国社会福祉協議会 1966年4月、7月
作画: 表紙絵
『現実と文学』(33, 34) リアリズム研究会(編)、現実と文学社 1964年5月、6月 作画: 表紙絵
『筆心』2 (4) 学苑社 1965年4月 作画: 表紙絵、佐藤忠良「必要な無駄」
[掲載誌不明] 作画: 挿絵

(8-1-01) 著述収録 図書

札幌テレビ放送開発室(編)『日曜の朝30分 草柳大蔵と考える 人生と仕事と風土と』楡書房 1977年1月 対談: 佐藤忠良、草柳大蔵「彫刻は不抵抗の芸術」
大木達治『生きて帰ったダメな兵隊』六法出版社 1977年8月 佐藤忠良「上等兵どの」
『市民活動の記録 幣舞橋と「道東の四季」像 ある「橋と市民と彫刻」の物語』釧路幣舞橋彫造設置市民の会 1978年11月 座談会: 佐藤忠良、本間正義、大谷幸夫、倉田公裕、田村明「都市・橋・広場・彫刻」
仙台市建設局緑地部公園課(企画)『明治百年記念 自然休養林憩の森 台原森林公園 No.1』仙台市公園協会 1978年12月 佐藤忠良「緑の風」
『道東の四季 幣舞橋彫像作品集』釧路市幣舞橋彫刻設置市民の会 [1978年] 佐藤忠良「夏」の像を終えて」
『街角から: From the town 2』立川画廊 1979年 佐藤忠良「彫刻駆け歩き」
『渡辺學の軌跡』東京セントラル絵画館 1979年 佐藤忠良「學さんと私」
『札幌風土記(さっぽろ文庫10)』札幌市 1979年9月 佐藤忠良「私のサッポロ」
『裸婦 洋画日本画』太陽社 1979年12月 佐藤忠良「裸・絵画・彫刻」
『優佳良織工芸館 開館記念』優佳良織工芸館 [1980年] 佐藤忠良「記念碑的な偉容に息をのむ」
『優佳良織作品集 木内綾』東京美術 1980年5月 座談会: 佐藤忠良、三浦綾子、五十嵐弘三、木内綾、木内和博、松井恒幸「優佳良織を語る」
『25年』日本制作社 1980年5月 佐藤忠良「なかなか本職にもどしてもらえない」
『鶴瀬幸子絵の本・はるの村』西日本図書館コンサルタント協会 1980年10月 佐藤忠良「鶴瀬幸子さんのこと」
『本郷新彫刻集』求龍堂 1981年1月 佐藤忠良「序文」
『材料と表現 デッサン 見ることと描くこと』美術出版社 1982年 佐藤忠良「体操のつもりで描く」再録
『札幌の彫刻(さっぽろ文庫21)』北海道新聞社 1982年6月 佐藤忠良「彫刻・私・サッポロ」
川西政明『孤客 船山馨の人と文学』北海道新聞社 1982年8月 佐藤忠良「序文」
『街づくりとイベント: 横浜の試み』地域科学研究会 1982年12月 佐藤忠良(講演録)「記念講演『私と彫刻』」
『贈ることば 心にひびく201の名言』PHP 研究所 1983年3月 佐藤忠良「こころにひびくことば」再録
米倉守『個の創意 現代美術の現場から』形象社 1983年 佐藤忠良「無意味・無内容の「美しさ」」再録
『琵琶湖大橋彫刻プラザ』現代彫刻センター 1983年 佐藤忠

良 [《若い女・シャツ》]
『風雪 夕張市立夕張第一小学校閉校記念』[1983年] 佐藤忠良「当時を想う」
『別冊新建築 日本の現代建築家シリーズ6』新建築社 1983年4月 対談: 佐藤忠良、芦原義信「社会と芸術家の連帯を通して」
『響と彩り一若松紀志子随筆集』アート・アーツ 1983年6月 佐藤忠良「若松夫妻さま」
『木の香 斎藤悦子作品集』日本エイジング 1983年12月 佐藤忠良「斎藤さんと仕事」
『脇田和作品集』美術出版社 1983年12月 佐藤忠良「脇田和さんの仕事と人柄」
『太斎春夫作品集』太斎悦子 [1984年] 佐藤忠良「太斎さん」
山本安英の会(編)『自分のことばをつくる ことばの勉強3』未来社 1984年6月 佐藤忠良(講演録)「彫り刻むとは何か」
大木達治『美を覗く』私家版 1984年7月 佐藤忠良「有り難く怖い友」
『仙台市彫刻のあるまちづくり 杜と彫刻 公園シリーズ No.5』仙台市公園協会 1984年12月 佐藤忠良「緑の風」
『彫刻・阿部誠一』[1985年] 佐藤忠良「阿部君・作品集賛成」
いわき市立美術館(編)『若松光一郎 半世紀の歩み』若松光一郎画集出版委員会 1985年 佐藤忠良「若松光一郎」
『大月の版画1971-1985』大月版画 1985年 佐藤忠良「版画が怖い」
『こんな筈では・・・』サンシャイン劇場編集部、「民藝の仲間」編集部 1985年4月 佐藤忠良「随筆 手」
『彫刻に触れるとき』用美社 1985年5月 対談: 佐藤忠良、草山こずえ「彫刻家と語る」
『人形 与勇輝作品集』求龍堂 1985年10月 佐藤忠良「見て心で作る人」
『札幌芸術の森野外美術館図録』札幌芸術の森 1986年 佐藤忠良 [《女・夏》《少年の像》《足なげの女》《冬の像》《顔》]
『黙ってはいられない』新日本出版社 1986年1月 佐藤忠良「人間らしい感性みがいてほしい」再録
『私の中の原風景』北海道新聞社 1986年4月 佐藤忠良「北海道少年記」再録
『私のなかの歴史5』北海道新聞社 1986年 佐藤忠良「具象五十年」再録
『若い日の私』毎日新聞社 1986年10月 佐藤忠良「モジリア ニー辺倒の生活」再録
『静岡県立美術館 彫刻プロムナード案内』静岡県立美術館 1986年3月 佐藤忠良 [《みどり》]
『朝倉彫塑館の記録』朝倉彫塑館 1986年9月 佐藤忠良「私の中の朝倉文夫像」
『優佳良織・木内綾作品集』優佳良織工芸館 1987年 佐藤忠良「優佳良織と私」
『おおいずみ 町発足30周年記念』大泉町役場 1987年3月 佐藤忠良「大泉賛歌」
『札幌随筆集(さっぽろ文庫42)』札幌市 1987年9月 佐藤忠良「具象五十年(抄)」再録
『竹谷富士雄画集』竹谷富士雄画集刊行会・日動出版 1987年12月 佐藤忠良「竹谷さん」
『舟越保武デッサン '87』ギャラリーせいほう 1988年2月 佐藤忠良「武さんの語りかけ」
『松坂哲明追悼集』松坂草司 1988年3月 佐藤忠良「松坂さん」
『現代彫刻集V 舟越保武』札幌芸術の森叢書 1988年3月 佐藤忠良「不思議な男」

『澤地久枝対話集 語りつぐべきこと』岩波書店 1988年5月
対談：佐藤忠良、澤地久枝「子供たちへの願い」再録
『井手則雄追悼文集』矢野和江 1988年8月 佐藤忠良「井手」
園部実『窮鳥園切抜帳』1989年3月 佐藤忠良「序 許しては
くれない」
『シベリア抑留画集 きらめく北斗星の下に』シベリア抑留画
集出版委員会 1989年 佐藤忠良「私の履歴書」一部再録
『桑原宏画集』光陽出版社 1989年11月 佐藤忠良「怖れと、
静寂と、いのちの源の輝く大気を」
『甲突川河畔 緑と彫刻の道'91』鹿児島市 都市計画課 1991
年 佐藤忠良「帽子の像」
『余白を語る』朝日新聞社 1991年5月 佐藤忠良「生物とし
て駄目になることだけは嫌」再録
『脇田和作品集』脇田美術館 1991年6月 佐藤忠良「私の中
の脇田和」
朝日新聞東京社会部（編）『私と先生—58人の感謝状』汐文
社 1991年7月 佐藤忠良「無題」再録
『仙台彫刻のあるまちづくり（第1期）「社と彫刻」』仙台市
1991年10月 佐藤忠良「《緑の風》」
『であいの旅』文藝春秋 1991年10月 佐藤忠良「解説—基世
さん」
『はるひのごとくあたたかかく 北鎌倉女子学園50年の歩
み』北鎌倉女子学園 1991年10月 佐藤忠良「老木と若
芽」、表紙
『岩野勇三作品集』講談社 1992年5月 佐藤忠良「岩野勇三」
『続・有訓無訓』日本経済新聞社 1992年6月 佐藤忠良「いか
に「深く」なられるかとの戦い」再録
週刊朝日（編）『わが師の恩』朝日新聞社 1992年7月 佐藤忠
良「見ず知らずの者どうしのなんととも奇妙な共同生活」
再録
『夏爐冬扇 中川一政論・集成』沖積舎 1993年 佐藤忠良「中
川一政を悼む」再録
海田悠『経営者の肖像』講談社 1993年1月 佐藤忠良「『顔』
のこと」
『庁舎美術品・造形物案内』杉並区庁舎対策室 1993年3月
佐藤忠良「《ジーンズ》」
『字部の彫刻』字部市 1993年4月 佐藤忠良「作者のことば」
『甲突川河畔 緑と彫刻の道』鹿児島市 都市計画課 1993年8
月 佐藤忠良「帽子の像」再録
結城美栄子『DREAM 夢の中』駸々堂 1993年9月 佐藤忠良
「透明な彼女の陶人形」
『日本制作社創業40周年祝儀文宴』日本制作社 1993年12
月 佐藤忠良「マリー二の小さな絵」
『いま 大切なものは こども いのち みらい 家永教科書裁
判 最高裁で違憲判決を』教科書検訴訟を支援する全国
連絡会 1994年4月 佐藤忠良「無題」
『思い出の札幌（さっぽろ文庫69）』札幌市 1994年6月 佐藤
忠良「札幌二中のことなど」
本郷淳『おやじとせがれ 彫刻家 父 本郷新の思い出』求龍
堂 1994年9月 佐藤忠良「『白と黒の会』と私」再録
『オレク・コモフの思い出』鈴木正久 1995年1月 佐藤忠
良「私の中のコモフさん」
『尾崎ふさ画集』青森美術会 1995年4月 佐藤忠良「尾崎ふ
さという人と仕事」
『ことばの贈り物 達人たちの座右の銘203』PHP 研究所
1996年11月 佐藤忠良「“一日、土を手にしなければ、
一日の退歩”」
『朝倉文夫』愛の園朝倉文夫記念公園・記念館 [1997年] 佐
藤忠良（講演録）「私と彫刻」

『平成8年度 文化のまちづくり事業 記念対談集録』岩見沢
市教育委員会 [1997年] 対談：佐藤忠良、山根基世「対
談記録 まちづくりと彫刻」
西高19期・西定20期 会誌部会（編）『平成9年度 輔仁会誌』
[輔仁会] 1997年10月 佐藤忠良「佐藤忠良母校展」
舟越道子『青い湖』角川書店 1997年11月 佐藤忠良「道子さ
ん」
[書誌名不明] [FMR トレーディング] [1999年] 佐藤忠良
「《若い女》について」 [Monnaie de paris パリ造幣局]
『北海道功労賞受賞に輝く人々（平成十年）』北海道 1999
年3月 佐藤忠良「北の詩を奏でる」
『お話の会「大きな樹」20周年記念誌』1999年12月 佐藤忠
良「おおきなかぶ」「大きな樹」
『ユカンボシ川河畔公園彫刻広場』恵庭市役所建設部 花と
緑の課 2000年 佐藤忠良「《えぞ鹿》」
海田悠『表現者の肖像』マルチグラフィックス 2000年1月
佐藤忠良「無題」
『新版・土門拳の伝えなかった日本』毎日新聞社 2000年9
月 佐藤忠良「土門さんに読まれなかった原稿」再録
『すぎなみスケッチ 杉並の街に心ひかれて 吉田信夫画集』
本の泉社 2000年7月 佐藤忠良「素描」
『土門拳の伝えなかった日本』毎日新聞 2000年9月 佐藤忠
良「土門さんに読まれなかった原稿」
『たしかな存在 鴨下葉子画集』沖積舎 2000年10月 佐藤忠
良「深い語りかけ—鴨下葉子—」
『美をみつめて50年・東北のブルドーザー 山崎保寿』すま
いギャラリー 2000年12月 佐藤忠良「ヘンリー・ムア」
(1978年)、「すまい創立三周年企画小磯良平展に寄
せて」(1978年)など再録
『サン・ファン・パウティスタ出帆記念トーク「記録集」心
を彫る』2001年3月 佐藤忠良（講演録）、跡部進一（聞
き手）
『角田文衛博士の学風と軌跡』角田文衛先生米寿記念会
2001年6月 佐藤忠良「角田さんとの再会」
『語るには若すぎますがⅡ』河出書房新社 2003年 佐藤忠良
「私は職人。二兎は追わない 芸術育む隣人へのいたわ
り」再録
『大井龍司教授退官記念誌』東北大学大学院医学系研究科
小児医学講座小児外科学分野 2003年3月 佐藤忠良「大
井龍司先生」
『彩時記まほろば 大和町町制施行50周年記念誌』宮城県大
和町 2005年3月 佐藤忠良「大和っ子特派員報告 めざ
せ佐藤忠良先生」（訪問録）
和田静子『いとしき草花』風人社 2006年11月 佐藤忠良「序
にかえて」
季刊銀花編集部（編）『“手”をめぐる四百字 文字は人なり、
手は人生なり』文化出版局 2007年1月 佐藤忠良「お
しゃべりな手」再録
『彫刻の森 風のギャラリー』社会福祉法人 北海道療育園
2007年3月 佐藤忠良「《人魚》」
『佐藤善男画集 小樽』美術年鑑社 2007年6月 佐藤忠良「画
集刊行に寄せて」
佐々木征夫（絵）、宮川歌子（文）『おじいちゃんの出会った
ふしぎな話』さんこう社 2008年8月 帯に佐藤忠良「世
の中には…」
『別冊太陽 与勇輝 人形芸術の世界』平凡社 2011年2月 佐
藤忠良「崖つぶちすれすれの仕事」再録

(8-1-02) 著述収録 図書 切り抜き

『講座現代芸術Ⅱ 芸術家』勁草書房 1958年3月 佐藤忠良「芸術家の創造の苦しみ 彫刻家として」
『図説国民の歴史 近代日本の百年(15)』国文社 1964年9月 佐藤忠良「あの頃の思い出『群馬の人』によせて」
『まちづくり：あさひかわ革新市政の十年 1』まちづくりあさひかわ革新市政の10年出版企画委員室 1973年4月 佐藤忠良「旭川・私・旭川」
『原色現代日本の美術 13 彫刻 月報』小学館 1978年12月 鼎談：佐藤忠良、飯沢匡、三木多聞「彫刻と演劇と人生と」
『土門拳 日本の彫刻 1 (飛鳥・奈良)』美術出版社 1979年12月 佐藤忠良「私の彫刻観と仏像」
『高島屋美術部80年史』高島屋 1992年12月 佐藤忠良「思い出」
[掲載書不明] 不明 [刊行年不明] 佐藤忠良 [ジーンズ・夏(碧南市文化会館前)について]

(8-1-03) 著述収録 チラシ、パンフレットなど(展覧会を除く)

『幣舞橋ブロンズ像設置概要』パンフレット 幣舞橋彫刻設置市民の会 [1978年] 佐藤忠良「夏(永い冬とのたたかいかから…)」
『日生劇場開場20周年記念「立つ少女」』ポストカード 1983年 佐藤忠良「立つ少女」
『都市・風景・記憶 都市環境と彫刻』チラシ 1984年 佐藤忠良「推薦のことば 必要無駄」
『「ジーンズ・夏」序幕記念』ポストカード 1984年11月 佐藤忠良「ジーンズ・夏」
『尚志』[序幕記念]パンフレット 1986年 佐藤忠良「作者が自作を語ると…」※複写
『「ササニシキ」除幕式』パンフレット 1987年11月 佐藤忠良「古から大地の豊穡を…」
『柳田国男像除幕式』パンフレット 1989年 佐藤忠良「アトリエの初期の頃の作品を見ては…」
『大西康彦』チラシ 1990年 佐藤忠良「大西康彦の仕事」

(8-2-01) 著述収録 展覧会 図録

『現代美術10年の傑作展』1957年7月17日～25日 渋谷東横百貨店 佐藤忠良「制作意図【《はだか》】」
『現代彫刻代表作家六人展』1971年7月4日-18日 北海道立近代美術館 佐藤忠良「彫刻とは…」
『第3回 六彫展』1972年11月11日25日-12月6日 現代彫刻センター (東京) 佐藤忠良「彫刻とは…」再録
『[第3回]六彫展』1973年1月8日-20日 現代彫刻センター (大阪) 佐藤忠良「彫刻とは…」再録
『読売・現代彫刻10人展』1974年4月12日-17日 西武百貨店池袋店 1974年4月 佐藤忠良「歯ざしり」
『ヘンリー・ムアによるヘンリー・ムア』1974年5月18日-6月16日 神奈川県立近代美術館、ほか 佐藤忠良「ムア訪問」
『仙台市彫刻のあるまちづくり記念：佐藤忠良・舟越保武二人展』1978年4月21日-26日 藤崎(仙台) 佐藤忠良「『緑の風』について」、桑原住雄「佐藤忠良と舟越保武の彫刻」
『円空 その芸術』1979年8月17日-30日 オリエンタル中村栄本店 佐藤忠良「円空さん」
『六彫展 - 現代彫刻代表作家10年のあゆみ』1979年10月18日-23日 日本橋高島屋8階催場 佐藤忠良「無題」、今泉

篤男「六彫会の彫刻家たち」、船山馨「忠さんのこと」
『開館記念展第1部：現代日本の美術』1981年11月3日-12月6日 宮城県美術館 佐藤忠良「作品について」
『北海道の大自然を綴る 優佳良織・木内綾展』[1982年 会場不明] 佐藤忠良「優佳良織と私」
『柳原義達展』1983年4月9日-5月15日 神奈川県立近代美術館 ほか 佐藤忠良「道標」
『山内壯夫遺作展図録』1983年6月14日-7月24日 市立旭川郷土博物館 佐藤忠良「山内先輩」
『つれだっていわきを描いた作家たち展 1954年頃』1984年1月8日-29日 すまいギャラリー 佐藤忠良「出会い」
『こどもをみつめて 佐藤忠良・いわさきちひろ展』1984年9月8日-11月28日 いわさきちひろ絵本美術館 対談：佐藤忠良、飯沢匡「彫刻・こども・人生」
『現代のユーモア』1984年10月6日-12月16日 埼玉県立近代美術館 佐藤忠良「オチンチン」
『フランコ・メッシーナ』[1985年(会期不明)] ギャラリー・ユニバース 佐藤忠良「永らく待った初の個展」
『近代彫刻・愛の造形展カタログ』1985年10月30日-11月11日 大丸ミュージアム 佐藤忠良「彫刻家のことば」
『第4回 朴哲俊彫刻日本展』1985年12月2日-7日 佐藤忠良「朴哲俊彫刻展について」
『仙台市彫刻のあるまちづくり「杜と彫刻」第11作『牧歌』設置記念 岩野勇三展』1987年11月6日-11日 藤崎 佐藤忠良「岩野勇三」
『仙台市彫刻のあるまちづくり「杜と彫刻1-12」完了記念 杜の都の彫刻・12人展』[1989年9月(会期不明)] 仙台市勾当台公園 特設ギャラリー 佐藤忠良「無題」
『第7回朴哲俊彫刻作品展』1989年10月4日-9日 昊垞美術館(잠실) [ロッテ美術館(チャムシル)] 佐藤忠良「見えない終着点」
『今泉篤男と椿会の作家たち』1991年10月7日-20日 資生堂ギャラリー 佐藤忠良「私と椿会」
『本田明二展 北の風土を刻む』芸術の森美術館 1991年10月5日-11月4日 芸術の森美術館 佐藤忠良「本田明二君」
『都市の指標 現代彫刻と環境展図録』1992年3月12日-17日 日本橋高島屋8階 佐藤忠良「インタビュー」
『木内克のすべて』1992年4月25日-5月31日 ほか 佐藤忠良「克先生」
『ヨーロッパ絵画名作展』1992年5月18日-6月19日 ウィルデンスタイン東京 佐藤忠良「メッセージ」
『奥村土牛、岡鹿之助と椿会の作家たち』1992年7月9日-8月2日 三原リージョンプラザ展示ホール 佐藤忠良「私と椿会」
『信仰と詩心の彫刻六十年 舟越保武の世界』1993年6月26日-7月25日 茨城県近代美術館 ほか 佐藤忠良「武さん」
『猪熊弦一郎展』1993年10月28日-11月9日 ギャラリーミキモト 佐藤忠良「猪熊さんの作家根性」
『信仰と詩心の彫刻六十年 舟越保武の世界』1994年8月20日-9月8日 岩手県民会館 佐藤忠良「武さん」再録
『藤島武二と新制作派のバイオニアたち』1994年7月23日-8月21日 アトリオン美術展示ホール(秋田) 佐藤忠良「伊勢さん」
『田村能里子展 沙風のかたち アジアの大地に生きる』1994年9月21日-10月2日 有楽町アート・フォーラム ほか 対談：佐藤忠良、田村能里子「素描はこころの体操」
『郷愁の人形 与勇輝展図録』1995年10月5日-22日 松阪屋美術館(名古屋) ほか 佐藤忠良「与勇輝の作品」
『戦後50周年記念絵画展 シベリア抑留展』1995年11月21

日-26日 京都市美術館 ほか 佐藤忠良「弟のこと」再録
『若松光一郎の世界』1996年3月1日-5月31日 池田20世紀美術館 佐藤忠良「“もぎり屋さん”と私」
『ベンジャミン・リー写真展 彫刻家佐藤忠良の世界』1996年11月30日-1997年1月15日 フジタヴァンテミュージアム 佐藤忠良「戸惑いの顔」
『二十六聖人の祈り 舟越保武の世界』1997年5月3日-18日 長崎県立美術館 佐藤忠良「武さん」再録
『シャルル・デスピオ』1997年6月7日-7月13日 宮城県美術館 ほか 佐藤忠良「私の中のデスピオ」
『開館記念特別展 平山郁夫・佐藤忠良の世界』1998年3月22日-5月31日 佐川美術館 佐藤忠良「コツコツ歩き」再録
『響き合う彫刻 佐藤忠良・舟越保武二人展』1999年7月2日-25日 北九州市立美術館 ほか 佐藤忠良「舟越保武を語る」再録
『遠くの声 芥川永彫刻展図録』2000年7月18日-7月23日 広島県立美術館県民ギャラリー 佐藤忠良「永さん」
『佐藤忠良・舟越保武二人展』2001年2月9日-3月11日 呉市立美術館 ほか 佐藤忠良「舟越保武を語る」再録
『脇田和作品展』2001年4月11日-7月1日 資生堂アートハウス 佐藤忠良「脇田さん」
『田村進 彫刻展』2001年4月9日-15日 ギャラリームサシ 佐藤忠良「田村進 彫刻」
『小磯良平回顧展』2002年10月5日-12月1日 神戸市立小磯記念美術館 佐藤忠良「私の中の小磯さん」
『没後50年 内田巖 揺れるリアリズム』2003年7月15日-21日 羽黒洞画廊 佐藤忠良「朴訥と心のうちに迫る」
『炭鉦(ヤマ)へのまなざし 常磐炭鉦と美術展』2004年7月17日-8月29日 いわき市立美術館 佐藤忠良「或るスケッチ旅行の記録 福島県古河好問・小田炭鉦にて」[「新しい生きもの」]再録
『生誕100年 本郷新展』2005年5月21日-6月19日 札幌芸術の森美術館・札幌彫刻美術館 インタビュー：酒井忠康(聞き手)、森川秀美(構成)「本郷新を語る」
『報知新聞創刊135周年記念 大好きな野球 王貞治展』[2007年3月15日-25日 日本橋三越] 佐藤忠良「王さんとの出会い」
『小磯良平と佐藤忠良展 モデルへのまなざし』2008年4月24日-6月22日 佐川美術館 佐藤忠良「私の中の小磯さん」抜粋再録

(8-2-02) 著述収録 展覧会 チラシ、パンフレットなど

『岩野勇三 新作 彫刻展』パンフレット 1973年4月20日-28日 大阪・現代彫刻センター 佐藤忠良「岩野君のこと」
『生命の賛歌ヘンリー・ムーア 素描と彫刻展』パンフレット 1978年1月21日-2月12日 いわき市民センター 佐藤忠良「メッセージ」
『三十周年記念平和美術展』チラシ 1982年8月3日-15日 東京都美術館 佐藤忠良「あれから三〇年」
『GROUP 源彫刻展』パンフレット 1985年1月11日-16日 熊日画廊 佐藤忠良[無題]
『手で見えるロダンの〈カレーの市民〉展』パンフレット 1987年4月11日-6月7日 ギャラリー TOM 佐藤忠良「「カレーの市民」とロダン」
『三谷慎彫刻展』パンフレット 1988年6月23日-29日 前橋市民文化会館 佐藤忠良「個展によせて」
『ブロンズの譜 三谷慎作品展』パンフレット 1989年4月19

日-5月21日 MOA 名古屋ギャラリー 佐藤忠良「ゴールの見えないマラソン」
『吉田穂積彫刻展』パンフレット 1989年9月26日-10月1日 ギャラリー萌 佐藤忠良[無題]
『岩野勇三展』パンフレット 1993年3月16日-5月9日 宮城県美術館 佐藤忠良記念館 佐藤忠良「岩野勇三」
『すまい第168回 創立20周年記念特別企画(1) 洋画脇田和展』パンフレット 1994年5月20日-6月15日 すまいギャラリー 佐藤忠良「脇田さん」
『朝倉文夫展』パンフレット 1995年3月18日-5月7日 宮城県美術館 佐藤忠良「思い出の朝倉先生」
『藤森民雄彫刻展』パンフレット 1996年7月15日-27日 ギャラリー青羅 佐藤忠良「藤森君の個展に」
『すまい25年の感謝展』パンフレット 2000年1月15日-2月20日 すまいギャラリー 佐藤忠良「山崎さん」
『第5回京都国際マンガ展2002』チラシ、招待券 2002年9月10日-22日 京都市美術館別館 佐藤忠良[文学・音楽・演劇のように…]
『津野充聡・中橋克成彫刻展』パンフレット [(開催年不明) 11月12日-19日] ギャラリーオブジェ 佐藤忠良「両君の彫刻展によせて」

(8-3) 著述収録 逐次刊行物

『BBBB』(創刊号) 冬芽書房 1949年11月 佐藤忠良「デッサンについて」
『BBBB』(4) 冬芽書房 1950年3月 佐藤忠良「シベリヤ画伯」
『美術手帖』(143) 美術出版社 1958年6月臨時増刊 佐藤忠良「少年」「人体と彫刻(特集:生きている彫刻)」
『美術手帖』(159) 美術出版社 1959年6月臨時増刊 佐藤忠良「彫刻 ロダン 巨大な足音 ブールデル もうひとりのマンモス」
『別冊アトリエ』(51) アトリエ出版 1959年10月 佐藤忠良「ヌードの研究」
『別冊みづゑ』(24) 美術出版社 1959年季刊・夏号 佐藤忠良「肖像彫刻 ロダン」
『週刊朝日』66(29) 朝日新聞出版 1961年6月 佐藤忠良「女の顔」(インタビュー)
『別冊みづゑ』(29) 美術出版社 1961年夏号 佐藤忠良「彫刻とアフリカ」
『美術手帖』(213) 美術出版社 1962年12月 座談会:佐藤忠良、池田龍雄、馬場彬、針生一郎「近代日本作家の遺産と現在の私たち」
『ほっかいどう農協婦人』(38) 北海道農協婦人部連絡協議会 1963年1月 佐藤忠良「“開拓母の像”に思う」
『別冊みづゑ』(37) 美術出版社 1963年9月 佐藤忠良「マイヨールとロダンの間」
『三彩』(167) 三彩社 1963年10月 佐藤忠良「様式の十字路・アフガニスタン」
『三彩』(173) 三彩社 1964年5月 座談会:佐藤忠良、加藤顕清、舟越保武、桑原住雄、中村伝三郎「ミロのヴィーナスを語る」
『美術家平和会議ニュース』(9) 美術家平和会議 [1965年] 佐藤忠良「青森の平和展」
『建築画報』(6) 建築画報社 1966年10月 佐藤忠良「レリーフについて [札幌グランドホテル新館]」
『花椿』17(11) 資生堂 1966年11月 佐藤忠良「娘オリエを語る」
『なにわ書房通信』(3) なにわ書房 1967年8月 佐藤忠良「さ

し絵を描いて【船山馨『石狩平野』】
 『ヒューマン・タイムズ』ヒューマン・タイムズ社 1967年
 11月 佐藤忠良「硬い美術教育の話」
 『室内』(187) 工作社 1970年7月 佐藤忠良「どっちでもよ
 くない話」
 『アサヒカメラ』(451) 朝日新聞出版 1970年10月 佐藤忠良
 「朝倉撰の助言で女優に」
 『室内』(210) 工作社 1972年6月1日 佐藤忠良「お答えしま
 す」
 『三彩』(291) 三彩社 1972年8月 佐藤忠良「現代イタリア彫
 刻の全貌展をみて」
 『わが北海道』2(9) 東京文化センター北海道 PR センター
 1972年9月 鼎談：佐藤忠良、阿部武夫、竹田敏道「ハー
 モニカ長屋もまた楽し」
 『季刊現代彫刻』(2) 聖豊社 1973年1月 編集部(編) 佐藤忠
 良「芸術と市民生活 旭川彫刻公園によせて」
 『三彩』(312) 三彩社 1974年1月 座談会：佐藤忠良、中村伝
 三郎、村上政之「見ることは触れること〈特集：ジャコ
 モ・マンズーと佐藤忠良〉」
 『美術ジャーナル』(14・15合併号) 美術ジャーナル発行所
 1974年1月 対談：佐藤忠良、針生一郎「佐藤忠良の軌跡」
 『筆心』11(2) 学苑社 1974年2月 佐藤忠良「音痴」
 『室内』(239) 工作社 1974年11月 佐藤忠良「Kさんと私」
 『季刊ひろば』(65) 至光社 1975年4月 佐藤忠良「四年保育」
 『季刊現代彫刻』(9) 聖豊社 1975年7月 佐藤忠良「レリーフ
 雑考」
 『三彩』(336) 三彩社 1975年8月 佐藤忠良「ジャコモ・マン
 ズー作品集〈本の紹介〉」
 『求美』(25) 求美 1975年10月 佐藤忠良「ジャコペン」
 『Vision』5(11) ビジョン企画出版社 1975年11月 佐藤忠良
 「先輩後輩〈特集：本郷新〉」
 『普及版 こどものとも』(12) 折り込みふろく「絵本のたの
 しみ」福音館書店 1975年12月 佐藤忠良「彫刻家が絵
 を描く」
 『こどものとも』(237) 折り込みふろく「絵本のたのしみ」
 福音館書店 1975年12月 佐藤忠良「彫刻家が絵を描く」
 『一枚の繪』(51) 一枚の繪 1976年1月 佐藤忠良「思い出に
 残る個展」
 『センター』(258) 1976年7月 座談会：佐藤忠良、舟越保武、
 柳原義達、堀内正和、植木茂、増田洋「現代彫刻の5人
 兵庫県立近代美術館」
 『週刊読売』35(37) 読売新聞社 1976年9月4日 座談会：佐
 藤忠良、水原茂、山本七平、大松博文「シベリアの日本
 兵捕虜一歴史証言 座談会」
 『芸術新潮』(322) 新潮社 1976年10月 佐藤忠良「自画像〈び
 い・ぶ・る〉」
 『みづゑ』(859) 美術出版社 1976年10月 対談：佐藤忠良、
 三木多聞「ロダンを語る - 近代彫刻の革命」
 『月刊美術』(16) サン・アート 1977年2月 佐藤忠良「彫刻・
 デッサン」
 『季刊版画芸術』(18) 阿部出版 1977年夏号 佐藤忠良「ロー
 マのマリーニ氏を訪ねて」
 『芸術新潮』(334) 新潮社 1977年10月 佐藤忠良「光太郎の
 『黒田清輝像』〈卒業生が語る芸大コレクション〉」
 『東北 南部』(54) 国鉄[1978年] 佐藤忠良「わが風景 柿木は
 いまも丸森町」
 『まみず』(142) 1978年1月 佐藤忠良「全体と部分の話を彫
 刻によせて」
 『美術運動』(107) 日本美術会 1978年2月 佐藤忠良「戦中の

デッサン選」
 『うえの』(228) 上野のれん会 1978年4月 佐藤忠良「東北な
 まり」
 『週刊朝日百科 世界の美術』(13) 朝日新聞社 1978年6月25
 日 佐藤忠良「ゴーギャンの彫刻」
 『中央公論』(1099) 中央公論社 1978年10月特別号 佐藤忠
 良「シリーズ日本人」
 『愛知県文化会館 ニュース窓口』(242) 愛知県文化会館
 1978年11月 佐藤忠良「修行半分の記」
 『朝日ジャーナル』(1049) 朝日新聞社 1979年3月23日 佐藤
 忠良「男の児と幼女」再録(『大きな帽子』より)
 『月刊広告批評』(7) マドラ出版 1979年11月 佐藤忠良(談)
 「いまは、『文法』のない、薄氷の上を歩いているよう
 な時代ですね。」
 『芸術新潮』(360) 新潮社 1979年12月 佐藤忠良「『恋人たち』
 と帽子 - ジャコモ・マンズー」
 『現代の眼』(301) 東京国立近代美術館 1979年12月 佐藤忠
 良「生々流転〈私の好きな一枚の絵〉」
 『現代を生きぬくための人生読本』(『家の光』1月付録) 家
 の光協会 1980年1月 佐藤忠良「桃つくりをやめない
 てください」
 『季刊版画芸術』(30) 阿部出版 1980年7月 インタビュー
 室伏哲郎(聞き手)「シニカルな導師」
 『室内』(307) 工作社 1980年7月 佐藤忠良「顔」
 『現代彫刻』(41) 聖豊社 1980年8月 対談：佐藤忠良、匠秀
 夫「本郷新特集 - 倒れた大樹」
 『オール讀物』35(9) 文藝春秋 1980年9月特大号 佐藤忠良
 「家族の肖像」、目次挿絵
 『旅行アサヒ』1(5) アサヒ出版 1980年9月 佐藤忠良「旅の
 走り描き」
 『新具象』(1) 新具象彫刻展 1980年10月 インタビュー「佐
 藤忠良先生に聞く」
 『一枚の繪』(114) 一枚の繪 1981年4月 佐藤忠良「少年の日
 のこと」
 『園児のお母さん』5(2) ひかりのくに 1981年5月 佐藤忠良
 「はくの悪友」
 『美術手帖』(484) 美術出版社 1981年7月増刊号 佐藤忠良
 「体操のつもりで描く」
 『現代彫刻』(50) 聖豊社 1981年8月 インタビュー「佐藤忠
 良彫刻私史」
 『中央公論』(1139) 中央公論社 1981年8月 佐藤忠良「うち
 の三代目」
 『北の話』(105) 凍原社 1981年10月 佐藤忠良「さかさ甲辞」
 【船山馨】
 『法学セミナー増刊 教科書と教育』日本評論社 1981年11
 月 佐藤忠良「作品掲載拒否のこと」
 『婦人之友』75(11) 婦人之友社 1981年11月 佐藤忠良「幼き
 日の友へ」
 『市民が創る八千代市総合文化誌 市民文化やちよ』(3) 八
 千代市 1981年11月 佐藤忠良「周辺の自然景観をいつ
 までも守って」、本間正義「村上橋ブロンズ像に寄せて」
 『母の友』(346) 福音館書店 1982年3月 インタビュー「『子
 どもの美術』が試みたもの」
 『季刊みづゑ』(922) 美術出版社 1982年春号 対談：佐藤忠
 良、酒井忠康「佐藤忠良とその作品」
 『PHP』(412) PHP 研究所 1982年9月 佐藤忠良「ころこに
 ひびくことば “一日、土を手にしなければ、一日の退
 歩”」
 『文藝春秋』60(10) 文藝春秋 1982年9月臨時増刊号 対談：

- 佐藤忠良、山本七平「日本人にとって『シベリア捕虜体験』とは何か」
- 『大宮八幡』(5)大宮八幡宮社務所 1982年12月 佐藤忠良「永福町20年」
- 『現代彫刻』(68)聖豊社 1983年2月 対談:佐藤忠良、舟越保武「親友・ライバル50年(3)日本人とこなし文化」
- 『太陽』(248)平凡社 1983年3月号 佐藤忠良(談)「私の受けたエリート教育」
- 『クロワッサン』7(16)マガジンハウス 1983年8月 対談:佐藤忠良、佐藤オリエ「父・娘」
- 『新生』1(4)新生社 1983年8月 佐藤忠良「群馬の人」
- 『新生』2(1)新生社 1984年1月 対談:佐藤忠良、持田信夫「美術談義 彫ること撮ること」
- 『室内』(350)工作社 1984年2月 佐藤忠良「すべてこゝろんで」
- 『別冊 子どものしあわせ ジュニア』(1)草土文化 1984年3月 佐藤忠良「ある出会い」
- 『紙魚の手帖』(13)東京創元社 1984年5月 佐藤忠良「御先祖さまロダン」
- 『現代彫刻』(82)聖豊社 1984年7月 鼎談:佐藤忠良、三木多聞、酒井忠康「シンポジウム・日本彫刻の展開 近代から現代へ 第1回 塑造の展開 写真から具象への軌跡」
- 『社報やまざき』(183)1984年8月 インタビュー 早瀬圭一(聞き手)「過去、現在、未来の凝結したものが彫刻だ! 具象彫刻の第一人者の人間論」
- 『季刊みづゑ』(933)美術出版社 1984年冬号 佐藤忠良「朝倉先生」
- 『月刊ダン』北海道新聞社 1985年2月 対談:佐藤忠良、高島二郎「職人だから仕事を楽しむ」
- 『文化評論』(292)新日本出版社 1985年7月 対談:佐藤忠良、マルチェル・キルノアガ「アトリエの語らい」
- 『別冊一枚の繪』(17)一枚の繪 1986年1月 佐藤忠良「少年の像-わたしの沖繩」
- 『こ〜ぶ』(28)みやぎ生協 1986年2月 佐藤忠良「忘れ得ぬことば」
- 『昭和60年度東京藝術大学芸術資料館年報』1986年3月 佐藤忠良「自作について」[[このはずく]《あぐら》]
- 『みるつくるかたる』13(1)千葉県立美術館 1986年5月 佐藤忠良「私の中の浅井忠」
- 『アトリエ』(719)アトリエ社 1987年1月 佐藤忠良「眼と心の体操-ドローイング」
- 『世界』(500)岩波書店 1987年4月 対談:佐藤忠良、澤地久枝「子供たちへの願い」
- 『美育文化』37(4)美育文化協会 1987年4月 佐藤忠良「異説『これからの美術教育』」
- 『いわさきちひろ絵本美術館通信』(67)1987年8月 佐藤忠良「こどもをみる眼」
- 『いわさきちひろ絵本美術館通信』(68)1987年10月 佐藤忠良「見て心で作る人[与勇輝の世界]」
- 『銀座百点』(404)銀座百点会 1988年7月 鼎談:佐藤忠良、吉行淳之介、小田島雄志「彫刻家は目で触る」
- 『年少版・こどものとも』(139)折り込みふろく「絵本のたのしみ」福音館書店 1988年10月 インタビュー:水口健(聞き手)「何かを創り出す人間になってほしい」
- 『年少版・こどものとも』(140)折り込みふろく「絵本のたのしみ」福音館書店 1988年11月 インタビュー:水口健(聞き手)「失敗のキャリアの上に足を踏まえていたい」
- 『民藝の仲間』(407)劇団民藝 1988年12月1日 佐藤忠良(談)「『炎の人』の滝沢ゴッホ」
- 『潮』(362)潮出版社 1989年6月 佐藤忠良(談)「朋友[芦原義信]」
- 『SCULPTOR'S FORUM』(8)KOBATAKE 工房 1989年夏号(講演会録)「一代記ひとりごと」
- 『うえの』(367)上野のれん会 1989年11月 佐藤忠良「御先祖さまのお屋敷で」
- 『DO MIYAGI (宮城県職員広報誌)』(5)宮城県総務部行政管理室 1990年1月 インタビュー 行政管理室長(聞き手)「うまく作れないから、また挑む」
- 『アサヒグラフ別冊』(74)朝日新聞社 1990年3月 佐藤忠良「私の中のモディリアーニ」
- 『こんにちは西武です』(128)西武信用金庫経営企画部 PR チーム 1990年6月 鼎談:佐藤忠良、米倉守、松本健幹「心ゆくまでゆっくり語ろう」
- 『みやぎ県政だより』(243)宮城県総務部広報課 1990年6月2日 佐藤忠良(談)「走らず、止まらずただコツコツと」
- 『婦人画報』(1045)婦人画報社 1990年8月 佐藤忠良[無題]
- 『三彩』(518)三彩社 1990年11月 佐藤忠良「永福町」[奥村土牛追悼文集]
- 『三彩』(519)三彩社 1990年12月 対談:佐藤忠良、佐藤オリエ「二人の芸術家が語るそれぞれの人生」
- 『季刊 北の暮らし』(6-7)1991年3月-6月 インタビュー 塩口喜乙(聞き手)「彫刻の道ひとすじに」(上・下)
- 『うえの』(386)上野のれん会 1991年6月 佐藤忠良「臆病もの」
- 『アートビジョン』19(3)ビジョン企画出版社 1991年9月 佐藤忠良「私の中の脇田和」
- 『美術の窓』(109)美術の窓社 1991年12月 インタビュー「彫刻という原始的な仕事」
- 『吾尊文芸』(16)1992年1月 対談:佐藤忠良、笹戸千津子、大久保憲次(司会)「彫刻と私」
- 『パウゼ』(13)日本債権信用銀行 1992年3月 インタビュー「僕にとっての彫刻は精神のリアリズムなのです」
- 『アート・トップ』(136)芸術新聞社 1993年8・9月 インタビュー「私が望む美術館像」
- 『カマラード』(17)宮城県民間教育研究団体連絡協議会 1995年7月 佐藤忠良「他人ごとではない」
- 『輔仁会[札幌西高同窓会]会誌』(79)輔仁会 1996年10月 佐藤忠良「青春回顧録」
- 『アートポリタン』(16)1997年3月 佐藤忠良「戸惑いの顔」再録[ベンジャミン・リー 彫刻家 佐藤忠良の世界展]
- 『佐川美術館会報誌 うつろひ』(2)佐川美術館 1998年10月 対談:佐藤忠良、平山郁夫「芸術対談 道心」
- 『月刊広告批評』(224)マドラ出版 1999年2月 インタビュー 島森路子(聞き手)「21世紀への遺言」
- 『日本共産党美術家後援会報』(29)〔日本共産党美術家後援会〕1999年3月 佐藤忠良「ガイドライン反対」
- 『アート・トップ』(173)芸術新聞社 1999年10・11月 佐藤忠良「私と藝大」
- 『うえの』(486)上野のれん会 1999年10月 佐藤忠良「私の東京美術学校」
- 『婦人公論』(1048)中央公論社 1999年11月7日 佐藤忠良(談)木村博美(構成)「彫刻の職人として歩む喜び」
- 『美じょん新報』(10・11)ビジョン企画出版社 2000年8月 インタビュー 瀧梯三(聞き手)「自然は誠実、狡さが無い」
- 『うえの』(500)上野のれん会 2000年12月 佐藤忠良「私と上野」
- 『エプタ』(1)肌粧品科学開放研究所 2001年4月 佐藤忠良(談)「記録をつくった男の顔」

『日本きりえ協会会報』(78)日本きりえ協会会報 2001年6月 インタビュー「汗をかいて、恥をかいて、そしてやり直すことの大切さ」
『常陽藝文』(228)常陽藝文センター 2002年5月 佐藤忠良「木内克を語る 彫刻への至純な思い」
『週刊朝日』(4529)朝日新聞出版 2002年11月1日 佐藤忠良(談)古舘謙二(構成)「語るには若すぎる」
『季刊 銀花』(135)文化出版局 2003年9月 佐藤忠良「おしゃべりな手」
『OPEN-AIR 彫刻の森美術館・美ヶ原美術館ニュース』彫刻の森美術館 2004年3月 佐藤忠良「私の中のヘンリー・ムーア」
『母の友』(622)福音館書店 2005年3月 佐藤忠良「子どもと美術がふれあうとき」再録
『教育ながさき』(655)長崎県教育センター 2005年6月 佐藤忠良(談)「随想 芸術は人生の必要無駄」
『致知』(377)致知出版社 2006年12月 インタビュー「生涯現役」
『いきいき』(127)ユーリーグ 2007年7月 対談:佐藤忠良、高橋永順「私のこと。」

(84) 著述収録 逐次刊行物 切り抜き

『婦人画報』(533)婦人画報社 1949年2月 佐藤忠良「冬のシベリヤ」
『社会評論』6(4)ナウカ社 1949年6月 佐藤忠良「シベリアの女たち」
『BBBB』(創刊号)冬芽書房 1949年11月 佐藤忠良「デッサンについて」
[掲載紙不明] [1952年] 佐藤忠良「拾う人(自作を語る)」
『北海道新聞』1952年9月7日 佐藤忠良「注目される”抽象群”の抵抗」
[北海タイムス] [1952年12月6日] 座談会:佐藤忠良、裕伊之助、寺田竹雄、井上長三郎、福田新生「日本の近代画」
『東京新聞』1953年10月23日 佐藤忠良「造形の一つのカギ」
『世界美術全集』古代エジプト編」
『小説公園』4(11)六興出版社 1953年11月 佐藤忠良「シベリヤ風物」
『改造』35(5)改造社 1954年5月 佐藤忠良「炭鉱の『母子想』由来」
『アトリエ』(臨時増刊)アトリエ社 1956年8月 佐藤忠良「新しい生きもの(特集:新しいリアリズム)」
『朝鮮総聯』(42)在日本朝鮮人総聯合会中央本部 1958年12月1日 佐藤忠良「ピョンヤン(平壤)ゆきわたる購売力」
『郵政』(114)日本郵政公社広報部門広報部 1959年1月 佐藤忠良「孤島」
『毎日新聞』1959年8月1日夕刊 佐藤忠良「彫刻どろぼう(茶の間)」
『Snow』(号数不詳)雪印乳業 [1960年3月] 佐藤忠良「シベリヤ冬物語」
『熊本日日新聞』1960年4月6日 佐藤忠良「『うれ』という顔日本人の一つの符号」
[大分合同新聞] [1960年4月] 佐藤忠良「うれ—自分の投影—」
[北海タイムス] [1960年4月] 佐藤忠良「『うれ』自分の投影」
[南日本新聞] [1960年4月] 佐藤忠良「自分の投影」
『信濃毎日新聞』1960年4月20日 佐藤忠良「『うれ』自分の投影」
[アカハタ] [1960年5月8日] 佐藤忠良「国会へ行って」

[掲載誌不明] [1960年] 佐藤忠良「除幕式」[高塔山公園内《吉田磯吉像》]
[北海道新聞] [1960年7月1日] 佐藤忠良「がたがたフォルム」
『教育評論』(103)教育評論社 1960年11月臨時増刊号 佐藤忠良「非文化諸大臣へ」
『新婦人』16(2)文化実業社 1961年2月 佐藤忠良「身辺の造形」(6)
[アカハタ] 1962年1月21日(日曜版) 佐藤忠良「胸像 マンズー(アカハタ画廊 世界の名作(69))」
『毎日新聞』1962年1月22日夕刊 佐藤忠良「同姓同名(茶の間)」
『美術手帖』(209)美術出版社 1962年9月 佐藤忠良「平和美術展は十年目を迎えたが…」
『美術ジャーナル』(33)美術ジャーナル発行所 1962年9月 佐藤忠良「『表現』ということ(作家の記録)」
『北海道新聞』1962年10月12日 佐藤忠良「顔と私 平凡なものに魅力覚えて作品に」
『北海道新聞』1963年7月5日 佐藤忠良「さっぽろ大通とわたしの彫刻(中)二丁目」
『毎日新聞』1963年8月6日、7日、9日、10日 佐藤忠良「シベリア上等兵」(4回連載) [(1)開戦(2)命を捨てる道(3)民族移動(4)歓迎曲]
[北海道新聞] [1963年11月11日] 佐藤忠良「私のまち 札幌(1)」
『毎日新聞』1963年12月28日夕刊 佐藤忠良「捕虜収容所の師走」
『信濃毎日新聞』1965年4月22日 佐藤忠良「ベトナム問題を考える 民族の意志尊重をよそ者が入って複雑に」
『美術手帖』(271)美術出版社 1966年8月 佐藤忠良「ロダンの父の胸像(アンケート私の好きなロダン)」
『教育評論』(204)教育評論社 1967年8月 佐藤忠良「私の教育外論 必要な無駄を大切に」
『筆心』(巻号不詳)学苑社 [1967年9月] 佐藤忠良「娘と私」
『母の友』(182)福音館書店 1968年7月 佐藤忠良「佐藤オリエ騒動」
『ほるぷ新聞』(8) [1968年8月25日] 佐藤忠良「本との出会い 古典をちゃんぽんで」
[北海道新聞] [1968年9月23日] 佐藤忠良「いつもオールドサントリーを飲んでいる家族…」
『室内』(172)工作社 1969年4月 佐藤忠良「スキー懐古」
『東京新聞』1970年5月25日夕刊 佐藤忠良「ベン・シャーン展から(7)サンダー・ペインティング」
『筆心』(号数不詳)学苑社 [1971年2月] 佐藤忠良「必要無駄の中で」
『北海タイムス』1972年7月5日夕刊 佐藤忠良「冬の子供」
[掲載紙不明] [1973年6月5日] 佐藤忠良「わたしの絵本 夜の美しいとき」
『室内』(225)工作社 1973年9月 佐藤忠良「触覚」
『サンケイ新聞』1973年12月7日夕刊 佐藤忠良「マンズー氏訪問」
『毎日新聞』1974年1月7日 佐藤忠良「お座敷アトリエからはお座敷彫刻しか生まれない」
『毎日新聞』1974年3月6日夕刊 佐藤忠良「字とデザイン」
『婦人之友』68(6)婦人之友社 1974年6月 佐藤忠良「亜古ちゃんと彫刻」
『サンケイ新聞』1974年7月2日夕刊 鼎談:佐藤忠良、円鍔勝三、淀井敏夫「グレコとマンズーの魅力」
『室内』(239)工作社 1974年11月 佐藤忠良「Kさんと私」

- 『アサヒギャラリー』(47)サンポウジャーナル 1975年3月15日 佐藤忠良「ある種の制約をいつも感じた」[近代文学 挿絵と装幀展]
- 『季刊 ひろば』(65)至光社 1975年4月 佐藤忠良「四年保育」
- 『北海道新聞』1975年4月2日夕刊 佐藤忠良「『マンズー作品集』刊行に寄せて」
- 『北海道新聞』1975年4月14日 佐藤忠良「山内壮夫さんの訃報に接して」
- 『郵政』(314)日本郵政公社広報部門広報部 1975年9月 佐藤忠良「兵隊のたより」
- 『室内』(259)工作社 1976年7月 佐藤忠良「おとこおんな」
- 『北海道新聞』1977年5月4日 佐藤忠良「《夏》」
- 『広報くしろ』[釧路市]1977年5月15日 佐藤忠良「《夏》」
- 『北海道新聞』1977年7月28日夕刊 佐藤忠良「立像『蒼穹』母校におくる」
- 『読売新聞』1978年5月6日夕刊 佐藤忠良「彫刻の巨匠 ヘンリー・ムーアの世界」
- 『中央公論』(1099)中央公論社 1978年10月特別号 佐藤忠良「シリーズ日本人」
- 『市政だより』[仙台市]1978年4月15日 佐藤忠良「緑の風」
- 『北海道新聞』1978年12月20日夕刊 佐藤忠良「ローマで逢った人たち」
- 『婦人之友』73(1)婦人之友社 1979年1月 佐藤忠良「亜古」
- 『東京新聞』1979年1月9日夕刊 佐藤忠良「ローマで逢った人たち」
- 『FHJ』27(1)全国高等学校家庭クラブ連盟 1979年1月 佐藤忠良「オリエへ」
- 『毎日新聞』1979年3月13日夕刊 佐藤忠良「ドガの彫刻を見る」
- 『筆心』(巻号不詳)学苑社 1979年5月 佐藤忠良「寝坊」
- 『読売新聞』1979年5月2日 佐藤忠良「ロダンのデッサン」
- 『日本経済新聞』1979年8月2日 佐藤忠良「変わらぬ気概」
- 『読売新聞』1979年8月7日 佐藤忠良「ロダン展に寄せて(1)ロダんと悌二郎」
- 『河北新報』1979年10月22日 佐藤忠良「グレコと仙台」
- 『河北新報』1979年10月23日 佐藤忠良「訛こそふるさとの味」
- 『いわき民報』1980年1月1日夕刊 佐藤忠良「いわきとのかかわり」
- 『朝日新聞』1980年4月12日 佐藤忠良「鑑真和上坐像(人間開眼 東大寺展から(5))」
- 『北海道新聞』1980年5月4日(日曜版)佐藤忠良「ボタン」
- 『ちいさいなかま』全国保育団体連絡会 1980年8月号 佐藤忠良「夕張のころ」
- 『月刊旅行アサヒ』1(5)旅行アサヒ 1980年9月 佐藤忠良「旅の走り描き」
- 『日本経済新聞』1980年11月7日 佐藤忠良「ベネチアの海水浴場」
- 『SOPHIA』3(12)講談社 1980年12月 対談:佐藤忠良、佐藤オリエ「家族の肖像(18)」
- 『北海道新聞』1981年1月31日夕刊 佐藤忠良「『本郷新彫刻集』の刊行に寄せて」
- 『筆心』(巻号不詳)学苑社[1981年4月]佐藤忠良「習いごと」
- 『日本経済新聞』1981年5月30日「“パリの目”はどう見るか」
- 『中央公論』(1137)中央公論社 1981年6月 佐藤忠良「ある俳優の死」
- 『朝日新聞』1981年9月3日 佐藤忠良「ロダンの国で個展を開いて」
- 『新美術新聞』(275)1981年9月11日 座談会:佐藤忠良、青山杉雨、奥田元宋、高山辰雄、米倉守「新美術新聞創立10周年記念座談会 私の歩んだ美術界この10年」
- 『みづうみ』4(10)十和田市立中央病院 1981年10月 佐藤忠良「ロダンの国での個展」
- 『北海道新聞』1981年10月24日夕刊 佐藤忠良「北炭夕張新鉱事故」
- 『週刊新潮』(1344)新潮社 1982年2月25日 佐藤忠良「週刊新潮掲示板[船山馨について]」
- 『日本経済新聞』1982年4月20日夕刊 佐藤忠良(談)「私とふるさと-宮城県丸森町」
- 『日本経済新聞』1982年6月24日 佐藤忠良「天平彫刻 広日天立像(美の美)」
- 『日本経済新聞』1982年7月5日 佐藤忠良「東洲斎写楽 尾上松助の松下造酒之進(美の美)」
- 『北海道新聞』1982年7月21日 佐藤忠良「私とブルーデル」
- 『日本経済新聞』1982年7月22日 佐藤忠良「ドガ 若い婦人の頭部(美の美)」
- 『日本経済新聞』1982年9月3日 佐藤忠良「広重 庄野(東海道五十三次のうち)(美の美)」
- 『日本経済新聞』1982年9月15日 佐藤忠良「モジリアニ 編み髪の少女(美の美)」
- 『日本経済新聞』1982年10月2日(第2部)佐藤忠良「セザンヌ 玉葱と瓶のある静物(美の美)」
- 『日本経済新聞』1982年10月25日 佐藤忠良「古代ギリシャ デルフォイの御者(美の美)」
- 『新婦人しんぶん』1982年10月28日 対談:佐藤忠良、横山万里子「希望訪問」
- 『日本経済新聞』1982年12月8日 佐藤忠良「ピカソ 玉のりの少女(美の美)」
- 『掲載誌不明』[1983年]佐藤忠良「文化の日」[小磯良平文化勲章]
- 『日本経済新聞』1983年2月4日 佐藤忠良「ベン・シャーン 坑夫の妻たち(美の美)」
- 『北海道新聞』1983年2月24日-26日、28日、3月2日 佐藤忠良「自作を語る」(全6回連載中5回分) [(1)母の顔(2)群馬の人(3)ふざけっ子(4)ボタン(5)帽子・夏]
- 『日本経済新聞』1983年3月28日「マリーニ マルク・シャガールの肖像(美の美)」
- 『石巻かほく』1983年4月19日 佐藤忠良(講演会録)「私と彫刻」
- 『IKEGAMI』(34)[池上通信機]佐藤忠良[1983年5月]「テレビと私」
- 『日本経済新聞』1983年5月11日 佐藤忠良「ピカソ 花の籠を持つ若い女(美の美)」
- 『日本経済新聞』1983年7月7日 佐藤忠良「ゴーギャン 死霊がみている(美の美)」
- 『被団協』(58)日本原水爆被害者団体協議会 1983年11月6日 佐藤忠良「せめてものお手伝い」
- 『日本経済新聞』1983年11月30日 佐藤忠良「天平彫刻 阿修羅立像(八部衆の内)(美の美)」
- 『掲載誌不明』[1984年]佐藤忠良「レリーフ『緑の風』東北大学胸部外科関係」
- 『掲載紙不明』[1984年1月]佐藤忠良「造形の詩人 ジャコモ・マンズー(1)」ほか 関連記事を含む
- 『日本経済新聞』1984年1月14日(第2部)佐藤忠良「ゴーギャン ネヴァーモア(美の美)」
- 『日本経済新聞』1984年1月28日(第2部)佐藤忠良「ユーミンの『パール・ピラス』(私の愛聴盤)」
- 『朝日新聞』1984年4月11日 佐藤忠良「私のガンダーラ」

- 『日本経済新聞』1984年5月19日(第2部)佐藤忠良「インド・クシャーン朝時代 ヤクシー像(美の美)」
- 『読売新聞』1984年6月8日(山口東部版)佐藤忠良「笹戸千津子展に寄せて」ほか ※複写
- 『日本経済新聞』1984年7月4日 佐藤忠良「ルネサンス彫刻ある若者の肖像(美の美)」
- [Harmony] (52) [朝日新聞社] [1985年] 佐藤忠良「低空飛行」
- 『日本経済新聞』1985年1月12日(第2部) 佐藤忠良「モディリアニ 赤子を抱くジブシー女(美の美)」
- 『北海タイムス』1985年3月1日夕刊 佐藤忠良「旅とはきもの」
- [掲載紙不明] [1985年3月] 佐藤忠良「旅とはきもの」
- [掲載紙不明] [1985年3月] 佐藤忠良「旅とはきもの」
- 『河北新報』1985年3月18日 佐藤忠良(談)「高まる期待 河北美術展 審査員に聞く」
- 『北海道新聞』1985年4月16日 佐藤忠良「北海道少年記(私の中の原風景)」
- 『河北新報』1985年4月24日 佐藤忠良「河北美術展評」
- 『毎日新聞』1985年6月26日 座談会: 佐藤忠良、上田薫、森隆夫、左幸子、森山祐輔「毎日教育シンポジウム」
- 『東京新聞』1985年7月20日 佐藤忠良「セーラーカラーの少女(哀愁の美 モディリアニ展(3))」
- 『毎日新聞』1985年8月1日 佐藤忠良「モジリアニ一辺倒の生活(若い日の私)」
- 『河北新報』1985年9月9日 佐藤忠良「近代巨匠彫刻展」に寄せて」
- 『赤旗』1985年12月6日 佐藤忠良(談)「黙ってはいられない 人間らしい感性みがいてほしい」
- 『教育家庭新聞』1986年1月4日 佐藤忠良(談)「原点を見る 思いだ」[ギャラリー TOM]
- 『日本経済新聞』1986年3月8日(第2部) 佐藤忠良「ドガ 若い婦人の肖像(美の美)」
- 『東京新聞』1986年4月9日 佐藤忠良「ヘンリー・ムーア展 温かい手のべ歓迎」
- 『放送大学通信 ON AIR』(4) 鼎談: 佐藤忠良、香月秀雄、平沢弥一郎 1986年7月10日「佐藤忠良先生と語る」
- 『読売新聞』1986年8月3日(神奈川版) 佐藤忠良「ロダンと私(魂の表現 ロダン展に寄せて(3))」
- 『北海道新聞』1986年10月6日 対談: 佐藤忠良、秋山和慶「86潮流 対談」
- 『教育宮城』(369) 宮城県教育委員会 1986年11月 佐藤忠良「自分の眼と手で」
- 『北海道新聞』1986年11月16日 佐藤忠良「高村光太郎編訳『ロダンの言葉』」
- 『正論』(171) 産経新聞社 1986年11月 佐藤忠良「ヘンリー・ムーアを悼む」
- 『室内』(384) 工作社 1986年12月 佐藤忠良「萩須高德さん」
- 『輔仁会だより』(12) [輔仁会] 1987年3月 佐藤忠良「二中時代の芸術家たち(61年総会プログラムより)」
- 『サンケイ新聞』1987年5月11日 佐藤忠良「優しさと不屈の作家魂[ヘンリー・ムーア]
- 『レディスライフ』15(6) トーキョーセブン 1987年6月 対談: 佐藤忠良、佐藤オリエ「父からの贈り物 ありがとう、あなたの娘で。」
- 『幼児開発』(207) 幼児開発協会 1987年7月 佐藤忠良「子供の夢」
- 『母の友』(411) 福音館書店 1987年8月 佐藤忠良「『おおきなかぶ』ものがたり」
- 『朝日新聞』1987年8月7日夕刊 佐藤忠良(談) 米倉守(聞き手)「余白を語る 生物として駄目になることだけは嫌」
- 『北海道新聞』1987年10月9日夕刊 佐藤忠良「頑張れ 夕張」
- 『日経ビジネス』(478) 日経マグロウヒル社 1987年10月12日 佐藤忠良(談)「有訓無訓-いかに『深く』なれるかとの戦い」
- 『北海道新聞』1987年12月1日 佐藤忠良「舟越保武著『大きな時計』心の楽屋裏へ案内」
- [掲載誌不明] [1988年] 佐藤忠良「地底の詩が海を超えてゆく [わらび座関係]
- 『河北新報』1988年1月1日 佐藤忠良「明暗お正月」
- [山陽新聞] 1988年1月6日 佐藤忠良「明暗正月」
- 『東京新聞』1988年1月11日 佐藤忠良「舟越保武著『大きな時計』日常身辺をサラリと」
- 『愛媛新聞』1988年1月12日 佐藤忠良「明暗正月」
- 『河北新報』1988年4月2日 佐藤忠良「日本人と文化(佐治発言に関して)」
- 『朝日新聞』1988年4月20日 佐藤忠良(談)「ビデオテープ(一点中継・つくる-彫刻家・佐藤忠良 NHK 10日)」
- [掲載紙不明] [1988年5月] 佐藤忠良「沢田政広氏 彫刻家文化功労者死去」
- 『日本経済新聞』1988年6月1日-30日 佐藤忠良「私の履歴書」(29回連載) [(1) あこがれ (2) 母の故郷 夕張 (3) 札幌の中学時代 (4) 忙しがり屋 (5) 絵画修行 (6) 画塾通い (7) 彫刻家に転身 (8) 美校時代 (9) 人生の岐路 (10) 新制作彫刻部 (11) 七人のサムライ (12) 結婚 (13) 戦時下 (14) 戦闘 (15) 生死の境 (16) シベリア抑留 (17) 復員 (18) 船山馨 (19) 初のアトリエ (20) 洋裁学校 (21) ジャガイモ顔 (22) スケッチ旅行 (23) 造形大学教授 (24) 初の洋行 (25) 「小児科」「帽子」 (26) 外国の同業者 (27) パリで個展 (28) ニューヨーク (29) 初心忘れず]
- [掲載誌不明] [1988年7月] 佐藤忠良「いつてらっしゃい」 [わらび座関係]
- 『あさじ』(338) 1988年9月 座談会: 佐藤忠良、渡辺恭英 ほか「佐藤先生を囲んで」
- 『東京新聞』1988年10月31日 佐藤忠良「十四歳の小さな踊り子<心眼の美学 ドガ展(3)>」
- 『歴史街道』(9) PHP 研究所 1989年1月 佐藤忠良「『ロダンの言葉』『職人衆昔話』」
- 『産経新聞』1989年1月12日 佐藤忠良「彫刻コッコツ半世紀」
- 『朝日新聞』1989年1月28日夕刊(西部本社版) 佐藤忠良「長年の失敗やっとな自信に」(インタビュー)
- 『朝日新聞』1989年2月1日 佐藤忠良(談)「受賞者あいさつ要旨」[朝日賞]
- 『日本経済新聞』1989年7月8日(第2部) 佐藤忠良「セザンヌ 画家の息子ポール(美の美)」
- 『日中友好新聞』(1523, 1533) 1989年8月5日、11月15日 対談: 佐藤忠良、滝平二郎「滝平二郎の人生底抜け対談」(3, 11) (11回連載の内の2回)
- 『教科書裁判ニュース』(257) 教科書検定訴訟を支援する全国連絡会 1989年9月20日 佐藤忠良「嘘」
- 『北海道新聞』1989年10月2日 対談: 佐藤忠良、金子鷗亭「89潮流 対談」
- 『山形新聞』1990年3月19日 佐藤忠良「『チコ』笹戸千津子彫刻展に寄せて」
- 『北海道新聞』1990年3月27日 佐藤忠良「祈る再生 我が夕張」
- 『FHJ』38(5) 全国高等学校家庭クラブ連盟 佐藤忠良 1990年5月「二人の後輩」
- 『NEXTTAGE』(9) 住友商事 1990年7月 佐藤忠良「佐藤忠

良の世界(1)母の顔(12回連載の内の1回)
 『河北新報』1990年6月1日(第2朝刊)対談:佐藤忠良、宮城正俊「彫刻に込めた過去・現在・未来」
 『河北新報』1990年6月17日 対談:佐藤忠良、本間俊太郎「日本人の美しさを日本人が表現」
 『紫雲』(43)宮城県教育大学附属中学校PTA 1990年12月15日 佐藤忠良(講演録)「彫刻と私」
 『朝日新聞』1991年2月6日夕刊 佐藤忠良「中川一政氏を悼む」
 『産経新聞』1991年5月20日 佐藤忠良「知られざる巨匠(メダルド・ロッシン(1))」
 『毎日新聞』1991年6月19日 佐藤忠良(談)早瀬圭一(聞き手)「『ロダンの言葉』高村光太郎訳編」
 『ハイスクール・ニューズ』(140)好学社 1991年12月10日 佐藤忠良「逢えた人たち」
 『河北新報』1992年3月13日 佐藤忠良「笹戸千津子 見えてきた『語りかけ』」
 『大分合同新聞』1992年4月16日夕刊 佐藤忠良(講演録)「佐藤忠良氏の特別講演(要旨)」
 『河北新報』1992年6月21日-8月4日 佐藤忠良(談)清野孝悦(聞き手)「聞き書き 心を彫る」(18回連載) [(1) コッコツと (2) 古里 (3) 母 (4) 共同生活 (5) スキー (6) 画家目指し (7) 画学生 (8) 彫刻へ (9) 在野精神 (10) 結婚 (11) 戦争 シベリア (12) 「群馬の人」 (13) ”小児科” (14) チコと帽子 (15) 街と彫刻 (16) バリの個展 (17) 宮城のきずな (18) 個性]
 [掲載誌不明] [1992年9月13日] 佐藤忠良「ありがとう北海道。これが私の北海道」
 『朝日新聞』1992年10月12日-16日夕刊(5回連載) 佐藤忠良「出あいの風景」[(1) めげえ会 (2) 夕陽と豚 (3) 四回展で合流 (4) 群馬の人 (5) 鋳物屋さん]
 『光明』(79)世界救世教 1992年11月 インタビュー「彫刻家佐藤忠良氏の人と芸術 フォルムに生命吹き込む」(1)
 『読売新聞』1992年11月6日 佐藤忠良「シベリア再訪」
 『産経新聞』1992年11月9日、23日、30日、12月7日、21日 佐藤忠良「私の創作日記」(5回連載) [(1) ヘンリー・ムーアの優しさ (2) 40数年ぶりのシベリア (3) バイカル湖畔のスケッチ (4) イタリアの巨匠の仕事場 (5) 街づくりと彫刻公害]
 『熊本日日新聞』1992年11月20日 佐藤忠良「抽象作品の難しさを痛感[20世紀アート大賞'92審査員評]」
 『月刊 沖繩』(203)1993年1月10日 佐藤忠良「沖繩から世界へ 平和を考える (8) 自ら加害者を認識」
 『いつでも元気』(26, 27, 29-33, 35-38, 40-47, 49-53, 55-62) 保健医療研究所 1994年1月、2月、4月-8月、10月-12月、1995年1月、3月-1996年3月、5月-12月 佐藤忠良、藤田観龍(撮影)「佐藤忠良彫刻散歩」[(1) 二歳 (2) 若い女の像 (4) 緑の風 (5) 平和の像 (6) 少年 (7) 夏・道東の四季像 (8) 若い女 (10) フランシスコ・ザビエル (11) 帽子の像 (12) 飛翔 (13) 娘の像 (15) トルソ (16) わかば (17) シャツブラウスの娘 (18) あぐら (19) 早蕨 (20) 女・夏 (21) 牛と少年 (22) 平和の礎 (23) 若き日の詩 (24) 演技生 (25) 冬のこども (26) レイ (27) 乙女の像 (29) 小さな羊 (30) ジーンズ・夏 (31) 風 (32) 開拓母の像 (33) 脚を組んで・女 (34) 母子想 (35) 脚をなげる女 (36) 少女(亞古)]
 『社会新報』1993年1月15日 対談:佐藤忠良、五十嵐広三「文化と政治」
 [掲載誌不明] [1994年] 対談:佐藤忠良、[三重県知事]「知

事対談 伝統と未来とのあい」
 『教育と施設』(46)アウゲ・リプロサービス1994年9月 佐藤忠良(談)「人に恵まれ、育てられ日本を代表する彫刻家に」
 『新美術新聞』(728, 730-731)1995年3月11日、4月1日、11日 佐藤忠良「五十年の残影 佐藤忠良」(4回連載、第2回欠) [(1) 突撃 (3) 投降 (4) 走りもせず泊まりもせず]
 『朝日新聞』1995年5月3日 佐藤忠良(談)「ビデオテープ(土曜美の朝-日本人の心を彫る NHK 4月29日)」
 『朝日新聞』1995年8月3日 佐藤忠良「密教の美『東寺国宝展』から」
 『日本経済新聞』1995年12月25日 佐藤忠良「オルセー美術館展特集 品格追い求めたドガ」
 『朝日新聞』1996年3月4日-7日夕刊 佐藤忠良(談)田中三蔵(聞き手)「佐藤忠良の世界」(4回連載)
 『河北新報』1996年12月8日 対談:佐藤忠良、浅野史郎「魂の炎を燃やし続けて 明日への助走」
 『輔仁会だより』(32) [輔仁会]1997年3月 佐藤忠良 [佐藤忠良母校展]
 [掲載誌不明]1997年3月22日(空知版) 佐藤忠良(談)下総裕輔(聞き手)「たいせつなのは本物を見せること」
 『読売新聞』1997年3月22日夕刊 佐藤忠良(談)、山根勝典(聞き手)「生老病死の旅路 捕虜体験、人生に区切り」
 『北海道新聞』2000年1月5日 佐藤忠良「いたわり合う心学んだ地 母や恩師の理解を支えに」
 『北海道新聞』2000年9月16日 鼎談:佐藤忠良、五十嵐広三、酒井忠康「旭川彫刻フェスタフォーラム」
 『ユニバーサルデザイン』(8)ユニバーサルデザイン・コンソーシアム 2001年夏号 インタビュー「現代ダンディズム考」
 『河北新報』2001年1月4日 佐藤忠良「コッコツ歩み」[広告:日立東北ソフトウェア株式会社 時代へのメッセージ。]
 『朝日新聞』2001年5月26日 佐藤忠良「枯れた花(Oguissを語ろう-生誕100年記念 荻須高德展(5))」
 『しんぶん赤旗』2001年6月 佐藤忠良「小泉内閣の危険性知らせてもらいたい」
 『朝日新聞』2001年7月21日 佐藤忠良(談)吉原佐紀子(構成)「観察力・想像力が危ない」
 『しんぶん赤旗』2001年7月号外 佐藤忠良「共産党のこんなところが…」
 『しんぶん赤旗』2001年9月3日 佐藤忠良「書架散策 ロダンの言葉」高村光太郎訳『ロダンの言葉』
 『あさひかわ新聞』2002年1月1日 佐藤忠良「人魚に託した想い」
 『朝日新聞』2002年2月7日夕刊 佐藤忠良(談)田中三蔵(聞き手)「彫刻家舟越保武氏を悼む 優しく精神力の強い同志」
 『連盟ニュース』(398) 社団法人日本美術家連盟 2002年4月 佐藤忠良「別れの言葉」[舟越保武]
 『山陰新聞』2003年2月5日 インタビュー「酸いも甘いも」
 『山梨日日新聞』2003年2月5日 インタビュー「酸いも甘いも」
 『埼玉新聞』2003年2月7日 インタビュー「酸いも甘いも」
 『岐阜新聞』2003年2月9日 インタビュー「酸いも甘いも」
 『東奥日報』2003年2月9日 インタビュー「酸いも甘いも」
 『静岡新聞』[2003年2月11日] インタビュー「酸いも甘いも」
 『四国新聞』[2003年2月12日] インタビュー「酸いも甘いも」
 『伊勢新聞』2003年2月13日 インタビュー「酸いも甘いも」

『日々の新聞』2004年6月15日 佐藤忠良「美術館の20年「無駄」に決意持った勇気を評価」
『日々の新聞』2003年4月15日 佐藤忠良「私の中の「いわき」

[掲載誌不明] 佐藤忠良「永福の稲荷神社」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「絵本に関するインタビュー」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「ボナンザグラム（一言）」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「このごろ」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「鋏を手にお手伝いしていたようなあの頃」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「北朝鮮の旅より」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「思い出の教師 丘に登り聞いたバイオリン」
[評：財界の話題] [評論新社] 佐藤忠良「ロダン」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「捕虜時代」
[Nouvelle Forme] 佐藤忠良「具象的表現に挑む岩野勇三」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「猫がとりもつ縁—その想い出交友録(猫画エッセイ9人展)」
[掲載誌不明] 佐藤忠良「海外スケッチ紀行(83)メキシコ・人も風土も別世界(Ⅱ)」
[掲載誌不明] 佐藤忠良(談)、八嶽瑞子(聞き手)「画室にて(2)」
[掲載誌不明] 対談：佐藤忠良、田中實[菓匠三全]「仙台市野草園「萩まつり」によせて 彫刻家・佐藤忠良さんと語る」
[掲載誌不明] 鼎談：佐藤忠良、河合雅雄、富岡恵子「動物画をたのしむ」

(8-5-01) 著述収録 スクラップブック 1950s

『朝日新聞』1958年8月6日 佐藤忠良「制作—夏のデッサン」
『毎日新聞』[1958年8月16日(宮城版)]「東京の人 佐藤忠良 雪国の民芸品に郷愁 近く北鮮の建国祭に出席」
『読売新聞』1958年11月9日夕刊 佐藤忠良「あの激しかった朝鮮戦争で…」
『中部日本新聞』1958年9月12日 佐藤忠良「香港のエネギー」
『北海道新聞』1958年10月26日、28日 佐藤忠良「北鮮にて」(上・下)
『中部日本新聞』1958年10月27日 佐藤忠良「平壤風景」
『読売新聞』1958年10月27日夕刊、28日夕刊 佐藤忠良「北鮮みたま」(上・下)
『中部日本新聞』1958年11月12日 佐藤忠良「平壤の博物館」
『朝鮮総聯』(45)1959年1月1日 作画：挿絵(大同江畔)
[日本と朝鮮][1958年10月28日]作画：挿絵(大同江より平壤紡績工場を望む)
『北海道新聞』1958年11月13日 佐藤忠良「平均化される人間像 中国をみて」
『朝鮮総聯』(42)1958年12月1日 佐藤忠良「ピョンヤン(平壤)ゆきわたる購売力」
『毎日新聞』1959年2月15日「戦後の秀作展」
『週刊読書人』1959年2月16日 佐藤忠良「徐水県の人民公社」
『毎日新聞』1959年7月13日 朝倉撰「旅でみた女性 シベリアの農婦」
『日本読書新聞』(990)1959年2月23日 朝倉撰「人物スケッチ 佐藤忠良 もち続ける青年らしさ」
[東京新聞][1959年4月29日]本郷新「松方コレクションを観て」
『毎日新聞』1959年8月1日 朝倉撰「旅でみた女性 シベリア

の農婦」
『毎日新聞』1959年8月1日夕刊 佐藤忠良「彫刻どろぼう(茶の間)」
[東京新聞][1959年10月]「現代彫刻の10人」
[東京新聞][1959年10月]本間正義「ムア—への反応 新制作、一陽会展(彫刻)評」
[朝日新聞][1959年10月11日]「読書 謙虚に対象をいかす写真撮影藤木四八『現代彫刻の10人』」
[東京新聞][1959年10月18日]「朝鮮と日本結ぶ“友情の像”」
[産経新聞][1959年10月16日]「帰国記念に友好の像 日朝青年たちの協力結実」
『毎日新聞』1960年3月12日[高村光太郎賞受賞記事]
[読売新聞][1960年3月11日][高村光太郎賞受賞記事]
[東京新聞][1960年3月11日][高村光太郎賞受賞記事]
『朝日新聞』1960年3月12日「高村賞決まる 岡崎清一郎氏、佐藤忠良氏」
[産経新聞][1960年3月14日]「横顔 第三回 高村光太郎賞を受けた佐藤忠良」
[西日本新聞][1960年3月14日]「人 高村光太郎賞を受けた佐藤忠良」

(8-5-02) 著述収録 スクラップブック 1950s

『学習たより』日本理容美容通信教育1957年11月、12月、1958年1月、2月、5月、7月 佐藤忠良「彫刻教室」(6回連載)
『美術批評』(19)美術出版社 1953年7月 座談会：佐藤忠良、吉阪隆正、針生一郎「ル・コルビュジエのことから」
『美術批評』(55)美術出版社 1956年7月 徳大寺公英「佐藤忠良氏の場合」
『美術批評』(42)美術出版社 1955年6月 佐藤忠良「彫刻作品を数多く(第3回日本国際美術展に出品して)」
『美術手帖』(14)美術出版社 1949年2月 佐藤忠良「白夜の頃」
『美術手帖』(125)美術出版社 1957年5月 佐藤忠良「泣言競技に終るな(美術家を志望する人のために)」
『美術手帖』(98)美術出版社 1955年8月「夏のアトリエ十態」
『美術手帖』(102)美術出版社 1955年11月 座談会：佐藤忠良、麻生三郎、利根山光人、建昌覚造、藤松博、植村鷹千代「制作と発表」
『美術手帖』(131)美術出版社 1957年10月 岡本謙次郎「現代作家小論 佐藤忠良」
『美術手帖』(143)美術出版社 1958年6月臨時増刊 佐藤忠良「人体と彫刻(特集：生きている彫刻)」
『美術手帖』(152)美術出版社 1959年1月 佐藤忠良「あたらしい人間像 北鮮・中国の旅みたま」
『美術手帖』(173)美術出版社 1960年5月「佐藤忠良に高村光太郎賞」
『美術手帖』(168)美術出版社 1960年1月臨時増刊 佐藤忠良「石彫人物像 頭部」
『美術手帖』(171)美術出版社 1960年4月 本間正義「現代日本の作家像2・小論 佐藤忠良」
『美術手帖』(178)美術出版社 1960年9月 対談：佐藤忠良、岡本謙次郎「ロダンの芸術 生命をうつすモドレに甦る人間像」
『美術手帖』(209)美術出版社 1962年9月 佐藤忠良「平和美術展は十年目を迎えたが…」
『美術手帖』(186)美術出版社 1961年3月 佐藤忠良「自然と

闘う写実のきびしさ〈特集：現代イタリア彫刻〉〕
 『美術手帖』(159)美術出版社 1959年6月臨時増刊 佐藤忠良「彫刻 ロダン 巨大な足音 プールデル もうひとりのマンモス」
 『美術手帖』(213)美術出版社 1962年12月 座談会：佐藤忠良、池田竜雄、馬場彬、針生一郎「近代日本作家の遺産と現在の私たち」
 『美術手帖』(238)美術出版社 1964年7月 佐藤忠良「第6回現代日本美術展出品作をめぐる六つの対話」
 『美術手帖』(267)美術出版社 1966年5月 佐藤忠良「ジャコモ・マンズー 〈画廊から〉」
 『美術北海道』1(5) 1962年11月 佐藤忠良「彫刻のなかの顔」
 『美術ジャーナル』(11) 色研 1960年8月 座談会：佐藤忠良、篠原一男、栗津潔、谷川俊太郎、朝倉撰、向井周太郎、杉浦康平「What is design ?」
 『藝術新潮』(12)新潮社 1950年12月「彫塑のベスト・テン」
 『藝術新潮』(39)新潮社 1953年3月 佐藤忠良「私の昨今〈びいぶる〉」
 『藝術新潮』(70)新潮社 1955年10月 今泉篤男「佐藤忠良(新制作)」
 『藝術新潮』(181)新潮社 1965年1月 佐藤忠良「死者の目のような〈びいぶる〉」

(8-5-03) 著述収録 スクラップブック 1960s

『室内』(117)工作社 1964年9月 佐藤忠良「オタマとスプーン - 名づけて無名文化財」
 『室内』(126)工作社 1965年6月 佐藤忠良「天才？」
 『室内』(133)工作社 1966年1月 佐藤忠良「ニセ物・似たもの」
 『母の友』(128)福音館書店 1964年2月 佐藤忠良「かっこのつかぬ父親」
 『太陽』(20)平凡社 1965年2月 佐藤忠良「山スキー 50年を素描する」
 [文藝春秋] (巻号不明) 佐藤忠良「この人を 青春・革命・芸術 大谷文男」
 [北海タイムス] [1966年] 「彫刻家 佐藤忠良さん 開道百年の構想ねる」
 『朝日ジャーナル』(18)朝日新聞出版 1959年7月12日 佐藤忠良「郷愁の町・開城」
 『週刊新潮』(275)新潮社 1961年5月29日「新潮ギャラリー [第6回日本国際美術展]」
 『週刊新潮』(295)新潮社 1961年10月16日「新潮ギャラリー 新制作展から」
 『新美術新聞』(103)1976年10月21日 原田実「展示室から新制作展」
 『地上』家の光協会 1974年2月 佐藤忠良「からだで覚えるということ」
 『経済ジャーナル』18(10)麴町出版 1976年10月「美術往来 佐藤忠良」
 『美術館からのお知らせ』(9)国立国際美術館 1981年6月22日
 『美術ニュース』(巻号不明)美術ニュース社 1974年10月5日「第38回新制作展より」
 『YuYu』(61)不明 1974年9月13日「(パンとマーメイド)」
 『日芸新聞』(471)全線社 1976年10月10日「新制作展」
 『都市問題研究』36(1)都市問題研究会 1984年1月20日 遠藤徹夫「彫刻のまち・旭川 市民とともに在る文化への試み」抜刷
 [絵]日動画廊[1988年9月][広告「ブロンズの詩・佐藤忠

良展」国立国際美術館]

(9-1-01) 関連文献 評伝

市瀬見『彫刻家 佐藤忠良』一光社1985年

(9-1-02) 関連文献 所蔵作品目録 (作品選、ガイドブックを含む)

『彫刻の森美術館』彫刻の森美術館 1974年《若い女》
 『北海道立近代美術館所蔵品目録 (昭和52年度版)』北海道立近代美術館 [1978年]《演劇生》《ボタン》
 『三重県立美術館所蔵品目録 1982年版』三重県立美術館 1982年9月《賢島の娘》
 『佐久市立近代美術館・目録』佐久市立近代美術館 1983年5月《モデル》《横たわる》
 『中野美術館作品選』中野美術館 1984年《若い女・夏》
 『近代日本の美術 東京国立近代美術館所蔵作品選』東京国立近代美術館 1984年3月《群馬の人》
 『いわき市立美術館所蔵作品図録 1984年版』いわき市立美術館 1984年4月《帽子・あぐら》《帽子》
 『宮城県美術館所蔵作品総目録』宮城県美術館 1986年10月《若い女》《大きな帽子》
 『呉市立美術館所蔵作品選』呉市立美術館 1988年3月《フォードの竜》
 『大川美術館 所蔵192選 松本竣介をめぐる近代洋画の展望』大川美術館 1989年4月《裸婦》版画
 『平塚市美術館所蔵作品集』平塚市美術館 1991年3月《ミーマ》《ユミ》
 『新潟県立近代美術館所蔵品目録』新潟県立近代美術館 1993年7月《若い女》
 『彫刻の森美術館 美ヶ原高原美術館 ガイドブック』彫刻の森美術館 1994年1月《若い女》
 『中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館所蔵作品図録』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 1994年6月《カンカン帽》《帽子・立像》
 『新潟市美術館所蔵作品選—1994』新潟市美術館 1994年8月《バレエの女 '79》
 『いわき市立美術館コレクション100』いわき市立美術館 1995年《帽子・あぐら》
 『静岡県立美術館コレクション選』静岡県立美術館 1996年《みどり》
 『札幌芸術の森10年のあゆみ』札幌芸術の森 1996年8月《女・夏》《少年の像》《冬の像》《足なげる女》《顔》
 『宮城県美術館所蔵作品選集』宮城県美術館 1997年3月《群馬の人》《木曾》《たつろう》《ふざけっこ》《帽子・夏》ほか
 『泉美術館図録』泉美術館 1997年4月《ジープ》《フォードの竜》《ブラウス》
 『メナード美術館所蔵名作選集』メナード美術館 1997年9月《マント》《ふざけっこ》《帽子・冬》
 『呉市立美術館 所蔵品目録』呉市立美術館 1998年3月《フォードの竜》
 『東京国立近代美術館 ギャラリーガイド 近代日本のあゆみ』東京国立近代美術館 2002年《群馬の人》
 『兵庫県立美術館所蔵作品選』兵庫県立美術館 2002年4月《若い女》
 『芸術の森美術館 所蔵作品図録』芸術の森美術館 2003年6月《足なげる女》《顔》《少年の像》《冬の像》《女・夏》

『平成14(2002)年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 管理作品一覧』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 2003年6月《帽子・立像》《カンカン帽》《三浦綾子》《若い女》《若い女・夏》ほか素描
 『国立国際美術館 所蔵作品選』国立国際美術館 2004年《帽子・立像》
Modern Japanese Art, A Concise History: Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo: The National Museum of Modern Art, Tokyo, 2005《Man from Gumma》
 『村内美術館名品選』村内美術館 2005年5月《帽子・あぐら》《気どったポーズ》《若い女・シャツ(エスキース)》《若い女の像》
 『山梨県立美術館名品選(第二版)』山梨県立美術館 2006年《カモシカと少年》
 『開館20周年記念 茨城県近代美術館所蔵作品選』茨城県近代美術館 2008年《帽子》
 『創業100周年記念刊行 川村美術館』(2巻組) DIC 2008年11月《緑》
 『メナード美術館コレクション500』メナード美術館 2009年4月《帽子・冬》

(9-1-03) 関連文献 図書

『現代彫刻の10人』日動画廊 1959年9月「佐藤忠良」
 『現代美術家総覧 1961年版』日本美術社 1961年4月
 『近代日本の絵画と彫刻』国立近代美術館 1962年10月「戦後美術の展望」《群馬の人》
 『新本店落成記念 名古屋相互銀行ご案内』名古屋相互銀行 [1963年]《微風》
 『本店新築落成記念』北海道銀行 [1964年]《大地》(制作: 本郷新、山内壮夫、佐藤忠良)「製作者のこぼれ」
 『現代美術家総覧 1964年版』日本美術社 1964年5月
 『彫塑 朝倉文夫』平凡社 1966年4月 編集委員に佐藤忠良
 『近代日本の美術』東京国立近代美術館 1969年6月《群馬の人》
 『高村光太郎賞記念作品集・天極をさす』求龍堂 1969年6月《うれ》《ふざけっこ》
 『現代彫刻詩集』彫刻の森美術館 1971年9月《若い女》
 扇谷正造『自分の顔に責任をもて』産業能率短期大学 出版部 1973年1月 表紙に《群馬の人》
 『アサヒ芸術年鑑 1974年』産報 1974年1月
 『昭和48年度(第24回)芸術選奨一覧』文化庁 1974年3月[授賞式次第を含む]
 木原直彦『北海道双書Ⅲ北海道文学史 大正・昭和戦前編』北海道教育委員会 1976年3月「第五章 開花期(北の精神と叙情)」[船山馨]
 大木達治『夏そひく』私家版 1976年3月《ラーゲルの門》[シベリア抑留]
 本間正義(監修)、現代彫刻センター(編)『仙台市制施行八十八周年記念 彫刻のあるまち仙台 '77-88』仙台市 [1977年] 設置イメージ図14点
 『横浜市大通り公園に設置する彫刻作品選定調査報告書』現代彫刻センター 1977年11月 設置イメージ図2点
 清水治(編)『作品年鑑 現代の日本美術 1978』美術倶楽部出版部 1978年5月《裸リン》[第41回新制作展]
 『創業30年記念誌』北門信用銀行 1978年10月《小さな羊》
 相賀徹夫(編)『原色現代日本の美術 13 彫刻』小学館 1979年1月《群馬の人》

『箱根・彫刻の森美術館』彫刻の森美術館 1979年2月《マント》《若い女》《カンカン帽》
 『彫刻の森美術館コレクション 現代彫刻』サンケイ新聞社 1979年8月《カンカン帽》
 大槻道明『日本の版画56人シリーズ作品集』現代版画版元大月 [1979年頃] [佐藤忠良石版画五葉集]
 『北海道手織つむぎ 優佳良織工芸館』[優佳良織工芸館] [1980年]《円い椅子》《織女》《牧羊神》、施設扉の装飾
 嘉門安雄、三木多聞、弦田平八郎(編)『素描集 [裸婦]』毎日新聞社 1980年3月《うづくまる裸》ほか素描13点
 『豪華写真集 書斎と応接間』毎日新聞社 1980年9月「東京・佐藤忠良(彫刻)の客間(山本勝巳氏設計)」
 『SUN MOOK 別冊 Deluxe Series 5 裸婦素描』大日本絵画 1980年11月《裸婦デッサン》素描3点
 原子修『彫刻詩集 札幌の彫刻をうたう』みやま書房 1981年10月[《開拓母の像》《大地》北海道銀行《原生北海道》札幌グランドホテル《開拓》北海道庁道民ホール《岩村通俊之像》《蒼穹》《雪娘》《えぞ鹿》《牛と少年》]
 『長野市の野外彫刻』長野市野外彫刻運営委員会 1982年2月《二歳》
 本間正義(編)『カセット 日本の美 第11巻 近代彫刻』ワコー美術出版 1983年1月《群馬の人》※カセット欠
 朝日新聞社(編)『新人国記 3』朝日新聞社 1983年3月「独自の作風守って」[佐藤オリエとの写真1点]
 三浦綾子『泉への招待』日本基督教団出版局 1983年9月「神共にいます交わり」[旭川駅前通り]
 田村彰英(撮影)『都市・風景・記憶 都市環境と彫刻』横浜市都市計画局開発課 1984年3月《若い女》※校正刷りか
 匠秀夫(監修)『現代の水彩画 4』第一法規出版 1984年9月《オレンジ色の上着》《九龍の朝市》《メキシコシティー》《チョコA》いずれも素描
 札幌市教育委員会文化資料室『船山馨と札幌』札幌市 1984年11月 表紙に小説「石狩平野」完成記念レリーフ、ほか
 『彫刻のある街』北九州市の屋外彫刻』北九州市 1985年1月《望洋》
 『彫刻の街 こうべ』神戸市市民局市民文化課 1985年3月《子供 [二歳]》
 酒井忠康(編著)『近代日本洋画素描体系 5 昭和Ⅲ 戦後』講談社 1985年3月「佐藤忠良」
 原子修『北海道 野外彫刻ガイド』北海道新聞社 1985年4月《開拓母の母》《若い女の像》《岩村通俊之像》《蒼穹》《雪娘》《えぞ鹿》《少女》《榎本武揚顕彰碑》《まげたポーズの子》《道東の四季・夏》《若い女・夏》
 『美術館名作シリーズ 日本現代美術 彫刻』形象社 1985年5月《マント》《若い女》《帽子・あぐら》《若い女・シャツ》
 菊地隆三『美の森に迷う』求龍堂 1985年6月「青葉城恋唄」
 秋山邦晴ほか『文化の仕掛人 現代文化の磁場と透視図』青土社 1985年10月 高松大郎「桑沢デザイン研究所」
 『日本の100人 リーダーたちの素顔』日本経済新聞社 1986年5月「佐藤忠良「粘土職人」欧米に新風」
 『大泉町のあゆみ 大泉だより縮刷版 第2集(上・下)』大泉町役場 1987年7月「若い女の像町民体育館に(1982年10月10日)」[「ブロンズ像完成間近《若い女の像》」佐藤忠良「素直にとび込んでいただければ」(1983年5月10日)]再録
 『あ・る・い・て・み・よ・う・よ 水と…緑の…いずみ緑道』大泉町/大泉町都市計画課 1987年7月《若い女の像》
 村瀬信彦『照貌游居』日本肖像写真協会 1987年12月[肖像

写真]

浜中栄一『雑文集 血液事業の周辺』[北海道赤十字血液センター]1988年2月 表紙に《ひまわりと果実》

酒井忠康『魂の樹 現代彫刻の世界』小沢書店 1988年2月「生命と詩情—佐藤忠良」

瀬木慎一(責任編集)『世界子どもの美術館 2 日本編2』座右宝 1988年3月 油彩《冬の裏町—札幌—》

吉田憲治『人をつくり 人につくす』山陽相互銀行 1988年6月 表紙に《飛翔》

『第20回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会[1989年] 審査員:佐藤忠良

『碧南の彫刻のあるまちづくり 第2集』碧南市民憲章推進協議会 1989年1月《ジーンズ・夏》

井出源四郎『弥生の鐘』井出源四郎千葉大学長退官記念会 1989年3月「人生は邂逅の連続」

三木多聞(監修)、空間造形コンサルタント(編)『「キョセケヤキ ロードギャラリー」完了記念 設置彫刻作品集』清瀬市 1990年3月《亜古》

『田沼武能写真集 アトリエの101人』新潮社 1990年6月「肖像写真(1981年撮影)」

井上靖、河北倫明(監修)、三木多聞(責任編集)『昭和の文化遺産 第5巻 彫刻』ぎょうせい 1990年8月 三木多聞「昭和の彫刻」《群馬の人》《マント》《二歳(大)》《帽子・夏》「月刊美術」編集部『秋山庄太郎 現代日本の作家たち』サン・アート 1990年8月《本》、[肖像写真]

『同窓生名簿 平成3年版』[東京芸術大学美術学部同窓会][1991年?]

米倉守『美の棲家 I』星海社 1991年5月「偉大な静けさ—佐藤忠良展」

高橋永順『永順 花日記』文化出版局 1991年7月「彫刻家佐藤忠良先生のアトリエから略奪してきた(……)」

上林猷夫『詩人高見順—その生と死』精興社 1991年9月 表紙に《作家・高見順》

酒井忠康、米倉守(監修)『現代日本の野外彫刻』講談社 1991年11月 三上満良「仙台市・彫刻のあるまちづくり」《緑の風》

『第23回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会[1992年] 審査員:佐藤忠良、授賞式次第1部

『盛岡市都南文化会館 都南公民館』[盛岡市][1992年]《ジーンズ》

『Scenery 彫刻のある風景II』現代彫刻センター 1992年「設置リスト」

瀬尾浩平『一去一來』私家版 1992年5月「ある芸術家との出逢い」

坂上正道『一医師を支えた言葉』TPC 1992年3月「彫刻家に学ぶ」

『教科書裁判ブックレット 家永さんの勝利をめざして 118人のメッセージ』教科書検訴訟を支援する全国連絡会 1993年1月表紙に《おおきなかぶ》

藤田観龍『写真集 彫刻のある風景』新日本出版社 1993年3月《若い女・シャツ》

酒井忠康『森の掟 現代彫刻の世界』小沢書店 1993年3月「観照の部屋—佐藤忠良」

田中日佐夫(編著)『創造の小径 I 作品と評論でよむ美術家の制作過程』美術年鑑社 1993年3月「佐藤忠良/夏の像」

『私の好きな美術館~NHK 日曜美術館から~』日本放送出版協会 1993年5月 田村能里子「佐藤忠良が表現する「帽子」に隠された部分」

河北新報社編集局(編)『遙かなるロマン』河北新報社 1993年7月《支倉常長像》

『大泉町 町勢要覧』大泉町 1993年12月《若い女の像》

橋本正(記録・編集)『平和の礎 シベリア抑留平和祈念像(ひまわり) 建立記念誌』全国強制抑留者協会 岩手県慰霊碑建立委員会 1994年10月《ひまわり》

『三重県総合文化センター建築概要』A&T 建築研究所 1994年10月《冬の像》

『第2回読売演劇大賞贈賞式次第』[読売新聞社] 1995年2月 表紙に副賞《蒼穹》

『第27回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会[1996年] 審査員:佐藤忠良

鶴見俊輔、安野光雅、森毅、井上ひさし、池内紀(編)『心にのこった話(新・ちくま文学の森16)』筑摩書房 1996年1月 安野光雅「舟越保武と佐藤忠良」

菅原憲義『遺言 丸木位里・俊の五十年』青木書店 1996年2月「位里さんの葬儀で弔辞を読む佐藤忠良氏」

『心を贈る 絵手紙の本 ヘタでいい、ヘタがいい』祥伝社 1996年5月「暑中見舞いハガキ掲載」

日本ユネスコ協会連盟(編)『ユネスコで世界を読む 21世紀にひきつぐ国連の良心』古今書院 1996年6月「Q8 ユネスコの民間運動」「Q39 本部の芸術作品」

『第4回読売演劇大賞贈賞式次第』[読売新聞社] 1997年2月 表紙に副賞《蒼穹》

木部与巴仁『伊福部昭・音楽家の誕生』新潮社 1997年4月「札幌へ」

『新編 芸術家の肖像 片山攝三写真集』中央公論美術出版 1997年4月「肖像写真(1963年撮影)」

花斗秀男『骨董 桃栗三年柿八年』里文出版 1997年6月「佐藤忠良先生の彫刻」

植田いつ子『布・ひと・出逢い』集英社 1997年11月「桑沢デザイン研究所回想」

『佐藤忠良先生いろいろ展』TUKA 工房 1998年1月「塚元唯志氏による佐藤忠良の著述等の集成、2部限定」

本間正義『随想 旅ゆけば 写伯』光村印刷 1998年3月「ある相似(フランス、ムードン)一九八一・五・一」

『都心の美術館 旅先の美術館』光文社 1999年《帽子・夏》

『オペラ支倉常長「遠い帆」上演プログラム』仙台市市民文化事業団 1999年3月《支倉常長像》

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(編)『あさひかわと彫刻』旭川振興公社 1999年3月《若い女・夏》《若い女》

新井章夫『彫刻詩集 in Asahikawa 北方空間』アイ書房 1999年6月「帽子・立像」、表紙:《カンカン帽》

芳村圭造『美術館あれこれ』文芸社 1999年11月「国内のユニークな美術館を訪ねて」「新設の佐川美術館を訪ねて」

『第31回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会[2000年] 審査員:佐藤忠良

衛藤安子、裏文子(編)『ふひつじの歩み』私家版 2000年3月「佐藤忠良先生への便り」

『現代日本の美術 美術の窓年鑑 2000』生活の友社 2000年5月

『蒼穹の庭 札幌西高物語』輔仁会 2000年10月《蒼穹》、「佐藤忠良母校展」(1997年)の記録

『第49回宮城県PTA 研究大会 黒川大会記録集』2001年1月 表紙に《支倉常長像》

『杉並区立永福小学校創立50周年記念誌』杉並区立永福小学校 2001年9月《永福小学校五〇年の櫛(校庭)》

矢萩喜徳郎『多中心の思考』誠文堂新光社 2001年11月「本

物と心の目を通した対話 佐藤忠良の視線」
大西康彦『アデランテ（前へ）彫刻家の独言』かもがわ出版
2001年12月「醜女に醜男」
『石田城 創立100周年記念誌』長崎県立五島高等学校 2001
年3月「笹戸千津子『洋』設置の関連講演会について」
有賀次次『心のミュージアム』アートヴィレッジ 2002年4
月「美しきもの美しく いのちの本然を振りつづける彫
刻家佐藤忠良さん」『早蕨』《帽子・夏》《風の子》
澤地久枝、太田亨（写真）『愛しい旅がたみ』日本放送出版
協会 2002年8月「忠良さんのプロローグ」
加藤磐雄『おりおりの旅 おりおりの想い』里文出版 2002年
10月「尚志像」
『劇団四季のオリジナルミュージカル 異国の丘』劇団四季
2003年5月《収容所の門》
三浦綾子、三浦光世『綾子・光世 愛 つむいで』北海道新聞
社 2003年6月《三浦綾子》
『上田義彦 写真集 ポルトレ PORTRAIT』リトル・モア
2003年9月「肖像写真ほか4点（撮影2002年）」
工藤幸一『定本 工藤幸一全歌集』沖積舎 2003年9月「清遊
歴」
安野光雅『絵のある人生』岩波書店 2003年9月「佐藤忠良」
『創立80周年記念誌』大分信用金庫 2003年11月《大分信用
金庫創立者 山上猛虎 立像》[レゾネ掲載なし]
綿引幸造『彫刻を抱く自然 綿引幸造 光の呼吸』ぎょうせい
2004年3月《ひまわり》
長野市教育委員会生涯学習課（編）『長野市野外彫刻賞 30
周年記念誌』長野市 2004年5月《少女[亜古]》
大井龍司『レリーフ「おおきなかぶ」物語』2004年10月《お
おきなかぶ》
『月刊絵本「こどものとも」50年の歩み おじいさんが かぶ
を うえました』福音館書店 2005年12月《おおきなかぶ》
米倉守『美術随想 夢なら正夢 美の賑はひに誘ふ100章』
2006年1月「佐藤忠良の「祝」」
船山滋生『「声」のスケッチブック』朝日新聞社 2006年3月
「学生のころ単位が足らず…」
『福音館の児童書目録 2006』福音館書店 2006年3月 表紙に
《おおきなかぶ》絵本原画
『2006 現代日本の美術』生活の友社 2006年5月 高山淳「佐
藤忠良」《立って・女》
『写真が語る 常磐炭田の歴史』常磐炭田史研究会 2006年10
月《常磐炭田・煙突》《母子想》
桂元二『おじいちゃんから「君たちへ」今・伝えておきたい
こと』2006年11月「東京造形大学」
齊藤傑『彫刻美術館日誌 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
7年間の記録』2007年1月「佐藤忠良・こどもの世界」
に寄せて」など
『昭和の肖像 齋藤康一写真集』玉川大学出版部 2007年7月
「肖像写真」
芳村圭造『温もり 芸術と本を愛して』文芸社 2007年11月
「佐藤忠良の世界」
田中泰子『ユーラシア・ブックレット (119)「おおきなかぶ」
のおはなし』東洋書店 2008年2月《おおきなかぶ》絵
本原画
永井潔『絵と写真でたどる芸術の旅』みずさわ画廊 2008年
10月《松川覚書》のエピソード
平岩博幸『札幌芸術の森由来記』2009年8月「忘れえぬ彫刻
家 佐藤忠良先生」
『会員名簿・便覧 2010～2013』[日本美術家連盟] [2013年]
江口渉『ジュニア読物 追憶 霧の日のこと』[胡桃画廊(中

津)』
『建築に詩を創る』[日本建築企画 ムラカミスタジオ]《夏》
Instuit de France : annuaire pour 1986, Paris: Presses du
palais royal, 1986 [会員に佐藤忠良]
Instuit de France : annuaire pour 1990, Paris: Presses du
palais royal, 1989 [会員に佐藤忠良]
Annuario du bicentenaire, Paris: Instuit de France, 1995
[会員に佐藤忠良]
*Annuario della Accademia nazionale di San Luca
MCMXCI (1991)*, [Roma: L'Accademia] [1992] [会員
に佐藤忠良]
*Annuario della Accademia nazionale di San Luca
MCMXCV (1995)*, [Roma: L'Accademia] 1996 [会員に
佐藤忠良]
*Annuario della Accademia nazionale di San Luca
MCMXCVII (1997)*, [Roma: L'Accademia] 1998 [会員
に佐藤忠良]
*Annuario della Accademia nazionale di San Luca MMI
(2001)*, [Roma: L'Accademia] 2002 [会員に佐藤忠良]

(9-1-04) 関連文献 図書 切り抜き

[掲載書不明] [1987年]《鈴木次郎像》
『歯科技工学臨床研修講座(1)』医歯薬出版 [1997年5月] 表
紙に《カンカン帽》
『東北電力50年史』東北電力 2001年9月「1953 “電化元年”
の年」《群馬の人》※校正刷り
[掲載書不詳] 不詳《清水正一先生記念碑》[レゾネ掲載な
し、石膏原型番号106]
[掲載書不明] 不詳《村崎凡人像》徳島文理大学100年 [石膏
原型番号155、レゾネ掲載なし]
[掲載書不明] 不詳《柴田進像》(レリーフ) [レゾネ掲載な
し]
[掲載書不明] 不詳《はばたき》[鳥のレリーフ、レゾネ掲載
なし]
[掲載書不明] 不詳《若き日》[レゾネ掲載なし]
[掲載書不明] 不詳《帽子のチョコ》
[掲載書不明] 不詳《葛西森夫像》
[掲載書不明] 不詳《立つ少女》[日生劇場関係?]
[掲載誌不明] 不明「尚志(二高生)像」
[掲載書不明] 不明「美の迎賓館 山形グランドホテル」《帽
子・冬》
[掲載書不明] 不明「三木俊治(2人の師と共にあるセルフ
ポートレート)」《若者》
[掲載書不明] 不明 [荻須高德関係? フランス語]

(9-1-05) 関連文献 チラシ、パンフレットなど(展覧会を除く)

「二中十四期会名簿 第6号」パンフレット [二中十四期会]
[1967年9月] [会員に佐藤忠良]
「道庁あんない '68」パンフレット 北海道 [1968年]《開拓》
「北海道赤十字血液センター 業務ご案内」パンフレット 北
海道赤十字血液センター [1969年]《ひまわりと果実》
「昭和四十五年度 北海道新聞文化賞」パンフレット 北海道
新聞社 [1970年11月]《歎》(北海道新聞文化賞) [レゾ
ネ掲載なし、石膏原型番号451 [S 544]]
「道東の四季像完成祝賀会 式次第」パンフレット 幣舞橋彫
像設置市民の会・札幌市 [1977年5月] 道東の四季《夏》
「長野市の野外彫刻」パンフレット [長野市野外彫刻賞運営

員会]1978年3月《二歳》《少女〔亜古〕》
 「文化講演会のおしらせ」チラシ [1980年]7月10日 札幌市教育文化会館小ホール佐藤忠良「彫刻と私」
 「大野精七博士顕彰碑」パンフレット 大野清七博士顕彰碑 建立期成会 1982年3月《大野精七博士顕彰碑》
 「若い女の像」序幕記念 大泉町発足25周年記念事業」パンフレット 大泉町 1983年4月《若い女の像》ほか
 「美術講演会のご案内」案内ハガキ 1984年8月14日 福岡市美術館 佐藤忠良(彫刻家)「彫刻と私」、ほか
 「もり森募金」パンフレット 札幌芸術の森基金推進委員会 [1986年?]《女・夏》
 「十和田市立中央病院」パンフレット [十和田市立中央病院]1986年《早蕨》
 「山形美術館新館オープン記念特別講演録」パンフレット 1986年3月18日 山形グランドホテル [モニック・ローラン]
 「放送大学 昭和63年度」パンフレット 放送大学 [1988年]《ブーツの少女》
 「第4回個展によせて」中川繁明 1988年10月「忠良さんの話しは脳天に突き刺さった。」
 「朝日賞 朝日社会福祉賞 朝日体育章 受賞の人々」パンフレット 朝日新聞社 [1989年]
 「佐藤忠良・佐藤オリエ ファミリートーク」パンフレット [河北 TBC カルチャーセンター]1990年10月15日 電力ホール
 [チラシか] [1991年10月]《夏の像》[大泉町]※切り抜き
 「アートフォーラム 日本彫刻界を代表する『佐藤忠良先生を囲んで』1992年3月30日 角田市市民センター大ホール
 「新潟県立近代美術館開館記念講演会 佐藤忠良「私と彫刻」」パンフレット 1993年7月14日 長岡グランドホテル
 「一般国道7号 古川こ線橋 古河拡幅事業」パンフレット 建設省 東北地方建設局 青森工事事務所 1993年11月《裸のリン》
 「二中十四期会名簿」パンフレット [二中十四期会] [1997年10月] [会員に佐藤忠良]
 「彫刻散歩道」パンフレット 現代日本野外彫刻展事務局 [1999年]《漁翁の女》《冬の子供》《脚を組んだ女》
 「水戸市文化栄誉賞」パンフレット 2001年1月《水戸市文化栄誉賞》[レゾネ掲載なし]
 [J・A・A 「30周年記念オークションのご案内」チラシ 2001年7月17日-18日 洋協アートホール 2001年7月《風》
 「緑と彫刻のある町「津奈木」彫刻マップ」パンフレット? [津奈木町]《トルソ》※複写
 「常長の想いを今に伝える」パンフレット 大郷町、大郷町教育委員会社会教育課《支倉常長像》
 「ようこそまほろばの国へ」パンフレット [大和町]「まほろばホール 佐藤忠良ギャラリー」※校正刷り
 「美しい街、彫刻の街。あさひかわ彫刻散策マップ」旭川信用金庫

(9-2-01) 関連文献 展覧会 図録

『第1回 現代日本美術展画集』1954年5月19日-6月5日 東京都美術館 ほか《はだか》
 『第2回 現代日本美術展画集』1956年5月22日-6月8日 東京都美術館 ほか《伏せる女》
 『第4回 日本国際美術展』[1957年5月23日-6月15日 東京都美術館 ほか]《足なげる女》

『第4回 日本国際美術展画集』1957年5月23日-6月15日 東京都美術館 ほか《足なげる女》
 『第3回 現代日本美術展画集』1958年5月15日-6月2日 東京都美術館 ほか《屈する女》
 『第5回 日本国際美術展画集』1959年5月9日-6月2日 東京都美術館 ほか《娘[娘の像]》
 『第4回 現代日本美術展画集』1960年5月10日-29日 東京都美術館 ほか《画学生[えい]》《朝倉撰》
 『第6回 日本国際美術展』1961年5月10日-30日 東京都美術館《女の顔》
 『第6回 日本国際美術展作品集』1961年5月10日-30日 東京都美術館、ほか《女の顔》
 『62年展図録』1962年1月16日-21日 白木屋(東京) ほか《少女と山羊》
 『第7回 日本国際美術展』1963年5月10日-30日 東京都美術館 ほか《脚のばす女》
 『64年展図録』[1964年]1月17日-1月22日 白木屋(東京) ほか《靴下[脚のばす女]》
 『第8回 日本国際美術展』1965年5月10日-5月30日 東京都美術館 ほか《冬の子供》
 『第7回 現代日本美術展 特展・ヨーロッパと日本 印象派とその周辺』[1966年5月10日-30日 東京都美術館 ほか]《冬のオリエ》
 『67年展図録』1967年1月13日-18日 白木屋(東京) ほか《少女[バスタオル]》
 『第7回 現代日本美術展画集』1966年5月10日-30日 東京都美術館 ほか《冬のオリエ》
 『第9回 日本国際美術展』1967年5月10日-30日 東京都美術館、ほか《女[モデル]》
 『68年展図録』1968年1月16日-25日 東京セントラル美術館 ほか 出品作不詳
 『[第1回] 神戸須磨離宮公園現代彫刻展』1968年10月1日-10日 神戸市須磨離宮公園《うずくまる女》
 『69年展図録』1969年1月17日-26日 東京セントラル美術館 ほか《風》[レゾネ掲載なし]
 『第9回 現代日本美術展画集』1969年5月10日-30日 東京都美術館 ほか《はだか》
 『開館記念 現代美術精鋭作家展図録』1971年3月7日-28日 宮崎県総合博物館《うずくまる裸婦》
 『第2回 現代国際彫刻展 現代世界の間人像』1971年7月1日-11月30日 彫刻の森美術館《若い女》
 『第4回 北海道秀作美術展』1971年10月17日-11月3日 北海道立美術館 ほか 表紙に《ボタン》
 『戦後日本美術の展開 具象表現の変貌』1972年2月8日-3月12日 東京国立近代美術館《群馬の人》《冬のこども》
 『現代の眼 近代日本の美術から』1972年9月6日-11月5日 東京国立近代美術館《群馬の人》《やせた女》
 『現代日本美術展 現代美術20年の展望』1973年5月10日-5月30日 東京都美術館《帽子・夏》
 『現代彫刻20展』1973年10月2日-14日 東京セントラル美術館《ふざけっ子》《演技生》《空よ》
 『開館20年記念図録 現代の眼 近代日本の美術から』1972年9月6日-11月5日 東京国立近代美術館《群馬の人》 [1974年3月発行。1972年同展図録に作品を補足]
 『現代彫刻20展』1974年9月3日-15日 東京セントラル美術館《帽子・夏》《チョコ73》《気どったポーズ》
 『第39回 河北美術展』1975年5月2日-13日 藤崎[審査年度一に佐藤忠良]
 『現代彫刻の11人展』1975年9月18日-22日 大和新潟店6階

中ホールアートサロン《群馬の人》《チコ・73》《リュウ》《蘇りの踊り》《気どったポーズ》《帽子立像》

『現代彫刻の5人 植木茂・佐藤忠良・舟越保武・堀内正和・柳原義達』1976年6月12日-7月18日 兵庫県立近代美術館《群馬の人》《やせた女》《水》《足なげの女》《エイ》《若い女》《ふざけっ子》《冬の子供》《男の顔》《CHIKO》《若い女》《帽子・夏》《円い椅子》《チコ・73》《帽子・立像》《カンカン帽》、デッサン10点

『頭像展』1976年6月6日-8月31日 彫刻の森美術館《カンカン帽》

『明治・大正から昭和へ「近代日本美術の歩み」展 図録』1979年9月1日-10月28日 東京都美術館(上野公園内)ほか《帽子・夏》

『開館5周年記念 現代彫刻の歩み展 41人の作家による戦後彫刻の足跡』1980年2月23日-3月16日 神奈川県立県民ホール・ギャラリー《帽子・立像》

『第28回 平和美術展』1980年7月31日-8月12日 東京都美術館《フードの竜》

『ロダンにはじまる創造の軌跡 近代から現代まで 国際彫刻展』1980年10月18日-11月3日 パルクアベニューカワトク6階 川徳美術館《若い女》《帽子・立像》《記録を作った男の顔》《フードの竜(小)》《布をもつ Y子》

『第15回 現代日本美術展 21世紀美術界への群像』1981年4月26日-6月14日 東京都美術館 ほか《若い女》《ボタン》《カンカン帽》

『開館記念特別展 第2部 所蔵作品展 みやぎの美術』1981年12月12日-1982年1月31日 宮城県美術館《若い女》

『第47回 河北美術展』1983年4月27日-5月9日 丸光8階ホール(仙台) [審査年度一覧に佐藤忠良]

『現代日本美術の展望 立体造形展』1983年11月1日-12月15日 富山県立近代美術館《若い女の像》《記録を作った男の像》

『視覚障害者のための手で見る"ギャラリー・TOM" 開館記念展 ロダンから現代まで』1984年4月3日-6月2日 ギャラリー・TOM《たつろう》《ミナー年生》

『現代彫刻の転換 1930~80 第8回現代彫刻の展開4』1984年7月24日-8月4日 ギャラリーせいほう《ふざけっこ》

『滋賀県立近代美術館開館記念協賛展 現代日本彫刻の流れ』1984年8月25日-9月24日 西武ホール(大津)《二歳(大)》《帽子・夏》

『本郷新の仲間達展』1984年10月16日-12月2日 札幌彫刻美術館《常磐の大工》《やせた女》《帽子・立像》《記録を作った男の顔》《帽子》

『第1回現代日本具象彫刻展』1985年2月2日-24日 千葉県立美術館《緑の風(エスキース)》

『視覚障害者のためのギャラリー・TOM 開館1周年記念展 手で見る・人と動物』1985年4月23日-5月31日 ギャラリー・TOM《少年の像》《このはずく》

『仙台市・彫刻のあるまちづくり推進 河北新報創刊88周年記念 近代巨匠彫刻展 ロダンから忠良まで』1985年9月13日-25日 藤崎《記録をつくった男の顔》《少年の像》《脚を組むリカ》

『世田谷美術館所蔵作品展 世田谷の美術』1986年3月30日-5月5日、5月8日-6月22日 世田谷美術館《トルソ》

『庭園美術館へのいざない 12人の現代彫刻家』1986年3月2日-4月16日 東京都庭園美術館《はだか》《ふざけっこ》

『ヒューマニズムの変容 近代彫刻の歩み ロダン以降の巨匠と日本的受容』1986年9月6日-10月5日 いわき市立美術館《たつろう》《常磐の大工》《ふざけっ子》《帽子・

あぐら》

『世界の有名画家10代の作品展』1987年7月20日-8月16日 札幌芸術の森アートロビー《冬の裏町(札幌)》

『創立20周年記念展 現代日本の彫刻』1986年8月20日-9月3日 現代彫刻センター(東京)ほか《ジーンズ・夏(エスキース)》

『明治・大正・昭和・彫刻家の素描展』1988年5月23日-6月25日 画廊薫《裸婦》《裸婦》

『精鋭12名 生命賛歌の息吹き 現代彫刻・1980年代の作家たち』1988年6月1日-7月18日 協和銀行本店2Fロビー《オリエ'85》《あぐら》《朔先生》《裸》

『企画展 近代日本彫刻の歩み展 西欧との出会い』1988年11月3日-12月18日 静岡県立美術館《帽子・夏》

『第44回 全道展』1989年7月6日-24日 札幌市民ギャラリー ほか《脚を組む女》

『片山攝三写真展 モノクロームの軌跡50年』1989年10月14日-11月19日 福岡県立美術館 [肖像写真]

『現代具象彫刻の奔流展』1990年1月11日-16日 日本橋高島屋6階美術画廊《裸・ゆみ》《夏の像》《ユミ》

『人のかたち、いろいろ 国立国際美術館のコレクションから』1990年3月9日-20日 近鉄アート館《帽子・立像》

『メナード美術館名作展 ヨーロッパと日本近代の絵画と彫刻』1990年5月26日-7月8日 ブリヂストン美術館《ふざけっこ》《帽子・冬》

『近代彫刻の流れ 西洋と日本』1990年9月29日-11月4日 北海道立旭川美術館《帽子・立像》

『日本近代彫刻の一世紀 写実表現から立体造形へ』1991年5月15日-6月16日 茨城県近代美術館 ほか《群馬の人》《帽子》

『日本の具象彫刻』1992年8月1日-9月3日 彫刻の森美術館 マルチホール《エイ》《若い女》《カンカン帽》《記録をつくった男の顔》

『ある日の作家 執行季信・仕事の中から』[1992年10月27日-11月6日 靖雅堂 夏目美術店] [肖像写真]

『日本現代彫刻の系譜 収蔵作品による図録』1993年10月30日-12月12日 富山県立近代美術館《群馬の人》

『日本の美術 よみがえる1964年』1996年1月13日-3月24日 東京都現代美術館《ふざけっこ》

『芸術家の肖像 片山攝三写真展』1996年11月9日-12月23日 三鷹市美術ギャラリー [肖像写真]

『特別展「瓦と喜怒哀楽」』1997年10月10日-11月9日 高浜市やきものの里かわら美術館 素描:《学生》《うれ》《チコ》、ブロンズ:《うれ》《風の子》

『具象彫刻の真髓 佐藤忠良・舟越保武二人展』1997年10月31日-11月24日 富山市民プラザ・アートギャラリー ブロンズ31点

『日本近代美術の潮流 東京国立近代美術館名品展』1997年11月1日-12月14日 宇都宮美術館《群馬の人》

『ヒューマニズムの系譜 日本の具象彫刻10人展:1930s-1950s』1998年5月16日-6月14日 北海道立旭川美術館 ほか 中村聖司 [作家解説]、ブロンズ8点、素描3点

『大地の造形 東北の彫刻家たち』1998年8月29日-10月11日 秋田県立近代美術館《常磐の大工》《帽子・夏》

『佐藤忠良と笹戸千津子の足跡』1999年9月30日-2000年3月12日 佐川美術館 ブロンズ41点、素描10点、酒井哲朗『「佐藤忠良と笹戸千津子の足跡」展に思うこと」、山根基世「コッコ」

『芸大美術館所蔵名品展』1999年10月5日-12月5日 東京芸術大学美術館《あぐら 1985》

『精神の資産家による愛のテディベア展(対人地雷撤去活動支援チャリティ)』[2000年 東京日本橋三越本店7階] [《フード》《帽子》と題したテディベア出品。呼び掛け人]

『20世紀・日本彫刻物語』2000年5月27日-7月16日 芸術の森美術館《群馬の人》《帽子・夏》参考図版:《足なげる女》《顔》《少年の像》《冬の像》《女・夏》

『東京芸大美術館名品展』2000年6月24日-7月30日 茨城県近代美術館 ほか《あぐら 1985》

『没後三十年 郷土が生んだ日本画家 野島青茲展』2001年1月4日-2月12日 浜松市美術館 ほか[発行は2000年、《塑像》は朝倉撰と佐藤忠良がモデル、1952年年譜写真「右から、佐藤忠良、朝倉撰、野島青茲」]

『つなぎ美術館開館記念 佐藤忠良 浜田知明 彫刻展』2001年4月2日-6月5日 つなぎ美術館 ブロンズ13点

『開館20周年記念 本郷新とゆかりの作家展』2001年8月10日-9月24日 札幌彫刻美術館 ブロンズ6点、素描2点

『日本近代彫刻の流れ』2002年7月27日-8月25日 北網圏北見文化センター《帽子・立像》

『東北の美 縄文から現代まで』2002年8月31日-10月14日 福島県立美術館《常磐の大工》

『美を愛する眼 珠玉のコレクション展』2003年12月11日-2004年2月1日 山形美術館《プレザー》《裸婦》

『北海道美術Ⅱ・戦後の展開期 1946-1970』2004年7月27日-9月20日 市立小樽美術館 ほか《演劇生》

『立木義浩 作品展「人間列島」』2006年1月5日-29日 JCII フォトサロン [肖像写真]

『開館25周年記念 所蔵作品による全館展示 コレクションの四半世紀』2006年4月8日-5月28日、6月3日-7月30日 宮城県美術館 佐藤忠良記念館 彫刻57点、素描36点、佐藤忠良コレクション23点

『春季特別展 子供の情景』2006年4月21日-6月4日 井原市立田中美術館《ともちゃん》《フードの竜》

『空間に生きる 日本のパブリックアート』2006年10月1日-29日 札幌芸術の森美術館 ほか《二歳》

『日本彫刻の近代』2007年8月7日-9月17日 宮城県美術館 ほか《たつろう》《群馬の人》

『馬たちがいた 加藤多一と北の風景』2008年4月26日-6月15日 北海道立文学館『原野にとぶ籠』表紙・挿絵34点、加藤多一「忠良さんの原画のこと」

『美連協25周年記念 日本の美術館名品展』2009年4月25日-7月5日 東京都美術館《帽子・夏》

『素描の技・時を刻む線描展』2010年7月17日-9月20日 市立小樽美術館 素描7点《横向く女》《未菜 ひるね アトリエ》《母》《オリエ》《達郎》《少女》《未菜13歳》

Le Japon: Sculpture moderne, 1935-1955, 25 Mai - 15 Septembre 1997, Mont-de-Marsan: Despiau-Wlérick Museum [《母の顔》《たつろう》《群馬の人》《やせた女》《木曾》《水》《土》《常磐の大工》]

Modernité Japonaise, Catalogue, Bronze, Céramique, Peinture, Photographie d'aujourd'hui, 2000, Paris: Hôtel de la Monnaie de Paris [《ブーツの娘》Collection de l'UNESCO《若い女》][Monnaie de paris バリ造幣局]

(9-2-02) 関連文献 展覧会 チラシ、パンフレットなど

『中谷泰、佐藤忠良、朝倉撰 3人展』案内ハガキ 1955年5月17日-21日 サエグサ画廊

『現代彫刻代表作家展 六彫展』パンフレット 1971年2月6

日-14日 仙台美術館

『読売・現代彫刻10人展』封筒 1974年4月12日-17日 西武百貨店池袋店6階特設会場

『現代彫刻20人展』パンフレット 1974年4月19日-23日 藤崎

『現代彫刻代表作家展』案内ハガキ [1975年6月5日-10日] [丸井今井か] 大通新館8階催事場

『“道東の四季展” 釧路幣舞橋のための彫刻・四人の作家による』案内ハガキ 1977年4月14日-20日 現代彫刻センター

『現代日本彫刻代表作家 オリジナル・リトグラフ四人展』案内ハガキ [1977年6月17日-21日] [丸井今井か] 大通新館7階美術ギャラリー

『仙台市彫刻のあるまちづくり記念 佐藤忠良・舟越保武二人展』案内ハガキ 1978年4月21日-26日 藤崎

『現代彫刻代表作家10年の歩み 六彫展』招待券、案内状 1979年10月18日-23日 日本橋高島屋8階催事場

『すまい第38回巨匠シリーズ 現代巨匠5人展』案内状 1981年7月19日-8月9日 すまいギャラリー

『北の彫刻展』チラシ、招待券 1982年7月31日-8月29日 札幌彫刻美術館・彫刻庭園

『すまい7周年記念特別企画 精選6人展』案内状 1982年10月31日-11月21日 すまいギャラリー

『近・現代日本の彫刻』チラシ 1984年1月6日-2月12日 山口県立美術館

『佐藤忠良 舟越保武 新版画集刊行記念展』案内ハガキ 1984年6月18日-24日 大同ギャラリー

『佐藤忠良・舟越保武版画展』案内ハガキ 1984年7月11日-20日 ギャラリーブチフォルム

『おかざき世界子ども美術博物館開館記念特別展1ピカソもかつては子どもだった！ 著名美術家の10代作品展』出品目録 1985年5月4日-19日 岡崎地域文化広場 親子造形センター

『佐藤忠良・舟越保武版画二人展』案内ハガキ [1985年] 10月4日-9日 渋谷・東急本店

『すまいシリーズ第80回記念特別企画 精選6人展』パンフレット 1985年11月1日-30日 すまいギャラリー

『常設収蔵作品展 第三期』目録 1985年12月13日-1986年3月16日 千葉県立美術館

『第13回 椿会美術展』案内状 1986年5月12日-25日 資生堂ギャラリー 資生堂パーラービル9階

『宮城県美術館 角田移動美術館』チラシ 1986年10月25日-11月3日 角田市市民センター

『船山馨先生絶筆作品“茜色の坂”原稿・挿絵展』パンフレット [1987年]8月1日-[終了日不明] 五島軒本店メモリアルホール 蘆火野

『佐藤忠良 加山又造 新版画展』案内ハガキ 1987年10月12日-24日 永井画廊

『すまいシリーズ第100回記念特別企画 精選10人展』パンフレット 1987年11月1日-30日 すまいギャラリー

『第15回椿会美術展』案内状 1988年5月16日-29日 資生堂ギャラリー

『現代彫刻・1980年代の作家たち展』チラシ 1988年6月1日-7月18日 協和銀行 本店2階ロビー

『現代彫刻・1980年代の作家たち展』チラシ 1988年7月20日-8月3日 エル・パーク仙台 ギャラリーホール

『柳原義達 佐藤忠良 舟越保武 彫刻展』パンフレット 1988年11月15日-20日 三越高松店 2階美術画廊

『すまい第120回シリーズ 精選10人展』パンフレット 1989

年11月2日-30日 すまいギャラリー
 「手で見る美術展」チラシ 1989年12月7日-17日 練馬区立美術館
 「現代具象彫刻の奔流展」パンフレット 1990年8月23日-28日 松坂屋本店 8階美術画廊
 「宮城の美術家 開館10周年記念」チラシ 1991年5月3日-7月7日 宮城県美術館
 「創立15周年記念 すまい第140回シリーズ 精選10人展」1991年11月1日-30日 すまいギャラリー
 「私は人間である・芸術と人生 対談集・発刊記念 彫刻界の巨匠 佐藤忠良・舟越保武2人展」案内ハガキ 1992年3月11日-16日 ギャラリーカワトク
 「すまい第162回シリーズ 精選10人展」パンフレット 1993年11月2日-30日 すまいギャラリー
 「彫刻家の素描展 旭川市彫刻美術館開館記念 中原悌二郎 賞受賞作家による」チラシ 1994年6月1日-8月7日、8月9日-10月10日 旭川市彫刻美術館
 「すまい第176回シリーズ すまい20年の歩み展・PART・II」パンフレット 1995年3月25日-4月25日 すまいギャラリー
 「連翹会第4回展」パンフレット 1996年3月28日-4月2日 資生堂ギャラリー
 「佐藤忠良とその周辺展」案内ハガキ 1997年1月5日-2月15日 すまいギャラリー
 「佐藤忠良と猪熊弦一郎展」チラシ 1997年1月18日-3月30日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
 「佐藤忠良と笹戸千津子展」チラシ 1997年3月18日-25日 石見沢市文化センター
 「佐川美術館 開館記念特別展「平山郁夫・佐藤忠良の世界」案内状 1998年3月22日-5月31日 佐川美術館
 「絵本原画の世界「こどものとも」の絵画表現 1956-1997」チラシ 1998年4月18日-6月21日 宮城県美術館
 「平山郁夫・佐藤忠良の世界」チラシ [開始日不明]-1999年9月26日 佐川美術館
 「響きあう彫刻 佐藤忠良 舟越保武2人展」チラシ 1999年9月9日-11月7日 ハウステンボス美術館
 「佐藤忠良と笹戸千津子の足跡」チラシ、招待券 1999年9月30日-2000年3月12日 佐川美術館
 「響きあう彫刻 佐藤忠良 舟越保武2人展」チラシ 1999年11月12日-12月23日 大分市美術館
 「彫刻家のデッサンと小品 佐藤忠良・舟越保武・柳原義達 日本の巨匠 三人展」パンフレット、案内ハガキ 2000年2月16日-3月3日 常陽藝文センター 4階 藝文アリーナ
 「響きあう彫刻 佐藤忠良 舟越保武2人展」チラシ (2種) 2000年7月8日-8月6日 唐津市近代図書館 美術ホール
 「佐藤忠良記念館 常設展示目録」2000年10月2日-12月24日 宮城県美術館
 「佐藤忠良・舟越保武 二人展」チラシ 2001年2月9日-3月11日 呉市立美術館
 「佐藤忠良・舟越保武 二人展」チラシ 2001年10月5日-11月4日 島根県立美術館
 「はじめての美術 絵本原画の世界展」チラシ 2002年4月13日-6月9日 練馬区立美術館
 「東北の作家と風土」チラシ 2002年9月20日-11月4日 井原市立田中美術館
 「炭鉱(ヤマ)へのまなざし 常磐炭鉱と美術」チラシ 2004年7月17日-8月29日 いわき市立美術館
 「佐藤忠良といわさきちひろ 共鳴するまなざし」チラシ 2005年7月13日-9月11日 ちひろ美術館(東京)

「空間に生きる 日本のパブリックアート展」チラシ 2006年11月5日-12月24日 世田谷美術館
 「Finish and Begin 夕張市美術館の軌跡、明日へ」チラシ 2007年2月11日-3月25日 夕張市美術館
 「佐藤忠良と二人の彫刻家」[岩野勇三・笹戸千津子]チラシ (2種) 2009年4月25日-8月2日 北の大地美術館(中札内美術村)・六花亭ホール kyū (帯広市内)

(9-2-03) 関連文献 展覧会 ポスター

「第4回 北海道秀作美術展」[1971年]10月17日-11月3日 北海道立美術館
 「近代日本の素描展」[1972年]2月13日-27日 兵庫県立近代美術館
 「現代美術20年の展望 現代日本美術展」[1973年]8月29日-9月3日 福岡玉屋
 「読売・現代彫刻10人展」(2種) [1974年]4月12日-17日 西武池袋店
 「現代彫刻の5人」1976年6月12日-7月18日 兵庫県立近代美術館
 「頭像展」1976年6月6日-8月31日 彫刻の森美術館
 「仙台市彫刻のあるまちづくり記念 佐藤忠良・舟越保武 二人展」1978年4月21日-26日 藤崎
 「第27回 平和美術展」1979年8月1日-12日 東京都美術館
 「第34回 全道展」[1979年]8月2日-12日 北海道立近代美術館
 「昭和54年度 移動美術館」1979年8月18日-23日 倶知安町 公民館
 「すまいシリーズ100回記念 精選10人展」1987年11月1日-30日 すまいギャラリー
 「現代彫刻・1980年代の作家たち展」1988年7月20日-8月3日 エル・パーク仙台 ギャラリーホール
 「『私は人間である 芸術と人生』発刊記念 彫刻界の巨匠 佐藤忠良 舟越保武展」[1992年]2月11日-3月8日 光悦洞美術館
 「区制施行60周年記念 第28回杉並区美術家展」1992年6月5日-9日、12日-16日 セシオン杉並ギャラリー
 「佐藤忠良と猪熊弦一郎展」1997年1月18日-3月30日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
 「世界的写真家ベンジャミン・リー氏 彫刻家佐藤忠良の世界写真展」[1997年]10月9日-13日 丸森町民センター
 「佐藤忠良・舟越保武2人展」1997年10月31日-11月24日 富山市民プラザ・アートギャラリー
 「佐藤忠良 舟越保武2人展」(2種) 1999年7月2日-25日 北九州市立美術館
 「佐藤忠良 舟越保武2人展」2001年10月5日-11月4日 島根県立美術館
 「小磯良平と佐藤忠良展」(2種) 2008年4月24日-6月22日 佐川美術館

(9-3) 関連文献 逐次刊行物

『美之國』14(11) 美之國社 1938年11月 大蔵雄夫「彫刻部鳥瞰」《女》[第2回文展]
 『造形藝術』2(8) 造形藝術社 1940年8月 尾形多計「新制作 派春季展」《座像》[レゾネ掲載なし]
 『別冊 アトリエ』(34) アトリエ出版社 1957年5月 高見順「佐藤忠良」(撮影・杉村恒)
 『週刊現代』12(43) 講談社 1970年10月22日 [《ジーパン》に

ついて]

- 『週刊朝日』(2772)朝日新聞社 1972年1月14日 小川正隆「日本の造形(2) 佐藤忠良」
- 『三彩』(285)三彩社 1972年3月(淡)「彫刻家佐藤忠良の素描」
- 『三彩』(293)三彩社 1972年10月 藤本韶三「画室訪問 佐藤忠良」(撮影:藤本四八)
- 『三彩』(295)三彩社 1972年11月 原田実「新制作協会展をみる」
- 『季刊 現代彫刻』(1) 聖豊社 1972年11月「人・その作品」
- 『月刊ビジョン』3(11)ビジョン企画出版社 1973年11月 中村傳三郎「新制作展・彫刻」
- 『季刊 現代彫刻』(5) 聖豊社 1973年12月「関西のある彫刻展」 「展覧会雑感(1) [佐藤忠良展(銀座・松屋)評] 米倉守「彫刻季評」
- 『週刊新潮』(925)新潮社 1973年12月13日「新潮ギャラリー」 《円い椅子》《帽子・あぐら》
- 『朝日ジャーナル』(771)朝日新聞社 1973年12月14日(SOR) 「昭和期彫刻の一結実—佐藤忠良の個展から—」
- 『サンデー毎日』(2908)毎日新聞社 1974年5月12日「具象彫刻実力派10人の作品展」
- 『季刊 現代彫刻』(6) 聖豊社 1974年7月 米倉守「生活空間へ」
- 『藝術新潮』(298)新潮社 1974年10月「[現代彫刻20]展」
- 『季刊 現代彫刻』(7) 聖豊社 1974年11月「特集:都市空間へのアプローチ」 《若い女》
- 『月刊ビジョン』4(11)ビジョン企画出版社 1974年11月 水上杏平「《若い裸》評」
- 『海の世界』(1728)日本海事広報協会 1975年4月1日 金吾大介「海に生きた人々 (1) 支倉常長」 《支倉常長像》
- 『月刊 旭川春秋』(125)月刊 旭川春秋社 1975年11月 表紙に《帽子・立像》「こんにちは旭川」
- 『藝術新潮』(312)新潮社 1975年12月「六彫展」
- 『藝術新潮』(313)新潮社 1976年1月「六彫展」
- 『三彩』(346)三彩社 1976年6月「特別展 現代彫刻の五人」
- 『三彩』(347)三彩社 1976年7月「特別展 現代彫刻の五人」
- 『藝術新潮』(320)新潮社 1976年8月「日本の近代彫刻史を集約する「頭像」展」
- 『日本美術』(132)日本美術社 1976年8月 日野耕之祐「近代日本のユニークな彫刻史」
- 『季刊 現代彫刻』(10) 聖豊社 1976年9月 匠秀夫「近代の肖像彫刻」
- 『経済ジャーナル』18(10) 麴町出版 1976年10月「美術往来 佐藤忠良」
- 『週刊読売』(1461)読売新聞社 1976年10月2日「プロ野球ファン「私の好きなチーム」芸術家編」
- 『季刊現代彫刻』(12) 聖豊社 1977年3月「第6回中原悌二郎賞《カンカン帽》」
- 『旭川春秋』(141)月刊 旭川春秋 1977年3月1日 馬場昭「旭川に美術館をつくろう」
- 『藝術新潮』(329)新潮社 1977年5月1日「第5回 現代彫刻センター展」
- 『三彩』(358)三彩社 1977年6月「釧路市新ヌサマイ橋と神戸市の異人館」
- 『藝術新潮』(331)新潮社 1977年7月「現代彫刻の絵段」
- 『PeBe』(9)らんる者 1977年9月 対談:松田松雄、山崎保寿「ん・だもんだ対談」
- 『せんだい』(6)仙台市市長室広報課「1978年6月」 「ささやく緑 台原森林公園」

- 『週刊新潮』(1196)新潮社 1978年9月21日「私の好きな場所・好きなもの(養蜂場のフタ)彫刻家 佐藤忠良」
- 『三彩』(374)三彩社 1978年11月 多田信一「秋季展第二陣 新制作・一陽会・一水会」
- 『市民のグラフ こうべ』(78)神戸市広報課 1979年3月 乾由明「まちかどに漂う文化の香り」
- 『文藝春秋』57(5) 文藝春秋 1979年5月「〈日本の顔〉佐藤忠良」(撮影:井上隆夫)
- 『朝日ジャーナル』(1069)朝日新聞社 1979年8月10日(留) 「類型を脱皮した小学校図工教科書」
- 『週刊文春』21(46) 文藝春秋 1979年11月15日「街角に彫刻を 仙台・芸術都市のこころみ」
- 『ピロティ 兵庫県立近代美術館ニュース』(34) 兵庫県立近代美術館 1979年12月「紙上美術館 佐藤忠良作「若い女」
- 『グラフNHK』(413) NHK サービスセンター 1980年3月 朝倉撰(談)「佐藤忠良(彫刻)」
- 『藝術新潮』(363)新潮社 1980年3月「彫刻家の版画—佐藤+舟越—」
- 『みづうみ』3(21) 十和田市立中央病院 1980年3月 末松保政「十和田市立中央病院のためのモニュメント 早蕨」
- 『ホームギャラリー』(2) エーアイシー 1980年7月「佐藤忠良の少女三態」
- 『ブロンズ八千代』(15) [八千代にシンボルを創る市民の会] 1980年8月15日「佐藤忠良先生のアトリエを訪問」
- 『広報やちよ』(300) 八千代市役所 1980年8月15日「ブロンズ像も着々 村上橋架け替え工事順調」
- 『宮城県美術館建設準備ニュース』(1) 宮城県美術館建設準備室 1981年3月「パリの佐藤忠良展に作品が貸し出されました」
- 『みづうみ』5(35) 十和田市立中央病院 1981年5月「フランス国立美術館佐藤忠良展記念誌 ロダン美術館長モニックローラン「序文」から」
- 『美術館からのお知らせ』(9) 国立国際美術館 1981年6月22日「ブロンズの詩 佐藤忠良展」国立国際美術館
- 『万博公園だより』(28) 日本万国博覧会記念協会 1981年7月「ブロンズの詩 佐藤忠良展」国立国際美術館
- 『万博公園だより』(29) 日本万国博覧会記念協会 1981年8月「ブロンズの詩 佐藤忠良展」国立国際美術館
- 『アートグラフ』(13) 協和出版 1981年8月 本間正義「佐藤忠良の美 抑制に秘める起爆力」
- 『みづゑ』(918) 美術出版社 1981年9月 峰恭介「いま美術教科書は 業界の厚い壁と現場の苦悩」
- 『藝術新潮』(381) 新潮社 1981年9月「時の人 ロダン美術館 個展の里帰り展を開いた 佐藤忠良」
- 『ホームギャラリー』(7) エーアイシー 1981年10月「佐藤忠良の絵と彫刻」、クロード・パレス「ロダン美術館にて「佐藤忠良」—不思議な日本—、本間正義「気の強い芸術」
- 『婦人と暮し』(76) 潮出版社 1981年10月 佐藤オリエ「私の親父(10) 気ままな自由人に感謝」(撮影:浦充伸)
- 『現代彫刻』(52) 聖豊社 1981年10月「展覧会」[新制作展評]
- 『現代彫刻』(53) 聖豊社 1981年11月「レポート「天才塾」 具象彫刻をめざす若者たち」
- 『経済ジャーナル』23(12) 麴町出版 1981年12月「美術往来 佐藤忠良 彫刻」
- 『足利文林』(6) 足利文林会 1981年12月 斉藤重二「佐藤忠良パリ展とヨーロッパ美術の旅から〈I〉」
- 『三彩』(412) 三彩社 1982年1月「三彩総目次 No.400 ~ 411

- 〈1981.1～12〉
- 『サンデー毎日』(3343) 毎日新聞社 1982年2月7日「ロダン美術館展示作品の帰国記念展を開いた佐藤忠良」
- 『夕張文化』(27) 夕張市文化協会 1982年3月「夕張と文化人 佐藤忠良 創造の姿勢に学ぶ」
- 『芸術新潮』(387) 新潮社 1982年3月「佐藤忠良芸術の問題点」
- 『足利文林』(7) 足利文林会 1982年3月 齊藤重二「佐藤忠良 パリ展とヨーロッパ美術の旅から〈Ⅱ〉」
- 『探美 広島県立美術館友の会会報』(31) 広島県立美術館友の会事務局 1982年4月 高木茂登「ブロンズの詩 佐藤忠良展」
- 『落合文化』(1) 落合文化同好会 1982年8月 川西政明「船山馨の人と文学」
- 『足利文林』(8) 足利文林会 1982年6月 齊藤重二「佐藤忠良 パリ展とヨーロッパ美術の旅〈Ⅲ〉」
- 『足利文林』(9) 足利文林会 1982年11月 齊藤重二「佐藤忠良 パリ展とヨーロッパ美術の旅〈Ⅳ〉」
- 『週刊朝日』(3392) 朝日新聞社 1983年1月7日 対談：神津義行、森繁久彌「神津義行の好奇心対談」
- 『一枚の繪』(138) 一枚の繪 1983年4月「現代彫刻への招待 佐藤忠良」
- 『オキナワグラフ』(277) オキナワグラフ社 1983年5月「瞑想の森に“少年”の像建立 ここに平和あり」
- 『世界』(454) 岩波書店 1983年9月 谷川彰英「教科書」問題と教育実践」
- 『いわき市美術館建設ニュース』いわき市美術館・博物館準備室 1983年10月25日《帽子》
- 『アトリエ』(682) アトリエ出版社 1983年12月「佐藤忠良 ニューヨーク展」《若い女の像》、ほか
- 『芸大期成会だより』(6) 国立札幌芸術大学誘致期成会 1984年3月1日《雪娘》《えぞ鹿》
- 『中央公論』(1177) 中央公論社 1984年3月「女30代と男たちの風景③山根基世」(撮影：郷司正巳)
- 『紀要』(4) 北海道立近代美術館 1984年3月 佐藤友哉「佐藤忠良 戦後具象彫刻の成熟」
- 『ブロンズしろいし』(創刊号) 新しい白石の顔をつくる市民の会会報 1984年4月 朝倉松雄「銅像からブロンズ像へ」
- 『ブロンズしろいし』(2) 新しい白石の顔をつくる市民の会会報 1984年5月「ブロンズ作家 佐藤忠良先生」
- 『月刊美術』(104) サン・アート 1984年5月 秋山庄太郎「現代日本の作家たち 佐藤忠良」
- 『すこやかファミリー』(113) 社会保険法規研究会 1984年6月「この道ひと筋」
- 『広報 へきなん』(912) 碧南市役所企画課広報広聴係 1984年8月 米倉守「人間美への思慕」
- 『社報』(426) 朝日生命保険相互会社 1984年9月 数納清「民間ユネスコ運動世界大会 仙台の四日間」
- 『月刊社会党』(349) 日本社会党中央本部機関紙局 1985年4月 樋口健二「反骨一筋の彫刻家 佐藤忠良さん」
- 『三彩』(448) 三彩社 1985年1月 柳生不二雄「彫刻のあるまちづくり＝旭川市 中原悌二郎賞と買物公園」
- 『文藝』24(2) 河出書房新社 1985年2月 芝木好子「彫刻を見る」
- 『毎日婦人』(301) 毎日新聞社 1985年2月 本間正義「ちょっといい話 ネーミングのこと」
- 『朝鮮画報』24(3) 朝鮮画報社 1985年3月(洪)「ひとときひとこと」作品に媚は禁物です” 彫刻家・佐藤忠良」
- 『現代彫刻』(90) 聖豊社 1985年5月「新ギャラリーオープン 現代作家シリーズ (6月18日-29日) ギャラリーせいほう」
- 『東京八王子西ロータリークラブ』(1) 東京八王子西ロータリークラブ 1985年7月12日「佐藤忠良」《若い女の像》[村内美術館]
- 『週刊新潮』(1518) 新潮社 1985年7月18日「秘蔵の一点 熊本県立美術館 海老原喜之助『曲馬』」[内観写真に《帽子・夏》]
- 『アトリエ』(703) アトリエ出版社 1985年9月 瀧梯三「個展の盛況」
- 『中央公論』(1219) 中央公論社 1987年4月「VIPの横顔 40 佐藤忠良(彫刻家)」(撮影：田中長徳)
- 『大泉町だより』(316) 大泉町役場 1987年7月24日 表紙に《若い女の像》
- 『宮城県美術館ニュース』宮城県美術館 1988年「彫刻館増築の案内」
- 『日経 Woman』(2) 日本経済新聞社 1988年6月「私の知恵袋 笹戸千津子」
- 『文藝春秋』66(9) 文藝春秋 1988年8月 岡崎満義「彫刻家 佐藤忠良＝四十数年前の作品『母の顔』が教えてくれたこと」
- 『ミセス』(399) 文化出版局 1988年12月 山根基世「永福町のアラン・ドロンと怠け者のクリスチャン」
- 『アート・トップ』(108) 芸術新聞社 1989年1月「第1部 日本の彫刻 異文化移入後の伝統づくりとその後」《夏の像》
- 『プレジデント』27(2) プレジデント社 1989年2月1日「佐藤忠良「日本的彫刻」に燃えて半世紀」(撮影：斎藤康一)
- 『ミセス』(405) 文化出版局 1989年5月「山根基世の今までそしてこれから1歩きながら」
- 『三彩』(501) 三彩社 1989年6月 三木多聞「近代彫刻の展開」
- 『郷土誌あさひかわ』(284) 郷土誌「あさひかわ」社 1989年8月 木内和博「佐藤忠良先生と私」ほか
- 『宮城県美術館 平成2年度の催し』宮城県美術館 1990年「佐藤忠良記念館 6月1日開館」
- 『広報とくやま』(1241) 徳山市役所 [1990年1月]「文化会館前にモニュメント設置」《緑》
- 『新建築』(抜刷) 芦原建築設計研究所 1990年1月 澤田隆夫「東京芸術劇場・アートワーク」
- 『建築文化』45(525) 彰国社 1990年7月 大宇根弘「宮城県美術館 佐藤忠良館」、酒井哲朗「美術館建築雑感 美術館の立場から」
- 『ARBRE』(3) 東北電力グリーンプラザ [1990年9月]「特集 彫刻を楽しむ」
- 『月刊いんふおめいしょん』とくやま文化財団 1992年1月《緑》
- 『広報 おおくわ』(211) 大桑村 1992年5月 表紙に「肖像写真 笹戸千津子氏とともに」[表紙によせて]
- 『別冊専門料理 グランシェフ』(9) 柴田書店 1992年8月1日 表紙《ひげの男》《男もの》《このはずく》《りゅう三年生》ほか
- 『季刊 北の暮らし』(16) 北海タイムス社 1993年9月「札幌芸術の森で秋を楽しむ」《女・夏》
- 『繪』(365) 日動画廊 1994年7月 舟越保武「美術エッセイ 私の“上野”でのこと (4) わが級友達(1)」
- 『宮城県美術館 平成7年度の催し』宮城県美術館 1995年
- 『宮城県美術館ニュース』宮城県美術館 1996年10月・11月 表紙に素描《工場》
- 『美術の窓』(161) 生活の友社 1996年11月《光陰》[第60回 新制作展評]

『平成8年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 1997年8月「佐藤忠良・こどもの世界」(1996年6月1日-7月7日)報告ほか
『美術の窓』(172)生活の友社 1997年11日《萌》[第61回新制作展]
『佐川美術館誌 うつろひ』(3)佐川美術館 1998年12月「芸術特集 ブロンズ彫刻のできるまで」[講演会報告]
『クロワッサン』22(8)マガジンハウス 1998年4月「仕事を続ける、遊びも続ける きっと、続けることが若さの秘密 佐藤忠良さん」
『GA JAPAN』(32)エーディーエー・エディタ・トーキョー 1998年5月「佐川美術館」
『美術の窓』(183)生活の友社 1998年11月《腰かけた女》(第62回新制作展評)
『平成9年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 1999年3月「粘土の手をやすめて～佐藤忠良素描展」(1997年6月1日-7月21日)報告、ほか
『佐川美術館誌 うつろひ』(5)佐川美術館 1999年6月「展示作品紹介(佐藤忠良の世界)より」
『佐川美術館誌 うつろひ』(7)佐川美術館 1999年12月「忘れえぬ刻 佐藤忠良 パリ・ニューヨーク・ロンドン 旺盛な海外出品」
『日刊 新周南』(13811)新周南新聞社 2000年1月11日 中嶋康雄「北欧にあこがれて(17)」
『佐川美術館誌 うつろひ』(9)佐川美術館 2000年6月「展示作品紹介(佐藤忠良の世界)より」
『アート・トップ』(178)芸術新聞社 2000年9月[広告「ブロンズの詩 佐藤忠良展」、米倉守「展評」]
『平成11年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 2000年12月「中原悌二郎賞30回記念 中原悌二郎賞の流れ」(1999年11月6日-2000年3月26日)報告ほか
『別冊太陽』(112)平凡社 2001年1月 向井淳子「おおきなかぶ、ランパンパン、三びきのやぎのがらがらどん、日本の昔話(上・下)」
『宮城県美術館ニュース』宮城県美術館 2001年10月・11月表紙に《ふざけっこ》
『宮城県美術館年報 平成12年度』宮城県美術館 2001年10月[S227～S340 寄贈]
『美術の窓』(218)生活の友社 2001年11月《あぐら》[第65回新制作展評]
『いきいき』(66)ユエリーグ 2002年6月「特別インタビュー 与くんのことを喋りたい 彫刻家 佐藤忠良さん」
『一冊の本』(75)朝日新聞社 2002年6月「ポルトレ 彫刻家 佐藤忠良」(撮影:上田義彦)
『文藝春秋』80(10)文藝春秋 2002年8月 大江眸「今を盛りと咲く90代の巨匠」(撮影:宮田均)
『ミセス』(571)文化出版局 2002年9月[佐藤忠良、安野光雅「ねがいは「普通」」]
『ミマン』(133)文化出版局 2002年9月[佐藤忠良、安野光雅「ねがいは「普通」」]
『ミクロコスピア』20(4)ミクロコスピア出版会 2003年11月 和田静子「いとしき草花 続・大樹を慕って」
『平成14年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 年報』中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 2004年3月「中原悌次郎と中原賞の作家たち」(2002年4月2日-2003年3月30日)報告ほか
『かるちゃあ通信 花島』(111)周南市民文化振興財団 2004

年7月「佐藤忠良展」周南市美術博物館
『生涯教育と地域医療 現代的 Good Practice ニュース』(1)国立大学法人山形大学医学部 2005年3月 表紙に《帽子・夏》
『週刊朝日百科 美術館を楽しむ』(29)朝日新聞社 2005年5月8日 三上満良「佐藤忠良の世界」(特集:宮城県美術館)
『年報 いのちの輝き 2003・2004年度 創刊号』宮城県立こども病院 2005年8月 大井龍司「レリーフ おおきなかぶ物語」
『婦人画報』(1240)アシェット婦人画報社 2006年11月 斎藤明美「最後の日本人 第23回 佐藤忠良(彫刻家 94歳)」
『EPTA エプタ』(30)肌粧品科学会報研究所 2007年1月 笹戸千津子、阿部武彦「新春対談」
『文藝春秋』85(5)文藝春秋 2007年4月「小さな大物(山根基世)」
『暮らしの手帖』(378)暮らしの手帖社 2007年4月[和田静子「いとしき草花」書評]
『別冊太陽 日本のこころ』(149)平凡社 2007年10月 越高一「木(高齢者への読みきかせ絵本)」
『美術の窓』(290)生活の友社 2007年11月 高山淳「第71回新制作展」《島本氏》
『婦人画報』(1293)アシェット婦人画報社 2011年4月「彫刻家 佐藤忠良さんの図工時間」
『広報すぎなみ』(1965)杉並区 2011年2月21日「彫刻家・佐藤忠良さん「冬の像」が永福町駅に設置されます」
JAPAN QUARTERLY, vol.28, no.4, Tokyo: Asahi Shimbun, Octobre-Décembre 1980, Ogawa Masataka “Comtemporary Artists in Japan”
L'officiel des spectacles, no.1793, Paris: L'officiel des spectacles, 6 - 12 Mai 1981, [“Churyo Sato”, Paris: Musée Rodin]
Journal de l'amateur d'ART, no.672, Paris: Journal de l'amateur d'art, Juin 1981, Claude Pallene “Au musée Rodin, Churyo Sato, Etonnant Japon”
Art News, vol.82, no.10, New York: ARTnews Associates, Décembre 1983, G. H. “Churyo Sato, Wildenstein”
L'œil, nos.342-343, [Paris: Nouvelle Sedo S.A.], Janvier-Février 1984, Jean Carton “Hommage au sculpteur Churyo Sato” [佐藤忠良による解説を含む]
ЯПОНИЯ СЕГОДНЯ, Moscow: Япония сегодня 1993, Виталий Гузанов “СУДЬБА ЯПОНСКОГО СОЛДАТА” [[『今日の日本』モスクワ:「今日の日本」社 1993年 ヴィタリー・クザノフ「日本兵の運命」]

(9-4) 関連文献 逐次刊行物 切り抜き

[掲載紙不明][1937年]荒城季夫「完成された油絵(3)『國展』の海外作品特別陳列」
[掲載紙不明][1950年]滝口修造「美術の立体化へ(新制作の彫刻など)」
[掲載紙不明][1952年]三雲祥之助「〈今年のホープ〉『血の通ったもの』をお小言も嬉しく戴く謙遜家」
[掲載紙不明][1952年]「秋をめざして 朝倉撰 新制作派」
[掲載紙不明][1952年9月6日]中村恒夫「新制作の彫刻と建築・評」
[掲載紙不明][1952年9月]柳亮「美術展 秋の第二陣 気どった明るさ 新制作 新人層が活発」
『北海タイムス』1952年9月27日「本道出身美術家を訪ねて

秋の素描 たりない”民族のにおい”生活の姿を探究」
『毎日新聞』1952年9月29日 徳大寺公英「学芸 表現のイデー
が問題 新制作展と一水会展」
『北海道新聞』[1952年9月23日] 笠置季男「安易なアカデ
ミズム 新制作派の彫刻」
『朝日新聞』1952年9月24日夕刊 植村鷹千代「『新制作展』評」
『報知新聞』1952年10月2日(三郎)「保守と革新の対照 美
術の秋 第二陣」
『北海道建設新聞』[1953年6月22日]「木村、泉さんおめで
とう 叙勲、褒章受章で記念祝賀会」[副賞「りんご」]
『毎日新聞』1953年9月26日 土方定一「学芸 興味ある比較
美術展 新制作、一水会展評」
『毎日新聞』1954年6月3日 徳大寺公英「現代日本美術展の
彫刻 望ましい実験的意欲」
『毎日新聞』1954年6月18日「『現代美術展賞』贈呈式」
[掲載紙不明][1955年5月](隆)「学芸 画廊から 盛んな新人
の活躍」[[中谷泰、佐藤忠良、朝倉撰展]サエグサ画廊]
『毎日新聞』1956年5月30日 土方定一「『現代日本美術展賞』
の人々受賞の作家たち」
[掲載紙不明][1956年] 嘉門安雄「ペースを心得た作品 第
2回現代日本美術展・彫刻」
[掲載紙不明][1956年]「『さかさ』の美 第20回新制作展より」
『朝日新聞』1957年9月27日(隆)「画廊から グループ展の
注目作品 朝倉・中谷・佐藤3人展」
『河北新報』1959年10月21日(塩田)「裸を通して現代表現
大衆と密着した芸術を」
『毎日新聞』1959年10月26日夕刊「こころのふるさと 友好
の記念像」[北朝鮮との友好記念像、レゾネ掲載なし]
『朝日新聞』1960年1月11日「日の目を見ない”日朝親善”
の像”保管の責任もてない”大田区が受け入れ拒絶」
[毎日新聞][1960年3月]「造形は佐藤氏 詩は岡崎氏に 高
村賞きまる」
[中部日本新聞][1960年3月]「抑留生活が一つの転機 第3
回高村光太郎賞を受けた佐藤忠良」
[東京新聞][1960年3月13日]「佐藤忠良 高村光太郎賞の
彫刻「ゴロリとしたものの質抵抗」」
『信濃毎日新聞』1960年3月18日「高村賞を受賞した佐藤忠良」
『婦人民主新聞』1960年3月20日「光太郎賞をうけた佐藤忠
良さん”顔が人間を表現する”」
『週刊読書人』(317) 1960年3月21日「彫刻で第3回高村光
太郎賞を受けた佐藤忠良氏」「高村光太郎賞を受けた
佐藤忠良氏の彫刻「うれ」」
『毎日新聞』1960年3月26日「具象一途、石コウまみれ 高村
光太郎賞受賞 佐藤忠良氏の表情」
[新潟日報][1960年3月]「素朴な人柄に好感 高村賞を受
賞した 佐藤忠良」
『週刊新潮』(215) 1960年3月28日「ソ連生活が創作のビタ
ミン」
『河北新報』1960年4月3日「故人をしのび質素に 高村賞の
授賞式」
『朝日新聞』1960年4月6日 針生一郎「国際具象派美術展 日
本作家の新鮮さ 楽天的表現のフランス作品」
『河北新報』1960年4月17日「日本人の顔に限りない愛着
高村光太郎賞を受けた佐藤忠良氏」
『北海道新聞』1960年5月21日「現代彫刻十人選(2) 腰をお
ろす 佐藤忠良」
[掲載紙不明][1961年]「現代彫刻の視覚(5) ひとえ 佐藤
忠良(新制作)」
[掲載紙不明][1961年]「値上がりムードが反映”美術”の

値段 急増する需要で画商はウケに入る」
[朝日新聞][1961年7月4日]「ホコリをかぶる日朝記念像」
[掲載紙不明]1961年10月11日 松谷彊「秋の美術展 新しい
芽に方向を」
[掲載紙不明][1962年1月]野間清六「今日的で、しかも明
日的」[第13回選抜秀作美術展]
『毎日新聞』1962年1月13日 船戸洪吉「佐藤忠良 群馬の人
素朴なヒューマニズム」
『北海道新聞』1962年5月7日「訪問(24) 佐藤忠良さん”こ
としは北海道の年” 政策に追い回される」
[掲載紙不明][1962年10月]「せせこましい札幌駅周辺 彫
刻家(新制作会員)佐藤忠良さん」
[掲載紙不明][1962年] 岡本謙次郎「秋の美術第二陣をみ
て(下)新制作、一陽会の彫刻」
[掲載紙不明]1962年11月13日「農村婦人の拍手の中『開拓
母の像』除幕式」
[朝日新聞][1962年11月13日]「『開拓母の像』できる 道農
協婦人部が十円募金」
[読売新聞][1962年11月13日]「きょう”開拓母の像”を
序幕 六年の計画実る」
[掲載紙不明][1962年11月]「”開拓母の像”できる 農家
の主婦が資金出し合う 北農会館で除幕式」
[掲載紙不明][1963年5月16日]「日本の現代美術に欠け
たもの 彫刻家佐藤忠良氏に聞く”大衆批評家”の出現を 中国で感じた 破壊のロマン」[[佐藤忠良展]フク
オカ画廊《女の顔》]
『朝日新聞』1964年1月4日夕刊 嘉門安雄「十五年をふりか
えって」[第15回選抜秀作美術展]
[掲載紙不明][1964年]「団地入り口にブロンズ像 真駒内”
種畜場”を記念して」
『朝日新聞』1964年2月3日「朝日農業賞受賞者に贈られる
純銀製レリーフ」[レゾネ掲載なし]
[掲載紙不明][1964年2月4日]「米作日本一表彰の受賞者
に贈られる純銀製レリーフ」
『北海タイムス』[1965年]「開道百年記念の本紙連載小説
『石狩平野』で打ち合わせ」
『東京新聞』1965年4月2日夕刊(寺)「小品群ながらみごた
えあり 彫刻がおもしろい連翹会第三回展」
『北海タイムス』1965年4月9日(木野記者)「北海道 百年の
百人(88) 美術(8) 佐藤忠良」
『朝日新聞』1966年12月17日(北海道版)「道庁新庁舎の壁
画彫刻 制作には北村西望氏 今月末、知事が正式に依
頼」
[掲載紙不明][1967年]「巧妙な佐藤の「首」連翹会展」
『秋田さきがけ』1967年4月12日「県展の審査員決まる」[第
9回秋田県美術展]
[掲載紙不明][1967年]「新制作派の人びと」
[掲載紙不明][1967年]「開道百年記念事業 顕彰像原型で
きる「勉強になりました」と岩村像のヒナ型を前に語
る佐藤氏」
『北海道新聞』1967年9月28日夕刊「すくくと岩村通俊像
81年ぶり”返り咲き” 開道百年記念像の一つ 円山公
園に立つ」
『北海道新聞』1967年12月17日「”百年”の歴史描く 道庁
新庁舎 レリーフの原型完成」
[掲載紙不明][1968年]「独歩の「武蔵野」晶子の「みだれ髪」
ゆかりの渋谷に文学碑」《人魚》《牧神》
『東京新聞』[1968年夕刊]「追憶を胸にひめて 四文学者未
亡人の近況 高見順の胸像の前に立つ晶子さん」

- 『北海道新聞』1968年5月16日「原型ほぼ完成 初代市長・西岡斌氏の胸像」
- 『朝日新聞』1968年10月7日夕刊 小川正隆「秋の公募展から彫刻 感情のこもった造形 新制作」
- 『河北新報』1969年4月15日「河北美術展 五審査員の期待と注文 彫刻 独特のものを気取りのない初代審査員」
- 『河北新報』1969年5月2日「27年ぶりに銅像再建 角田上水の生みの親 感謝の米一升運動で」《高山上水像》
- 『北海道新聞』[1970年夕刊]「佐藤氏の彫刻『ポタン』道立美術館賞決まる」
- 『北海道新聞』[1970年3月9日]「このごろ」
- 『宇部新報』1970年3月28日「星出の森”冬のこども” 序幕 星出さんの一周忌に 青少年会館中庭で」
- 『産経新聞』[1970年11月14日夕刊]清水崑「佐藤忠良氏『今様一級』に反発」
- 『掲載紙不明』[1971年]「徳山を彫刻の町にしよう 一線作家が受賞作品「マント」をおくる」
- 『サンケイ新聞』[1971年5月27日夕刊]「開幕せまる第2回 現代国際彫刻展 国内招待の4作家 佐藤忠良氏」
- 『朝日新聞』1971年10月8日「具象的傾向が主流」
- 『掲載紙不明』[1972年1月3日]「丸の内仲通りに彫刻展」
- 『北海道新聞』1972年6月30日夕刊「訪問 故郷へ仕事の報告…札幌で彫刻自選展開く 佐藤忠良さん”これを機会に再出発”」
- 『北海道新聞』1972年7月4日夕刊「札幌の佐藤忠良さん 故郷で還暦の個展開く」
- 『北海タイムス』1972年7月5日「故郷で還暦の個展 佐藤さん 彫刻40年の総決算」
- 『北海道新聞』1972年7月5日「還暦 叙情派首づくり名人」
- 『毎日新聞』1972年7月5日「タウン 佐藤忠良さんの自選展」
- 『北海道新聞』1972年11月8日、9日夕刊「人脈北海道(113, 114) 作家・評論家編 青年芸術派(1, 2) 船山馨」
- 『掲載紙不明』1972年11月14日「支倉常長の像完成 仙台市の青葉山公園」
- 『毎日新聞』1972年11月30日夕刊「芸”を楽しむ一六彫展一」
- 『東京新聞』[1972年11月夕刊]「多様な個性的表現 第1回六彫展」
- 『掲載紙不明』[1973年]「照応する個性 第4回 六彫展」
- 『読売新聞』1973年2月20日夕刊「手帳 永遠のヒューマニティー 佐藤忠良彫刻展」
- 『朝日新聞』1973年2月24日夕刊「佐藤忠良彫刻個展 心地よい素描力」
- 『掲載紙不明』[1973年]「東京美術コーナー 佐藤忠良個展」
- 『読売新聞』1973年11月14日 村木明「複数の視点に耐える 厳しさ」
- 『サンケイ新聞』[1973年11月16日夕刊]「こまやかな情感 佐藤忠良展」
- 『東京新聞』[1973年11月16日] 寺田千壘「私小説的彫刻の趣 彫刻・佐藤忠良展 日本的特性の展開へ」
- 『読売新聞』1973年11月17日夕刊「彫刻・佐藤忠良展」
- 『毎日新聞』1973年11月17日夕刊「あふれる愛と叙情と 佐藤忠良展」
- 『朝日新聞』1973年11月20日夕刊「点描 堂々と気迫に満ちた佐藤忠良の大型個展」
- 『陶説』[1973年11月]磯野風船子「不狐齋さんを偲ぶ 初秋雑感」
- 『新美術新聞』(33)1973年12月15日 香坂一心「彫刻 佐藤忠良展 空間に刻む人間的共感」
- 『小説サンデー毎日』(巻号不詳) [毎日新聞社] [1974年] 船山馨「わが青春記 空腹な1931年」
- 『サンケイ新聞』[1974年] 鈴木進、植村鷹千代、吉井長三、日野耕之祐「美術界 この一年」
- 『中央公論』89(1) [中央公論社] 1974年1月「私の書齋89 佐多稲子」
- 『毎日新聞』1974年1月1日 土方定一「抑制された造形意志」 [第15回 毎日芸術賞]
- 『掲載誌不明』[1974年1月]「佐藤忠良彫刻展 銀座、松屋、現代彫刻センター」
- 『掲載誌不明』[1974年4月]「社告「テアトロ演劇賞」制定にあたって 村山知義氏に最初の贈呈」
- 『北海道新聞』1974年9月15日「十字路口 彫刻家 佐藤忠良さん(62) 求心的態度貫く 失わぬみずみずしさ」
- 『新美術新聞』(53) 1974年10月15日 原田実「意余って力足らず 新制作展の彫刻」
- 『東京新聞』[1974年11月] 寺田千壘「美術評 情感・自由と自立・凝縮 第5回六彫展 現代彫刻界の代表たち」
- 『掲載誌不明』[1975年] 松井恒幸「佐藤忠良さんの個展によせて」
- 『掲載誌不明』[1975年] 谷口広志「衝動を受けた二つの展観」
- 『掲載紙不明』[1975年]「ユーモア交えて彫刻談義」
- 『掲載紙不明』[1975年]「第3回現代彫刻センター展」
- 『掲載紙不明』[1975年]「写実の中に厳しい”異質” 第6回 中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良」
- 『北海道新聞』1975年9月25日夕刊「佐藤忠良さんに中原賞「カンカン帽」内面を十二分に表現」
- 『東京新聞』1975年9月25日夕刊「第6回中原賞決まる」
- 『北海道新聞』1975年9月26日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良」
- 『河北新報』1975年9月26日「佐藤忠良氏に中原賞」
- 『北海道新聞』[1975年]「彫刻・佐藤忠良展」[社告]
- 『北海道新聞』[1975年]「彫刻・佐藤忠良展」[広告]
- 『北海タイムス』1975年10月1日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良氏」
- 『熊本日日新聞』1975年10月2日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良氏」
- 『大分合同新聞』1975年10月2日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良」
- 『中国新聞』1975年10月2日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良 ロダンに魅せられた貧乏書生」
- 『山陰中央新報』1975年10月3日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良「低空飛行の名手に」」
- 『福井新聞』1975年10月3日「第6回中原悌二郎賞を受ける佐藤忠良さん 愛情漂う独自の芸術つくる」
- 『北海道新聞』1975年10月3日「さすがすごい迫力 きょうから佐藤忠良展 作品つぎつぎ搬入」
- 『北海道新聞』1975年10月3日夕刊「数々の受賞作一堂に 佐藤忠良彫刻展オープン」
- 『読売新聞』1975年10月4日「力作にファンどっと 旭川で佐藤忠良彫刻展」
- 『朝日新聞』[1975年10月] 植村鷹千代「一水・新制作・一陽会をみて」
- 『東京新聞』1975年10月4日夕刊 朝日晃「新制作・一陽会・一水会展をみて」
- 『北海タイムス』1975年10月6日(K)「秋の公募展第二陣 テクニシャンぞろい新制作展」
- 『北海道新聞』1975年10月6日「彫刻・佐藤忠良展」
- 『北海道新聞』1975年10月6日「中原悌二郎賞の佐藤さん 代表作を寄贈 旭川市民に貴重な文化財」

『北海道新聞』[1975年10月8日]「帽子・立像」を市に寄贈 佐藤忠良氏 温かい友情のお礼に」
『北海タイムス』1975年10月20日夕刊「美術館になる”明治の洋館”」[旭川]
『北海道新聞』[1975年10月21日]「市民の手で美術館建設を」[旭川]
『全日本美術』(287)全日本美術新聞社 1976年7月15日「確かなデッサン・大胆なポーズ 新制作創立会員 芸術選奨 佐藤忠良」
『北海道新聞』1976年11月24日夕刊「道東の四季 釧路・幣舞橋の彫像 夏 膨大なエネルギーさく裂」
[掲載紙不明][1976年]「郷土に文化の灯をともしデザイナー 無料で展覧会開催 下館の原さん 今度は念願の彫刻家・佐藤忠良展」
[掲載紙不明][1977年]「繊維労連バッヂ完成 佐藤忠良氏創作」
[掲載紙不明][1977年]「精魂を傾けた作品」幣舞橋ブロンズ像 制作者ら五氏来釧」
『北海道新聞』1977年5月2日夕刊(釧路版)「ブロンズ像 幣舞橋に収まる あすの除幕式を待つ」
『北海道新聞』1977年5月2日夕刊[広告「祝 幣舞橋ブロンズ像」]
『北海道新聞』1977年5月4日「ロマン誕生に歓声」道東の四季像」除幕式 釧路」
[掲載紙不明][1977年5月]「5代目幣舞橋飾る 裸婦像 雪景色の中序幕」
[掲載紙不明]1977年6月15日「釧路の新名所(2) 異国情緒 たっぷり 五代目・幣舞橋 ロマン求める観光客」
[掲載誌不明][1977年]本間正義「芸術随想 ある名橋」
『北海道新聞』1977年7月30日「後輩よはばたけ！札幌西高の卒業生 母校にブロンズ像」
『河北新報』1977年8月17日「彫刻のある風景(5) 夢見るおませさん まげたポーズの子 仙台市」
『河北新報』1977年9月16日「彫刻都市仙台」動き出す 第一作は台原森林公園 佐藤忠良氏が着手」
『サンケイ新聞』1977年9月30日夕刊「一水会・新制作展ほかをみて」
[朝日新聞][1977年10月3日]小川正隆「ソツないが表現弱い 新制作」
『朝日ジャーナル』(977)朝日新聞社 1977年10月28日[幣舞橋]
『北海道新聞』[1977年11月]「第31回北海道新聞文化賞 社会文化賞「すぐれた彫刻芸術活動」佐藤忠良氏」[副賞《バレエの女》]
『北海道新聞』1977年11月3日「道新文化賞 受賞者の業績」
『北海道新聞』1977年11月5日「ブロンズ作者も晴れやか 佐藤忠良氏らに道新文化賞贈呈」
[掲載紙不明][1977年11月]「卓上四季」[「社会文化賞」が今年は彫刻家の佐藤忠良さんに贈られる]
[掲載紙不明][1978年]「ムダこそ世の中には大切」彫刻界の重鎮・佐藤忠良さん講演会」
[掲載紙不明][1978年4月1日]「感激新た756号記念碑序幕」
[掲載紙不明][1978年4月]「「社の都」の新シンボル誕生を祝う 台原森林公園で二つの像序幕」
『河北新報』1978年4月23日「「彫刻のあるまち」実現 2作品の序幕 台原森林公園 市民、大きな拍手」
『河北新報』1978年4月23日「佐藤忠良、舟越保武 二人展」
『岩手日報』1978年4月28日「芸術のある都市美 十二年計画でスタートした仙台市の「社と彫刻」シリーズ」

『経済ジャーナル』20(5) 麴町出版[1978年5月]表紙に《ボタン(小)》
[掲載紙不明][1978年7月][広告「マリノ・マリーニ展」]
[朝日新聞][1978年12月夕刊]本間正義「私の会った人 巨匠たちの横顔(4) 佐藤忠良」
『北海道新聞』1978年12月22日 五十嵐健二「道産子作家・加藤さんの児童書」[「原野にとお橋」書影]
『朝日ジャーナル』(1038)朝日新聞社 1978年12月29日(外)「佐藤忠良作品集『大きな帽子』」
『いわき民報』[1979年]「いわき抄」
[掲載紙不明][1979年1月]「佐藤忠良作品集・大きな帽子」出版記念 彫刻 佐藤忠良展 すまいギャラリー」
[掲載紙不明][1979年1月]「佐藤忠良作品集『大きな帽子』」
『河北新報』1979年1月8日「佐藤忠良作品集 大きな帽子 撮影・宮崎勝」
『毎日新聞』1979年1月29日「佐藤忠良作品集 大きな帽子 ハットする実在感…楽しさ」
『新美術新聞』(182・183)1979年1月1日「読者 私が選んだこの作家 投票」
『北海道新聞』1979年1月4日「佐藤忠良作品集大きな帽子 ヒューマンな魅力」
『いわき民報』1979年1月13日夕刊「鹿島街道に新名所 野外彫刻の第1号」
『読売新聞』1979年2月5日「現代少年美術館」がスタート 「大きな帽子」から」
『朝日新聞』1979年2月26日「メモらんだむ 入門的役割果たす佐藤忠良氏作品集」
『ひと』7(3) 太郎次郎社 1979年3月5日 [広告「佐藤忠良作品集 大きな帽子」]
『岩手日報』1979年3月7日「彫刻 市民になじむ」
[新しいばらき]1979年3月23日「55点を一堂に 水戸の泉画廊 佐藤忠男「ママ」特別展」
[いはらき]1979年3月25日「水戸で3つの展覧会 あふれる清潔感、繊細さ 佐藤忠良氏 30日まで現代彫刻特別展」
『読売新聞』[1979年3月29日]「王選手の肖像を見る 佐藤さん 水戸市」
[掲載紙不明][1979年3月29日]「静かに彫刻像と対話 水戸で「佐藤忠良特別展」独特の作風が人気呼ぶ」
『サンケイ新聞』1979年4月20日夕刊「ロダン美術館で佐藤忠良展」
『信濃毎日新聞』1979年4月20日 本間正義「街角の美(5) 小さく愛くるしく「二歳」佐藤忠良 長野市柳町公園」
[東京新聞][1979年5月1日]「ロダン美術館で佐藤忠良展 開催へ」《ボタン(小)》
『神奈川新聞』1979年5月3日「ロダン美術館で個展 56年に彫刻家・佐藤忠良氏」
『朝日新聞』1979年5月17日「「歩行者の復権」で論議 シンポジウム「都市と道路」開幕」
『東京新聞』1979年5月21日(塩)「「仲間」一つの指標を」面映ゆそうな具象の最右翼」
[掲載紙不明][1979年5月26日]「日曜美術館「私とドガ」 [佐藤忠良出演」
『朝日新聞』1979年6月3日[広告「子どもの美術」]
『朝日新聞』1979年7月8日「映画 北の舞台」
『週刊朝日』[1979年7月20日]稲垣武「一見”浮浪児風”名物博物館長が給食係になりまして…」
『毎日新聞』1979年8月3日「いまの教科書採択制度」[「子どもの美術」現代美術社 採択ゼロについて」
『毎日新聞』1979年8月16日 太田弘「情けない教科書づく

り「子どもの美術」の採択ゼロに」
 『北海道タイムス』1979年9月13日「旭川実業高等学校 開校20周年の喜び(下)」《堀水孝教像》[レゾネ掲載なし]
 『日本経済新聞』1979年10月2日瀧俣三「新企図もつ作品多い 新制作協会展」
 『朝日新聞』1979年10月6日夕刊(米)「秋の公募展から 見るべきもの多い彫刻 新制作協会展」
 『サンケイ新聞』[1979年10月6日]日野耕之祐「機知的な秋の三部作 一水・新制作・一陽・東京展」
 『東京新聞』[1979年10月9日]朝日晃「新制作・一陽・一水会を見て」
 『毎日新聞』1979年10月9日夕刊 加藤貞雄「秋の公募展から 新人ががんばって活気づく 新制作派」
 『読売新聞』1979年10月13日「現代彫刻代表作家10年の歩み 六彫展」
 『読売新聞』1979年10月18日[広告]「現代彫刻代表作家10年の歩み 六彫展」
 『朝日新聞』1979年10月27日夕刊「仙台で彫刻によるまちづくり 都市全体を美術館にする試み」
 『日本経済新聞』1979年11月10日「文化行政 市民がリード 八千代市 運動興し資金援助」
 『北海道新聞』1979年11月22日 木内和博「道立旭川美術館構想について」
 『中部読売新聞』1979年11月27日「六彫展 丸栄スカイル8階画廊 確かな存在感 六氏の力作展」
 『朝日新聞』1979年11月28日「有終の美 六彫展」
 『せんだい』(12) 仙台市市長室広報課 1979年12月「杜と彫刻」
 『サンケイ新聞』[1979年12月5日]篠原寛「彫刻家 佐藤忠良さん 作品に無限の時間性を ロダン美術館(仏)で個展」
 『東京新聞』[1980年1月]寺田千壘「美術評 佐藤忠良、舟越保武銅版画展」
 『新美術新聞』(217) 1980年1月1日「読者 私が選んだこの作家 投票」
 『毎日新聞』1980年1月8日夕刊(貞)「彫刻の都仙台 目抜き通りにグレコ像「原型から1点」約束に公園かざる」
 『朝日新聞』1980年1月16日(米)「人そのものを追求 射るような鋭い線 舟越保武 佐藤忠良 ドライポイント展」
 『日本経済新聞』1980年1月22日「人 仕事 佐藤忠良氏」
 『いわき民報』1980年2月13日夕刊「巨匠の素描12人展 すまいの5周年を記念 今月末まで開催」
 『東京新聞』[1980年2月14日]「彫刻家・本郷新氏が死去」
 『毎日新聞』1980年2月14日夕刊「「わだつみのこえ」や「風雪の群像」彫刻家の本郷新氏死去」
 『読売新聞』1980年2月14日「「わだつみ像」の彫刻家 本郷新氏が死去」
 『朝日新聞』1980年2月14日夕刊「本郷新氏 死去」
 『日本経済新聞』[1980年2月14日]「本郷新氏」
 『サンケイ新聞』[1980年2月14日]「「わだつみのこえ」像の本郷新氏が死去」
 『読売新聞』1980年2月19日夕刊(和)「1137 佐藤忠良(彫刻家)ひたすら農道を行く」
 『毎日新聞』1980年3月14日夕刊「教科書づくり、業界が規制 新規参入の出版社が「告発」」
 『朝日新聞』1980年3月14日(東北版)「建築業者らが裸婦像を寄贈 十和田市立中央病院 佐藤忠良氏の作品「早蕨」」
 『河北新報』1980年3月17日「河北美術展に期待する」
 『河北新報』1980年3月18日「除幕間近 十和田市の病院にブロンズ像」

『北海道新聞』1980年3月29日「上砂川町にブロンズ贈る 北門信金」《フードの竜(小)》
 『北海道新聞』1980年3月29日夕刊「上砂川に第一号届く 佐藤忠良氏制作ブロンズ像」《フードの竜(小)》
 『朝日新聞』1980年4月2日夕刊 灰谷健次郎「図工教科書」
 『毎日新聞』1980年4月4日、7日《布をもつY子》《フードの竜》[「佐藤忠良展」現代彫刻センター]
 『朝日新聞』1980年4月9日夕刊(大阪版)(吉)「親しみのかげに気品 佐藤忠良新作展」
 『千葉日報』[1980年4月12日]「ブロンズ像制作を佐藤忠良氏に依頼 本郷氏急逝でシンボルを創る会が決定」
 『読売新聞』[1980年4月12日]「村上橋にシンボル像」
 『東京新聞』[1980年4月13日]「佐藤氏 二基とも制作 八千代 村上橋のブロンズ像」
 『掲載紙不明』1980年4月15日 古藤正雄「十和田市に佐藤忠良氏の彫刻 重厚な構築 記念像「早蕨」に期待」
 『読売新聞』1980年4月15日夕刊 増田洋「表情豊かな「ファッション彫刻」佐藤忠良展」
 『毎日新聞』[1980年4月16日]「後任に佐藤忠良氏 村上橋ブロンズ像制作者」
 『河北新報』1980年4月17日「河北美術展 会場・昔と今(5) 待望の彫刻部誕生 新設の仙台美術館館る」
 『朝日新聞』[1980年4月19日]「佐藤氏が像制作 八千代」
 『掲載紙不明』[1980年4月]「佐藤忠良新作展 厳しい創作姿勢」
 『掲載紙不明』[1980年5月]「現代彫刻の粋 佐藤忠良個展(十和田市で)」
 『掲載紙不明』[1980年5月]「あすから彫刻・デッサン展 十和田市 佐藤氏作品を厳選」
 『掲載紙不明』[1980年5月]「第一人者の作品をじっくり鑑賞 十和田市で佐藤忠良氏の彫刻・デッサン展」
 『掲載紙不明』1980年5月10日「見事な作品にため息 十和田市で佐藤忠良 彫刻・デッサン展」
 『東奥日報』1980年5月12日-14日 末武保政「佐藤忠良彫刻展から(上・中・下)」
 『絵』(196) 日動画廊 1980年6月 五十嵐芳三「新制作協会彫刻部スキー大会」
 『日本経済新聞』[1980年6月8日]「ブロンズ像のひな型完成 八千代市のシンボル」
 『いわき民報』1980年7月31日夕刊 小島秀雄「ずらり現代巨匠の作品 変ぼうする鹿島街道の名所 すまい」
 『いわき民報』1980年8月9日夕刊「佐藤忠良氏が来市 おしおびで巨匠5人展へ」
 『掲載紙不明』[1980年9月]「佐藤忠良自選素描集『旅の走り描き』『アトリエの中から』」
 『北海道新聞』1980年9月30日「佐藤忠良自選素描集 絵心伝える二冊」
 『美術ニュース』美術ニュース社 1980年10月4日《陽の像》[第44回新制作展]
 『いわき民報』1980年10月4日夕刊「佐藤忠良氏のサイン会を開催 あす一時から「すまい」で」
 『いわき民報』1980年10月4日夕刊「いわき抄」
 『東京新聞』[1980年10月夕刊]朝日晃「秋の公募展第二陣を見て 新制作協会・一陽会・一水会」
 『毎日新聞』1980年10月7日夕刊 加藤貞雄「秋の公募展 第二陣 実績ある作家だけが目立つ 新制作展」
 『朝日新聞』1980年10月8日夕刊 米倉守「秋の公募展から 活気あふれる彫刻 新制作協会」
 『サンケイ新聞』1980年10月11日夕刊 日野耕之祐「一水会・

新制作・一陽会など 統一されたムーブマン 新制作の佐藤

『西日本新聞』1980年10月14日「ダムに沈んだ故郷 その郷愁を絵本に」[鶴瀬幸子『はるの村』]

[西日本新聞] [1980年10月20日]「佐藤忠良自選素描集」[形象] (巻号不明) [「形象」編集部] [1980年11月]《アキヤ》[第44回新制作展]

『いわき民報』1980年11月1日夕刊「おめでとう30周年 磐城共立病院」《母子》(レリーフ) [レゾネ掲載なし、石膏原型番号421]

『読売新聞』1980年11月2日「いわき市 30周年いわう」[同上]

『福島民報』1980年11月3日「記念碑を序幕 創立30周年の磐城共立病院」[同上]

[東北大学第一外科同窓会誌 丙辰会] [丙辰会] 1980年12月 末武保政「モニュメント早蕨 その序幕まで」

[掲載紙不明] [1981年]「立川駅北口広場に芸術の香り」[笹戸千津子《足を組む女》の除幕式への同席]

『新しいふるさとづくり みやぎ56』宮城県広報課 [1981年] 表紙に《若い女》

[掲載紙不明] [1981年]「本郷新・彫刻集」

『みづうみ』4 (31) 十和田市立中央病院 [1981年1月]《早蕨》

『新美術新聞』(251) 1981年1月1日「読者投票 私の好きなこの作家」

『いわき民報』1981年1月8日夕刊「生きている 若松さん夫婦囲む会」[広告「佐藤忠良パリ展とヨーロッパ美術の旅」]

『北海道新聞』1981年1月17日夕刊「“スキーの父”大野清七博士に顕彰碑」

『病院』40 (2) 医学書院 1981年2月1日 末武保政「モニュメント「早蕨」の下で 十和田市立中央病院」

[サンケイ新聞] [1981年2月23日]「彫刻のあるまちづくり 来月末に4作目」

『河北新報』1981年2月23日「巨匠の迫力味わう 塩竈で国際彫刻展 初日から大にぎわい」

『北海道倶楽部』(巻号不明) 1981年3月15日 阿部武夫「夕張を想う」

『北海道新聞』1981年3月20日夕刊 高島二郎「人 こころ一番 (11) 佐藤忠良 彫刻家」

『毎日新聞』1981年4月23日 原田三朗「人 新作は“大きな教科書・高校生” 佐藤忠良」

[掲載紙不明] [1981年5月12日]「こけら落としに「現代作家展」東山魁夷ら62人 県美術館 11月の開館記念に」

[サンケイ新聞] 1981年5月13日「ブロンズ像「緑」が完成 村上橋設置へ ひと足先の「太陽」と対」

『北海道新聞』1981年5月18日夕刊「「予想超えた手ごたえ」パリで個展開いた佐藤忠良さん」

[東京新聞] 1981年5月27日 寺田千壱「美術評 清潔なフォルム 佐藤 菊池」

[日本経済新聞] 1981年5月29日「市民が建てたブロンズ像 八千代市に寄贈」

『北海道新聞』1981年5月30日夕刊「幣舞橋にマチづくり 見た 市民参加、彫像も 千葉県八千代市の村上橋」

『サンケイ新聞』[1981年5月夕刊] 日野耕之祐「全身に緊張感が持続 今日の彫刻展 佐藤忠良の裸婦立像」

[日本経済新聞] [1981年6月2日] [広告「佐藤忠良作品集」]

『日本経済新聞』1981年6月9日 瀧悌三「今日の彫刻展」

[北海道倶楽部] (巻号不明) 不明 [1981年6月15日] 阿部武夫「いま、世界に翔く 彫刻家・佐藤忠良さんのこと」

『読売新聞』[1981年6月]「丸森出身の彫刻家佐藤さん 仏

学士院の客員会員にパリの個展で認められ

『朝日新聞』1981年6月16日夕刊(パリ・松本特派員)「パリの国立美術館で大個展 佐藤忠良氏 仏芸術アカデミー客員会員に」

『朝日新聞』1981年6月16日「教科書批判は正当か」

[掲載紙不明] 1981年6月26日「子供への責任どうする 教科書問題に怒る彫刻家・佐藤忠良さん」

『いわき民報』1981年7月24日夕刊「“芸術の秋”にさきがけ 現代巨匠5人展 いわきで開催」

『読売新聞』1981年7月29日夕刊 小倉忠夫「俊敏さ 繊細な感受性 パリ展で市民3万人を魅了」

『みやぎ県政だより』(137) [宮城県] 1981年8月1日「美術館開館目指して 忠良氏の「若い女」も」

『新美術新聞』(271) 1981年8月1日 建畠哲「爽やかな作風の魅力 寡黙さの内の“普通”」

『北海道新聞』1981年8月5日夕刊「机にひっそり 次作標題 船山さん執念燃やしつつ」

『読売新聞』1981年8月15日(大阪版) 池田弘「生命力あふれる真実感 佐藤忠良展 さわやか作品群」

『日本経済新聞』1981年8月18日 瀧悌三「さわやかな生命感が漂う 佐藤忠良展」

『読売新聞』[1981年8月26日夕刊(大阪版)] 本間正義「佐藤忠良展 フランスでも高い評価」

『読売新聞』1981年8月30日夕刊「ロダン美術館でも大きな話題 佐藤忠良氏の婦国展開く」

[社会新報] [1981年9月4日] (上)「佐藤忠良展 日本人の体質感と女性の理想美表出」

『日本経済新聞』1981年9月8日夕刊 森野「みんなの橋に集まろう 八千代市」

『社会新報』1981年9月18日 上野清士「佐藤忠良氏をたずねて」

『東京新聞』1981年10月1日夕刊 齊藤泰嘉「秋の公募展第二陣を見て 新鮮な解釈で 新制作協会展」

『サンケイ新聞』1981年10月2日夕刊 日野耕之祐「光る佐藤忠良、荻太郎 新制作・一水会など」

『アート・トップ』(65) 芸術新聞社 1981年10月「ブロンズの詩 風土への思いを歌う人間像」

『新美術新聞』(281) 1981年11月11日 [『佐藤忠良作品集 現代彫刻センター』]

[北海道新聞] [1981年11月29日] [‘82 北海道博覧会 メダル]

『いわき民報』1981年11月30日夕刊 若松紀志子「生きていてよかった(7)」

[掲載紙不明] [1981年12月]「おめでとう! 「ゴールド・ルーキー賞」」

[婦人画報] [婦人画報社] [1981年12月] 東野芳明「目次ギャラリー 野外の造形」《少女》

『新美術新聞』(283) 1981年12月1日「音楽を描く 若松光一郎展」

『新美術新聞』(284) 1981年12月11日 米倉守「アンケート (1) 展覧ベスト3」

[病院] 不明 [1982年]「5年間で再建 改革一拡張 十和田市立中央病院」《早蕨》

『新美術新聞』(285) 1982年1月1日「読者投票 私の好きなこの作家」

『阪神サンケイ新聞』1982年2月25日「芦屋高玄関に少女の像」

[掲載紙不明] [1982年2月]「ブロンズ像を寄贈 彫刻家・佐藤忠良氏の最新作 芦屋高同窓会 新本館の完成祝い」

[掲載紙不明] [1982年2月]「県芦屋高ロビーに佐藤忠良氏の作品」

[掲載紙不明] [1982年2月]「ブロンズの重厚感 佐藤忠良撮影・石元泰博」

『河北新報』1982年3月18日 井手則雄「佐藤忠良展に寄せて」

『朝日新聞』1982年5月15日(米)「到達の画境しのばす作品群 椿会美術展 佐藤・舟越の首像も圧巻」

[掲載紙不明] [1982年5月]「東京近代美術館 日本美術の粋 100円で」

『朝日新聞』[1982年6月4日]「今夏初めて「北の彫刻展」札幌で隔年開催」

[読売新聞] [1982年6月21日夕刊]「700万円の彫像盗難 神戸フラワーロードから」

[神戸新聞] [1982年6月21日夕刊]「神戸市自慢「花と彫刻の道」ブロンズ像盗まれる 佐藤忠良さん作の「帽子・裸婦」

[朝日新聞] [1982年6月21日夕刊]「神戸フラワーロード 裸婦像盗まれる 重さ20キロ 佐藤忠良氏の代表作」

[毎日新聞] [1982年6月22日]「佐藤忠良氏作の「帽子・裸婦」青銅像盗んだ男逮捕 キロ2百円で売り飛ばす」

[神戸新聞] [1982年6月22日]「盗まれたブロンズ像 廃品業者に売られてた”くず鉄並み”5400円」

[読売新聞] [1982年6月22日]「彫刻盗難騒ぎ お恥ずかしいことで…「まさか」のスキに 市内に130展、放置状態」

[読売新聞] [1982年6月22日]「5400円で廃品屋に売る 時価700万円 神戸の彫像泥逮捕」

[サンケイ新聞] [1982年6月22日]「佐藤忠良作のブロンズ像 5千円で”目方売り” 無職男逮捕 なんと廃品屋へ」

[朝日新聞] [1982年6月22日(大阪版)]「ネコに小判?! 盗んだ裸婦像 目方売り 700万を5400円で…」

[掲載紙不明] 1982年7月26日(鎮)「ブロンズの詩 佐藤忠良展から (7) スイス帽の未菜」

『読売新聞』1982年7月28日 増田洋「風景のなかの彫刻 (30) 佐藤忠良「帽子・裸婦」」

[朝日新聞] [1982年8月]「素描5点、舟越保武の素描5点」

[読売新聞] 1982年8月27日(大分版) 平山史郎「佐藤芸術の魅力 強力なイメージ 呼びさます”顔”」

『いわき民報』1982年10月30日夕刊「いわき抄」

『沖縄タイムス』1982年10月30日夕刊「摩文仁に「少年」像建立」

『琉球新報』1982年11月2日「平和のあかし「少年の像」彫刻家佐藤氏が制作、9割完成」

『朝鮮時報』1982年11月25日(哲)「親善訪問 優しさ、いたわりの創造」

[毎日新聞] [1982年11月25日]「県立美術館に佐藤忠良氏のブロンズ像 福島相互銀行が寄贈」

[河北新報] [1982年11月25日]「ブロンズ像を寄贈」

[福島民友] [1982年11月25日]「ブロンズ像を寄贈 福島相銀 59年開館の県立図書館「ママ」に」

[北海道新聞] [1982年11月26日] 原子修「野外彫刻を訪ねて (8) 開拓母の像 生み育てる大地の本能」

[北海道新聞] [1982年12月]「年の瀬の像」[(1) 開拓母の像、(4) 若い女]

[掲載紙不明] [香川中学校教育研究会] [1983年] 三村昌哲「作家訪問 佐藤忠良氏を訪ねて」

[掲載誌不明] [1983年] 山形敏一「古稀と天寿」[素描「支倉常長像原図」について]

[北海道新聞] [1983年1月3日]「本社のことしの主な事業 ブロンズの詩(うた) 佐藤忠良展」

[掲載紙不明] [1983年1月13日] 原子修「野外彫刻を訪ねて (13) 雪娘 神話の気配を漂わせて」

『千葉大学学报』(563) 千葉大学事務局庶務部 [1983年1月15日] 井出源四郎「年頭所感」

『日中友好新聞』[1983年1月23日]「私と中国 (205) 佐藤忠良(彫刻家) 32歳で応召、東寧へ」

『読売新聞』[1983年2月15日]「美術界の同行も一目で 代表作家の近作一堂に 第3回「龍輝展」[富山市、サエキ画廊]

『読売新聞』1983年2月22日 [広告「佐藤忠良素描集」]

『月刊 沖縄』(120) 沖縄協会 1983年3月10日「広がる全国小中高校生の募金協力 平和のあかし「少年」の像が完成」

[琉球新報] [1983年3月26日] 与儀達治「沖縄平和祈念堂に入る 佐藤忠良氏のブロンズ「少年」」

[掲載紙不明] [1983年3月26日]「あす「少年」の像除幕式」

[沖縄タイムス] [1983年3月26日]「「少年の像」建立の資金にして」

『朝日新聞』[1983年3月27日]「青鉛筆」[《少年》除幕]

『朝日新聞』[1983年3月27日(西部版)]「激戦地・摩文仁の丘「少年」の像完成」

[沖縄タイムス] [1983年3月27日]「「少年」の像 きょう除幕式」

[琉球新報] [1983年3月27日]「きょう「少年」の像除幕式」

『琉球新報』1983年3月28日「平和の”あかし”を建立 摩文仁で除幕式「少年」の像に願い託す」

『沖縄タイムス』1983年3月28日「永遠の平和願い 厳かに「少年」の像序幕」

[沖縄タイムス] [1983年3月28日夕刊] [《少年》除幕]

[掲載紙不明] [1983年3月28日夕刊]「人工衛星」[《少年》除幕]

[中日新聞] [1983年3月29日]「佐藤忠良氏の「娘の像」など 名城公園に彫刻3つ」

[名古屋タイムズ] [1983年3月29日]「佐藤忠良氏らの作品 名城公園に彫刻3体設置」

[朝日新聞] [1983年3月29日]「はじめまして「娘の像」です 名城公園に3作品来月6日に除幕式」

[掲載紙不明] [1983年3月31日]「少年の像を平和のあかしに」

[掲載誌不明] [1983年] 竹田巖道「「少年」の像 佐藤忠良作」※校正刷り

[琉球新報] [1983年4月13日]「佐藤忠良展 沖縄三越」

[掲載紙不明] 1983年4月13日 安次富長昭「人と作品 佐藤忠良展によせて(上)」

『石巻かほく』1983年4月16日「講演で来石した佐藤忠良さん 表情富む顔を彫る「英吉さんは大学の先輩」」

『沖縄タイムス』[1983年4月23日]「読者から [[佐藤忠良展 沖縄三越]]」

『北海道新聞』1983年4月17日「静かに広がる感動 網走美術館増築記念 佐藤忠良展開く」

[沖縄タイムス] [1983年5月14日] 照屋孔盛「祈りの画集」見て思うこと」

『美術ニュース』美術ニュース社 1983年5月21日《若い女・シャツ》(第10回椿会美術展)

『月刊 沖縄』(123) 沖縄協会 1983年6月10日「佐藤忠良彫刻展 彫刻との触れ合い」佐藤忠良彫刻展終る 約2万余人が鑑賞 「「少年」の像建立記念メダル発売中」

『朝日新聞』1983年6月29日夕刊「50年来のライバル展」[佐藤忠良、舟越保武二人展]ギャラリーせいほう」

- 『新美術新聞』(336) 1983年7月1日「水と緑に映える彫刻7点 琵琶湖大橋彫刻プラザが誕生」《若い女・シャツ》
- 『東京新聞』[1983年7月1日]「小規模だが特色十分 佐藤忠良、舟越保武二人展」
- 『サンケイ新聞』1983年7月1日 松村寿雄「王選手の充実感 佐藤＝ライバル同士の対照的魅力＝舟越 陰影ある理想の女性」
- 『月刊 沖繩』(号数不明) [1983年7月10日]「佐藤忠良氏が「二人展」開く」
- 『サンケイ新聞』[1983年7月25日]三ツ村繁「佐藤忠良 舟越保武 対談／彫刻家の眼 同系異質の具象作家」
- 『山形新聞』1983年8月10日「県美展・こども県展 審査員決まる」[山形]
- 『掲載紙不明』[1983年]「審査員を訪ねて第39回県美展(3) 厳しい生き方、作品に 佐藤忠良氏 彫刻」[山形]
- 『琉球新報』[1983年9月6日]照屋孔盛「二人の男の話」
- 『週刊新潮』(1425) 新潮社 1983年9月22日「対談・彫刻家の眼(佐藤忠良・舟越保武)」
- 『毎日新聞』1983年9月26日夕刊 早瀬圭一「佐藤オリエ 偉大な父を糧に」
- 『サンケイ新聞』[1983年9月]日野耕之祐「新制作 充実した彫刻部門」
- 『日本経済新聞』1983年9月27日 瀧悌三「活みなぎるモダニズム 新制作展」
- 『聖教新聞』[1983年10月5日](融)「対談 彫刻家の眼 佐藤忠良・舟越保武著 眼で触る作家の確かな世界」
- 『美術ニュース』美術ニュース社[1983年10月1日]《若い女の像》(第47回新制作展)
- 『朝日新聞』1983年10月1日夕刊 米倉守「秋の公募展から油彩のマチエールの魅力 新制作展」
- 『赤旗』[1983年10月5日]山中宇佐夫「秋の公募展から 愛情豊かな彫刻群 新制作」
- 『毎日新聞』1983年10月11日 早瀬圭一「笹戸千津子 師から自立へ苦闘」
- 『北海道新聞』[1983年11月3日]「第37回 北海道新聞文化賞」[副賞《シャツの娘》]
- 『出版クラブだより』(226) 日本出版クラブ 1983年11月10日 太田弘「私の教科書づくり」
- 『サンケイ新聞』1983年11月19日夕刊 松村寿雄「第4回現代女流美術展 美の探究(7) 笹戸千津子(彫刻家)」
- 『朝日新聞』1983年12月7日 米倉守「「表現」の成熟へ格闘 野外彫刻の急増目立つ」
- 『千葉大学学報』(576) 千葉大学事務局庶務部 1984年1月15日 井出源四郎「年頭所感」[クロッキー入門]について
- 『新潟日報』[1984年2月19日]竹谷富士雄「仕事と友情支えた人間性 いわき市での8人展 に思う」
- 『赤旗』[1984年2月25日]大井健地「30年前のリアリズム探究「つれだっていわきを描いた作家たち展」を訪ねる」
- 『広報いわき』[いわき市]1984年3月1日「市立美術館4月28日オープン」
- 『月刊 沖繩』(132) 1984年3月10日「平和のあかし「少年」の像建立募金運動 全国小中高生からの温かい支援」
- 『掲載紙不明』[1984年3月16日]安谷屋節子「春三月」《少年の像》について
- 『北海道新聞』[1984年3月29日]「クローズアップ 木内和博さん」
- 『毎日新聞』1984年4月2日「初の”触れる美術館”できる 盲目の息子のために、両親が私財投じて」[ギャラリー TOM]
- 『朝日新聞』1984年4月13日「6人の作家15点寄贈 いわき市」
- 『いわき民報』1984年4月13日夕刊「30年前のいわき”贈る 市美術館 佐藤忠良さんら6作家」
- 『福島民友』1984年4月14日「市立美術館に自作の絵 佐藤さんら6人が贈る」
- 『福島民報』1984年4月15日「絵画や彫刻15点を贈る 市立美術館を充実して 地元出身の作家6人」
- 『下野新聞』1984年5月14日 蟹瀬令子「最新女事情(3)」《帽子・夏》
- 『掲載紙不明』1984年5月24日(英増)「朝鮮半島の危機を憂う 彫刻家 佐藤忠良さん まず米軍が撤退を」
- 『赤旗』1984年6月17日 藤田龍観「彫刻のある風景 水浴の女 クロシェッティ・作」
- 『東京新聞』[1984年7月10日]「まちのオブジェ 栃木市文化会館の「娘の像」
- 『河北新報』1984年7月20日「平和見つめる少女像 発祥の地・仙台に建立 民間ユネスコ大会」《ブーツの娘》
- 『仙台市政だより』[仙台市]1984年8月1日「榴岡公園に平和を見つめる少女像」《ブーツの娘》
- 『朝日新聞』1984年8月15日「ふくおかハカタ」[佐藤忠良、三木多聞の講演会、福岡市美術館]
- 『掲載誌不明』[1984年9月]梶原文彦「こっそり触ってみた「ミナ」のほったた」
- 『掲載誌不明』[1984年9月]「F.O.C. 通信(12) 東洋・東南アジアライオンズフォーラム組織委員会 銅像『若い女の像』記念」
- 『朝日新聞』[1984年9月2日]「若い女性の像」も仲間入り 佐藤氏制作 大通公園に”11人目”
- 『北海道新聞』1984年9月6日「第23回 東洋・東南アジアライオンズフォーラム」《若い女の像》
- 『週刊読売』(1875) 読売新聞社 1984年9月30日 飯沢匡「有象無象記(39)「小児科」の彫刻 佐藤忠良氏の仕事」
- 『サンケイ新聞』[1984年10月5日夕刊]日野耕之祐「具象と抽象の共存 新制作彫刻部」
- 『赤旗』1984年10月5日「展況 佐藤忠良・いわさきちひろ展」
- 『神奈川新聞』1984年10月6日「さながら宇宙基地 藤沢市秋葉台文化体育館オープン」《シャツ・ブラウスの娘》
- 『日本経済新聞』[1984年10月6日]瀧悌三「見どころ作るベテラン勢 新制作展」
- 『朝日新聞』1984年10月6日夕刊 米倉守「秋の公募展から現実超えた空間美 新制作展」
- 『美術ニュース』美術ニュース社 1984年10月6日「第48回新制作展より」《ジーンズ・夏》
- 『北海道新聞』[1984年10月8日夕刊]市瀬見「秋の公募展一陽会、新制作展」
- 『毎日新聞』1984年10月12日夕刊(山村)「佐藤忠良展」[現代彫刻センター]
- 『北海道新聞』1984年10月16日夕刊 本田明二「本郷新と仲間たち 改めて「彼」の大きさ思う」
- 『読売新聞』1984年10月19日夕刊(大阪版) 増田洋「佐藤忠良展 彫刻の本質に迫る”遠い形態”」
- 『日本経済新聞』1984年10月29日 今泉惇之介「日本の百人 佐藤忠良」
- 『朝日新聞』1984年12月11日夕刊 米倉守「84回顧 美術 老大家の新鮮な活躍 日常見すえ女性も台頭」
- 『読売新聞』1984年12月17日夕刊 酒井忠康「彫刻のある「まちづくり」」
- 『週刊朝日』(巻号不明)朝日新聞出版 1984年12月21日(飯)「更科源蔵著 佐藤忠良絵『少年たちの原野』」

[掲載誌不明] [1984年] 田沼洋子「少年たちの原野 更科源蔵著 佐藤忠良絵」
 [掲載誌不明] [1984年] 「本郷新の仲間達展」
 『河北新報』[1984年] 「彫刻に輝く名月 仙台地方 厚い雲間からチラリ」《ブーツの娘》
 [掲載紙不明] [1985年] 舟越保武「彫刻家佐藤忠良 市瀬見著」
 [新潟日報] [1985年] 本間正義「佐藤忠良」
 [職場美術] [全日本職場美術協議会] [1985年] 飯田文子「アトリエ訪問 大胆でヒョーキンで身軽な人 佐藤忠良先生」
 [掲載紙不明] [1985年] 「毎日教育シンポジウム 第1回 学び参加者募集」
 『サンケイ新聞』1985年2月17日(宮城版)「仙台で注目の 笹戸千津子展」
 『北国新聞』1985年2月27日「時鐘」
 [北海道新聞] [1985年3月1日] 「新しい本 子どもたちが危ない 彫刻家の教育論 佐藤忠良著」
 [掲載紙不明] [1985年] 「読んでます「子どもたちが危ない 彫刻家の教育論」(佐藤忠良著)」
 [赤旗] 1985年3月10日 藤田観龍「彫刻のある風景 若い女・シャツ 佐藤忠良・作」
 [北海タイムス] [1985年3月13日夕刊] 「子どもたちが危ない 彫刻家の教育論」(佐藤忠良著)
 『美術ニュース』美術ニュース社 1985年3月30日《脚をのばすリカ》[第2回恒春会展]
 [毎日婦人] (303) [毎日新聞社] [1985年4月] 本間正義「我愛光頭」
 『朝日新聞』1985年4月26日(福島版)「G・Wに芸術鑑賞いかか…竹久夢二・佐藤忠良・小牧源太郎展 いわきで同時期に開催」
 『朝日新聞』1985年4月29日[広告 ニッポン'85 東日本の観光・産業・文化《緑》]
 [北海タイムス] 1985年5月16日「東京 反骨健在3年ぶり個展 札幌出身 彫刻家の佐藤忠良氏」
 『美術ニュース』美術ニュース社 1985年5月25日《裸のリカ》[第12回椿会美術展]
 『サンケイ新聞』[1985年5月31日夕刊] 「鋭いリアリストの目 佐藤忠良展」
 [絵] [日動画廊] [1985年6月] 「新刊美術図書の紹介 佐藤忠良著 子どもたちが危ない」
 『新美術新聞』(401) 1985年6月1日「深い味わいの“顔”作品 新作を中心に 佐藤忠良展」
 『朝日新聞』1985年6月5日夕刊(米)「姿という詩情持つ 佐藤忠良展」
 [日本経済新聞] [1985年6月11日] 瀧悌三「簡素で清潔な精神性 佐藤忠良展」
 [中日新聞] 1985年6月17日「慰霊碑に鎮魂のブロンズ像 スキーバス事故の福祉大 ブーツの娘 佐藤忠良さん制作」
 『毎日新聞』1985年6月18日夕刊 加藤貞雄「佐藤忠良個展 首ににじみ出た精神性」
 『千都よみうり』(155) 1985年6月22日「創ろうふるさと文化「県民の日」公開討論会を紙上録音」[井手源四郎 千葉大学学長]
 [赤旗] 1985年6月23日 山口泰二「日本的感性ふまえた気品」
 [東京新聞] [1985年6月] 寺田千壘「第一級のカッコよさ」
 [月刊 高校生] [高校出版] [1985年7月号] 本間徹夫「高校生にすすめる本 佐藤忠良著 子どもたちが危ない」
 『サンケイ新聞』1985年8月18日 松村寿雄「私の創作風景

彫刻家 佐藤忠良 “すれすれ” の造形美学」
 『河北新報』1985年9月1日 [社告「近代巨匠彫刻展」藤崎]
 『河北新報』1985年9月4日 [広告「近代巨匠彫刻展」藤崎]
 『河北新報』1985年9月5日「忠良先生の「話を聞く会」「社と彫刻」巡回無料バス運行」
 『河北新報』1985年9月6日 笹戸千津子「近代巨匠彫刻展(1) くつきり 内なる苦闘」
 『河北新報』1985年9月7日 本間正義「近代巨匠彫刻展(2) 単純さの中に求心力」
 『河北新報』1985年9月16日「彫刻の街を守り抜いて」
 『日本経済新聞』1985年9月20日夕刊「素晴らしきかなライバル達(9) 舟越保武」
 『河北新報』1985年9月21日夕刊「読者のひろば 守りたい「彫刻のあるまち」」
 [掲載紙不明] [1985年9月27日] 「仙台の秋楽しめる 秩父宮妃殿下」
 [赤旗] [1985年10月2日] 山口泰二「秋の公募展から 小粒ながら豊潤な実り 新制作展」
 『日本経済新聞』1985年10月4日 瀧悌三「写真から前衛までの多様性 新制作展」
 『サンケイ新聞』1985年10月4日夕刊 日野耕之祐「具象と抽象が融和 新制作展」
 『美術ニュース』美術ニュース社 1985年10月5日《ポケット》[第49回新制作展]
 [掲載誌不明] [1985年] 「第49回新制作展」《ポケット》
 [掲載誌不明] [1985年] 「彫塑 第49回新制作展」《ポケット》
 『毎日新聞』1985年10月8日夕刊 加藤貞雄「秋の団体展から 会の“顔”に充実回 新制作展」
 『下堅新聞』1985年10月9日(和)「秋の公募展 第二陣から 絵と出会う楽しさ 新制作展」
 『朝日新聞』1985年10月10日(茨城版)「水戸で佐藤忠良特別展 現代具象彫刻の巨匠」
 『朝日新聞』1985年10月12日 米倉守「秋の公募展から 自己のナゾに迫る力作 新制作」
 『毎日新聞』1985年10月29日夕刊 山村悟「あすから大阪・大丸ミュージアムで 近代彫刻・愛の造形展」
 『河北新報』1985年10月31日「世界青少年群像 来月9日に 除幕 白石蔵王駅前」
 『河北新報』1985年11月10日「青少年に碑を贈る 白石市民の浄財集め 除幕されたブロンズ像「若き日の詩」」
 『朝日新聞』1985年12月17日「企業戦士の遺志 彫像に」《娘の像》
 『河北新報』1985年12月17日「思い出の地に「娘の像」」
 『サンケイ新聞』1985年12月21日(宮城版)「“ロビーに彫刻”が実現 第一生命タワービルで除幕式」《娘の像》
 『朝日新聞』1985年12月21日(宮城版)「話のアンテナ「娘の像」除幕式」
 『読売新聞』1985年12月21日(宮城版)「ロビーにブロンズ像 仙台 除幕された「娘の像」」
 『河北新報』1985年12月22日「仙台 ビル彩る「娘の像」ビジネスマンの遺志実現」
 [掲載誌不明] [1986年] 「山上広場 彫像「朔先生」」
 『河北新報』1986年1月26日「「うん、なかなかいいよ」忠良さん教壇に 仙台市上野山小 ユニークな指導」
 『じらんぼ』(14) 群馬県立美術館友の会 1986年3月31日野中武久「彫刻散歩」《若い女の像》
 『河北新報』1986年4月1日夕刊「彫刻の街 仙台(1) 緑の風」
 [北海道新聞] [1986年4月15日] 「展示彫刻52点の内容決まる 札幌芸術の森・野外彫刻美術館」

- 【朝日新聞】[1986年4月15日]「作品5ゾーンに 芸術の森 野外美術館 設置場所決まる」
- 【北海タイムス】[1986年4月15日]「展示作品名が決まる 芸術村・野外美術館の彫刻 来年から設置開始」
- 【日中友好新聞】1986年4月25日「天皇在位60年奉祝」問題 日中友好協会がよびかけを發表」
- 【ひと】[太郎次郎社] [1986年5月]川島浩「フォト・ポートレート 佐藤忠良の彫塑の授業」、春日辰夫「彫刻家・佐藤忠良の彫塑の授業 友だちの頭像をねんどでつくる」
- 【四国新聞】1986年6月14日 明石安哲「今も衰えない創作への情熱「穢づくりの顔」で傑出 具象彫刻の第一人者 佐藤忠良」
- 【文化評論】[1986年7月]「文評フォトギャラリー 野外彫刻(撮影:藤田観龍)」《若き日の詩》
- 【北海道新聞】1986年7月22日夕刊 竹岡和田男「森との対話 札幌芸術の森・野外美術館から(2)女・夏」
- 【掲載紙不明】[1986年7月]「25ヘクタールの大自然に彫刻や工芸館 さすが北海道芸術もデッカク」
- 【掲載紙不明】1986年7月25日「札幌芸術の森 27日にオープン」
- 【北海道新聞】1986年7月26日夕刊「北の地」に文化の新譜 札幌芸術の森オープン」
- 【週刊新潮】(1571)新潮社 1986年8月7日「秘蔵の1点(103) 北海道・網走市立美術館 居串佳一『北方に生く』」
- 【北海タイムス】[1986年9月9日]「第17回中原悌二郎賞 本賞に岩野氏」
- 【サンケイ新聞】1986年9月26日夕刊 日野耕之祐「みずみずしい脇田 新制作展」
- 【朝日新聞】1986年9月27日夕刊 米倉守「秋の公募展から 踏んばった幹部会員 新制作」
- 【日本経済新聞】1986年9月29日 瀧悌三「50周年で盛り上がる 新制作展」
- 【毎日新聞】1986年9月30日 加藤貞雄「秋の団体展から」
- 【掲載誌不明】[1986年]《帽子の像》[第50回新制作展]
- 【掲載誌不明】[1986年]《帽子の像》[第50回新制作展]
- 【河北新報】1986年10月10日「『帽子の像』を序幕 宮城学院 あす百周年記念式典」
- 【毎日新聞】1986年10月10日(宮城版)「『帽子の像』序幕 宮城学院」
- 【掲載紙不明】[1986年10月]「『帽子の像』の彫刻序幕 宮城学院100周年記念」
- 【サンケイ新聞】1986年10月10日(宮城版)「宮城学院100周年乙女の立像序幕」
- 【読売新聞】1986年10月21日夕刊 篠原大「与勇輝(3) 子どもこそ最高のモデル」
- 【北海道新聞】1986年10月21日「読者の声 立派な芸術の森 未来見据え造成」
- 【朝日新聞】1986年11月5日「彫刻家の佐藤忠良氏 県美術館にビッグな寄贈」
- 【河北新報】1986年11月5日「宮城・丸森出身の彫刻家 佐藤忠良さんがでっかいプレゼント」
- 【読売新聞】1986年11月5日「県出身の彫刻家 佐藤忠良氏 県美術館に全作品寄贈へ」
- 【掲載紙不明】1986年11月14日(青森版)「ふるさとに全作品を寄贈」
- 【北海タイムス】[1987年1月23日夕刊]「故郷の宮城に全作品を寄贈 彫刻家の佐藤忠良氏」
- 【カマラード】(5)宮城県民間教育研究団体連絡協議会 1987年1月「彫刻家・佐藤忠良の彫塑の授業」、春日辰夫「教室へやってきた佐藤忠良さん」
- 【河北新報】1987年1月28日[広告「佐藤忠良 新作版画4点 シリーズ 或る日の女」]
- 【北海道新聞】1987年2月14日夕刊「冬の野外彫刻鑑賞 札幌芸術の森」
- 【サンケイ新聞】1987年2月22日 松村文雄「環境芸術 街中の美 佐藤忠良 尚志」
- 【月刊美術】(138)サン・アート 1987年3月[広告「佐藤忠良 新作版画4点シリーズ 或る日の女」]
- 【北海道新聞】1987年3月25日「『現代中国』鑑賞の場 わが国に」
- 【朝日新聞】[1987年3月]「佐藤忠良氏の作「ブーツの娘」が第一歩「彫刻のある街」へ姫路市」
- 【朝日新聞】1987年4月9日「『父親』に見守られ「ブーツの娘」立つ 姫路・彫刻のある街の“長女”」
- 【北海道新聞】1987年4月21日夕刊 針生一郎「佐藤忠良の版画」
- 【掲載紙不明】[1987年] [広告「佐藤忠良 或る日の女シリーズ 版画と素描展」ダックシティ丸光 仙台店]
- 【新美術新聞】(471) 1987年6月21日(清)「自画像とわたし(61) 佐藤忠良」
- 【美術ニュース】美術ニュース社 1987年5月30日《チョコ・ネッカーフ》[「第14回椿会美術展」]
- 【岩手日報】1987年6月8日「現代彫刻集 I 佐藤忠良」
- 【日本経済新聞】1987年7月4日 阿部良「美の現場 佐藤忠良 迷ったあげく実直に戻る」
- 【福島民友】1987年7月21日 若松紀志子「みんゆう随想 海の向こうからオメデトー」
- 【掲載紙不明】1987年8月17日「指揮者の志田久子さんのヨーロッパ感動日記 パリ、ユネスコ本部を訪問」《ブーツの娘》
- 【河北新報】1987年9月2日「がんと闘い周年の遺作 彫刻家の岩野勇三さん」
- 【日本経済新聞】1987年9月7日「春秋」[「それぞれの旅」に対する佐藤忠良の感想に言及]
- 【日本経済新聞】1987年9月25日 瀧悌三「都会的な洗練と時代感覚 新制作展」
- 【朝日新聞】1987年9月30日夕刊「秋の公募展から 外と内への二つの流れ 新制作展」
- 【河北新報】1987年10月31日夕刊 菅野喜興「もう一つの寄港地 サン・トロペと支倉常長」
- 【広報ふるかわ】[宮城県古川市] [1987年11月]「ササニシキ顕彰碑新しい古川のシンボルに」
- 【朝日新聞】1987年11月13日夕刊「被爆した夫の肖像画 娘2人と泣きました」[原爆犠牲者肖像画・戦禍の記録]
- 【河北新報】1987年11月19日「ササニシキの名 後世に伝えよう 古川駅前に顕彰の像完成」
- 【河北新報】1987年12月11日夕刊「宮城県彫刻館 来春に着工 佐藤忠良さんの作品収蔵」
- 【掲載誌不明】[1988年]「NHK “一点中継・つくる”「彫刻家・佐藤忠良」」
- 【岩手日報】1988年1月3日「佐藤忠良展(岩手県民会館)」
- 【北海道新聞】1988年2月18日夕刊「白い季節をキャンバスに 冬も躍動 札幌芸術の森」《女・夏》
- 【鹿児島新報】[1988年4月1日]「『帽子の像』を序幕 市「緑と彫刻の道」第4弾 触れて楽しめる作品」
- 【西日本新聞】[1988年4月1日]「『帽子の像』完成 甲突川左岸」
- 【読売新聞】[1988年4月3日]「『帽子の像』できました 鹿児島

鳥・甲突川河畔]
 『西日本新聞』[1988年4月4日]「南風録」
 『保育の友』36(4) 全国社会福祉協議会 1988年4月「芸術のなかの子ども像(1) スイス帽の未菜(写真・堀弘子)」
 『毎日新聞』1988年4月13日 山根基世「読書日記」
 『赤旗』1988年4月25日「みんなのアンテナ」[NHK 一点中継・つくる・彫刻家佐藤忠良について]
 『一枚の繪』[一枚の繪][1988年5月] 船山馨、竹田巖道「ヒロポン中毒のころ」
 [掲載誌不明]千葉楽友会[1988年]岩淵晋「芸術の神髄、飄々と 佐藤忠良先生囲み談話会」、ほか
 [掲載紙不明]1988年6月1日「開拓母の像」
 『朝日新聞』1988年6月3日 米倉守「東京芸大名作展」
 『産経新聞』1988年6月9日「アトリエ」[佐藤忠良記念館の開館について]
 『新美術新聞』(504) 1988年6月11日「現代彫刻・1980年代の作家たち」展
 『産経新聞』1988年6月23日「銀行ロビーで本格的な彫刻展 協和銀行本店の「現代彫刻・1980年代の作家たち」
 『河北新報』1988年7月14日夕刊「日本の彫刻[1980年代の作家たち展]から(上)」[(中)(下)も含む]
 『河北新報』1988年7月15日夕刊「実力派の代表作集め 現代彫刻・1980年代の作家たち展 仙台で20日開幕」
 [掲載紙不明][1988年7月]「現代彫刻・1980年代の作家たち展」[社告ほか]
 『河北新報』1988年7月20日夕刊「心うつ造形の美 仙台で「現代彫刻・1980年代の作家たち展」
 [掲載紙不明]1988年7月23日 神田まもる「千葉の風景 橋づくし(30) 村上橋」
 『河北新報』1988年7月24日「ナマの声を聞く」
 『河北新報』1988年8月3日「きょう限り 仙台で現代彫刻展」
 『河北新報』1988年8月13日 菊田義孝「沈黙する裸像の前で」
 『朝日新聞』1988年8月31日夕刊 米倉守「追悼 岩野勇三展」
 『北海道新聞』1988年9月5日夕刊 高森伸明「海峡を挟んで 北海道・東北再考 第3部(1)」[宮城県美術館について]
 『毎日新聞』1988年9月11日 矢倉久泰「ファミリー談話室 彫刻家 佐藤忠良さん」
 『朝日新聞』[1988年9月14日] [広告「佐藤忠良展」有楽町アート・フォーラム]
 『北海道新聞』1988年9月14日夕刊 浅井美穂「芸術の秋 街角の彫刻めぐり」《若い女の像》
 『北海道新聞』1988年9月20日「釧路の「幣舞橋」奈良の「ふれあい橋」私たち「夏」像姉妹」
 『新美術新聞』(514) 1988年9月21日 酒井哲朗「肉化された ヒューマニズム」
 『朝日新聞』1988年9月21日夕刊 米倉守「仙台に「佐藤忠良美術館」全作品を寄贈 記念の個展、東京で」
 『北海道新聞』1988年9月22日夕刊「彫刻家の佐藤忠良さん 東京で大回顧展」
 [北海道新聞][1988年9月27日]竹岡和田男「美術時評 手法、材質に広がり おとなしい? 北の彫刻展」
 [東京新聞][1988年9月28日] 寺田千壘「美術評 批判的愛情や親近感」
 [北海道新聞][1988年9月]市瀬見「秋の公募展 新制作展」
 『日本経済新聞』1988年9月29日 瀧梯三「明るい都会的シャレっ気 新制作展」
 『河北新報』1988年10月22日「佐藤忠良さんらがくわ入れ 県美術館彫刻館 安全祈願祭」
 『河北新報』1988年10月29日夕刊「65年開館の彫刻館に全

作品を収蔵する佐藤忠良さん 宮城県美術館」
 [岩手日報][1988年11月]「県民会館 きょうから佐藤忠良展 彫刻など205点」
 [岩手日報][1988年11月23日]「佐藤忠良氏が記念講演 盛岡 ユーモア交え彫刻館を披露」
 『読売新聞』1988年12月9日「ブロンズの詩 佐藤忠良のすべて」福岡県立美術館
 『北海道新聞』[1983年12月22日]《若い女の像》
 『山形新聞』[1988年]「美術館前スクエアの大噴水「女神」の原型が完成 都市空間潤す芸術と自然 服部社長」
 [山形新聞][1988年12月24日]「女神像が完成・到着 美術館前スクエア 広がる夢「緑と彫刻の泉」
 『岩手日報』1988年12月24日 佐藤幸子「「オリエ」像」
 [朝日新聞][1988年12月]米倉守「貧しくも美しく」
 『GUSH 芸術の森通信 ガッシュ』(7) 札幌芸術の森[1988年冬]表紙に《冬の像》
 『山口民報』1989年1月1日 落合耕平「彫刻散歩(1) 佐藤忠良 冬のこども」
 『朝日新聞』1989年1月4日「朝日賞のりびと 彫刻家 佐藤忠良さん 日本人の体質感を表現した具象彫刻の実現に 対して」
 [掲載紙不明][1989年1月]「佐藤忠良展が開幕 新春を彩る 205点 福岡県立美術館」
 『日本経済新聞』1989年1月9日夕刊「鐘」
 『朝日新聞』1989年2月3日夕刊(長)「道一筋」
 『岩手日報』[1989年2月6日]「つぶれた帽子 佐藤忠良著 波乱の軌跡、淡々と」
 [産経新聞][1989年2月10日]舟越保武「つぶれた帽子 佐藤忠良著 苦難を恐れない力強さ」
 [西日本新聞]1989年2月16日(花)「彫刻の顔」
 『週刊読売』読売新聞社 1989年2月19日『「つぶれた帽子」 佐藤忠良著』
 [掲載紙不明][1989年2月]「「つぶれた帽子」佐藤忠良著」
 『日本経済新聞』1989年3月13日夕刊「各地に続々個人美術館」
 [掲載誌不明][1989年4月]《夏の像》《冬の像》[大泉町]
 [掲載紙不明][1989年4月7日]「彫刻、デッサンなど205点 豊かな詩情 会場圧倒 長岡で「佐藤忠良展」始まる」
 [掲載誌不明][1989年]「長岡美術センター 佐藤忠良氏の講演会開催される」
 『新潟日報』1989年5月18日 羽賀善蔵「彫刻家佐藤忠良との共感」
 [北海道新聞][1989年5月22日]「彫刻家の佐藤忠良さん 自作展で記念講演 札幌芸術の森」
 [掲載紙不明][1989年5月23日]「道内ニュース「佐藤忠良の世界」」
 [掲載紙不明][1989年5月24日]「芸術ベレストロイカ語る」[オレグ・コモフ来訪]
 『日刊 新周南』1989年6月7日「佐藤忠良氏が現地へ シンボル彫刻の位置決まる 徳山」
 『日刊 毎朝新報』1989年6月9日「ブロンズ像制作の手始め 佐藤忠良氏が来徳 設置場所の下見を兼ねて」
 [朝日新聞][1989年6月14日(茨城版)]「現代具象彫刻の頂点 佐藤忠良のすべて」
 [新しいばらき][1989年6月16日]「あすから「佐藤忠良展」 県近代美術館 彫刻、素描など205点」
 [産経新聞][1989年6月16日]「佐藤忠良氏の彫刻展 あすから県立美術館 新作など二百余点」
 [常陽新聞][1989年6月17日]「「佐藤忠良のすべて」県近

代美術館 きょうから作品展」
 『新しいばらき』1989年6月17日「県近代美術館企画展の第3段 きょうから「佐藤忠良展」」
 『いはらき』1989年6月17日「佐藤忠良彫刻展」
 『朝日新聞』1989年6月18日「水戸で佐藤忠良展「現代具象彫刻の頂点」魅力のすべて集める」
 『いはらき』[1989年6月18日、23日、25日、7月2日、9日] 荒木扶佐子「「佐藤忠良のすべて」展」(5回連載?)
 『いはらき』[1989年6月19日]「独自の彫刻観披露 県近代美術館 佐藤氏招き講演会」
 『愛媛新聞』1989年6月20日「ロダンに触れる「手で見る彫刻えひめ展」の周辺(7)」
 『朝日新聞』1989年7月2日 相馬全「「日本科学読物賞」を受けた自然生態カメラマン 太田威さん」
 『新しいばらき』[1989年7月3日]「山崎教授から指導 県近代美術館「テラコッタ」講座開く」
 『いはらき』[1989年7月3日]「上手にできましたか 県近代美術館 テラコッタ講座開講」
 『サンケイスポーツ』[1989年7月4日]「きょうの誕生日 仕事優先の人 彫刻家・佐藤忠良」
 『信濃毎日新聞』[1989年7月7日]「現代具象彫刻の頂点—佐藤忠良のすべて」
 『山陽新聞』[1989年7月20日]《二歳》
 『千葉日報』[1989年7月22日]《二歳》
 『新潟日報』[1989年7月22日夕刊]《二歳》
 『山形新聞』[1989年7月23日]《二歳》
 『下野新聞』[1989年7月25日]《二歳》
 『掲載紙不明』[1989年7月]「読書 佐藤忠良著「佐藤忠良 I・II」」《木曾》
 『南日本新聞』[1989年7月22日夕刊]「佐藤忠良 I・II」
 『信濃毎日新聞』[1989年7月23日]「佐藤忠良 I・II」
 『日本経済新聞』1989年7月23日《女座像》
 『岐阜新聞』[1989年7月24日夕刊]「佐藤忠良 I・II」
 『徳島新聞』[1989年7月26日夕刊]「佐藤忠良 I・II」
 『京都新聞』[1989年7月31日]「佐藤忠良 I・II」
 『宮崎日日新聞』[1989年7月24日]「佐藤忠良 I・II」
 『熊本日日新聞』[1989年7月24日]「佐藤忠良 I・II」
 『愛媛新聞』[1989年7月24日]「佐藤忠良 I・II」
 『高知新聞』[1989年7月24日]「佐藤忠良 I・II」
 『岩手日報』[1989年7月24日]「佐藤忠良 I・II」
 『東奥日報』[1989年7月24日夕刊]「佐藤忠良 I・II」
 『岩手日報』1989年7月24日「佐藤忠良 I・II 佐藤忠良著 彫刻作品など収録」《木曾》
 『日本経済新聞』1989年7月26日「広告『佐藤忠良 I・II』講談社」
 『日本経済新聞』[1989年7月]「広告『佐藤忠良 I・II』講談社」
 『朝日新聞』1989年7月26日 米倉守「東京国立近代美術館で「昭和の美術」はじまる」
 『読売新聞』1989年7月27日「小窓 佐藤忠良の全貌」
 『新美術新聞』(543) 1989年8月1日 田中日佐夫「創造の小径(3) 佐藤忠良「夏の像」」
 『朝日新聞』1989年8月3日夕刊 米倉守「眼の刻印 “歩き続ける” 彫刻家佐藤、全足跡」
 『北海タイムス』[1989年8月6日]「具象彫刻の佐藤忠良さん 19日に美術講演会」
 『北海道新聞』[1989年8月8日]「佐藤忠良のすべて」
 『北海道新聞』[1989年8月10日]「「佐藤忠良のすべて」展 開幕近づく 19日から道立旭川美術館」
 『日刊 旭川』[1989年8月10日]「初期から近作まで一堂に

—19日から「佐藤忠良のすべて」展」
 『北海タイムス』[1989年8月11日]「19日から佐藤忠良展のすべて展 初期から近代まで彫刻など205点」
 『信濃毎日新聞』1989年8月12日 佐藤朔「私の彫刻鑑賞」
 『朝日新聞』1989年8月16日(北海道版)「「すべて」展 道立旭川美術館で 19日から作品205点、本人が講演」
 『北海道新聞』[1989年8月16日夕刊] 井内佳津恵「佐藤忠良の足跡 その人と作品(上)」
 『北海道新聞』[1989年8月17日夕刊] 越前俊也「佐藤忠良の足跡 その人と作品(中)」
 『北海道新聞』[1989年8月18日夕刊] 浅川泰「佐藤忠良の足跡 その人と作品(下)」
 『読売新聞』[1989年8月18日]「あすから佐藤忠良展 道立旭川美術館」
 『北海道新聞』[1989年8月19日]「佐藤忠良さんを歓迎 きょうから作品展 実行委がレセプション」
 『朝日新聞』[1989年8月19日夕刊]「200人が出席 佐藤忠良展 旭川美術館で開会式」
 『北海タイムス』[1989年8月19日]「佐藤忠良のすべて展 きょう開幕 成功願いレセプション」
 『日刊 旭川』[1989年8月20日]「初日から大勢の市民 道立旭川美術館「佐藤忠良のすべて」始まる」
 『北海タイムス』[1989年8月20日]「「佐藤忠良のすべて」展 始まる 旭川市民になじみ深く」
 『北海道新聞』[1989年8月20日]「「佐藤彫刻」自ら解説「忠良のすべて」展開幕」
 『北海道通信』[1989年8月25日]「彫刻など205点を展示「佐藤忠良のすべて」展」
 『北海道新聞』[1989年8月24日夕刊] 木内綾「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(1)」
 『北海道新聞』[1989年8月25日夕刊] 斎藤一郎「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(2)」
 『北海タイムス』[1989年8月27日]「彫刻の街にまた一つ “顔” 佐藤忠良氏の「亜古」像 旭川信金東光支店前庭に」
 『北海道新聞』[1989年8月28日夕刊] 山田克己「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(3)」
 『北海道新聞』[1989年8月29日夕刊] 馬場昭「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(4)」
 『北海道新聞』[1989年8月30日夕刊] 神田比呂子「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(5)」
 『北海道新聞』[1989年8月31日夕刊] 五十嵐広三「佐藤彫刻の魅力「すべて展」から(6)」
 『掲載紙不明』[1989年9月] (H)「秋の公募展 密度濃い新制作の彫刻」
 『美術ニュース』美術ニュース社 1989年9月30日《緑》[第53回新制作展]
 『赤旗』[1989年10月3日] 山口泰二「戦後美術の女性像」
 『産経新聞』1989年10月18日-20日 奥田裕「私の画集「佐藤忠良 I・II」から」《かがむ女》《二歳(大)》《夏(道東の四季)》
 『日刊 新周南』1989年10月19日「徳山 佐藤氏の“緑”に決まる 来年1月除幕 文化会館前のモニュメント」
 『掲載紙不明』1989年10月31日「最上義光歴史館12月1日にオープン 120余点の収集品を展示」
 『河北新報』[1989年10月]「所蔵の美術品26点 佐藤忠良さん、県へ贈る」
 『永福小学校 PTA 会報 矢車』(123) 永福小学校 PTA 広報委員会 1989年11月「佐藤忠良氏講演会 心にしみる「彫刻と私」」

- 『山形新聞』1989年11月30日「薫り高く 郷土の遺産 最上義光歴史館が完成」
- 『山形新聞』1989年12月1日「義光歴史館 きょう落成式「愛の女神」据え付け」
- [一枚の繪] (巻号不明) [一枚の繪] [1990年] [広告『佐藤忠良「彫刻の世界」特別頒布』]
- 『山形新聞』[1990年]「誕生27年 芸術の拠点 山形美術館 服部館長の情熱たたえる胸像除幕」
- [掲載紙不明] [1990年] [年賀状(佐藤忠良・画)]
- 『日刊 新周南』1990年1月8日「佐藤さんの“緑” 序幕! 新成人の梅本さんらで」
- [毎日新聞] [1990年1月]「佐藤忠良のすべて」倉敷の児島虎次郎記念館で開催中」
- [山陽新聞] [1990年1月] (内)「詩情豊かな造形美「佐藤忠良のすべて」展」
- 『山形新聞』1990年3月3日「繊細な女流彫刻70点 笹戸さん 個展 恩師と一緒に展示 山形美術館」
- 『山形新聞』1990年3月3日夕刊「気高く繊細な彫刻群 笹戸千津子展オープン 山形美術館」
- [掲載紙不明] [1990年3月]「ひととき 大原美術館で満たされ」
- 『朝日新聞』1990年3月31日「平和を願いジーンズ像」
- 『読売新聞』1990年3月31日「「平和都市宣言」の像 杉並で除幕」
- [産経新聞] [1990年3月31日]「世界平和の願い込めて 杉並区がブロンズ像」
- [東京新聞] [1990年4月1日]「ジーンズはいた平和像完成」
- [いづみ] [1990年4月号] 駒田博之「日本のロダン・光太郎を継ぐ彫刻家—佐藤忠良さん」
- 『河北新報』1990年4月4日「「铸造原型」もそろえる 佐藤忠良さんの全作品収蔵する宮城県彫刻館」
- [山梨日日新聞] 1990年4月6日「佐藤忠良氏の作品 芸術の森に設置へ」《カモシカと少年(エスキース)》
- 『河北新報』1990年4月7日「新・伊達なクニづくり」《支倉常長像》
- 『日本経済新聞』1990年4月9日「佐藤忠良氏の彫刻保存に財団」
- 『広報すぎなみ』(1144) 杉並区 1990年4月20日「平和を願う” 普通の人”」
- 『アート・トップ』(116) 芸術新聞社 1990年5月「幅広い友人と世話好き」[須田寿]
- 『北海道新聞』1990年5月25日夕刊 竹岡和田男「アトリエの中の顔 佐藤忠良さん(彫刻家)」
- 『新美術新聞』(571) 1990年6月1日「ユニークな公立美術館オープン相次ぐ 宮城県美術館に隣接して佐藤忠良記念館」
- 『河北新報』1990年6月1日「“感動の空間”に期待 仙台・佐藤忠良記念館 開館前に夫妻招き記念式」
- 『山形新聞』1990年6月1日「彫刻芸術の「粋」展観 佐藤忠良記念館オープン」
- [掲載紙不明] [1990年6月]「佐藤忠良記念館オープン 宮城県美術館 彫刻、素描・水彩など」
- 『朝日新聞』1990年6月2日(理)「私と先生 佐藤忠良」
- 『河北新報』1990年6月7日夕刊「伊達な18階県庁(4)」
- 『東京新聞』1990年6月17日「佐藤忠良作品集 河北新報社 開発局出版部編」
- 『赤旗』1990年7月13日 早川博明「彫刻環境の成熟示す「佐藤忠良記念館」のオープン」
- 『産経新聞』[1990年9月27日] (H)「展評 抽象、具象ともに充実—新制作の彫刻」
- 『日本経済新聞』1990年9月27日 瀧悌三「新制作展 様式に幅あり見ごたえ」
- 『週刊新潮』(1777) 新潮社 1990年9月27日「美術館特集99 川村記念美術館」
- 『河北新報』1990年10月16日「親子がざっくばらんに対談 佐藤忠良・オリエさん」
- 『河北新報』1990年11月28日「みやぎの群像(38) 第2部・開花編(17)「具象一筋」の人生」
- 『読売新聞』1990年12月9日(千)「生涯現役 飾らぬ生 土に込めて」
- [掲載誌不明] [1991年]「一品拝見「娘の像」佐藤忠良作」
- [グラフ浦安] [1991年]「若潮公園に「平和の像」—除幕式は3月25日—アトリエに制作者の佐藤忠良氏を訪ねて」
- 『グラフかごしま』[鹿児島県] 1991年1月 表紙に《ポケット》[長島美術館]
- [掲載誌不明] [東京総合教育センター] [1991年2月]「心がふくらむ「読みきかせ」」[絵本『おおきなかぶ』について]
- 『The JR Hokkaido 北海道旅の情報誌』(37) JR北海道ソリューションズ 1991年3月 表紙に《夏》(道東の四季)
- 『朝日新聞』1991年3月28日「TOKYO 移庁物語 番外1 都民広場にぐるり8つの像」
- [北海道新聞] [1991年4月20日]「大統領訪日見て聞いて 外交辞令で片付かぬ」
- 『徳永ゼミナール会報 早蕨』(1) [徳永ゼミナール] 1991年4月 表紙に《このはずく》
- 『毎日新聞』1991年6月26日 早瀬圭一「私をうならせた一冊 笹戸千津子さん」
- 『熊本日日新聞』[1991年7月7日]「帽子・夏 佐藤忠良 県立美術館所蔵」
- ASAHI EVENING NEWS, Tokyo: Asahi Shimbun, 7 July 1991, Tsuyuhiko Hinatsu “Churyo Sato, Sculptor, Simple and Honest”
- 『朝日新聞』1991年7月18日「優秀映像教材選奨 最優秀作品決まる ビデオの部 社会教育部門「佐藤忠良「彫刻の世界」」
- 『全自病協雑誌』不明 1991年8月 諸橋芳夫「緑陰随想 医祖・神農神」《神農》
- 『北海道新聞』1991年9月10日「国際ジュニア・アート・キャンプ」[札幌芸術の森]
- 『日本経済新聞』1991年9月27日 瀧悌三「生き生きした意欲作目立つ 新制作展」
- [赤旗] 1991年9月28日 内藤久美子「秋の団体展から ベテランの安定した力 新制作展」
- 『産経新聞』1991年9月30日(H)「長老健闘で活気づく新制作」
- 『朝日新聞』1991年9月24日夕刊(虻)「秋の公募展から 新たな画境再構築 新制作展」
- [朝日新聞] 1991年10月24日 大坪健二「ロダンから出発「日本人」追究」
- [掲載紙不明] 1991年11月7日「顔に履歴刻む闘い 彫刻家・佐藤忠良さんに聞く」
- 『山形新聞』1991年11月8日「いかに深く語り得るか 俗との瀬戸際を歩いて 佐藤忠良氏」
- [掲載紙不明] 1991年11月9日「彫刻家の佐藤忠良氏 俗との瀬戸際を歩く」
- [掲載紙不明] [1992年]「千葉浩志肖像作品集から」(41回連載) [「佐藤忠良氏(彫塑家)謙虚な姿勢」(32)]

- 『河北新報』1992年1月1日「河北文化賞 彫刻芸術と地方文化の振興に寄与 佐藤忠良さん」
- 『読売新聞』1992年1月14日夕刊 加藤博「内海隆一郎さん 鰻のたたき」
- 『秋田さきがけ新聞』[1992年2月28日]「佐藤、舟越の「2人展」心打つ彫刻の数々」[光悦洞美術館]
- 『広報かくた』角田市総務部企画課 1992年3月「市長室から(36)『芸術への教育』」
- 『朝日新聞』1992年3月14日「「都市の指標展」日本橋高島屋」
- 『大分合同新聞』[1992年4月16日]「佐藤忠良氏の特別講演(要旨)」
- 『大分合同新聞』[1992年4月23日] 広田肇一「佐藤忠良展をみて 楽しい 常設の朝倉作品との対比」
- 『河北新報』1992年6月24日 白井茂「海を渡った常長像 宮城 スペイン(下)」
- 『北海道新聞』1992年8月14日 夕刊 森川潔「地域に根ざす展示 網走市立美術館」
- 『岐阜新聞』1992年8月26日「右手に若葉 希望を表現 来店者楽しませるブロンズ像 十六銀行本店ロビー」
- 『産経新聞』1992年9月28日 日野耕之祐「公募団体展は今…創立の趣旨が薄れる中で」
- 『日本経済新聞』1992年9月28日 瀧三「具象が充実 新制作展」
- 『朝日新聞』1992年9月29日(虻)「「視覚に浸透」「目より心」2つの志向際立つ公募展」
- 『掲載誌不明』[1992年10月]「輔仁会美術展」
- 『朝日新聞』1992年10月24日「その時 佐藤忠良さん(彫刻家)」
- 『杉並新聞』1993年1月1日「訪問インタビュー 彫刻家 佐藤忠良」
- 『朝日新聞』1993年2月12日夕刊「時越え日口交流「友好の像」富士市へロシア民間団体が今秋寄贈」[オレグ・コモフ]
- 『日本経済新聞』1993年2月20日《緑の風》(写真 村井修)
- 『輔仁会だより』(24) [輔仁会]1993年3月1日「輔仁会美術展」
- 『河北新報』1993年3月9日「遙かなるロマン支倉常長の闘い 総集編(上)」《支倉常長像》
- 『毎日新聞』[1993年3月30日]「御堂筋に”美女”2体 ルノワールと佐藤氏の作品 彫刻これで5点」《布》
- 『河北新報』1993年4月26日「若野勇三の思い出語る 佐藤忠良さん仙台で講演会」
- 『岩手日報』1993年4月27日「盛岡市都南文化会館・都南公民館」《ジーンズ》
- 『日刊ゲンダイ』1993年5月14日「憲法の平和原則をまもり、文化の豊かな発展をはかるために」
- 『赤旗』1993年8月13日 岡田菊恵「逃げる」
- 『北海道新聞』[1993年9月5日]「ロダン、光太郎 この目で芸術の森 近代彫刻の流れ展開幕」
- 『産経新聞』1993年9月19日 松村寿雄「柳原義達氏”彫刻60年”の道標」
- 『産経新聞』[1993年9月28日] 日野耕之祐「猪熊の晩年の画境—新制作展、一水会展、一陽展、東京展」
- 『掲載誌不明』[1993年] [第57回新作展評]
- 『北海道新聞』[1993年12月5日] 中川李枝子「絵本と私(36)」[絵本『ゆきむすめ』について]
- 『朝日新聞』1994年1月4日 [広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスの道具。」]《帽子・立像》
- 『内外情勢』(141) 内外情勢調査会 1994年1月「郷土の美術館 この逸品」《ボタン(大)》
- 『一枚の繪』(269) 一枚の繪 1994年2月「佐藤忠良「少年の像」を語る」(特集 沖縄 美と平和の祈り)
- 『いわき民報』1994年3月2日夕刊「キャンパスの裏側(11) 炭鉱や坑夫などから真のリアリズム追求」
- 『朝日新聞』1994年3月14日「念願かない画家をモデルに」《脇田さん》
- 『日本経済新聞』1994年4月15日 宝玉正彦「静けさの中に 具象の華やぎ 佐藤忠良展」
- 『朝日新聞』[1994年4月(三重伊勢版)]「生命感あふれる作品そろふ 県立美術館で佐藤忠良展」
- 『岩手日報』1994年10月13日「平和の願い若い世代へ シベリア抑留死亡 慰霊像建立、除幕 盛岡・高松池」
- 『盛岡タイムス』1994年10月13日「平和願い少女像 高松の池に建立 きのう除幕式 シベリア抑留記念 佐藤忠良氏が制作」
- 『産経新聞』[1994年10月13日]「悲劇の記憶 後世にシベリア抑留者慰霊 平和祈念碑が完成 盛岡・高松公園」
- 『朝日新聞』[1994年10月14日]「戦争の悲惨さ後世にシベリア抑留平和機縁慰霊碑 ひまわり手にした少女像 盛岡で除幕」
- 『岩手日報』[1994年12月21日]「和平の像の構想と芸術観 彫刻家・佐藤忠良氏に聞く」
- 『朝日新聞』1995年1月4日 [広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスの願い。」]《ボタン(大)》
- 『区報ぶんきょう』(1136) 文京区 1995年3月25日「”水と緑と彫刻の散歩道”『環三さくら通り』の整備が完了しました」《風韻》
- 『河北新報』1995年3月31日「文化発信 町民が主役 大和 まほろばホールが完成 記念講演や合唱で祝う」
- 『北海道新聞』1995年4月21日夕刊「風に立つ 野外彫刻のささやき」《若い女の像》
- 『信濃毎日新聞』[1995年5月]「洋画家 脇田和氏」[《脇田さん》]
- 『銀座百点』(487) 銀座百点会 1995年6月 植田いつ子、小田島雄志、村松友視「第一歩は銀座から」[桑沢学院] ※複写
- 『ビューすぎなみ』(40) 杉並区 1995年7月「もおうひとりの証人 すぎなみ戦後50年」《ジーンズ》
- 『北海道新聞』[1995年10月8日]「第49回北海道新聞文化賞」[副賞《ジーンズ》]
- 『毎日新聞』1995年11月17日「鎮魂の絵画 シベリア抑留画家の50年(3) 佐藤忠良」
- 『東奥日報』[1995年11月21日]「NHK スペシャル「晩秋の…」2彫刻家の交流たどる」
- 『掲載紙不明』1995年11月22日夕刊「舟越保武と佐藤忠良 “真の友情”を描く」
- 『北日本新聞』1995年11月24日夕刊「NHK スペシャル「晩秋の友」友人でありライバル 舟越保武と佐藤忠良」
- 『赤旗』[1995年11月27日]「日本彫刻界の双へき 佐藤忠良と舟越保武に迫る NHK 総合「老友へ」」
- 『掲載誌不明』[1995年]《R 夫人》[第59回新作展]
- 『掲載書不明』[1995年]《R 夫人》[第59回新作展]
- 『掲載紙不明』[1996年] 木内和博「多くよりも深く」
- 『朝日新聞』1996年1月4日 [広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスの暦。」]《帽子・夏》
- 『新美術新聞』(759) 1996年3月1日 山田明子「佐藤忠良 東京都練馬区練馬警察署」
- 『毎日新聞』1996年3月29日「[巨匠たちの素描展]すまいギャラリー」
- 『神奈川新聞』1996年4月1日「大仏記念館の猫像 盗まれてから10カ月ぶり 制作者佐藤さんが復元」

『毎日新聞』1996年4月1日「盗難に遭い姿消した猫の像 復元 大佛次郎記念館」

『北海道新聞』1996年4月4日夕刊「北のかたち 開拓母の像 佐藤忠良」

『信濃毎日新聞』1996年4月23日 高木宇津彦「シベリアの縁 50年後の交流」

『北海道新聞』1996年5月17日夕刊「“佐藤忠良芸術”の根幹味わって「こどもの世界」紹介」

『週刊上田』1996年5月25日「シベリア抑留から半世紀ぶりの交流 上田市 高木宇津彦さんと彫刻家・佐藤忠良さん」

『朝日新聞』1996年7月4日(二郎)「きょう」

『山陰新聞』1996年8月26日 大西康彦「アデランテ(前へ)」

『新美術新聞』(779)1996年10月11日「第27回 中原悌二郎賞」[選考委員に佐藤忠良]

『掲載誌不明』[1997年]「勅使河原蒼鳳氏の胸像除幕式が行われる 草月の未来を語りかけるモニュメント」

『朝日新聞』1997年1月4日 [広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスの新天地。」]《若い女・シャツ》

『掲載紙不明』1997年2月1日「佐藤忠良さん回顧展 丸亀・猪熊弦一郎現代美術館」

『毎日新聞』1997年3月4日(石)「仕事の現場 写真・荒牧万佐行 佐藤忠良(彫刻家)」

『東京新聞』[1997年3月]長谷川栄「触ることから始めよう 佐藤忠良著」

『北海道新聞』[1997年3月19日]「彫刻とデッサン展が開幕 佐藤忠良・笹戸千津子展」

『日本経済新聞』1997年3月23日「あとがきのあと「触ることから始めよう」佐藤忠良氏」

『河北新報』1997年4月18日 第3朝刊「引き継ごう 東北の気概」《母の顔》

『北海道新聞』1997年4月25日「北海道ひと紀行 人間見つけて 佐藤忠良」

『飛脚』24(272) 佐川急便 1997年6月「佐川急便創業40周年記念 佐川美術館 シベリアでの3年間」《うれ》

『法政』24(7) 法政大学 1997年9月「学宝探訪 佐藤忠良作ブロンズ像「かげ(翳)」」

『北海道新聞』1997年8月11日夕刊 八重樫實「北の話」創刊200号」

『掲載誌不明』[1997年]《萌》[第61回新制作展]

『飛脚』24(276) 佐川急便 1997年10月「佐川急便創業40周年記念 佐川美術館 ロダン美術館」《翳の像》

『河北新報』1997年10月30日「佐藤忠良さん作常長像など 寄贈 仙台の山形さん 石巻市に」《支倉常長像小像》レゾネ掲載なし、石膏原型番号193]

『富山新聞』1997年11月1日「彫刻の神髄を堪能 佐藤、舟越さんの二人展 富山」

『飛脚』(巻号不明) [佐川急便] [1998年]「佐川美術館だより 芸術の季節に、『ブロンズの詩 佐藤忠良の世界』開催」

『河北新報』1998年1月5日 広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスのネットワーク。」《若い女の像》

『東京新聞』1998年2月21日 山本稔「いたわり」の芸術を説く 彫刻家 佐藤忠良さん」

『読売新聞』1998年7月16日「第6回読売演劇大賞」[副賞に《蒼穹》]

『掲載紙不明』1998年8月6日「野外彫刻もピカピカに 美術博物館で学芸員実習 徳山」

『河北新報』1998年8月15日「佐藤忠良氏 “楽屋裏” 公開 県美術館「特別展」きょう開幕」

『北海道新聞』1988年8月18日夕刊 舟越保武「海峡を挟ん

で 北海道・東北再考 第2部(18) 親しき人々 ジャガイモの滋味」

『朝日新聞』1998年8月20日 田中三蔵「佐藤忠良展／斎藤義重展」

『読売新聞』1998年8月25日夕刊 西田和也「チビタベッキア・ジャーナル 友好の日本庭園建設 慶長遣欧使節とりもつ像」

『河北新報』1998年9月3日夕刊 三上満良「佐藤忠良—彫刻家の眼(上)」

『山口新聞』[1998年9月15日]「東京発山口県人 彫刻家 笹戸千津子さん」

『掲載誌不明』[1999年]「卒寿展 佐藤忠良70年の歩み・アトリエの中から」

『飛脚』(巻号不明) [佐川急便] [1999年]「佐川美術館だより 佐藤先生、笹戸先生による講演会「アトリエから」開催」

『東京新聞』[1999年?月28日]藤慶之「ミュージズの履歴書 一関西の美術館を訪ねて 佐藤忠良 帽子・夏 滋賀県・佐川美術館」

『河北新報』1999年1月4日 広告「日立東北ソフトウェア株式会社 ホモ・サピエンスの知恵。」《ブラウス》

『岩手日報』[1999年1月5日] 菊池正「収容所の画家」

『静岡新聞』1999年1月24日 山本英夫「一作入魂 県内ゆかりの美術家「静」と「動」の緊張感 野島青茲の思い出を語る 佐藤忠良氏」

『河北新報』1999年7月16日夕刊 佐藤陽二「彫刻との格闘 果てなく 米寿迎えた佐藤忠良さん」

『北海道新聞』1999年11月20日「中原悌二郎賞の30年」《カンカン帽》

『伊勢新聞』2000年1月25日「一日も欠かさぬ創作活動 彫刻家 佐藤忠良さん」

『掲載紙不明』2000年1月31日「にんげん春秋 人間の深さと闘う “職人” 彫刻家・佐藤忠良さん」

『信濃毎日新聞』2000年1月25日「彫刻家・佐藤忠良さんに聞く」

『長崎新聞』[2000年2月2日]「にんげん春秋 一日も欠かさぬ創作活動 彫刻家 佐藤忠良さん」

『朝日新聞』2000年2月9日 川村二郎「語る 山根基世の世界 謙虚さと限らない共感 インタビューに込めて」

『河北新報』2000年4月19日「宮城県美術館の初代名誉館長 佐藤忠良氏に委嘱状」

『河北新報』2000年6月8日「「彫刻は原始の営み」宮城県美術館「忠良記念館」10周年 佐藤さんら公開で談話」

『北海道新聞』[2000年8月8日]「六花亭、相原求一郎美術館・増築棟」《相原求一郎像》

『アリスの庭：美術館協会ニュース』(36) 宮城県美術館協会 2000年9月 浅野史郎「忠良さん」

『掲載誌不明』[2001年] 市河、横山、福田「おおきなかぶ」

『北海道新聞』2001年2月15日、16日、19日-23日、26日-28日、3月1日、2日、5日-7日夕刊 木内綾「私の中の歴史 もし、あの時—織の道」

『北海道新聞』[2001年2月28日] 青山秀行「私の中の歴史 優佳良織織元 木内綾さん もし、あの時—織の道(10)」

『日本経済新聞』2001年5月3日 深井隆「彫刻になった動物十選 山本正道「ニューヨークの王様」」[佐藤忠良所蔵]

『岩手日報』[2001年] (菊)「山河私抄 佐藤忠良「つぶれた帽子」—減らず口 舟越保武」

『岩手日報』[2001年6月26日] (菊)「山河氏抄 山根基世「歩きながら」—二人の彫刻家 佐藤忠良・舟越保武」

『河北新報』2001年7月3日「美術教育 のびのびと 佐藤忠良

さんら「てい談」
『岩手日報』[2001年7月10日] (菊)「山河私抄 佐藤忠良「触ることから始めよう」—人間ひととひとの間 舟越保武」
『広報さっぽろ』札幌市[2001年8月]「彫刻美術館催し 本郷新とゆかりの作家展」
『河北新報』2001年8月10日「彫刻家・佐藤忠良を読む 創作、芸術観 自ら語る」[「忠良せんせい古里に触れる」]
『北海道新聞』2001年8月22日 井上みどり「札幌彫刻美術館 20年の歩み」
『北海道新聞』[2001年10月28日]千葉恒雄「手で見る彫刻展」
『北海道新聞』[2001年11月]「受賞者、決意新たに 札幌で道新文化賞贈呈式」[副賞に《ジーンズ》]
『北海道新聞』2001年12月19日「表情穏やか三浦綾子像 文学館に設置」
『朝日新聞』2001年12月19日「三浦綾子さんのブロンズ像 寄贈」[木内和博氏からの私信を含む]
『日本経済新聞』2001年12月19日「窓 三浦綾子記念文学館」
『読売新聞』2001年12月19日「三浦綾子さんのブロンズ像 寄贈 旭川の記念文学館に」
[掲載誌不明][2002年] 功刀知子「座像」
[掲載誌不明][2002年]「『人魚』の序幕式であいさつする 佐藤忠良氏」
『俳句研究』69(8) 角川マガジンズ 2002年7月 舟越道子「白句の周辺(1)結婚まで」
[赤旗][2002年7月9日] 猪瀬里美「食べるって楽しいね」《ジーンズ》
『京都新聞』2002年7月19日「内面からあふれる美 ブロンズ彫刻の詩 卒寿記念展 佐藤忠良 70年の歩み・アトリエの中から」
『東京新聞』2002年7月24日「安野光雅の文字パレット(20)」
『図書新聞』(2593) 2002年8月10日 秋竜山「読書絵日記 連載第714回 本の値段、の巻」[「ねがいは「普通」」]
[赤旗][2002年8月21日]「彫刻家人生68年 初期作品含め 「佐藤忠良展」」
[赤旗][2002年9月2日] (尚)「『ねがいは「普通」』…ロダン、ピカソ…話はずんで」
[南日本新聞][2002年9月3日]「白寿祝いの胸像 佐藤忠良さん制作 吉井淳二さんモデル初体験」
『読売新聞』2002年9月19日夕刊(全国版 大阪)「彫刻家・佐藤忠良さん「卒寿記念展」」
『日本経済新聞』2002年9月22日 吉田俊宏「彫刻家 佐藤忠良「卒寿の美学」刻む表情「芸術は爆発しない」」
『朝日新聞』[2002年10月22日] [広告「週刊朝日」]11月1日号 語るには若すぎる 彫刻家 佐藤忠良
『読売新聞』2002年11月4日 芥川喜好「編集委員が読む 職人という栄光」
[掲載紙不明][2002年] [広告「卒寿記念展 佐藤忠良 70年の歩み・アトリエの中から」新潟大和]
[週刊文春][文藝春秋][2003年4月] 高峰秀子「本好きにきく 1万円で私が買いたい本」[「ねがいは「普通」」]
『河北新報』2003年5月4日 三上満良「佐藤忠良ふるさと大和町展に寄せて」
[東京新聞]2003年6月14日 山本信哉「杉並区永福の神田川べり 彫刻家 佐藤忠良さん」
[掲載紙不明][2003年6月]「岡谷のイルフ童画館で「佐藤忠良展」絵本原画の背景など語る」
『北海道新聞』2003年8月22日夕刊「ブロンズ像頭に看板 佐藤忠良氏作、損傷なし 旭川・買物公園」
『読売新聞』2003年10月4日夕刊(東京版)「人間列島 宮城

県 2 黄金色の心」
『河北新報』2003年11月12日夕刊「彫刻を立体データ化 宮城県美術館」
[掲載紙不明][2003年]「佐藤忠良さん制作のレリーフ 除幕 完成祝い式典 こども病院」
『河北新報』2003年12月14日「佐藤忠良さんからのお手紙 岩瀬さんありがとう」
『河北新報』2004年1月5日 [広告「株式会社日立東日本ソリューションズ もっと広く。さらに深く。」]《女・夏》
『アリスの庭:美術館協力会ニュース』(36) 宮城県美術館協力会2004年3月「“おおきなかぶ”レリーフ誕生」
『日々の新聞』2004年5月31日「美術館の20年 その道を極めた人の意見を尊重 田畑金光さん」
『日々の新聞』2004年7月15日「特集 炭鉱へのまなごし」
[掲載紙不明][2004年7月]「『佐藤忠良展』周南市美術博物館」
[掲載紙不明][2004年9月]「『佐藤忠良のスケッチブック』北海道立釧路美術館」[広告]
[掲載誌不明][2004年9月]「『佐藤忠良のスケッチブック』北海道立釧路美術館」[広告]
『北海道新聞』2004年9月16日夕刊「彫刻家が描く 佐藤忠良 デッサンの世界」
『岩手日日新聞』[2004年10月2日]「記念の像を設置 森山総合公園開館10周年」《雪娘》
『岩手日報』[2004年10月2日]「彫刻家の佐藤忠良さん「雪娘」像設置に立ち会い」
『北海道新聞』2004年10月5日 福地大輔「彫刻家のデッサン「佐藤忠良のスケッチブック」より」(5回連載) [(1) チョ (2) 本 (3) 夕張 (4) 赤ちゃん帽 (5) 神田川畔で」
[掲載紙不明]2006年6月30日-8月15日 田畑金光「私の半生」[45回連載の一部複写。元いわき市長]
『河北新報』2006年7月6日「忠良さんの”原点”贈る 東京美術学校の後輩・伊藤さん 宮城県美術館に石こう像」
『飛脚』34(387) 佐川急便 2006年12月「佐川美術館だより 企画展示 佐藤忠良館」
『四国新聞』2007年6月27日「忠良さんの手ざわり(1)」
『山陰新聞』2007年6月27日「忠良さんの手ざわり(1)」
『岩手日報』2007年7月30日-8月37日夕刊「忠良さんの手ざわり」(5回連載) [(1) 半世紀経て 子どもの目線常に「おおきなかぶ」再現 (2) アトリエで 幼い命ふんわりと自然な観察から造形 (3) 炭鉱の町で 後世に残る彫刻を 現地制作の「母子想」 (4) 職人同士 物に命を吹き込む 一回一回、真剣勝負 (5) 師弟35年 貫き通した厳しさ 彫刻、基本から徹底」
『河北新報』2007年7月1日、8日、15日、29日「忠良さんのぬくもり」(5回連載中4回)
[日本海新聞][2007年8月10日]「忠良さんの手ざわり(4) “職人” 同士の真剣勝負 命吹き込む 鋳物師の技」
『北海道新聞』2009年5月19日夕刊(十勝帯広版) 鹿内朗代「中札内、帯広で「佐藤忠良と二人の彫刻家」展」
[あーとの森] (30) あーとの森[2010年11月]「木もれ陽のひろば」
[mug] (巻号不明) 東神開発[2010年12月]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
[草月] (巻号不明) 草月文化事業[2010年冬]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
[現代挿花] (571) 中山文甫会館[2010年12月]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
[しんぶん赤旗][2010年12月15日]「ある造形家の足跡 佐

藤忠良展

- [SANKEI EXPRESS] (1470) 産業経済新聞社 [2010年12月21日]「佐藤忠良展」から
- [東京新聞] [2010年12月23日]「世田谷美術館⑤ある造形家の足跡「佐藤忠良展」
- 『MOE』(巻号不明) [2010年12月]「98歳の彫刻家が見たもの、とらえたもの」
- [掲載紙不明] [2011年1月]「佐藤忠良氏の「冬の像」が永福町駅に設置されます」《冬の像》
- 『東京新聞』2011年1月10日「佐藤忠良さんの足跡 日本彫刻界の巨匠 世田谷美術館で紹介」
- 『朝日新聞』2011年1月12日夕刊 西田健作「ある造形家の足跡 佐藤忠良展 民衆を彫り、人間を問う」
- [中日新聞] [2011年1月13日夕刊]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- 『毎日新聞』2011年1月18日 岸桂子「ある造形家の足跡 佐藤忠良展 自然の摂理を見抜く視線」
- 『美術の窓』(328)生活の友社 2011年1月 小金沢智「彫刻家・佐藤忠良が描いた絵本」
- [多摩川新聞] [2011年1月23日]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- 『毎日新聞』2011年1月24日「佐藤忠良展 “職人”の足跡をたどる 白寿を前に」
- [都政新報] [2011年1月25日]「高い頂を広い裾野で 世田谷美術館「佐藤忠良展」
- [SANKEI EXPRESS] (1504) 産業経済新聞社 [2011年1月25日]「佐藤忠良展」
- 『日本経済新聞』2011年1月26日 宝玉正彦「人間性全体への素直な関心 佐藤忠良展」
- [アーティクル] (37) タグポート 2011年1・2月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [月刊 展覧会ガイド(首都圏)]生活ガイド社 2011年1月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [にほん日和] (4) ベネッセコーポレーション 2011年1月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [プレシャス] (巻号不明) 小学館 2011年1月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [mug] (巻号不明) 東神開発 [2011年1月]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [毎日が発見] (84) 角川 SS コミュニケーションズ 2011年1月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [せたがやクォーター] (18) 東京プロテックス 2011年1月「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- 『朝日新聞』2011年1月12日夕刊「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [ライフアップ23] 特別区職員互助会 2011年2月1日「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [新潟新聞] 2011年2月4日「生命を敬い慈しむ彫刻 東京で佐藤忠良展」
- [読売新聞] 2011年2月8日夕刊 小金沢智「世田谷美術館「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」から「記録をつかった男の像」
- [しんぶん赤旗] 2011年2月8日 三上満良「佐藤忠良展の魅力」
- [河北新報] [2011年2月9日]「佐藤忠良展」東京・世田谷美術館 職人的造形家の足跡 回顧」
- 『読売新聞』2011年2月10日 高野清見「98歳の「職人」古びぬ軽快」
- 『新美術新聞』(1239) 2011年2月11日 小金沢智「佐藤忠良、

その「自然」へのまなざし

- [中國新聞] [2011年2月12日]「生命への敬意と慈しみ 東京で佐藤忠良回顧展」
- [山陰中央新報] [2011年2月12日]「生命敬い、慈しむ彫刻 佐藤忠良回顧展 職人的な姿勢貫く」
- 『静岡新聞』2011年2月12日「生命敬い、慈しむ 佐藤忠良回顧展 東京」
- [秋田魁新報] [2011年2月14日]「彫刻や素描展示 生命力たたえ深い慈しみも」
- [四国新聞] [2011年2月18日]「生命を敬い慈しむ彫刻 東京で「佐藤忠良展」
- [世田谷・採集] 緑心社 [2011年2月]「世田谷ご近所イベント」
- [月刊「絵手紙」] (183) [2011年3月]「ある造形家の足跡 佐藤忠良展」
- [illustration] (188) 玄光社 [2011年3月1日]「佐藤忠良展 開催中～3月6日」
- 『北海道新聞』2011年3月2日 大口弘明「東京で佐藤忠良展 創作80年 歩み続ける巨匠」
- [掲載誌不明] 不明《少女》
- [掲載紙不明] [1960年代か]「素描」《微風》[名銀ビル新築]
- [掲載紙不明] [1960年代か]三浦尚彦「裸体像を見る目」《微風》
- [掲載紙不明] [1990年代か]「図書館に16点目の新彫刻 佐藤氏の『脚を組んだ女』」宇部市立図書館
- [掲載紙不明] [1990年代か]「図書館に「脚を組んだ女」作者の佐藤忠良さん立ち会う」宇部市立図書館
- [産経新聞か] [1986年前後か] 兼子昭一郎「娘が語る 女優佐藤オリエさん(43)」
- [掲載誌不明] 不明 [高津光之輔「向かみて彫刻家佐藤忠良の指太き大き手我はよく見さ」ほか]
- [掲載誌不明] 不明 [森 撰「佐藤忠良氏の軌跡現はす作品展動あるものは透明に昇華す」ほか]
- [掲載誌不明] 不明 丹羽正三「低空飛行」
- [掲載誌不明] 不明 [藤田吉香 弥生画廊にて彫刻家の佐藤忠良氏と]
- [掲載誌不明] [1980年代か] 大島清次「ロダン美術館での佐藤忠良展」
- [北海道新聞] [12月4日]「雪の中で寒そう＝夕張新鉦災害の鎮魂の像」《リン'78》
- [北海道新聞] [3月10日]「春へすっきり 四季の像アカ落とし」《夏》(道東の四季)
- [毎日新聞] [1984年前後か]「四国往来」[講演会「私と彫刻」香川県美術工芸研究所]
- [中国短大後援会報] 不明 大桐國光「よき師(part2)」
- [北海道新聞] [6月17日]「札幌西高管弦楽団 OBら「育てる会」で支援」
- [掲載紙不明] [1987年前後か]「七カ月の空白 創作にどう生かすか」[函館で講演会]
- 『月刊ダン』北海道新聞社 相神達夫「シリーズ・同窓会人国記(5) 自主自立が生んだ異色の人脈 札幌西(旧制札幌二高)」
- [北海道新聞] 不明「ふるさと」の再開発へ 東京で「夕張を語る懇談会」
- 『河北新報』[1979年前後か]「仙台ギネスブック(パート1) 広い公園 台原森林公園」
- [掲載紙不明] 不明「熱っぽく「朝倉先生」を講演 朝地町で彫刻家の佐藤忠良氏」
- [掲載誌不明] [2004年前後か]「わたしを運んでくれたの

は、佐川急便でした。佐川急便、美術品輸送始める。」
[掲載紙不明] 不明「手紙 世間に迎合しない」
[掲載誌不明] 不明「平和への思いたくしひろがる「非核の碑」《平和の像》千葉県浦安市・若潮公園
[掲載誌不明] 不明「『彫刻プロムナード』の「みどり」=佐藤忠良・作 写真 藤田観龍」
[掲載紙不明] 不明「県立近代美術館から(27)《帽子》[埼玉か茨城]
[北海道新聞] [11月18日]「さっしんは佐藤氏の彫刻」[札幌信用金庫は来年用のカレンダー(……) 佐藤忠良氏の「ボタン」]
[掲載誌不明] 不明《緑の風》青葉の森公園
[掲載誌不明] 不明「清瀬10景 けやき通りと郷土博物館」《亜古》
[掲載誌不明] 不明「情熱と創造が生んだ文化都市旭川」《若い女》
[北海道新聞] [1997年初めか]「こだま」《少女》江別市水道庁舎
[掲載誌不明] 不明 谷川広志「あさひかわ美術館〈帽子・立像〉佐藤忠良作」
[掲載誌不明] [杉並区] [1990年前後]「ジーンズ(casting工場にて撮影)」
[掲載誌不明] [2000年以降] [斎藤康一、林義勝による対談記事] 斎藤康一「佐藤忠良」
[掲載誌不明] 不明「彫刻家 佐藤忠良」
[経済ジャーナル] [麹町出版] 不明「美術往来 舟越保武 彫刻」
『みづうみ』11(125) 十和田市立中央病院 目次下に《夏(道東の四季)》

(9-5-01) 関連文献 スクラップブック 1972-1973

『河北新報』1972年2月17日 [広告「彫刻佐藤忠良自選展」藤崎]
『河北新報』1972年2月18日 [広告「彫刻佐藤忠良自選展」藤崎]
『河北新報』1972年2月18日「代表作80余点を陳列 きょうから佐藤忠良展」
『河北新報』1972年2月21日「“支倉常長像に努力” 歓迎レセプション 佐藤忠良氏が抱負」
『河北新報』1961年1月4日(塩)「ことしの抱負 彫刻 地道に本質を追求」
『山陰新聞』1972年2月19日(O)「七十数点を出品 岡山 現代彫刻代表作家六人展」
[掲載誌不明] 作画:挿絵(女)
[掲載誌不明] [1972年]「訪問 故郷へ仕事の報告 札幌で彫刻自選展開く 佐藤忠良さん」
[掲載誌不明] [1972年11月]「“芸”を楽しむ 六彫展」
[掲載誌不明] [1956年]「『さかさ』新制作展」
『新潟日報』1972年11月16日 佐藤忠良「岩野君のこと」
『朝日新聞』1973年8月7日夕刊「『日中平和の像』を釜石市で除幕式」
『河北新報』1973年7月17日 佐藤忠良(談)「私の中の東北 耐える表情に共感」
[掲載誌不明] [1973年8月]「永遠の友好の願い込め『日中平和の像』序幕 釜石 受難者の霊安らかに」
[東京新聞] [1975年] 寺田千壘「美術評 具象、抽象各10人で 現代彫刻20展」
[掲載誌不明] [1973年10月3日]「都市計画と結ぶ野外彫刻運動 神戸に「みどりと彫刻のみち」」

[掲載誌不明] [1973年]「神戸にオープンした“緑と彫刻の道”」
『朝日新聞』1973年10月4日 小川正隆「秋の公募展から 充実した「新制作協会」」
『東京新聞』1973年10月4日夕刊 三木多聞「新制作、一水、一陽会展をみて」
[掲載誌不明] [1973年10月] 林文雄「一水会、一陽、新制作展」
[掲載誌不明] 1973年8月22日「アカプルコに支倉常長像」
[掲載誌不明] [1973年]「支倉常長像ア港陸上完了」
[掲載誌不明] [1973年]「支倉常長像除幕式」
[掲載誌不明] [1973年]「ローマ使節「はせくら」の道」
『朝日新聞』1973年10月13日夕刊 小川正隆「いきいきと彫刻界の若手」[[現代日本彫刻展]、現代彫刻20展]]
『毎日新聞』1973年11月7日夕刊「個性的力作ぞろい 六彫展」
『河北新報』1973年11月17日「ムダない巨匠の作品 佐藤忠良さん帰国 支倉常長除幕式後欧米一巡り」
[北海道新聞] [1973年11月21日夕刊]「東京美術コーナー 佐藤忠良個展」
[東京新聞] [1973年11月16日] 寺田千壘「美術評 私小説的彫刻の趣 彫刻・佐藤忠良展 日本的特性の展開へ」
『毎日新聞』1973年11月17日「あふれる愛と叙情 佐藤忠良展」
『サンケイ新聞』[1973年11月16日夕刊]「こまやかな情感 佐藤忠良展」
『朝日新聞』1973年11月20日夕刊「文化 堂々と希薄に満ちた 佐藤忠良の大型個展」
『読売新聞』1973年11月17日夕刊 村木明「美術 佐藤忠良彫刻展 複数の視点に耐える厳しさ」
『毎日新聞』1974年1月1日 土方定一「第15回 毎日芸術賞」
[掲載誌不明] [広告「佐藤忠良展」銀座松屋]
『河北新報』1973年11月20日「秘めた強い意志 佐藤忠良氏が総合回顧展」
[東京新聞] [1973年11月30日夕刊] 寺田千壘「大規模に全貌みせる ジャコモ・マンズー展 初期から近作まで」
『サンケイ新聞』1973年12月7日夕刊 佐藤忠良「マンズー氏訪問」
『朝日ジャーナル』(771) 朝日新聞社 1973年12月14日「昭和期彫刻の一結実 —佐藤忠良の個展から—」
『週刊新潮』(925) 新潮社 1973年12月13日「新潮ギャラリー」《円い椅子》《帽子・あぐら》
[信濃毎日新聞]「さえる簡潔な技法「うれ」」[1973-74年?]
『毎日新聞』1974年1月7日 佐藤忠良「お座敷アトリエからはお座敷彫刻しか生まれない」

(9-5-02) 関連文献 スクラップブック 1973-1974

『毎日新聞』1974年1月7日 佐藤忠良「お座敷アトリエからはお座敷彫刻しか生まれない」
『サンケイ新聞』1973年12月7日夕刊 佐藤忠良「マンズー氏訪問」
[掲載紙不明] 1973年8月27日「アトリエ訪問「県美展」を選ぶ人たち(3) 佐藤忠良」
『毎日新聞』「第15回毎日芸術賞決まる」
『毎日新聞』1974年1月26日 佐藤忠良「毎日芸術賞の贈呈式コメント」
『北海タイムス』1974年3月15日「48年度芸術選奨受賞者きまる」
『朝日新聞』夕刊 土方定一「都市環境と彫刻」
『北海道新聞』1974年3月15日「芸術選奨受賞者決まる 彫刻家佐藤さん(夕張出身)ら14人」

[掲載紙不明] 1974年3月15日「芸術選奨 受賞者決まる」
 [一枚の繪] (巻号不明) [1974年] 佐藤忠良「私のコース」
 『読売新聞』1974年3月15日「芸術選奨きまる」
 『河北新報』1974年3月15日「芸術選奨決まる “後ろめたい”
 佐藤忠良氏」
 [旅] [1974年6月] 船山馨「北海道の祭り」、挿絵：佐藤忠良
 [東京新聞] [1974年5月31日] 寺田千壘「第2回現代彫刻セ
 ンター展」
 『日本経済新聞』1974年6月15日 小林正夫「声なき激励」
 [掲載紙不明] [1974年3月]「芸術選奨 23氏決まる」
 『北海道新聞』1974年3月15日「48年度芸術選奨文部大臣賞
 (美術部門)を受賞した佐藤忠良」
 [掲載紙不明] 掲載日不明「東京の道産子 (15) 佐藤忠良氏」
 『毎日新聞』1974年6月18日「現代[日本]美術展賞」贈呈式」
 『サンケイ新聞』1974年7月27日 佐藤忠良「素描 座る女」
 『朝日新聞』1974年9月9日夕刊「現代美術20 高度なイメー
 ジの“遊び”」
 [東京新聞] 寺田千壘「生真面目と才気の器用 第2回現代彫
 刻20展」
 『毎日新聞』1974年10月4日 安井収蔵「“旗揚げ”の創画会
 に注目 公募展 秋の第二陣」
 『朝日新聞』1974年9月30日夕刊 小川正隆「秋の公募展から」
 『東京新聞』1974年10月5日夕刊 植村鷹千代「一水、一陽、
 新制作、創画会展を見て」
 『北海道新聞』[1974年]「十字路 彫刻家佐藤忠良さん」
 『サンケイ新聞』1974年10月4日夕刊 日野耕之祐「新制作
 活気みなぎる 日本画部の退会が刺激に」

(9-5-03) 関連文献 スクラップブック 1975-1977

『北海タイムス』1977年7月30日「若さと飛躍を象徴 西高
 でブロンズ像「蒼穹」除幕式」
 『北海道新聞』1977年7月28日夕刊 佐藤忠良「立像「蒼穹」
 母校におくる」
 [掲載誌不明] [1977年]「西高にブロンズ像 創立60周年記
 念で贈る」
 [掲載誌不明] 佐藤忠良「東北人の顔—芸術家の目から—」
 [サンケイ新聞] [1976年7月19日] 日野耕之祐「近代日本
 彫刻の流れ 頭像展から (13) 佐藤忠良 カンカン帽」
 『山陰新聞』1975年11月2日「美術展 彫刻・佐藤忠良展」
 [宮崎日日新聞] [1977年3月18日] 佐藤忠良「彫刻と時間
 性 ナンセンスな美術教育」
 [掲載誌不明]「郷土に文化の灯ともすデザイナー 無料で
 展覧会開催 下館の原さん 今度は念願の彫刻家・佐藤
 忠良展」

(9-5-04) 関連文献 スクラップブック 1975 中原悌二郎賞 ほか

『北海タイムス』1975年10月2日夕刊「中原賞の佐藤忠良氏
 あすから彫刻展」
 [北海道新聞] 1975年10月3日「さすがすごい迫力 きょう
 から佐藤忠良展 作品つぎつぎ搬入」
 [北海道新聞] [1975年10月3日]「数々の受賞作一堂に 佐
 藤忠良彫刻展オープン」
 『北海タイムス』1975年10月3日夕刊「佐藤忠良展開く 旭
 川西武」
 『北海道新聞』1975年10月5日「佐藤さんらに贈る 中原悌
 二郎賞 旭川で授賞式」
 『北海タイムス』1975年10月5日「佐藤氏ら3人を祝う 旭川

第6回『中原賞』授賞式」
 [毎日新聞] [1975年10月5日]「会う 第6回中原悌二郎賞
 を受けた 佐藤忠良さん」
 [朝日新聞] [1975年10月5日]「中原賞に佐藤忠良氏 受賞
 作品「カンカン帽」の胸像」
 『こうほう旭川市民』(340) 1975年10月15日「今年の中
 原悌二郎賞に佐藤氏の『カンカン帽』」
 「第6回中原悌二郎賞授賞式及び祝賀会の開催について」
 1975年9月25日
 「彫刻・佐藤忠良展」実行委員会の開催結果について」1975
 年9月20日
 『サンケイ新聞』1976年9月24日 日野耕之祐「充実した新
 制作の彫刻」
 『朝日新聞』1976年11月11日夕刊「点描「エネヘイ像」など
 エジプト彫刻展観」
 『河北新報』1976年2月5日 佐藤忠良「私もひとこと 本物
 を選ぼう」
 [掲載紙不明] [1975年9月25日]「佐藤忠良さんに中原賞」
 [掲載誌不明] 三木淳「Chairman's note」[伊奈信男賞 正賞
 《おおきな帽子》」
 『朝日新聞』1976年10月5日夕刊 小川正隆「秋の公募展か
 ら 質の高さ目立つ 新制作協会」
 [Vision] (巻号不明) [ビジョン企画出版社] [1976年11月]
 水上杏平「裸立像 佐藤忠良」
 「彫刻・佐藤忠良展」チラシ西武旭川店8階特別催事場 1975
 年10月3日-8日

(9-5-05) 関連文献 スクラップブック 1977 幣舞橋 道東の四季設置

『北海道新聞』1977年4月10日「ブロンズ像、24日に郷土入
 り 釧路市の5代目の幣舞橋」
 『岩手日報』1977年4月13日「舟越氏(盛岡出身)も一役 ブ
 ロンズ像「春」制作」
 『サンケイ新聞』1977年4月18日夕刊「北海道新ヌサマイ橋
 に彫刻4点」
 『毎日新聞』1977年4月18日夕刊「釧路の新ヌサマイ橋を飾
 る「道東の四季」」
 『東京新聞』1977年4月19日夕刊「“道東の四季”完成展 [現
 代彫刻センター]」
 『読売新聞』1977年4月19日夕刊「市民参加の彫刻の橋 釧
 路に誕生」
 『朝日新聞』1977年4月19日夕刊「点描 釧路の新幣舞橋に
 立つ 四季の裸婦像が完成」
 『北海道新聞』1977年4月25日夕刊「幣舞橋 ブロンズ像釧
 路入り」
 『岩手日報』1977年4月18日夕刊「聖なる地に立つ裸婦像
 釧路の幣舞橋を飾る」
 『北海道新聞』1977年4月26日夕刊「若々しさと気高さと
 道東の四季展」[釧路 鶴屋デパート]
 『朝日新聞』1977年5月4日「霧の名橋」にブロンズ像 釧路
 で除幕式」

(9-5-06) 関連文献 スクラップブック「佐藤忠良展」1981年 5月2日-6月29日 ロダン美術館

[日本経済新聞] [広告「アトリエの中から」]『旅の走り描き』
 『大きな帽子』現代美術社
 『日本経済新聞』1981年7月5日《ロダン美術館》

[サンケイ新聞] [1981年7月13日] 日野耕之祐「ロダン美術館での佐藤忠良展」
 『朝日新聞』1981年5月4日「ロダン美術館で個展」
 『読売新聞』1981年5月1日 深沢「パリで佐藤忠良彫刻展」
 『日本経済新聞』1981年5月30日 佐藤忠良「"パリの目"はどう見るか」
 『週刊新潮』(1317) 新潮社 1981年8月13日「彫刻家・佐藤忠良「パリ展」のご利益」
 [週刊文春] [広告「ブロンズの詩・佐藤忠良展」国立国際美術館]
 [週刊文春]「壮挙 佐藤忠良」
 『毎日新聞』1981年6月16日夕刊 松本「パリの国立美術館で大個展 佐藤忠良氏」
 『河北新報』1981年6月25日 小野昌和「パリっ子の共感を呼ぶ 佐藤忠良氏 ロダン美術館で個展」
 『朝日新聞』[1981年4月22日]「ひのき舞台での出番」
 [読売新聞] [1981年6月24日] 本間正義「私の会った美術家たち (25) 佐藤忠良」
 [赤旗] [1981年8月9日] 岩野勇三「佐藤忠良展によせて」
 『北海道新聞』1981年5月18日夕刊「予想超えた手ごたえパリで個展開いた佐藤忠良さん」
 『朝日新聞』1981年9月3日 佐藤忠良「ロダンの国で個展を開いて」
 [読売新聞] 1981年7月5日 [広告「ブロンズの詩・佐藤忠良展」国立国際美術館]
 『読売新聞』[1981年8月26日夕刊(大阪版)] 本間正義「佐藤忠良展 フランスでも高い評価」
 [読売新聞] 1981年8月31日夕刊「ロダン美術館でも大きな話題 佐藤忠良氏の帰国展開く」
 [読売新聞] 1981年8月24日 [広告「ブロンズの詩・佐藤忠良展」国立国際美術館]
 『読売新聞』1981年8月15日(大阪版) 池田弘「生命力あふれる真実感 佐藤忠良展 さわやか作品群」
 『日本経済新聞』1981年8月18日 瀧三「さわやかな生命感が漂う 佐藤忠良展」
 [文化庁月報] (155) [文化庁] [1981年8月]「ブロンズの詩・佐藤忠良展 8月1日-9月15日(国立国際美術館)」
 [読売新聞] [1981年8月1日]「仏の成果土産に帰国展」
 『読売新聞』1981年7月29日夕刊 小倉忠夫「俊敏さ 繊細な感受性 パリ展で市民3万人魅了」
 [社会新報] [1981年9月4日] (上)「佐藤忠良展 日本人の体質感と女性の理想美表出」
 『朝日ジャーナル』(1204) 朝日新聞社 1982年3月12日 (北)「爽やかな生命感と詩情あふれる佐藤忠良展」
 『北海道新聞』1981年3月20日夕刊 高島二郎「人 こころ一番 (11) 佐藤忠良 彫刻家」
 『読売新聞』1980年2月19日夕刊(和)「ひたすら農道を行く」
 (9-5-07) 関連文献 スクラップブック「佐藤忠良展」1981年5月2日-6月29日 ロダン美術館 [欧文記事]
 [Nouvelle rive gauche, Juin-Juillet 1981] Solange Lemaire "Churyo Sato au Musée Rodin"
 [Aspects de la France, 25 Juin 1981] Pierre Masteau "L'art en bref..."
 [La Dépêche du Midi, 14 Juin 1981] Carmen Ennesch "Churyo Sato ou le retour aux sources du sculpteur japonais"
 [Quotidien de Paris, 6 Mai 1981] "Exposition Sato au

musée Rodin"
 [L'Express, 26 Juin 1981]
 [La Voix du Nord, 12 Juin 1981]
 [Le Journal de la Maison, Juin 1981] "SCULPTURE, Une œuvre venue d'ailleurs"
 [œil, Juin 1981] "PARIS Sato"
 [Kunstecho's, 3 Juin 1981] "Churyo Sato"
 [Revue parlementaire, Juin 1981] "Churyo SATO"
 [Regain, Juin 1981] "Churyo Sato, sculpteur japonais"
 [Une semaine de Paris - Pariscope, 24 Juin 1981] "CHURYO SATO"
 [L'œil, 24 Juin 1981]
 [Figaro Magazine, 30 Mai 1981] "Churyo Sato"
 [La Maison Français, Juin 1981] "Sato chez Rodin"
 [Bulletin de l'agme, Mai 1981] "CHURYO SATO, Un aspect de la sculpture japonaise contemporaine"
 [Valeurs actuelles, 25 Mai 1981] Maurice Cottaz "Sato en tête, L'Orient et l'Occident dans l'œuvre d'un Japonais"
 [Panorama du Medecin, 20 Mai 1981] "Un disciple japonais de Rodin et Bourdelle"
 [L'alsace, 5 Mai 1981]
 [L'Oisirs Jeunes, 12 Mai 1981] "expositions"
 [Moniteur des Pharmacies et des Laboratoires, 16 Mai 1981] "Sato le nippon"
 [Connaissance des arts, Juin 1981]
 [Nice Matin, 7 Mai 1981] "Churyo Sato, un sculpteur japonais au musée Rodin"
 [L'Express, 16 Mai 1981]
 [Elle, 18 Mai 1981]
 [Nouveau Journal, 9 Mai 1981] "Churyo Sato"
 [Le Monde, 2 Juin 1981]
 [Liberté du Morbihan, 7 Mai 1981] "Churyo Sato: Un sculpteur Japonais au musée Rodin"
 [Une semaine de Paris - Pariscope, 3 Juin 1981]
 [Une semaine de Paris - Pariscope, 17 Juin 1981]
 [AFP, Mai 1981] "Churyo Sato, un sculpteur japonais au musée Rodin"
 [Courrier Picard, 2 Mai 1981]
 [V.S.D. Vendredi Samedi Dimanche, 30 Avril 1981]
 [A.B.C. Décor, Mai 1981]
 [Nice Matin, 17 Mai 1981] "Churyo Sato, un sculpteur japonais au musée Rodin"
 [Les Affiches Parisiennes, 28 Mars 1981] "Churyo SATO, Un aspect de la sculpture japonaise contemporaine"
 [La Vie ouvrière, 1981] "Churyo Sato, sculpture japonaise contemporaine"
 [Quotidien de Paris, 13 Mars 1981]
 [Elements pour la civilization, no.39, 1981] "Un sculpteur japonais"
 [Nouvelles de France, no.92, 1981] "au musée Rodin, Churyo Sato"
 [Revue indépendante, no.164, 1981] "Musée Rodin: Churyo Sato"
 Journal de l'amateur d'ART, no.672, Paris: Journal de l'amateur d'art, Juin 1981, Claude Pallene "Au musée Rodin, Churyo Sato, Étonnant Japon"

(9-5-08) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩 佐藤忠良展」日本橋高島屋 1982年1月14日-26日

招待券、ほか

- 『読売新聞』[1982年1月13日][広告]
『朝日新聞』[1982年1月13日][広告]
『サンケイ新聞』1982年1月18日夕刊「日野耕之祐「清潔で簡素な魅力 佐藤忠良展」
『読売新聞』1982年1月19日夕刊「手帳 心安らぐ代表作集め 佐藤忠良婦国記念展」
『毎日新聞』1982年1月21日夕刊「ブロンズの詩、佐藤忠良展」
『東京新聞』1982年1月22日夕刊「寺田千壱「美術評 美しくカッコ良く」
『朝日新聞』1982年1月23日夕刊(米)「佐藤忠良展 無意味・無内容の「美しさ」
[上毛新聞] 1982年1月22日「桐生・南公園に「少年の像」完成は6月頃」
[掲載誌不明] 1982年1月22日 [広告]
[報知新聞] [1982年1月25日]「王わがブロンズ像にご対面 グラム出発前に佐藤忠良展へ」
『読売新聞』1982年1月25日「王助監督、自分の肖像と対面「佐藤忠良展」訪れ」
『毎日新聞』1982年4月30日「美術展は主婦で持つ」
[聖教新聞] [1982年] 栗津則雄「佐藤忠良展 彫刻家のまなざしとみずみずしさ」
[読売新聞] [1982年1月17日] [佐藤オリエ関連記事]
[読売新聞] [1982年1月4日] [広告]
THE DAILY YOMIURI, [16 January 1982] "Churyo Sato Sculpture Show"

(9-5-09) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩 佐藤忠良展」1982年3月6日-4月11日 宮城県美術館

開会式案内状、招待券

- 『朝日新聞』1982年2月15日夕刊「新人国記'82 宮城県13 独自の作風守って 215」
[朝日新聞] 1982年2月16日「新人国記'82 宮城県13 質実で飾り気なく 215」
[朝日新聞] [1982年4月16日]「新人国記の写真展 きょうから仙台・藤崎」
[朝日新聞] [1982年2月24日夕刊]「パリの個展、里帰り」
[読売新聞] [1982年(宮城版)]「ブロンズの詩—佐藤忠良展から」(4回連載?) [早蕨、娘の像、帽子・冬、二歳(大)]
『河北新報』1982年3月18日 井手則雄「佐藤忠良展に寄せて」
『読売新聞』1982年3月24日(宮城版)「「忠良展」連休にぎわう」
『読売新聞』1982年4月11日(宮城版)「ブロンズの詩—佐藤忠良展から」[「佐藤忠良展」きょう限り 一万五千人突破へ」
『読売新聞』1982年4月12日(宮城版)「ブロンズの詩・佐藤忠良展 好評のうちに閉幕」

(9-5-10) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩 佐藤忠良展」広島県立美術館 1982年4月24日-5月16日

- 『読売新聞』1982年2月23日(広島版) [広告]
『読売新聞』1982年3月26日(広島版) [広告]

『読売新聞』1982年4月11日(広島版) [広告]

- 『読売新聞』1982年4月17日(広島版) 吉田正浪「ブロンズの詩 佐藤忠良展 群馬の人」
『読売新聞』1982年4月18日(広島版) 谷口勝子「ブロンズの詩 佐藤忠良展 裸のリン」
『読売新聞』1982年4月20日(広島版) 小平胖可「ブロンズの詩 佐藤忠良展 円い椅子」
『読売新聞』1982年4月21日(広島版) 金田晋「ブロンズの詩 佐藤忠良展 カンカン帽」
『読売新聞』1982年4月22日(広島版) 高木登「ブロンズの詩 佐藤忠良展 男の児」
『読売新聞』1982年4月23日 [広告]
『読売新聞』1982年4月24日「ブロンズの詩「佐藤忠良展」きょう開幕 わかりやすい彫刻 県立美術館 人気呼びそう」
『読売新聞』1982年4月25日「ブロンズの詩(うた)が聞こえる…「佐藤忠良展」オープン」
『読売新聞』1982年4月26日「これが756ホームアの顔「佐藤忠良展」を鑑賞 巨人・王助監督「自分の顔」じっくり」
『読売新聞』1982年5月1日 [広告]
『読売新聞』1982年5月14日「すばらしい「ブロンズの詩」佐藤忠良展 美術授業で鑑賞 目を見張る女子短大生ら」
『読売新聞』1982年5月16日「佐藤忠良展きょう閉幕」
『読売新聞』1982年5月17日「なごやかに座談会 佐藤忠良展終わる」

(9-5-11) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩 佐藤忠良展」1982年5月26日-6月20日 熊本県立美術館

- 『読売新聞』1982年5月24日 長尾一平「ニュース・ポイント 佐藤忠良の世界(インタビュー)」
『読売新聞』1982年5月25日「佐藤忠良展あす開幕」
『読売新聞』1982年5月26日「佐藤忠良展きょう開幕 気さくに会場下見 佐藤さん夫妻」
『西日本新聞』1982年5月29日「帽子の女は美しい」
『読売新聞』[1982年5月-6月]「ブロンズの詩」(6回連載) [《帽子・夏》《二歳》《帽子・立像》《幼女》《記録をつくった男の顔》《常磐の大工》]

(9-5-12) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩 佐藤忠良展」1982年7月21日-8月8日 山形美術館

- [山形新聞] 1982年6月27日 [広告]
[山形新聞] 1982年7月16日-19日、23日、24日、26日、28日、29日(鎮)「ブロンズの詩 佐藤忠良展から」(9回連載)
[山形新聞] 1982年7月20日「佐藤忠良展 あす開幕」
[山形新聞] 1982年7月20日夕刊 染谷英五「芸術の詩清らかに」
[山形新聞] 1982年7月21日「生命の躍動 137点 佐藤忠良彫刻展が開幕」
[山形新聞] 1982年7月27日「彫刻に生命の躍動 山形 佐藤忠良氏を囲む会」
[山形新聞] 1982年8月6日「彫刻とわが人生「佐藤忠良氏を囲む会」から」

(9-5-13) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩・佐藤忠良展」1983年3月5日-20日 北海道立近代美術館

- ポスター、チラシ、招待券(北海道立近代美術館)、ほか
[月刊ダン] [北海道新聞社] [1982年] 佐藤友哉「ダン美術

館ギャラリー「帽子・あぐら」
『北海道新聞』[1982年]「道新のモド 40年の全貌を回顧 ブロンズの詩」佐藤忠良展」
[掲載誌不明] [1982年3月]「5日から『佐藤忠良展』」
『北海道新聞』1983年3月3日「札幌圏ガイド」
『北海道新聞』[1983年2月3日] [広告]
『北海道新聞』(ファミリー版)「ブロンズの詩佐藤忠良展」
『北海道新聞』1983年2月24日-26日、28日、3月2日、3日(6回連載) 佐藤忠良「自作を語る」(6回連載) [(1) 母の顔 (2) 群馬の人 (3) ふざけっ子 (4) ボタン (5) 帽子・夏 (6) フードの竜]
『北海道新聞』1983年3月5日夕刊「パリの熱気 道内に 佐藤忠良展始まる」
『北海道新聞』1983年3月10日夕刊 吉田豪介「佐藤忠良展をみて」
[掲載誌不明] [1983年]「王の人気ここでも」
『北海道新聞』[1983年3月19日]「あすが最終日 ブロンズの詩—佐藤忠良展」
『北海道新聞』[1983年3月]「彫刻鑑賞 触ってなでて 盲学校生の夢かなう 本人快諾 佐藤忠良展、感動の輪」
『読売新聞』[1983年] 林信一「佐藤忠良展」
『朝日新聞』[1983年3月13日] 村田等「北の談話室 過去から未来 盛り込む 本格的な彫刻展を開いた 佐藤忠良さん」

(9-5-14) 関連文献 スクラップブック「ブロンズの詩・佐藤忠良展」1983年3月5日-20日 北海道立近代美術館、ほか

招待券(網走市立美術館)、ほか
『北海道新聞』[1983年2月6日] [広告]
『北海道新聞』[1983年2月9日-14日] [広告]
『北海道新聞』1983年2月24日-26日、28日、3月2日、3日(6回連載) 佐藤忠良「自作を語る」(6回連載) [(1) 母の顔 (2) 群馬の人 (3) ふざけっ子 (4) ボタン (5) 帽子・夏 (6) フードの竜]
『北海道新聞』1983年3月5日夕刊「パリの熱気 道内に 佐藤忠良展始まる」
『北海タイムス』[1983年3月6日]「40年の足跡…140点 ブロンズの詩—佐藤忠良展」
『北海道新聞』1983年3月10日夕刊 吉田豪介「佐藤忠良展をみて」
『北海道新聞』[1999年9月30日] 齊藤泰嘉「秋の公募展を見て」
[掲載紙不明] [1982年5月-6月] (晴)「佐藤忠良展 並ぶ”日本の顔”」
『北海道新聞』[1981年10月30日] [広告]

(9-5-15) 関連文献 スクラップブック「佐藤忠良展」1985年5月21日-6月29日 現代彫刻センター

『赤旗』1985年6月23日 山口泰二「日本的感性ふまえた気品」
『東京新聞』1985年5月24日 寺田千壘「第一級のカッコよさ」
『サンケイ新聞』1985年5月31日「鋭いリアリストの目 佐藤忠良展」
『新美術新聞』1985年6月1日「深い味わいの”顔” 作品 新作を中心に 佐藤忠良展」
『朝日新聞』1985年6月5日夕刊(米)「「姿」という詩情持つ 佐藤忠良展」

『読売新聞』1985年6月5日夕刊(雅)「夢やあこがれの造形美」
『日本経済新聞』1985年6月11日「簡素で清潔な精神性 佐藤忠良展」
『公明新聞』1985年6月15日「佐藤忠良展 無限の奥ゆきを感じさせる造形美」
『毎日新聞』1985年6月18日 加藤貞雄「佐藤忠良個展 首ににじみ出た精神性」
『The Japan Times』, 23 June 1985, Barbara Thoren, “The Week in Art, CHURYO SATO”

(9-5-16) 関連文献 スクラップブック 佐藤忠良記念館 開館

『河北新報』1986年2月10日夕刊「彫刻館を造ろう 宮城県美術館 新年度には用地」
『読売新聞』1986年11月5日「県出身の彫刻家 佐藤忠良氏 県美術館に全作品寄贈へ」
『朝日新聞』1986年11月5日「彫刻家の佐藤忠良氏 県美術館にビッグな寄贈」
『河北新報』1986年11月5日「宮城・丸森出身の彫刻家 佐藤忠良さんがでっかいプレゼント」
『秋田魁新報』1987年1月「生まれ故郷に全作品寄贈 ブロンズ像中心に 彫刻家・佐藤忠良氏が宮城県美術館へ」
『北海タイムス』[1987年1月23日夕刊]「故郷の宮城に全作品を寄贈 彫刻家の佐藤忠良氏」
『北日本新聞』1987年1月14日「故郷に全作品寄贈 帽子シリーズの佐藤忠良氏」
『岐阜日日新聞』1987年1月29日夕刊「故郷に全作品寄贈 彫刻家の佐藤氏 像、版画など350余点」
『読売新聞』1988年1月10日「日本を代表する作家 仙台に 佐藤忠良彫刻館」
[掲載誌不明]「県美術館に彫刻館を建設(65年春に完成)」
『毎日新聞』1988年9月11日 矢倉久泰「ファミリー談話室 彫刻家 佐藤忠良さん」
『朝日新聞』1988年9月21日「仙台に「佐藤忠良美術館」全作品を寄贈 記念の個展、東京で」
『河北新報』1988年10月29日夕刊「65年開館の彫刻館に全作品を収蔵する 佐藤忠良さん 宮城県美術館」
『みやぎ県政だより』(巻号未確認) 1988年11月1日「「彫刻館」建設に着手 65年6月オープン」
『朝日新聞』1989年1月4日「日本人の体質感を表現した具象彫刻の実現に対して 佐藤忠良さん」
『産経新聞』1989年1月12日 佐藤忠良「彫刻コッコツ半世紀 佐藤忠良」
『毎日新聞』1989年10月27日「彫刻家・佐藤忠良さん コレクション26点寄贈」
『県教委だより』(288) 宮城県教育委員会 1989年11月25日「ロダンのデッサンなど26点 彫刻家佐藤忠良さんが県に寄贈」
『河北新報』1989年12月4日夕刊「新緑の季節に芸術の贈り物 宮城県彫刻館」
『河北新報』1990年4月4日「「铸造原型」もそろえる 佐藤忠良さんの全作品収蔵する宮城県彫刻館」
『読売新聞』1990年4月4日「彫刻家佐藤忠良さんの寄贈品 作品の原型を保存 県が運営財団設立」
『月刊・あおば城』(9) 1990年6月「佐藤忠良記念館が開館」
『河北新報』1990年5月13日「文化の薫り 日ごと高まる 彫刻とともに憩う 6月1日オープン 佐藤忠良記念館」
『PAL - MIYAGI』(4) 1990年5月「佐藤忠良記念館 いよいよ開館します。」

『読売新聞』1990年5月24日「意義ある美連協活動を 全国から120人出席 仙台で東北初の総会」
 『読売新聞』1990年5月30日「彫刻家佐藤忠良氏の作品一堂に 仙台に記念常設館」
 『朝日新聞』1990年5月30日「佐藤忠良記念館 世界的な作家 県美術館付属 来月1日オープン」
 『サンケイ新聞』1990年6月1日「佐藤忠良記念館オープン前に式典」
 『河北新報』1990年6月1日夕刊「“忠良芸術” 身近に 記念館が開館仙台」
 『山形新聞』1990年6月1日「彫刻芸術の「粋」展観 佐藤忠良記念館オープン」
 『毎日新聞』1990年6月1日「佐藤さん夫妻を招き開館記念式」
 『毎日新聞』1990年6月2日「県美術館・佐藤忠良記念館が仙台にオープン」
 『河北新報』1990年6月1日夕刊「晩翠賞のブロンズ像 作者は私です 故天江富弥さんが依頼 彫刻家 柳原義達さん 初期の作」
 『朝日新聞』1990年6月2日(理)「私と先生 佐藤忠良」
 『月刊美術』(177)サン・アート1990年6月1日夕刊「6月、仙台に佐藤忠良記念館オープン」
 『新美術新聞』(571)1990年6月1日「ユニークな公立美術館オープン相次ぐ 宮城県美術館に隣接して佐藤忠良記念館」
 『東北ジャーナル』1990年6月「今月1日 待望のオープナー 佐藤忠良館 400点の彫刻を収蔵展示」
 『みやぎ県政だより』(243)宮城県総務部広報課 1990年6月2日 佐藤忠良(談)「走らず、止まらずただコツコツと」
 『河北新報』1990年6月17日 対談:佐藤忠良、本間俊太郎「日本人の美しさを日本人が表現」

(9-5-17) 関連文献 スクラップブック 佐藤忠良記念館 開館

『日経アーキテクチュア』(374)日経BP社 1990年6月25日「佐藤忠良記念館(宮城県美術館増築)」
 『県教委だより』(295)宮城県教育委員会 1990年6月25日「佐藤忠良記念館オープン」
 『建築文化』(525)1990年7月「宮城県美術館 佐藤忠良記念館」
 『赤旗』1990年7月13日早川博明「彫刻環境の成熟示す「佐藤忠良記念館」のオープン」
 [サライ] (15) [1990年8月2日]「NHK ジョイント企画 日曜美術館 佐藤忠良の彫刻約170点をコレクションに加えた宮城県美術館」
 『博物館研究』(266)1990年7月 三上満良「宮城県美術館 佐藤忠良記念館」
 [掲載誌不明]1990年6月30日「見なきや行かなきや新スポット 彫刻のまちのシンボル」
 『河北新報』1990年7月7日夕刊「民間ユネスコ運動 発祥記念碑 初の世界大会を記念 バリの“双子”と向き合う」
 [パルメイトニュース] [1990年6月5日]「アートと身近に出合う場所 県立宮城県美術館」
 『河北新報』1990年6月4日「佐藤忠良作品集」
 『河北新報』1990年7月3日「佐藤忠良作品集」具象彫刻家の全容 限定部数で発売中」
 『ARBRE (アルブル)』(3)1990年9・10月「ミュージアムで心を遊ばせる佐藤忠良記念館」

(9-5-18) 関連文献 スクラップブック 「佐藤忠良のすべて」 1988年11月22日-12月4日 岩手県民会館

[岩手日報] [1988年10月17日]「佐藤忠良のすべて」
 [岩手日報]1988年11月16日、17日「彫刻家 佐藤忠良の歩み(上・下)」
 [岩手日報] [1988年11月22日]「県民会館 きょうから佐藤忠良展」
 [岩手日報] [1988年11月22日夕刊]「佐藤忠良の全容展示 彫刻展 県民会館で開幕」
 『岩手日報』1988年11月9日「佐藤忠良の神髄ここに 22日から盛岡で「すべて」展」
 [岩手日報] [1988年11月21日]「佐藤忠良展あす開幕 盛岡の県民会館」
 [岩手日報] [1988年11月23日]「ユーモア交え彫刻観を披露 佐藤忠良氏が記念講演」
 [岩手日報]1988年11月24日、25日 佐藤忠良「彫刻を語る 佐藤忠良氏(上・下)」
 [岩手日報]1988年11月26日「佐藤忠良展 鑑賞団体」
 [岩手日報]1988年11月27日「県民会館の佐藤忠良展「本物の人間みたいだ」手で触れ彫刻鑑賞 盲学校生が感動体験」
 [岩手日報]1988年11月28日「県外ファンも熱心に 盛岡の佐藤忠良展」
 [岩手日報]1988年11月28日-12月3日夕刊「佐藤忠良のすべて展 代表作を見る」(6回連載)
 [岩手日報]1988年11月29日-12月1日「佐藤忠良展 鑑賞団体」
 [岩手日報]1988年12月3日「佐藤忠良展、あす閉幕」
 [岩手日報]1988年12月4日「入場者数が5千人突破 佐藤忠良展きょう閉幕」
 [岩手日報]1988年12月5日「6500人の鑑賞者集め閉幕「佐藤忠良のすべて」展」

(9-5-19) 関連文献 スクラップブック 「絵本原画展 こどものとも傑作集から 結果報告書」

「絵本原画展『絵本の小径』」1997年4月26日-6月1日 滝野町図書館2階ギャラリー、チラシ、チケット、ポスター、パンフレット、ほか
 『神戸新聞』1997年4月15日「26日から滝野町立図書館で絵本原画展 開館一周を記念 代表作家の作品一堂に」
 『神戸新聞』1997年4月19日「絵本原画展 絵本の小径」
 『神戸新聞』1997年4月26日「滝野町立図書館 絵本原画展 きょう開幕 会場で作品120点飾り付け」
 『神戸新聞』1997年4月27日「絵本原画展始まる 滝野町立図書館 作家11人の名作ずらり 夢と感動の世界へ誘う」
 『神戸新聞』1997年5月16日、17日、20日、21日、23日 香曾我部秀幸「絵本原画展 絵本の小径」から」(5回連載)
 「絵本原画展 ゆめのともだち こどものとも」1997年7月19日-8月31日 水上町立植野記念美術館、チラシ、チケット、ポスター、パンフレット、ほか
 『神戸新聞』1997年7月9日(丹波版)「芸術性豊かな絵本の世界を 19日から原画展」
 『神戸新聞』[1997年7月17日(丹波・三田版)]「絵本原画展 ゆめのともだち こどものとも」
 『神戸新聞』[1997年7月20日(北摂版)]「思い出いっぱい 絵本原画展 イメージ豊かに11作家の名作」
 『神戸新聞』[1997年7月31日、8月1日、2日、5日、6日(北

撰版)香曾我部秀幸「ゆめのともだち こどものともから」(5回連載)
『友の会だより』(6)氷上町立植野記念美術館 友の会事務局1997年7月[広告]

「絵本原画展 こどものとも ベスト・セレクション」1997年10月18日-11月24日 鯖江 CCI 美術館、チラシ、チケット、ポスター、パンフレット、ほか
[福井新聞] [1997年10月14日] [広告]
[福井新聞] 1997年10月19日「絵本の世界 原画で紹介 人気雑誌から170点 鯖江の美術館」
[福井新聞] [1997年10月18日]「絵本原画 名作勢ぞろい 鯖江 CCI 美術館 きょうから170点展示」
[福井新聞] [1997年10月21日]「絵本原画展 最終日迫る 鯖江 CCI 美術館」

「絵本原画展 ものがたりのさんぽみち」1998年1月6日-2月15日 田川市美術館、チラシ、チケット、ポスター、パンフレット、ほか
[FUKUOKA STYLE] (20) [広告]
[西日本新聞] [1997年12月20日]「絵本原画のすばらしさを 日本作家10人の作品紹介 来月6日から田川市美術館」
[西日本新聞] [1998年1月7日]「名作の世界楽しんで 10作家の162点展示「絵本原画展」が開幕」
[西日本新聞] [1998年1月13日夕刊]「絵本原画展 ものがたりのさんぽみち 月刊誌「こどものとも」掲載」
[西日本新聞] [1998年1月31日]「絵本原画展が好評 田川市美術館 入場者4000人超す」
[RONE] (24) [1998年] [広告]
[九州ウォーカー] [1998年1月6日] [広告]

「絵本原画展「こどものとも」にみるファンタジーワールド」1998年4月18日-5月24日 高浜市やきもの里かわら美術館、チラシ、ポスター、チケット、パンフレット、ほか
[中日新聞] [1998年4月11日] [広告]
[ピアス] (中日新聞折り込み) [1998年4月9日夕刊] [広告]
[アン] (アルバイト発見マガジン) [1998年4月15日] [広告]
[刈谷ホームニュース] [1998年4月18日] [広告]
[中部新報] [1998年4月18日]「名作絵本の原画展175点 18日から高浜かわら美術館 絵と詞一体の総合芸術」
[中日新聞] [1998年4月18日]「大人もどうぞ『絵本原画展』きょう開幕前、内覧会」
[中部経済新聞] [1998年4月17日 (尾張・知多版)]「作家10人175点を展示 18日から「絵本原画展」」
[とらばーゆ] (17) [1998年4月22日] [広告]
[就職マガジン] [1998年5月13日]「五味太郎らの絵本原画展—大人の目、子どもの目どちらでも楽しめる」
[TAP ニュース] [1998年4月] [広告]
[ぴあ] (中部版) [1998年4月27日] [広告]
[ティーワン] [1998年5月] [広告]
[ホームメイト] [1998年5月20日] [広告]
[中日新聞] [1998年4月30日]「見事な絵本原画に親子連れうっとり 高浜で展示」
[Caraco Hama] [1998年4月16日] [広告]
[ケイコとマナブ] [1998年5月2日] [広告]
[フロム・エー] [1998年5月12日] [広告]
[東海ウォーカー] [1998年5月26日] [広告]

(9-5-20) 関連文献 スクラップブック「憧れの時・佐藤忠良展」夕張市美術館 1998年10月31日-12月13日

チラシ、ほか
『北海道新聞』1998年10月29日「31日から佐藤忠良展 第二の故郷 夕張で初開催」
『北海道新聞』1998年11月1日「「佐藤忠良展」始まる 第二の故郷」夕張で21日に講演会も」
『北海道新聞』1998年11月4日-8日 (空知版) 源隆一「夕張少年の素顔 憧れの時・佐藤忠良展」(5回連載) [(1) 幸の人生 (2) クレヨンとの出会い (3) ハイカラ坂の思い出 (4) 恩師・坂下作治 (5) 家族の肖像]
『夕張タイムス』(2371) 1998年11月1日「「佐藤忠良展」始まる 21日に「講演の夕べ」も」
『朝日新聞』1998年11月13日「憧れの時—佐藤忠良展」
『読売新聞』1998年12月5日夕刊 遠藤豊美子「佐藤忠良作 油彩画「冬日裏」1932年 坂下光也氏蔵」
『北海道新聞』1998年12月15日 (空知版)「企画展成功に笑顔」
『北海道新聞』1998年12月23日 (空知版)「故郷で作品展」
『美術館だより』夕張市美術館1998年12月24日「佐藤忠良展が感動の声につつまれて終了しました。」佐藤忠良全国作品マップ」
『広報ゆうばり』(1079) 夕張市 1998年10月15日「憧れの時 佐藤忠良展」
『広報ゆうばり』(1083) 夕張市 1998年12月15日「ま・ち・か・どスケッチ」

(9-5-21) 関連文献 スクラップブック「泉美術館開館5周年 記念 佐藤忠良展」泉美術館開館 2002年4月19日-5月22日

[中國新聞] [2002年4月11日] 植田紀子「具象彫刻の代表的作家 19日から佐藤忠良展」
[中國新聞] [2002年4月20日]「作品に深い人間愛 広島で佐藤忠良展開幕」
[産経新聞] [2002年4月26日] [広告]
[中國新聞] [2002年5月2日] [広告]
[中國新聞] [2002年5月2日] [広告]
[中國新聞] [2002年5月16日] [広告]
[中國新聞] [2002年5月16日] [広告]
[中國新聞] [2002年5月18日]「人間愛刻む秀作集 広島で佐藤忠良展」
[掲載紙不明] 掲載日不明 [投書欄]

(9-5-22) 関連文献 スクラップブック「卒寿記念展 佐藤忠良 70年のあゆみ・アトリエの中から」佐川美術館 2002年7月20日-11月17日

『毎日新聞』2002年7月26日 藤田祐子「佐藤忠良氏、彫刻家活動70年「卒寿記念展」を開催」
『産経新聞』2002年8月13日 [広告]
『日本経済新聞』2002年8月29日夕刊「卒寿でも素描になお初心」
『毎日新聞』2002年9月1日「日本画 平山郁夫氏、彫刻 佐藤忠良氏の作品 常設展示で好評の美術館 佐川急便 守山パーク」
『毎日新聞』2002年9月6日夕刊 岸桂子「彫刻54点、初公開の素描も 佐川美術館 卒寿記念展「佐藤忠良」」
『読売新聞』2002年9月19日夕刊 木村未来「彫刻家・佐藤忠

良さん「卒寿記念展」
 『日本経済新聞』2002年9月22日 吉田俊宏「彫刻家 佐藤忠良「卒寿の美学」職人精神、「芸術は爆発しない」」
 『産経新聞』2002年9月27日夕刊(早)「佐藤忠良さんの卒寿記念展」
 『京都新聞』2002年7月7日 [広告]
 『京都新聞』2002年7月12日夕刊 太田垣實「卒寿彫刻家の3K」
 『京都新聞』2002年7月21日「70年の足跡を一堂に 守山 佐藤忠良展 幕開け」
 『京都新聞』2002年7月18日、21日、23日、10月1日 [広告]
 『京都新聞』2002年7月25日「記念展にあわせ佐藤忠良氏が講演」
 『京都新聞』2002年8月25日「70年の歩みと卒寿の境地語る」
 『奈良新聞』2002年7月30日「佐藤忠良氏70年の歩み」
 『福井新聞』2002年8月13日「彫刻の佐藤さん 卒寿記念展覧会」
 『神戸新聞』2002年8月23日「佐藤忠良氏が卒寿の記念展 滋賀」
 『河北新報』2002年8月20日「90歳の「職人」に妥協なし 佐藤忠良さん 創作活動に熱 来年春改行宮城県立こども病院に贈る」
 『河北新報』2002年10月6日「卒寿記念展を開いた佐藤忠良氏 終わりなき彫刻の道」
 『ギャラリー』(66)ギャラリーステーション2002年4月告知
 『銀花』(130)文化出版局2002年 [広告]
 『ポテトチップス』2002年 [広告]
 『美じゃん新報』ビジョン企画出版社 2002年8月 [広告]
 『月刊美術』(165)サン・アート2002年9月 [広告]
 『芸術公論』(190)アイエフティー 2002年9月 [広告]
 『新美術新聞』(970)第2部 2002年9月11日 [広告]
 『国際美評』(9)国際美評編集局 2002年9月 [広告]
 『美術の窓』(175)生活の友社 2002年10月 [広告]
 『美楽倶楽部9月講座』京都・美楽倶楽部 2002年9月 [9月1日 関連講座の案内]
 『ミュージカルキョウト』(492)京都音楽文化協会 2002年7月12日夕刊 [広告]
 『自動車新聞』(4)2002年7月25日「佐藤忠良「卒寿記念展」」
 『ミマン』(196)文化出版局 2002年8月「佐川美術館で佐藤忠良さんの卒寿記念の展覧会」
 『VERY』(333)光文社 2002年10月 [広告]
 『ミセス』(339)文化出版局 2002年11月「卒寿記念展 佐藤忠良七〇年の歩み・アトリエの中から」
 『京都新聞』2002年7月19日 太田垣實「内面からあふれる美 ブロンズ彫刻の詩 卒寿記念展」

(9-5-23) 関連文献 スクラップブック「佐藤忠良の世界」泉美術館 2004年5月28日-7月10日

チラシ、ほか

『中國新聞』2004年7月10日 守田靖「佐藤忠良 人間愛彫る」
 『朝日新聞』2004年7月1日「散歩道「佐藤忠良の世界展」」
 『中國新聞』2004年5月29日「彫り込んだメルヘン 佐藤忠良の世界展」
 [広島リビング新聞]2004年5月15日 [広告]
 『中國新聞』2004年7月11日 [投書]
 『to you』(230)広島市文化財団2004年4月25日 [広告]
 [西広タイムス]2004年4月30日「5月から泉美術館「佐藤忠良の世界」」

(9-5-24) 関連文献 スクラップブック「佐藤忠良・笹戸千津子 二人展 至福の世界」ELICONA 2007年10月6日-26日

[掲載紙不明] [2007年10月] [広告]
 [掲載紙不明] [2007年10月]「佐藤忠良 笹戸千津子 師弟2人展 10月6日からアートスペース エリコーナ」
 『河北新報』2007年10月23日「佐藤忠良さん・笹戸千津子さん師弟展 いわき」
 『いわき民報』2007年10月23日夕刊「佐藤忠良、笹戸千津子2人展 エリコーナで26日まで」
 [掲載紙不明] [2007年10月] [広告]
 『福島民報』[2007年10月]「佐藤忠良さんと笹戸千津子さん6日から彫刻展」
 『福島民報』[2007年10月]「26日まで師弟2人展」

(9-5-25) 関連文献 切り抜き 教科書、教科書問題

[掲載紙不明] [1979年6月30日] (朗)「教科書の壁」[現代美術社「こどもの美術」への言及]
 『毎日新聞』[1979年10月19日]原田三朗「教科書採択制度再び提言する」[現代美術社への言及]
 『第91回国会参議院予算委員会会議録 第8号』参議院事務局 1980年3月14日 [現代美術社に言及]
 [掲載紙不明] 1980年10月10日-14日「検証 教科書選び」(5回連載) [(2)のみ現代美術社への言及]
 『朝日新聞』1980年11月26日「教科書はいま」
 『朝日新聞』1981年1月25日「「右」からの批判に揺れる教科書」
 『赤旗』1981年3月8日「「理想的教科書」の名で国定教科書のモデルづくり」
 『東京新聞』[1981年3月19日]「あの「夕鶴」が偏向かしら？ 左右激突！！教科書論争のポイント」
 『毎日新聞』1981年4月23日「新作は「大きな教科書・高校生」佐藤忠良さん」
 『朝日ジャーナル』(1158)朝日新聞社 1981年4月24日 五十嵐文生「教科書批判の奇怪な演出者」
 『毎日新聞』1981年6月1日「「土門拳賞」を新設」[正賞の記念ブロンズ像を佐藤忠良が制作]
 『毎日新聞』1981年6月2日「自民党の「教科書批判」について」
 『赤旗』1981年6月9日「教科書一国民と軍拡勢力の対決」
 『東京新聞』1981年6月10日「自民偏向？童心を奪う 国語教科書もやり玉」
 『東京新聞』1981年6月11日「教科書論議 新たな波紋 広域採択 自民党案に反対」
 『赤旗』1981年6月14日「教科書問題と国際勝共連合」
 『朝日新聞』1981年6月16日夕刊「教科書批判は正当か」[光村図書への挿絵提供拒否]
 『毎日新聞』1981年6月16日「彫刻の佐藤忠良さん 改定圧力に作品掲載拒否」
 『毎日新聞』1981年6月17日「権力迎合 怒る 彫刻界の第一人者 佐藤忠良氏」
 [毎日新聞] [1981年6月25日]「教材「おおきなかぶ」など差し替えせず」
 『朝日新聞』[1981年6月29日]「「小学国語」執筆者らも教科書介入に抗議声明」
 『朝日新聞』1981年6月21日 太田弘「教科書問題の背景を考える」
 『北海道新聞』1981年6月23日夕刊「残った！小学民話教材」
 [東京新聞] 1981年6月23日「「二つの民話」一転命拾い」

『神戸新聞』1981年6月23日夕刊「二つの民話残る 光村図書」
 [サンケイ新聞] [1981年6月23日]「国語教科書「かさこ地ぞう」残す」
 『北海道新聞』1981年6月23日夕刊「「残して！」の声に採用継続」
 『山陰新聞』1981年6月23日夕刊「「かさこじぞう」「おおきなかぶ」偏向騒ぎ、揺れる教科書民話」
 『朝日新聞』1981年6月24日「かさこ地ぞう おおきなかぶ民話は生き残った」
 [赤旗] [1981年6月24日]「小学国語の民話「かさこ地ぞう」が残った」
 『サンケイ新聞』1981年6月25日「反対を解剖する(2)教科書有償化」
 『東京新聞』1981年6月28日 水谷浩「「バカバカしい」偏向”批判」民話教材で揺れる光村図書社長 稲垣房男氏」
 『親子読書』(119) 岩崎書店1981年7月[特集:これでもいいのか!!そのII 教科書の検定、採択、”批判”]
 『社会新報』1981年7月7日、10日 上野清士「教育を問う 新教科書事情 第2部(1,2)「現美」の教科書(上・下)」
 『朝日新聞』[1981年7月16日]丸谷オ一「教科書と学校教育」
 『毎日新聞』1981年8月4日「教科書会社が自民に献金」
 『毎日新聞』1981年8月4日夕刊「純真な世界、営利で汚すな—教科書会社献金に怒りの声」
 『東京新聞』1981年8月14日夕刊「「愛国心の発露」訴え」
 『朝日新聞』1981年8月14日夕刊「「愛国心教育が必要」守るべきは「国家体制」」
 『母のひろば』(207) 童心の会 1981年8月15日 座談会:古田足日、村本実、中村和江「教科書(偏向)問題を考える(3)」
 『毎日新聞』1981年8月25日「教科書ゆ着、深まる疑惑」
 『毎日新聞』1981年8月25日「教科書協会会長が理事のゴルフ場 会員に文部政務事務両次官」
 『毎日新聞』1981年8月26日「ゴルフ会員権 いくらだった? 六百万それとも四百万」
 『毎日新聞』1981年8月26日「教科書献金 蓬庵会入金やはりゼロ 全部、カラ領収書」
 『読売新聞』1981年9月17日「教科書献金 国会議員21人に届けた」
 [東京YMCA] (303) 1981年10月1日「教育をとりまく状況 これが偏向教材? 小学校国語教科書から」
 [西日本新聞] [1981年10月29日] [広告『佐藤忠良作品集』現代美術社]
 [朝日新聞] [1981年10月27日(西日本版)] [広告『佐藤忠良作品集』現代美術社]
 [掲載紙不明] 1981年11月3日、4日、7日、10日-12日、17日、24日「教科書 第1部「だれが、どう選ぶ」(2, 3, 5-8, 12, 17)」
 『毎日新聞』1981年12月10日 安藤守人「教科書会社に物申す」
 『朝日新聞』1982年8月5日 中野好夫「怒りを過ぎての情けない話 教科書検定問題のこと」
 『朝日新聞』1983年5月31日「私はこう見る 中教審小委報告」
 『東京新聞』[1983年5月31日]「業界寡占化の恐れ」[現代美術社に言及]
 [都教研] (16) [1983年6月16日]「美術 都教研美術部会」[現代美術社への言及]
 『朝日新聞』1983年7月4日「教科書はどこへ(4)」[現代美術社への言及]
 『河北新報』1984年11月6日「なんのための図画工作 熱のこもった型破りの解説 子どもの美術 安野光雅 佐藤忠

良編」
 [掲載紙不明] [1985年?]「12月4日に設立総会 教科書正常化国民会議」
 [宝石] [6月号] 小塚好男「教科書を政争の具にするな!! 作られた”偏向”」
 [毎日新聞] [不明] 安藤守人「初めて素顔 買われた? 無償制度」
 『朝日新聞』[不明]「進む大手の独占化 小学校の教科書」
 『毎日新聞』[不明]「汚れたカラクリ15年 教科書献金」
 [現代美術社 採択件数]

(9-5-26) 関連文献 切り抜き ロダン美術館展、巴里展資料
 開会式案内状、ほか
Une semaine de Paris - Pariscope, no. 675, 29 Avril 1981.
L'officiel des spectacles, no.1793, Paris: L'officiel des spectacles, 6 - 12 Mai 1981, [“Churyo Sato”, Paris: Musée Rodin]
Journal de l'amateur d'ART, no. 672, Paris: Journal de l'amateur d'art, Juin 1981, Claude Pallene, “Churyo Sato, étonnant japon”
 “Reproductions du musée Rodin”
 “Réunion des musées nationaux, Programme des expositions”, printemps-été 1981
 “Claude Monet, Un colloque organisé par l'Académie des Beaux-Arts et The Versailles Foundation”, 22 -24 Septembre 1981
 “Institut de France Académie des Beaux-Arts”[会員一覧]
 [掲載誌不明] [1981年] [広告]
 [掲載誌不明] [1981年] ジョージ・フリーデンクラフト「佐藤忠良 或いはアジア女性の美学 ある展覧会についての考察」和訳
 [掲載誌不明] 不明 [Pariscope, L'officiel des spectacles の概要]
 『河北新報』1979年4月20日「佐藤忠良氏 パリのロダン美術館で個展 再来年彫刻家では日本初」
 [掲載紙不明] [1981年]「ロダン美術館で個展」
 『朝日新聞』1981年6月16日夕刊(パリ・松本特派員)「パリの国立美術館で大個展 佐藤忠良氏 仏芸術アカデミー客員会員に」
 『美術館からのお知らせ』(9) 国立国際美術館1981年6月22日 [広告]
 『河北新報』1981年6月25日「パリっ子の共感を呼ぶ 佐藤忠良氏 ロダン美術館で個展 “生命の躍動とらえる”」
 [赤旗] [1981年8月9日] 岩野勇三「佐藤忠良彫刻展によせて」
 『週刊新潮』(1317) 新潮社 1981年8月13日「彫刻家・佐藤忠良「パリ展」のご利益」
 『月刊さっぽろ』(252) [財界さっぽろ] 1981年10月1日 岩田明「ムッシュ・サトウ」佐藤忠良個展
 『いわき民報』1981年11月12日夕刊 若松紀志子「生きてよかった(1)」
 『いわき民報』1981年11月30日夕刊 若松紀志子「生きてよかった(7)」
 『いわき民報』1981年12月5日夕刊
 [経団連月報] [1981年12月] 川又克二、杉浦敏介、河合良一、池田芳蔵、鈴木治雄「座談会 日欧経済関係を考える」[ロダン美術館での個展についての言及]
 『青春と読書』(75) 集英社 1982年1月 米倉守「佐藤忠良の

フランスでの評価]

- 『読売新聞』1983年10月6日夕刊「ニューヨークの佐藤忠良展”外皮”の否定 空間との統一感」
『読売新聞』1983年10月14日「共感よぶ像・空間の調和 ニューヨークで「佐藤忠良展」」
[掲載誌不明] 斎藤重二「私のニューヨーク～佐藤忠良 ニューヨーク展におもとして～」
『足利文林』(8) 足利文林会 1982年6月 斎藤重二「佐藤忠良 パリ展とヨーロッパ美術の旅〈Ⅲ〉」

(9-6-01) 複製印刷物、レターセット (順不同)

- [裸婦]アートシード
[樹木]
[果実]
《大海》
[桃]
《銚子》
《未菜ひるね》
[レターセット] [札幌芸術の森]
《若い女》[鑄造管理者: フランス大蔵省造幣局?]
《ふざけっこ》現代美術社関係?
[風景]
[カンカン帽]

(9-6-02) ポストカード (順不同)

- 《冬の裏町(札幌)》
《おくるみ》
「村上橋ブロンズ像設置記念 八千代市」1981年5月《太陽》
《緑》
「彫刻のある町づくり 佐藤忠良作「早蕨」序幕記念 北九州市」1982年11月
「斎藤秀雄先生の像 桐朋学園大学」1985年11月
「伊藤武雄先生の像 桐朋学園大学」1990年12月 [レゾネ掲載なし、原型番号214]
「馬の彫像「風」序幕記念 十和田市」1991年10月
「「彫刻のあるまちづくり」完成記念 文京区」1995年3月《風韻》ほか
「小熊秀雄賞・市民文化会館建設基金造成 旭川の文化点景」
「旭川 街の彫刻」《若い女》ほか
「あなたの街を知っていますか?」横浜市都市整備局《若い女》ほか
「活力とやすらぎのまち 群馬県大泉町 町発足30周年記念」[1987年]《若い女の像》
「佐藤忠良記念館開館記念」宮城県美術館 1990年6月《円い椅子》《里佳》
「はじめての美術 絵本原画の世界展」《おおきながぶ》
《ボタン・夏》《円い椅子》《群馬の人》《このはずく》《カンカン帽》《ふざけっこ》《二歳(大)》《若い女》《ボタン(大)》《たつろう》《無題》《ホンコン朝市》《ボケの実》《メキシコ朝市》《リカ》《壁にもたれかかる裸の女》《メリダホテルの朝 遺跡が見える》《広州珠江》宮城県美術館 便利堂 18種
《あぐら 1985》東京藝術大学大学美術館 便利堂
《ジーンズ・夏》碧南市文化会館
「佐藤忠良のすべて」巡回展 1988-1990《少女》
「札幌で語ろうアジアの平和」《若い女の像》
《女・夏》札幌芸術の森 2種

- 《若い女》宮城県総合博物館
[藁馬のポストカード]
《風韻》環三さくら通り
《カンカン帽》彫刻の森美術館
「関彰コレクション 佐藤忠良彫刻展」《円い椅子》《帽子のチコ》《帽子》《蒼》《帽子あぐら》《男の児》《エイ》《女座像》8枚組
《ブラウス》財団法人泉美術館
《若い女》[旭川平和通買物公園]
《帽子の像》カード [宮城学院女子大学] 1987年12月
《中野重治》[中野重治の会]

(9-6-03) 関連文献 テレホンカードほか (順不同)

- 《ブーツの少女》放送大学
《若い女の像》群馬県大泉町発足30周年
《夏の像》市政35周年記念 [佐倉市]
《夏》幣舞橋とフィッシャーマンズワーフ
《帽子の像》宮城学院 2種
《裸》彫刻展 協和銀行
《ジーンズ》杉並区平和都市宣言記念像
《緑》徳山市彫刻のあるまちづくり
《土井憲治・輝子像》1993年4月11日 梅田近代美術館
《ジーンズ》下館市駅前再開発 モニュメント設置記念
《支倉常長像》合併40周年・町制施行35周年 大郷町 1994年
《支倉常長像》支倉常長ゆかりの地おおさと [大郷町]
《女・夏》メトロカード 帝都高速度交通営団

(9-6-04) 関連文献 ポスター (展覧会を除く、順不同)

- 「くみあい動物薬」全農、科学飼料研究所《神農》掲載
「ガンバレ! 五十嵐広三道民集会」不明2月16日 旭川市市民文化
「巨匠2人の次期連載小説」船山馨、佐藤忠良画『茜色の坂』
「82北海道博覧会記念公式メダル」[1982年]
「北緯43度の旅。くしろ」釧路市・釧路市観光協会《夏》掲載
「CHIBA IS WONDERFUL NOW」《太陽》[村上橋 八千代市]
「メトロ美術散歩」帝都高速度交通営団《女・夏》
「凜と、秋。」ファッションドーム 141
「土こそ命の母。いつも肥沃に、荒らさずに。」《土》
[詳細不明]《ふざけっこ》
[詳細不明]《帽子・夏》
[詳細不明]《エイ》
[詳細不明]《小さな羊》像のエスキース

(9-6-05) 関連文献 カレンダー

- [1959年] [TOYO RAYON] [8月に佐藤忠良アトリエ写真]
[1965年] 北海道銀行本店営業室 壁面彫刻《大地》本郷新、山内壮夫、佐藤忠良作
[1983年] 安田生命素描《ミナ》
[1983年] 札幌信用金庫《ボタン・大》
[1990年] 旭川信用金庫《若い女》
[1997年] 日立東北ソフトウェア《若い女・シャツ》
[1999年] 日立東北ソフトウェア《ブラウス》
[2000年] 日立東北ソフトウェア《光陰》
[2000年] 佐川美術館 [《帽子・立像》]
[2003年] 日立東北ソフトウェア《帽子・あぐら》
[2004年] 「土の手をやすめて 佐藤忠良のスケッチブック」

[2004年] 日立東日本ソリューションズ《女・夏》
[2005年] 日立東日本ソリューションズ《緑の風》
[2009年] 豊田自動織機《帽子・冬》ほか
[2009年] 丸沼芸術の森《トラフズク》《ジャコビン》
[2010年] 丸沼芸術の森《やせた女》
[製作年不明] 3月《常磐炭鉱》

(10-1-01) 蔵書等 図書 美術 海外作家関係 (作家名順)

Bourdelle, Antoine. 清水多嘉示『ブルデル 彫刻作品集』筑摩書房 1956年11月
Botticelli, Sandro. Lionello Venturi, *Botticelli*, London: Phaidon, 1972
Brancusi, Constantin. Marielle Tabart, Isabelle Monod-Fontaine, *Brancusi: photographie*, Paris: Musée national d'art moderne, 1977
Bruegel, Pieter. Charles de Tolnay, Piero Bianconi, *Tout l'œuvre peint de Bruegel l'Ancien*, Paris: Flammarion, 1968
Cézanne, Paul. 池上忠治 (解説) 『現代世界美術全集 3 セザンヌ』 (愛蔵普及版) 集英社 1971年2月 [廃棄]
———. 井上靖、高階秀爾 (編) 『カンヴァス世界の名画8 セザンヌ』中央公論社 1978年1月 (1982年第5版) [廃棄]
Chagall, Marc. Franz Meyer, *Marc Chagall*, New York : H.N. Abrams, [1964]
———. 竹本忠雄 (解説) 『現代世界美術全集 17 シャガール』 (愛蔵普及版) 集英社 1971年10月 [廃棄]
Chapkunov, Georgi. Вeнeгa Ивaнoвa, *Гeорги Чaпкyнo*, [?] : Бyлгapский художник, 1988 [ヴェネタ・イヴァノフ『ゲオルギー・チャプカノフ』ブルガリアの画家社 ロシア語]
Cho, Yang Gyu. 曹良奎『曹良奎画』美術出版社 1960年
Crocetti, Venanzo. Marcello Venturoli, *Crocetti*, Roma: Editalia, 1972
Degas, Edgar. Leonard von Matt, John Rewald, *Degas: das plastische werk*, Zürich: Manesse, 1957
———. ダニエル・カットン・リッチ、宮本三郎 (監修)、松山恒見 (訳) 『DEGAS (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1961年12月 [廃棄]
———. Jean Sutherland Boggs, *Drawings by Degas*, [New York] : Harry N. Abrams, 1966
———. Jean Adhémar, Françoise Cachin, *Degas: gravures et monotypes*, Paris: Arts et métiers graphiques, 1973
———. Jean Adhemar, Françoise Cachin, *Degas: The Complete Etchings, Lithographs and Monotypes*, London: Thames And Hudson, 1973
———. *Degas: Drawings*, New York: Dove, 1973
———. *Tout l'œuvre peint de Degas*, [Paris] : Flammarion, 1974
———. 窪田般彌、島田紀夫『Degas 世界美術全集17』小学館 1977年5月
Despiau, Charles. Musée Rodin, *Charles Despiau, Sculptures et Dessins*, Paris: Musée Rodin, 1974
Donatello. 清水多嘉示『ドナテロ』アトリエ社 1940年9月
———. ジョヴァンナ・ガエタ・ベルテラ、芳野明『ドナテロ』東京書籍 1994年11月
———. *Donatello*, New York: Harry N. Abrams, 1972
Delacroix, Eugène. トム・プリドー『巨匠の世界 ドラクローワ』タイム ライフ インターナショナル 1968年10月 [廃棄]
Dürer, Albrecht. 前川誠郎『デューラー 人と作品』講談社

1990年9月
Ernst, Max. Patrick Waldberg, *Max Ernst*, Paris: Jean-Jacques Pauvert, 1958
Fazzini, Pericle. Romeo Lucchese, *Pericle Fazzini*, Roma: De Luca Editore, [1952]
Gaudi, Antonio. 二川幸夫、東野芳明『ガウディ A. Gaudi』鹿島研究所出版会 1996年3月
Gauguin, Paul. 『ゴーガン』みすず書房 1961年1月 [廃棄]
———. ロバート・ゴールドウォーター、嘉門安雄 (訳) 『GAUGUIN (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1961年4月 [廃棄]
———. 池田満寿夫、岩崎吉一 (執筆) 『世界美術全集 21 ゴーガン』座右宝刊行会 (編) 小学館 1977年2月 [廃棄]
Giacometti, Albert. 矢内原伊作『ジャコメッティ』みすず書房 1958年11月
———. 矢内原伊作『ジャコメッティとの日々 写真集』用美社 1986年9月
Giotto. *Giotto: la Cappella degli Scrovegni*, Milano: Fratelli Fabbri, Albert Skira, 1969
Gogh, Vincent van. マイヤー・シャピロ、黒江光彦 (訳) 『VAN GOGH (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1963年3月 [廃棄]
———. 向田直幹 匠秀夫『ゴッホ巡礼』 (とんぼの本) 新潮社 1990年11月
———. 小林英樹『ゴッホの証明 自画像に描かれた別の顔の男』情報センター出版局 2000年7月
Goya, Francisco de. ホセ・グディオル、瀬戸慶久 (訳) 『GOYA (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1966年10月 [廃棄]
Gullers, Karl. W. Torsten Ehrenmark, *The Face of Sweden*, Stockholm: Gullers produktion/Almqvist & Wiksell, 1972
Guzanov, Vitalii. ВИТАЛИЙ ГУЗАНОВ, НАГАСАКУ гавань надежды и благополучия, 2000 [ヴィタリ・グザーノフ『長崎 希望と平穏の港』私家版 2000年]
González, Julio. Merkert Jörn, *Julio González*, Milano: Electa, 1987
Greco, El. 須田國太郎『グレコ』アトリエ社 1939年8月
Greco, Emilio. Fortunato Bellonzi, *Emilio Greco*, Roma: De Luca, [1949]
———. Bernhard Degenhart, *Emilio Greco*, Berlin: Florian Kupferberg Verlag, 1960
———. *Greco, Maestri contemporanei 16*, Milano: Vanessa, [1976]
———. *Emilio Greco : opera grafica*, Roma: Istituto d'arte Mondadori, [1977]
———. 現代彫刻センター『グレコの素描と日本の詩人たち 19 poesie per 19 disegni di Greco』現代彫刻センター 1978年9月
Grigorescu, Nicolae. Mircea Popescu, *Nicolae Grigorescu*, Bukarest: Meridiens-Editions, 1962
Haskins, Sam. *Haskins, November Girl*, London: Bodley Head, 1967
———. *African Image*, Bodley Head, London: 1967
———. *Cowboy Kate & Other Stories*, London: Bodley Head, 1968
Huang, Zhen. 黄 鎮『长征画集』人民美術出版社、1962年 [日本語訳原稿2枚を含む]
Klimt, Gustav. *Gustav Klimt, one hundred drawings*, New

- York: Dover Publications, 1972
- Kollwitz, Käthe. Otto Nagel, *Die Selbstbildnisse der Käthe Kollwitz*, Berlin: Henschelverlag, 1965
- Komov, Oleg. Юрий Осмоловский, О. Комов, Мастер: Советского искусства, Moskva: Советский художник, 1988 [ユーリ・オスモロフスキー 『O. コモフ 巨匠: ソビエト美術』モスクワ: ソビエトの画家 1988年 ロシア語]
- Léger, Fernand. Lothar-Günther Buchheim, *Fernand Léger, Menschen und Objekte, Zeichnungen*, [??] : Buchheim Verlag, 1955
- Leonardo da Vinci. ロバート・ウォレス『巨匠の世界 レオナルド』タイム ライフ インターナショナル 1968年4月 [廃棄]
- Maillol, Aristide. Waldemar George, *Aristide Maillol et l'âme de la sculpture*, Neuchâtel: Éditions Ides et Calendes, 1964
- Manet, Edouard. ピエール・クールティヨン、千足伸行『MANET (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1968年7月 [廃棄]
- Manzù, Giacomo. Anna Pacchioni, *Giacomo Manzù*, Milano: Edizioni del Milione, 1948
- . Robert D'Hooghe, *Giacomo Manzù*, Salzburg: Galerie Welz, 1960
- . Cesare Brandi, *Giacomo Manzù, La Porta di S. Pietro*, St. Gallen: Erker Verlag, 1964
- . 『ジャコモ・マンズー作品集 東京造形大学創立20周年』[東京造形大学] [1986]
- . Aurelio Amendola, *Manzù le Porte*, Milano?: Silvana, 1989
- Marini, Marino. Enzo Carli, *Marino Marini (Arte moderna italiana n. 29)*, Milano: Ulrico Hoepli, 1950
- . Umbro Apollonio, *Marino Marini: scultore (Monografie di artisti Italiani contemporanei 3)*, Milano: Milione, [1953]
- . Emile Langui, *Marino Marini (Europäische Bildhauer)*, Köln: Kiepenheuer & Witsch, 1954
- . Edouard Trier, *Marino Marini*, Neuchâtel: Griffon, 1961
- . Alberto Busignani, *Marino Marini*, Firenze: Sadea Sansoni, 1968
- . Alberto Busignani, *Marini (twentieth-century masters)*, London: Hamlyn, 1971
- . 吾妻兼治郎『Marino Marini (ファブリ世界彫刻集17)』平凡社 1972年
- . *Marino Marini (biografia per immagini di Marina)*, Torino: albra, 1972
- . *Marino Marini Grafica: marino to strawinsky*, [Torino] : albra editrice, [1972]
- . Mercedes Precerutti Garberi, *Marino Marini alla Galleria d'arte moderna di Milano*, [Milano: Arti Grafiche Fiorin, 1973?]
- . Erich Steingraber, *Marino Marini*, Milano: Electa, 1987
- Martini, Arturo. Massimo Bontempelli, *Arturo Martini (Arte Moderna Italiana n.23)*, Milano: Ulrico Hoepli, 1948
- . G. Argan, *Martini (Europäische Bildhauer)*, Köln: Kiepenheuer & Witsch, 1956
- Menyhért, Tóth. Bánszky Pál, *Tóth Menyhért (Mai magyar művészet)*, Budapest: Képzőművészeti Alap Kiadóvállalata, 1978
- Messina, Francesco. *Marco Valsecchi, Francesco Messina (Arte Moderna Italiana n.28)*, Milano: Ulrico Hoepli, 1949
- Michelangelo Buonarroti. フレデリック・ハート、大島清次(訳)『Michelangelo』美術出版社 1965年12月
- . ロバート・カフラン『巨匠の世界 ミケランジェロ』タイムライフインターナショナル 1968年6月 [廃棄]
- . *Michelangelo: La Cappella Sistina*, Tokyo: NIPPON TELEVISION NETWORK CORP, 1994
- Miró, Joan. Alain Jouffroy, Joan Teixidor, *Miró: sculpture*, [New York, Paris:] Leon Amiel, 1974
- Modigliani, Amedeo. 田口省吾(編)『モゼリアニ畫集(西洋名画選集5)』アトリエ社 1932年 ※カバーのみ
- . 外山宇三郎(編)『モゼリアニ畫集』光文館書店 1933年
- . 宇佐美英治『モゼリアニ』みすず書房 1964年
- . ドーリス・クリストフ『アメデオ・モディリアニ』[タッシェン・ジャパン] 2001年
- Monet, Claude. ウィリアム・ザイツ、辻邦生、井口濃(訳)『MONET (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1968年2月 [廃棄]
- Moore, Henry. Herbert Read, *Henry Moore: Sculpture and Drawings*, London: Lund, Humphries, 1949
- . Herbert Read, *Henry Moore: Volume 2, Sculpture and Drawings*, London: Lund, Humphries, 1950
- . John Hedgecoe, *Henry Moore: Energie im Raum, Energy in space, Energie dans l'espace*, München: Bruckmann, 1973
- . Timothée Trimm, *Henry Moore intime*, Paris: Editions du Regard: Didier Imbert fine arts, 1992
- Muybridge, Eadweard. *The human figure in motion*, New York: Dover Publications, 1955
- . *Animals in motion*, New York: Dover Publications, 1957
- Neroda, Yuri. Кутузова Надежда, Юрий Нерода, Moskva: Советский художник, 1976 [クトゥゾワ・ナジェダ『ユーリ・ネロダ』モスクワ: ソビエトの画家 1976年 ロシア語]
- Nicholson, Ben. John Summerson, *Ben Nicholson*, West Drayton: Penguin Books, 1948
- Noguchi, Isamu. 綿引幸造『Isamu Noguchi イサム・ノグチの世界』ぎょうせい 1998年6月 [廃棄]
- Pan, Marta. 匠秀夫、酒井忠康(編)『現代彫刻集VII マルタ・パン』札幌芸術の森 1989年3月
- Pascin, Jules. 武田厚『パスキン バリの憂愁』北海道新聞社 1981年3月 [廃棄]
- Picasso, Pablo. Daniel Henry Kahnweiler, *Les Sculptures de Picasso*, Paris: Chêne, 1949
- . Fernand Mourlot, *Picasso Lithographe 1: 1919-1947*, Monte-Carlo: André Sauret, 1949
- . Fernand Mourlot, *Picasso Lithographe 2: 1947-1949*, Monte-Carlo: André Sauret, 1950
- . Maurice Raynal, *De Picasso Au Surréalisme histoire de la peinture moderne*, Genève: Albert Skira, 1950
- . Franco Russoli, *Pablo Picasso*, Milano: Silvana Editoriale d'Arte, 1953
- . Frank Elgar, *Picasso et Léger. deux hommes, deux*

- mondes*, Paris: Les amis de l'art, 1954
- . ポール・エリュアール、木島始(訳)『ピカソ』筑摩書房 1955年2月
- . 朝倉撰『ピカソII』みすず書房 1958年2月
- . Helen Kay, *Picasso's World of Children*, New York: Doubleday, [1965]
- . ハンス L.C. ヤッフエ、高見堅志郎(訳)『PICASSO (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1965年3月 [廃棄]
- . フランソワーズ・ジロー、カールトン・レイク、瀬木慎一(訳)『ピカソとの生活 Life with Picasso』新潮社 1965年12月
- . Jean Cocteau, *Entre Picasso et Radiguet*, Paris: Hermann, 1967
- . *Picasso: 347 engravings*, [Boston]: Galerie Louise Leiris, [1969]
- . Georges Bloch, *Pablo Picasso*, Berne: Kornfeld et Klipstein, 1975
- . デイヴィッド・D・ダンカン『ピカソ 沈黙のアトリエ』講談社 1977年8月
- . ジュヌヴィエーヴ・ラポルト、宗左近ほか(訳)『ピカソとの17年 その芸術・人間・愛』美術公論社 1977年11月 ※表紙カバーのみ
- . 堀田善衛、瀬木慎一、ほか『ピカソ美術館めぐり』新潮社 1984年3月 [廃棄]
- . Marie-Laure Besnard-Bernadac, *Le Musée Picasso, Paris*, Paris: Ministère de la culture, Editions de la Réunion des musées nationaux, 1985
- . Marie-Laure Bernadac, *Picasso Museum Paris, the masterpieces*, Paris: Réunion des Musées Nationaux, Prestel, 1991
- . Raymond Cogniat, *Picasso Figures (Rythmes et Couleurs)*, [??]: Librex, [19--]
- Pissarro, Camille. ジョン・リウォルド、平沢悦郎(訳)『PISSARRO (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1968年10月 [廃棄]
- Qian, Songyan. 『銭松岳作品選集』人民美術出版社 1963年11月 [廃棄]
- Ray, Man. ジャン＝ユベール・マルタン(序)、飯島耕一(訳)『写真家 マン・レイ』みすず書房 1983年1月 [廃棄]
- Rembrandt van Rijn. ルードヴィッヒ・ミュンツ、八代修次(訳)『REMBRANDT (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1967年11月 [廃棄]
- Rodin, Auguste. 高村光太郎(編訳)『續ロダンの言葉』叢文閣 1926年9月
- . 高村光太郎(編訳)『ロダンの言葉』叢文閣 1929年4月
- . 高村光太郎(編訳)『ロダンの言葉』叢文閣 1937年9月
- . 高村光太郎(編・訳)『續ロダンの言葉』叢文閣 1937年9月
- . 菊池一雄『ロダン』中央公論社 1950年1月
- . Marcel Aubert, Sougez, Marc Foucault, *Rodin: sculptures*, [Paris]: Éditions Tel, 1952
- . Cécile Goldscheider, *Rodin: the drawings and watercolors*, Paris: Éditions Albert Morancé, 1963
- . ウォルター・バッチ、富山秀男(訳)『RENOIR (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1964年7月 [廃棄]
- . Cécile Goldscheider, *Femmes: vingt-quatre études de Rodin*, Paris: Éditions Albert Morancé, 1966
- . Musée Rodin, Alessandra Scarpa, *Rodin: aquarelles et dessins érotiques*, [Paris]: Bibliothèque de l'Image, 1966
- . Robert Descharnes, Jean-François Chabrun, *Auguste Rodin*, Paris: Edita Lausanne, 1967
- . Claudie Judrin, Monique Laurent, Dominique Viéville, *Auguste Rodin: le monument des Bourgeois de Calais (1884-1895)*, Paris: Musée Rodin, Musée des beaux-arts, 1977
- . Claudie Judrin, *Inventaire des Dessins IV*, Paris: Musée Rodin, 1984
- . Monique Laurent, Bruno Jarret, *Le Musée Rodin*, Paris: Hazan, 1984
- . 静岡県立美術館『ロダン館』静岡県立美術館 1994年
- . 高村光太郎(編・訳)『ロダンの言葉 覆刻』沖積舎 2005年12月
- Rosso, Medardo. Luciano Caramel, *Medardo Rosso: impressions in wax and bronze*, New York: Kent fine art, 1988
- Rousseau, Henri. 岡谷公二(解説)『新潮美術文庫 33 ルソー』新潮社 1975年3月 [廃棄]
- . 東野芳明(編著)『25人の画家 現代世界美術全集 17 ルソー』講談社 1981年6月 [廃棄]
- Rubens, Peter Paul. C・V・ウェッジウッド、『巨匠の世界 ルーベンス』タイム ライフ インターナショナル 1968年12月 [廃棄]
- Schiele, Egon. Erwin Mitsch, *The Art of Egon Schiele*, London, New York: Phaidon, 1975
- Segal, George. フィリス・タックマン『ジョージ・シーガル』美術出版社 1990年2月
- Shahn, Ben. ベン・シャーン、佐藤明(訳)『ある絵の伝記』美術出版社 1960年2月 [廃棄]
- . Kenneth W. Prescott, *The complete graphic works of Ben Shahn*, [New York]: Quadrangle, 1973
- Signorelli, Luca. アントーニオ・バルオッチ、芳野明(訳)『シニョレリ』東京書籍 1995年11月 [廃棄]
- Smith, David. Cleve Gray, *David Smith by David Smith: sculpture and writings*, London: Thames and Hudson, 1968
- . カレン・ウィルキン『デイヴィッド・スミス』美術出版社 1991年6月
- Tang, Haywen. 『會 海文 墨の道 英仏二ヶ国語版(日本語解説小冊子付)』資生堂企業文化部 2002年8月 [廃棄]
- Toulouse-Lautrec, Henri de. Francis Jourdain, *Toulouse-Lautrec (Collection des maîtres)*, Braun & C., [19--]
- . ダグラス・クーバー、黒江光彦(訳)『TOULOUSE-LAUTREC (世界の巨匠シリーズ)』美術出版社 1962年9月 [廃棄]
- . 島本融(解説)『ロートレック』みすず書房 1964年3月 [廃棄]
- . 『ロートレックのデッサン』岩崎美術社 1970年11月
- Utraiainen, Raimo. 匠秀夫、酒井忠康(監修・編集)『現代彫刻集VI ライモ・ウトウリアイネン』札幌芸術の森 1988年3月
- Vermeer, Johannes. Giuseppe Ungaretti, *Vermeer (Art Classics)*, New York: Rizzoli, 2005
- . 中村真一郎『ヨハネス・ヴェルメール(ファブリ世

界名画集17)』平凡社 1971年
 Verrocchio, Andrea del. G. Passavant, *Verrocchio: sculptures, paintings and drawings*, London: Phaidon, 1969
 Vigeland, Gustav. 『グスタフ・ビーゲラン 札幌芸術の森野外美術館作品設置記念』札幌市 [1988年]
 Wlérick, Robert. *Robert Wlérick, 1882-1944*, Mont-de-Marsan: Musée Despiau-Wlérick, 1991
 Wyeth, Andrew. Betsy James Wyeth, *Christina's world: paintings and pre-studies of Andrew Wyeth*, Boston: Houghton Mifflin, 1982
 ———. 高橋秀治 (監修) 『アンドリュー・ワイエス オルソン・ハウス 水彩・素描』丸沼芸術の森 2004年4月 [廃棄]
I Maestri della scultura, vols.112, Milano: Fabbri, 1966-68 [32, 36, 57, 88, 95, 108 欠]

(10-1-02) 蔵書等 図書 美術 日本作家関係 (作家名順)

相原求一朗・相原麻木『なごりの雪: Hommage a Aihara Kyuichiro』私家版 2000年2月
 ———. 相原麻木『句集 冬銀河』私家版 2001年 [廃棄]
 ———. 相原麻木『満州点描: 相原求一朗』私家版 2005年2月
 青木繁. 『青木繁: Aoki Shigeru (新潮日本美術文庫32)』新潮社 1997年6月
 赤穴宏. 『赤穴宏 画集』私家版 [1982年] [廃棄]
 明田川孝. 山内壮夫『明田川孝作品集』昭森社 1960年9月
 朝井閑右衛門. 『朝井閑右衛門画集』朝井閑右衛門の会 2000年6月 [廃棄]
 ———. 『朝井閑右衛門不動明王画集』朝井閑右衛門の会 1993年4月 [廃棄]
 朝倉撰. 『私の幕間 ステージワークの周辺』求龍堂 1983年9月
 ———. 『朝倉撰のステージ・ワーク 1991-2002』Parco 出版 2003年4月
 朝倉響子・安齋重男『Kyoko』Parco 出版 1985年9月
 朝倉文夫. 『朝倉彫塑館図録』朝倉彫塑館 1983年1月
 ———. 広田肇一『朝倉文夫の世界: 朝倉文夫記念館図録』朝地町役場 1991年3月1日
 芦原義信. 芦原義信『Ashihara・Architect and Associates the 25th Anniversary』芦原建築設計研究所 1977年3月
 吾妻兼治郎. A. M. Hammacher, *Azuma*, Milano: Edizioni il Polifilo Milano, 1971
 ———. 吾妻兼治郎, シャイヴィレル・ヴァンニ『フランシ・パオラとパオロの友人への贈物: 無』ルチーニ・デオルデオ 1992年
 東千賀. 埴谷雄高『東千賀作品集 I (夜光表現双書)』行人舎 1999年6月
 与勇輝. 『NHK 趣味百科 人形をつくる』日本放送出版協会 1991年4月 [廃棄]
 ———. 倉本聰『ニンゲル』メディアワークス 1994年4月
 ———. 田中学而『与勇輝の世界』彩鳳堂 1999年10月
 雨宮敬子. 『雨宮敬子 Amenomiya Keiko (現代彫刻作家選集2)』聖豊社 1982年11月
 雨宮透. 『雨宮透作品集』ギャラリー クォーターアリア 1993年
 有元利夫. 松岡和子 (編) 『有元利夫 女神たち』美術出版社 1991年4月 [廃棄]
 ———. 『有元利夫作品集 1979-1984』彌生画廊 1984年 [廃棄]
 ———. 『Toshio Arimoto Notebook 1985』彌生画廊 1985年9月
 安藤忠雄. 二川幸夫『Tadao Ando 1972-1987』A.D.A.Edita Tokyo 1987年9月
 安野光雅. 『ABCの本: へそまがりのアルファベット』福音館書店 1974年10月
 ———. 『がまの油 質作燐寸屋少娘 特装版』岩崎書店 1977年1月
 ———. 『きりがみ 江戸いろは』(かるた)新泉社 1978年1月
 ———. 『空想書房』平凡社 1992年1月
 ———. 『カリジェの世界 スイスの村の絵本作家』日本放送出版協会 1992年4月
 ———. 『文学の絵本「ちくま日本文学全集」の装画』筑摩書房 1993年10月
 ———. 『蟻と少年』筑摩書房 1995年6月
 ———. 『わが谷は緑なりき』筑摩書房 1995年7月
 ———. 『こころのふち』筑摩書房 1995年8月
 ———. 『ホテル・ヴェリエール』筑摩書房 1995年9月
 ———. 『手品の種』筑摩書房 1995年11月
 ———. 『繪本平家物語』講談社 1996年3月
 ———. 『散語拾語』朝日新聞社 1996年10月
 ———. 『カタロニア・カザルスの海へ (世界・わが心の旅)』日本放送出版協会 1996年10月
 ———. 『繪本シェイクスピア劇場』講談社 1998年11月
 ———. 『空想の繪本』講談社 1999年10月
 ———. 『歌の風景』講談社 2001年3月
 ———. 『安野光雅の記録 1 天動説から平家まで』安野光雅美術館 2001年3月
 ———. 『職人たちの春』講談社 2002年2月
 ———. 『昔の子どもたち』日本放送出版協会 2002年4月
 ———. 『村の広場』朝日新聞社 2002年6月
 ———. 『繪本即興詩人』講談社 2002年11月
 ———. 『青春の文語体』筑摩書房 2003年12月
 ———. 『安野光雅のいかれたカバン』世界文化社 2005年4月
 ———. 『大志の歌 童話の学校校歌・寮歌』童話屋 2005年8月
 ———. 『繪本歌の旅』講談社 2005年11月
 ———. 『絵の教室 カラー版』中央公論新社 2005年12月
 ———. 『空想亭の苦勞咄』筑摩書房 2006年3月
 ———. 『繪本三國志印存』蘭花堂 2008年3月
 ———. 『繪本三國志』朝日新聞出版 2008年4月
 ———. 『旅の繪本 7』福音館書店 2009年9月
 ———. 『明日香村』日本放送出版協会 2009年10月
 ———. 『繪本仮名手本忠臣蔵』朝日新聞出版 2010年9月
 ———. 『即興詩人 口語訳』山川出版社 2010年11月
 安藤文雄. 『安藤文雄写真集 夕張 (ふるさと) を見つめた半世紀』安藤文雄写真集発刊委員会 1998年10月 [廃棄]
 五百住乙人. 島村みえ子, 小野律子, 高松浩樹, 渡辺由理 (編) 『五百住乙人画集』アート・デザインセンター 1997年9月 [廃棄]
 ———. 『五百住乙人画集 II』サムホール 2005年7月
 石垣栄太郎. 『石垣栄太郎』美術出版社 1959年11月
 石本正. 小川貞夫『石本正素描集』彌生画廊 1981年10月
 ———. 『石元正デッサン集 裸婦・カジュラホ・ヨーロッパ 中世の街』新潮社 1985年3月
 ———. 『画文集 我がイタリア』新潮社 1991年10月
 ———. 『絵をかくよるこび』新潮社 2001年3月
 石元泰博. 『HANA 石元泰博写真集』求龍堂 1988年6月

- 井手則雄『美術のながれ』河出書房 1956年3月
 ——. 八嶽瑞子『NORIO IDE 井手則雄』造形社 1979年6月
- 伊藤隆道・匠秀夫、酒井忠康『現代彫刻集Ⅲ 伊藤隆道』札幌芸術の森 1987年3月
- 伊藤正規. 『伊藤正規画集』私家版 2000年8月 [廃棄]
- 稲村隆正. 『燦めく華花 稲村隆正写真集』ニコールクラブ 1990年12月
- 井上三綱. 『古事記・萬葉画集』東美デザイン 1976年1月
- 猪熊弦一郎. 『GUÉN INOKUMA FACES』ギャラリーミキモト [1992年10月] オリジナルリトグラフ付録
 ——. 『キャンパスを超えた画家 猪熊弦一郎』四国新聞社事業局出版部 1994年5月 [廃棄]
- いわさきちひろ. 『いわさきちひろ全集』(全11巻) ほるぷ出版 1984年9月～1985年11月 [廃棄]
- 岩下哲士. 『山中湖 岩下哲士アトリエ館』彩鳳堂 2002年3月
- 岩瀬秀一. 『巨海音聲』エルテ出版 1990年2月
- 岩野亮介. 『岩野亮介 私の彫刻写真帖』彩樹社 2008年10月
- 岩野勇三. 『岩野勇三作品集』岩野勇三後援会 1977年8月
- 岩橋英遠・奥岡茂雄、北海道立近代美術館(編)『岩橋英遠 - 道産子の眼』北海道新聞社 1983年4月 [廃棄]
- 上野泰郎. 『上野泰郎作品集』ACグラフィカ 1987年12月
- 内田繁. 『インテリアと日本人』晶文社 2000年3月 [廃棄]
- 梅原龍三郎・小川貞夫、塩田佳弘『梅原龍三郎作品集』彌生画廊 1979年12月
 ——. 『天衣無縫』(2冊組) 求龍堂 1984年10月 [廃棄]
- 江守礼子. 『PIAZZA II 江守礼子写真作品集』字と美出版社 1983年1月 [廃棄]
- 大國章夫. 『大國章夫画集』望月 1988年11月 [廃棄]
- 大桐国光. 『大桐国光彫刻集』大桐国光後援会 1976年7月
- 大西成明. 『象の耳：大西成明写真集』ニコールクラブ 1992年12月
- 大西康彦. 『大西康彦 the sculpture of Yasuhiko Onishi [1]』私家版 1990年4月
 ——. 『大西康彦 the sculpture of Yasuhiko Onishi [2]』私家版 1996年4月
- 大野一雄. 『わたしのお母さん』大野一雄舞踏研究所 1981年1月
- 大谷和子. 『美のおくりもの 大谷和子の宇宙』故大谷和子を偲ぶ会 2001年6月
- 岡崎忠雄. 『青春頌歌 美しき青春譜 トスカーナの空 岡崎忠雄作品集』岡崎和子 2003年7月
- 小川貞夫. 『写真集 春』彌生画廊 [2001年] [廃棄]
- 小野忠重. 『近代日本の版画 新装版』三彩社 1974年11月 [廃棄]
 ——. 『新技法シリーズ 木版画入門』美術出版社 1977年2月 [廃棄]
- 掛井五郎・廣島清一『掛井五郎版画作品集 1984-1991』グリーン・グラフィックス 1993年
 ——. 『掛井五郎作品集 At Work Kakei』用美社 2009年1月
- 香月泰男. 『香月泰男』彌生画廊 1981年5月
 ——. 『香月泰男 - シベリア・シリーズ』山口県立美術館 1984年
- 葛飾北斎. 『肉筆 葛飾北斎』北斎館 1984年10月
 ——. 小澤弘『おはなし名画シリーズ 葛飾北斎』博雅堂出版 2006年11月 [廃棄]
- 加藤唐九郎・白井久夫(編)『陶芸口伝』求龍堂 1979年6月 [廃棄]
 ——. 『自伝 土と炎の迷路』日本経済新聞社 1982年4月 [廃棄]
- . 室伏哲郎『加藤唐九郎：名匠無頼』三天書房 1986年11月 [廃棄]
- . 『追悼 加藤唐九郎』翠松園陶芸記念館 1987年12月 [廃棄]
- 角倅三郎. 『角倅三郎の漆と書』文化出版局 2001年12月
- 亀倉雄策. 『曲線と直線の宇宙』講談社 1983年10月
 ——. 『亀倉雄策のデザイン』六耀社 1983年10月
- 加守田章二・小川貞夫『加守田章二作品集』彌生画廊 1984年
- 加山又造. 『加山又造：裸婦百態図(現代日本画家素描集6)』日本放送出版協会 1978年7月
 ——. 瀧悌三『現代日本画全集(17) 加山又造』集英社 1980年12月 [廃棄]
 ——. 『加山又造・横山操(現代の水墨画 八)』講談社 1983年9月
 ——. 『裸婦：加山又造』学研 1983年10月
 ——. 『加山又造全版画集1955-1984』平凡社 1984年2月
 ——. 『加山又造全版画：カタログ・レゾネ1991』講談社 1991年11月
 ——. 『白い画布 私の履歴書』日本経済新聞社 1992年12月 [廃棄]
- 河田新一郎. 『風景素描』河田建築設計事務所 2007年 [廃棄]
- 神田日勝・鈴木正實、北海道立近代美術館(編)『神田日勝 北辺のリアリスト』北海道新聞社 1984年4月 [廃棄]
- 木内克. 『わたしのどろ箱』求龍堂 1971年4月
 ——. 『ロー型彫刻作品集(Ⅰ)』現代彫刻センター 1971年5月
- 鬼海弘雄. 『王たちの肖像：浅草寺境内』矢立出版 1987年9月
- 菊池一雄. 『菊池一雄作品集1』三彩社 1971年11月
 ——. 『海の男たち：戦歿船員の碑のための群像』三彩社 1971年
 ——. 『菊池一雄作品集』菊池一雄作品集刊行会 1982年11月
- 岸田劉生・富山秀男『岸田劉生』岩波書店 1986年3月
- 北大路魯山人. 『塩田コレクション 北大路魯山人』世田谷美術館 1986年3月
- 北川民次・久保貞次郎(編)『北川民次指導 メキシコ児童画集』現代美術社 1978年11月
- 北村西望. 『百歳のかたつむり』日本経済新聞社 1983年4月
- 木村伊兵衛. 『木村伊兵衛写真集 パリ』のら社 1974年9月
 ——. 『木村伊兵衛・秋田』ニコールクラブ 1978年3月
 ——. 『木村伊兵衛「街角」』ニコールクラブ 1981年3月
- 木村忠太・南城彰宏『木村忠太画集』アート・よみうり 1980年10月
- 清水九兵衛. 『KIYOMIZU：野外彫刻作品1973-1994』フジテレビギャラリー 1995年4月
- 久保敬親. 『鳥』山と溪谷社 1989年5月
- 熊谷元一. 『写しつづけて69年 會地村 阿智村 昭和・平成』熊谷元一写真童画館 2003年11月
- 倉本聰. 『点描の森 倉本聰点描画集』私家版 2009年11月
- 郡司和男. 『郡司和男遺作集』日本文教出版 1978年9月
- 小磯良平. 『迎賓館赤坂離宮壁画完成記念』京王百貨店 1974年

- .『小磯良平銅版画作品集』ウメダアート1977年〔廃棄〕
- 小杉小二郎.『KOJIRO KOSUGI』求龍堂1991年4月
- 後藤禎二.『後藤禎二画集一』私家版 不明
- 小西保文.『小西保文画集』夢想社1981年〔廃棄〕
- 駒澤晃.『駒澤晃写真集 市原悦子 現と遊び』維摩出版1987年7月
- 小村雪岱.『小村雪岱』形象社1976年10月
- 古茂田守介.『古茂田守介画集: Como』美術出版社1961年6月
- 小本章.『シルクスクリーンの発想と展開』美術出版社1980年2月
- 昆野恒.『昆野恒作品集 1915-1985』美術出版社1989年3月
- 齋藤信也.『遠い風景 Saito Shinya』ミュゼ・ふうあんぬ2001年4月
- 齋藤康一.『蘇州にて』潮出版社1985年10月
- .『この人・この時 齋藤康一写真集 PART-IV』光村原色版印刷所1987年10月
- .『上海 '92 ~ '93 齋藤康一写真集』日本カメラ社1993年11月
- .『北京 '95 ~ '96 齋藤康一写真集』日本カメラ社1997年8月
- .『先輩・後輩・仲間たち 齋藤康一写真集』日本写真企画1998年5月
- 斎藤亮一.『新しい地図 Hasta la vista 斎藤亮一写真集』ニッコールクラブ1991年12月
- 坂本善三.『坂本善三画集』エディション・ミツムラ1985年1月
- 阪本文男.『阪本文男画集』阪本文男回顧展実行委員会1988年4月
- 佐々木苑子.『佐々木苑子作品集 I』紫紅社1986年2月
- 笹戸千津子.『笹戸千津子図録〔作品選集〕』聖豊社1996年5月
- 貞政少登.『貞政少登作品集』貞政研司1979年7月
- 里内直次.『廣重の東海道を行く』私家版1993年8月
- 佐野ぬい.『青の構図 Blue composition』美術出版社1995年11月
- 澤田政廣.『澤田政廣素描集 米寿記念出版』東京堂出版1982年4月
- .『熱海市立澤田政廣記念館 所蔵目録』熱海市立澤田政廣記念館2001年3月
- .『澤田政廣彫刻作品集』熱海市立澤田政廣記念館2004年2月
- 篠崎美保子.『篠崎美保子作品集』私家版2001年5月
- 篠山紀信.『橋をわたると』カンタス・オーストラリア航空1976年3月
- .和田誠『プライベート・ニューヨーク』文芸春秋1983年11月
- 白井晟一.辻邦生、磯崎新『懐霄館: 白井晟一の建築』中央公論社1980年5月
- 新川次丕.『新川次丕写真集』浜本チヨノ、和田栄1973年5月
- 鈴木武右衛門.『鈴木武右衛門作品集』文教大学出版事業部2009年4月
- 須田一政.『須田一政: わが東京100』ニッコールクラブ1979年3月
- 須田寿.『須田寿画集』日本経済新聞社1982年3月
- .『須田寿』日本経済新聞社1995年11月
- 澄川喜一.匠秀夫、酒井忠康『現代彫刻集Ⅸ 澄川喜一』札幌芸術の森1989年3月
- .『澄川喜一作品集』講談社2007年9月
- 芹沢銈介.『歩 芹沢銈介の創作と蒐集』紫紅社1982年9月〔廃棄〕
- .『染 芹沢銈介・このはな会作品集』マコー社1982年3月〔廃棄〕
- 宗弘容.『写真集 地藏頌歌』経済時報社1969年7月〔廃棄〕
- 園原小波.一井健二『園原小波画集』生活の友社1992年12月
- .『園原小波画集 東京駅・赤レンガの四季』遊人工房2007年6月〔廃棄〕
- 高木明子.『伝統美術手工芸シリーズ28 型染』マコー社1978年10月〔廃棄〕
- 高田博厚.『薔薇窓: 高田博厚論集』美術出版社1969年1月
- .榛澤広巳(監修)『高田博厚作品集』福井市美術館1997年〔廃棄〕
- .後藤美樹『Sculptures H.TAKATA 高田博厚作品集』現代彫刻センター1972年5月
- 高橋永順.『永順「やさい」ものがたり』文化出版局1987年10月〔廃棄〕
- .『永順 野の花をあつめて』誠文堂新光社1990年2月〔廃棄〕
- .『永順 フラワーアーティストをめざす人へ』誠文堂新光社1990年4月〔廃棄〕
- .『永順「花」きらきら: 高橋永順作品集』文化出版局1991年11月
- .『永順からメリークリスマス』文化出版局1993年11月〔廃棄〕
- .『パワーをあ・げ・る! 永順直伝 韓国風ごはん』集英社2003年1月〔廃棄〕
- .『FLOWER GARDEN 高橋永順 花に出会った道』労働教育センター2005年3月〔廃棄〕
- .『美しき韓国の村から』労働教育センター2005年6月〔廃棄〕
- .『ビューティフル・ローズ 永順の愛したバラたち』労働教育センター2006年4月〔廃棄〕
- 高村光太郎.『造形美論』筑摩書房1942年1月
- .北川太一『高村光太郎を語る 光太郎祭講演』女川・光太郎の会2002年4月
- 高山辰雄.『高山辰雄画集 聖家族1993』講談社1993年6月〔廃棄〕
- .『存在追憶 限りなき時の中に』角川書店2007年12月
- 竹谷富士雄.『パリの陽だまりから』芸立出版1978年3月
- .『竹谷富士雄エスキース撰集』竹谷富士雄エスキース撰集刊行会1994年9月
- .『竹谷富士雄エスキース拾遺』竹谷富士雄エスキース撰集刊行会1996年12月
- .『出発からパリ個展 竹谷富士雄制作日記 1969』竹谷富士雄エスキース撰集刊行会2001年11月
- 立木義浩.『Erotica Larotika』話の特集1972年11月
- 田中長徳.『ウィーン・ニューヨーク・新潟: 田中長徳写真集』新潟放送1991年4月
- .『銘機礼賛 愛すべき写真機たちの肖像』日本カメラ社1992年10月
- .『チョートク×六本木ヒルズ』東京キララ社2004年8月
- .田中稔之『TOSHIYUKI TANAKA』東美デザイン

1981年10月[廃棄]
田沼武能.『人間万歳』クレオ 2000年4月
田村茂.『田村茂写真集 わがカメラの戦後史』新日本出版社1982年1月
——.『求道の写真家 田村茂』光陽出版社1990年5月
田村能里子.『被衣女群像 印度 田村能里子 画文集』形象社1983年8月[廃棄]
——.『女ひとりシルクロードを描く』日本経済新聞社1988年6月
——.『壁画「季の奏」制作記録』日経カルチャー 1991年12月
——.『壁画「みのりのとき」制作ノート』日経カルチャー 1992年7月
茅野玲子.『女ひとりスケッチブック片手に ボンジョルノ! イタリア』共同通信社 2006年9月[廃棄]
津田裕子.『津田裕子 彫刻作品集: Works of Hiroko Tsuda』女子美術大学アイシス 2010年3月
土本典昭.『ドキュメンタリーとは何か 土本典昭・記録映画作家の仕事』現代書館 2005年5月
土谷武. 匠秀夫、酒井忠康.『現代彫刻集Ⅱ 土谷武』札幌芸術の森 1987年3月
常田健.『土から生まれた: 津軽の画家 常田健が遺したもの』平凡社 2002年4月
——.『常田健』角川春樹事務所 1999年6月[廃棄]
東洲斎写楽.『浮世絵大系7 写楽』集英社 1973年8月[廃棄]
富岡鐵齋. 富岡益太郎『鐵齋大成 第一巻』講談社 1976年9月
土門拳.『土門拳 文楽』駸々堂出版 1973年7月
——.『古寺巡礼』(全5集)美術出版社 1963年7月-1975年9月
——.『土門拳全集』(全13集)小学館 1983年9月-1985年11月
——. 米倉守(監)『作品集 花が逃げる『土門拳が描いた花精』』プロジェ・ダール 1991年[廃棄]
——.『土門拳の昭和1 風貌』小学館 1995年7月[廃棄]
豊口克平.『型而工房から 豊口克平とデザインの半世紀』美術出版社 1987年11月[廃棄]
豊福知徳. 土井国男『豊福知徳 遥かなる漂流』かたりべ文庫 1997年2月
中川一政.『中川一政画集』彌生画廊 1979年2月
——. 山田幸男『回想中川一政』沖積舎 1993年11月[廃棄]
——. 山田幸男『追想中川一政』沖積舎 1995年10月
——. 新井人志(編)『真鶴町立中川一政美術館 所蔵作品目録』真鶴町立中川一政美術館 2003年9月[廃棄]
中原悌二郎. 匠秀夫『中原悌二郎』木耳社 1988年9月
——.『生命の彫刻 中原悌二郎の生涯』旭川市教育委員会 1988年9月
中村清治.『Seiji Nakamura sketchbook』求龍堂 1991年6月
行木正義.『行木正義2001: 西洋と東洋の拮抗・女の軌跡』行木銃一 2001年1月
新倉孝雄.『New York: 1995-2002: Safety-zone』美術出版社 2003年2月
西川孟. 内藤昌『角屋』中央公論社 1983年2月[廃棄]
野田哲也.『野田哲也 全作品Ⅲ 1992-2000』フジテレビギャラリー 2001年3月
野田英夫.『野田英夫作品集』春鳥会 1939年12月
——. 窪島誠一郎『野田英夫スケッチブック』弥生書房 1985年7月
——. 窪島誠一郎『野田英夫画集』平凡社 1987年8月
野田弘志.『野田弘志画集 1970-1985』求龍堂 1985年6月

野本昌広. 鈴木政夫『「石彫」野本昌広 裸婦コピー展を開くにあたり』私家版 不明
橋本裕臣.『新技法シリーズ テラコッタの技法』美術出版社 1978年2月[廃棄]
羽生輝.『美の旅 創造の旅』釧路新聞社 1999年[廃棄]
浜口陽三.『浜口陽三作品集 HAMAGUCHI YOZO』美術出版社1962年11月
濱田庄司. 廣崎裕哉『陶匠・濱田庄司氏への回想 聲日抄: 無盡蔵』読後雑冊 萩生書房 2001年1月
浜田知明.『浜田知明作品集: 取引・軍隊・戦場(現代少年美術館2)』現代美術社 1982年3月
——.『浜田知明作品集 コンプリート1993』求龍堂 1993年7月[廃棄]
早川良雄.『早川良雄の世界の情感と形状』講談社 1985年6月
林建造.『林建造画文集 アベリアの花』私家版 不明[廃棄]
林忠彦.『若き修羅たちの里 長州路』講談社 1981年10月
速水御舟. 吉田善彦『速水御舟写生』求龍堂 1980年5月
平福百穂. 平福一郎(監修)『平福百穂素描集』秋田魁新報社 1982年11月[廃棄]
平山郁夫.『佐川美術館所蔵品図録Ⅱ 平山郁夫作品図録』佐川美術館 1998年3月
——.『佐川美術館所蔵品図録Ⅲ 平山郁夫作品図録』佐川美術館 1998年3月
廣波直子.『古裂の彩』私家本 2004年
福田繁雄.『別冊アイデア '91・11月号 FUKUDA 福田繁雄 偉作集』誠文堂新光社 1991年11月
——.『デザイン快想録』誠文堂新光社 1996年6月
福田豊四郎. 福田文、武埜林太郎(監修)『福田豊四郎素描集』秋田魁新報社 1982年9月[廃棄]
福原信三. 亀倉雄策『福原信三 福原路草写真集 光と其諧調』ニコールクラブ 1977年3月
藤井勉.『藤井勉デッサン集20葉』求龍堂 1983年5月
——.『藤井勉自選画集』求龍堂 1985年8月[廃棄]
藤本四六.『嵯峨野』朝日ソノラマ 1995年10月
舟越桂.『森へ行く日 舟越桂作品集』求龍堂 1992年2月
舟越道子.『舟越道子詩集』角川書店 2000年4月
舟越保武. 高橋陸郎『日本二十六聖人殉教者への連帯「舟越保武の世界展」に寄せて』すえもりブックス 1999年4月
——.『舟越保武作品集』講談社 1982年4月
——.『巨岩と花びら: 舟越保武画文集』筑摩書房 1982年6月
——.『素描: 女の顔』講談社 1985年10月
——.『ナザレの少年: 新約聖書より』ジー・シー・プレス 1986年10月
——.『大きな時計』ギャラリーせいほう 1987年10月
——.『舟越保武』せいほう 1988年7月
——.『私家版 大きな時計』すえもりブックス 2002年5月
——.『舟越保武: 石と随想』求龍堂 2005年2月
船越好文.『雪線: 日本アルプス写真集』白水社 1958年1月
古田一夫.『古田一夫が指導した日本の子どもの彫塑』現代美術社 1979年8月
星野富弘.『花の詩画集 あなたの手のひら』偕成社 1999年4月[廃棄]
細川宗英. 林芳史(編)『細川宗英』信濃毎日新聞社 1994年9月[廃棄]
細川剛.『寒立馬 細川剛写真集』講談社 1990年1月
堀内正和. 匠秀夫、酒井忠康『現代彫刻集Ⅳ 堀内正和』札幌芸術の森 1988年3月

——. 『坐忘録 オフザケッセ & クソマジメレクチャク
チャ』美術出版社 1990年11月
本郷新. 『彫刻の美』中央公論社 1951年7月
——. 『無辜の群 本郷新彫刻集 Shin Hongo sculptures, 6』
三彩社 1970年11月
——. 『本郷新』現代彫刻センター 1975年9月
——. 『彫刻の美』中央公論美術出版 1980年5月
——. 『本郷新記念札幌彫刻美術館』ニュー・スカulpture
ア・センター 1981年6月
——. 富岡木之介『モニュマン彫像の先覚者 本郷新 北国
に光を掲げた人々 (9)』北海道科学文化協会 1991年1
月
——. 『札幌彫刻美術館所蔵本郷新作品目録』札幌彫刻美
術館 2005年12月
前沢淑子. 『水のうた 前沢淑子写真集 長野県栄村の四季』
本の泉社 1996年9月
前田真三. 『丘の四季 前田真三写真集』グラフィック社
1984年4月
前田青邨. 『現代日本美術全集 15 前田青邨』(愛蔵普及版)
集英社 1974年1月 [廃棄]
松山文雄. 『まつやまふみお鳥獣戯画集』まつやま・ふみお
鳥獣戯画刊行会 1963年5月 [廃棄]
松本竣介. 『大川美術館 所蔵192選 松本竣介をめぐる近代
洋画の展望』大川美術館 1989年4月 [廃棄]
丸木位里・俊. 『原爆の図 画集』田園書房 1967年7月
——. 『臥龍 丸木位里墨画集』造形社 1970年10月 [廃棄]
——. 『アウシュビッツの図』[原爆の図丸木美術館] 不
明
——. 『原爆の図』[原爆の図丸木美術館] 不明
——. 『原爆の図』原爆の図丸木美術館 1983年8月
丸山正三. 瀬田四郎、荒井正雄(編)『丸山正三画集』「丸山
正三画集」頒布会 2003年 [廃棄]
——. 『丸山正三画集』「丸山正三画集」刊行会 2004年4
月 [廃棄]
三木淳. 『蘭嶼：昭和三十八年作品』ニッコールクラブ
1993年9月
三岸好太郎. 『北海道立三岸好太郎美術館所蔵作品目録
1978』北海道立三岸好太郎美術館 [1978年] [廃棄]
——. 匠秀夫『三岸好太郎 昭和洋画史への序章』求龍堂
1992年8月 [廃棄]
三岸節子. 『花より花らしく』求龍堂 1977年6月 [廃棄]
簗田哲日兄. 大橋紀生(編)『簗田哲日兄 Space is Love』美
術出版社 2009年4月 [廃棄]
宮崎進. 『宮崎進作品集』彌生画廊 1984年
宮前三春. 『宮前三春画集 自然の実相に迫る』宮前晃 1998
年
宮脇愛子. 『うつろひ』美術出版社 1986年5月
棟方志功. 『わだばゴッホになる』日本経済新聞社 1975年
12月 [廃棄]
村井修. 『村井修写真集 写真都市』用美社 1983年7月
——. 『記憶の風景 昭和30年-34年』Studio Murai
1989年
——. 『建築に潜む自然』竹中工務店、六耀社 1993年12月
——. 海野弘『バリ都市の詩学』河出書房新社 1996年2月
持田信夫. 『ヴェネツィア 沈みゆく栄光』徳間書店 1976年
7月
——. 『スコットランド風物詩 耀よう自然と中世への旅』
徳間書店 1981年6月
森芳雄. 『森芳雄 日本百選画集』美術書院 1957年6月

森田曠平. 『森田曠平画文集-歴史画のこころ《普及版》』
大日本絵画 1983年3月 [廃棄]
森本清水. 『画集 山でない山』私家版 1985年4月
——. 『名のない花 ミニ画文集』私家版 1999年10月
八木一夫. 『刻々の炎 駉々堂出版』1981年2月 [廃棄]
八木義之介. 『八木義之介漫画集 日本の日々』私家版 1965
年12月 [廃棄]
小出橋重. 富山秀男、乾由明(解説)『現代日本美術 10 安
井曾太郎 小出橋重』(愛蔵普及版) 集英社 1972年11月
[廃棄]
矢島功. 『Mode Drawing Nude (Male)』KO スーパース
タジオ 1987年8月
矢崎虎夫. 『矢崎虎夫滞欧作品集』私家版 1965年7月
柳原義達. 『柳原義達作品集』現代彫刻センター 1981年7月
——. 『柳原義達美術論集 孤独なる彫刻』筑摩書房 1985
年4月
——. 『柳原義達作品集』講談社 1987年10月
——. 匠秀夫、酒井忠康『現代彫刻集Ⅷ 柳原義達』札幌芸
術の森 1989年3月
——. 『柳原義達作品集』三重県立美術館 2003年10月
矢萩喜徳郎. 『Hidden Japan 自然に潜む日本』竹中工務店
1993年12月
山口長男. 『山口長男作品集』彌生画廊 1983年
山田正平. 山田潤平『正平 文人画』日本習字普及協会 2001
年11月
山田西之. 『横手盆地：山田西之写真集』西田書店 1993年
10月
山本恪二. 『YAMAMOTO KAKUJI 1915-2000：山本恪二
彫刻集』山本アトリエ 2002年6月
山本常一. 『鳥：Birds』美術出版社 1963年3月
山本正道. 『山本正道作品集』新潮社 1989年3月
——. 『山本正道デッサン集 1968-1992』新潮社 1992年5
月
結城美栄子. 阿部稔哉『Visit：空と海のものごたり』スイ
チ・パブリッシング 1998年7月
横山大観. 『歴史を築いた日本の巨匠 1 横山大観』美術年
鑑社 1985年12月 [廃棄]
——. 井上靖、河北倫明、高階秀爾(編)『日本の名画 7 横
山大観』中央公論社 1976年6月 [廃棄]
吉川富三. 『昭貌游居 吉川富三 写真集』日本肖像写真家協
会 1987年6月 [廃棄]
ヨシトミヤスオ. 『新・動物マンガ百科』PHP 研究所 2009
年5月 [廃棄]
吉永邦治. 『風貌 釈迦十大弟子』向陽書房 2007年12月
樂吉左衛門. 『佐川美術館 樂吉左衛門館 茶室をつくった。5
年間の日々を綴った建築日記』淡交社 2009年3月 [廃棄]
脇田和. 『脇田和素描集』朝日出版社 1982年9月
渡辺恂三. 『新技法シリーズ デザインスケッチ』美術出版
社 1966年7月 [廃棄]
渡辺俊雄. 『日本の海岸』グローリア商会 2000年6月 [廃棄]
和田静子. 『ミクロスコピアに連載の“いとしき草花”』私
家版 [2005年12月]

(10-1-03) 蔵書等 図書 美術 (建築、絵画、彫刻、工芸など)

L'art en Grece, Paris: Cahiers d'Art, [1937]

A.-H. Martinie, *Sculpture en France, XXe siècle*, [?]:
Braun, [1940]

森口多里『ゴチック彫刻 続』アトリエ社 1941年12月

- 荒井新、清水政二『エトルリアの美術』宝雲舎 1947年4月
 André Vigneau, *Encyclopédie photographique de l'art*, Paris: Editions "Tel", 1948
- 下中彌三郎『世界美術全集』（全29巻、15欠巻）平凡社 1950年6月-55年8月 [廃棄]
- 『彫刻の技法』美術出版社 1950年11月
 『世界の名画 6』美術出版社 1951年7月
 『岩波写真文庫』岩波書店 1951年-1957年 [23 様式の歴史 西洋美術、32 奈良の大佛、41 彫刻、78 近代芸術、110 写楽、103 ミケランジェロ、215 世界の人形]
- 今泉篤男、岡鹿之助、瀧口修造『日本の彫刻』（全6巻）美術出版社 1951-52年
- Marcel Aubert, *Laure Albin-Guillot, Au louvre la Nuit (Art et Paysages)*, Paris: B.Arthaud, 1952
- Ulrich Gertz, *Plastik der Gegenwart*, Belrin: Rembrandt, 1953
- 野間清六『土の芸術：土偶・土器・埴輪』美術出版社 1954年5月
- П.Н. Ришабинкин, *Русская живопись в музее выпуск XIV*, Moskva: Советский художник, [1955] [P.N. リシャビンキン『美術館のロシア絵画 XIV』モスクワ：ソビエトの画家 [1955年]ロシア語]
- Wolfgang Bruhn, *Max Tilke, A Pictorial History of Costume*, London: A. Zwemmer, 1955
- Mario Brunetti, Terisio Pignatti, *Venis (The Taste of our Time)*, [Lausanne, Geneave] : Skira, 1956
- Twentieth Century Rumanian Painting*, [Bucharest] : Foreign Languages Publishing House, 1956
- 『日本の彫刻 現代3』角川書店 1956年12月
- Pierre Courthion, *Paris in the Past: from Fouquet to Daumier (The Taste of our Time)*, [Lausanne, Geneave] : Skira, 1957
- ハーバート・リード、宇佐美英治（訳）『彫刻の芸術』みすず書房 1957年11月
- 土方定一『現代イタリアの彫刻』座右室刊行会 1957年12月
- 庵原謙『中国の図案』朝日新聞社 1958年 [廃棄]
- 嘉門安雄『西洋美術史要説』吉川弘文館 1958年11月
- 『外国新聞広告第2集』博報堂 1960年6月
- 『現代の彫刻 別冊ホームギャラリー』美術出版社 1961年1月
- 『日本の美術』美術出版社 1961年1月
- Anne Terry White, Alice and Martin Provensen, *The golden treasury of myths and legends*, New York: Golden Press, [1962, c1959]
- Eva Strommenger, Max Hirmer, *The art of Mesopotamia*, London: Thames & Hudson, 1962
- 『世界美術全集 13 中国 2 泰・漢』角川書店 1962年 [廃棄]
- 真鍋一男『造形の基本と実習』美術出版社 1962年3月
- 杉村勇造『古代中国の美 土偶』美術出版社 1962年11月
- Рисуем наших детей*, Moskva: Советский художник, 1962 [『私たちは子どもたちを描く』モスクワ：ソビエトの画家 ロシア語・英訳冊子1冊]
- Georghe Şaru, *L'Art Dans La République Populaire Roumaine*, Bucharest: l'Entreprise polygraphique, [1963?]
- 菊地芳一郎『戦後15年の日本美術史』時の美術社 1963年3月
- 『続・日本美再発見』朝日新聞社 1964年 [廃棄]
- 『日本の美術』（全25巻）平凡社 1964-67年 [1、12、17欠巻] [廃棄]
- 橋崎宗重『北斎と広重』（全8巻）講談社 1964-71年 [4、5欠巻] [廃棄]
- 小倉忠夫、永井信一、西沢信弥『日本近代美術の歩み』社会思想社 1964年5月
- 河北倫明『近代日本の美術』社会思想社 1964年8月
- 『プレ・インカ秘宝図録』三一書房 [1964年9月] [廃棄]
- 『64 東京オリンピック』朝日新聞社 1964年12月
- 土門拳、藤本四八、入江泰吉『日本の寺 奈良』美術出版社 1965年6月
- 『陶器全集』（全32巻）平凡社 1965-67年 [廃棄]
- ミッシェル・レーリス、ジャックリーヌ・ドランジユ、岡谷公二（訳）『人類の美術』（全20巻）新潮社 1965-76年 [廃棄]
- 田路周一『美の源流を尋ねて』博宝堂 1965年9月 [廃棄]
- 『日本の名画：洋画100選』（全10巻）三一書房 1965-66年 [1-6のみ廃棄]
- Phil Brodatz, *The Human Form in Action and Repose: A Photographic Handbook for Artists*, New York: Reinhold Publishing Corporation, 1966
- Emilio Garcia Gómez, Jesús Bermúdez Pareja, *The Alhambra: The Royal Palace*, Granada: Albaicin/Sadea, 1966
- 桑原住雄『日本の自画像』南北社 1966年5月 [廃棄]
- 田中一松『日本繪畫史論集』中央公論美術出版 1966年6月
- 高山正喜久『ベーシックデザイン 立体構成』美術出版社 1966年10月 [廃棄]
- François Boucher, *A History of Costume in the West*, London: Thames & Hudson, 1967
- John Boardman, *The Art and architecture of ancient Greece*, London: Thames & Hudson, 1967
- Elisabeth von Witzleben, *French Stained Glass*, London: Thames and Hudson, 1968
- Clarence P. Hornung, *A Source Book of Antiques and Jewelry Designs*, New York: George Braziller, 1968
- Henry René d'Allemagne, *Decorative Antique Ironwork: Apictorial Treasury*, New York: Dover Publications, 1968
- 『原色世界の美術 11 ギリシア』小学館 1969年 [廃棄]
- 和歌森太郎、町田甲一『南部のロマン（日本文化の歴史 第4巻）』学習研究社 1969年7月
- Алишер Навоий дostonларига ишланган расмлар*, Ташкент: Ф ан, 1970 [『アリシエル・ナヴォイの詩に基づく画集』タシュケント：ファン社 1970年 ウズベク語]
- 富永惣一、谷川徹三、西脇順三郎（監修）『エルミタージュ美術館』（全5巻）恒文社、エルミタージュ美術館刊行会 1970年 [廃棄]
- 『日本の彫刻 国宝50選』毎日新聞社 1970年3月
- 坂本満、菅瀬正、成瀬不二雄『原色日本の美術 25 南蛮美術と洋風画』小学館 1970年6月 [廃棄]
- 河北倫明『随想集 東行西行』三彩社 1970年12月
- 相馬肇『作品集 日本こども美術館』聖文社出版部 1971年 [廃棄]
- Complete Catalogue: Abrams Art Books 1970 and 1971*, New York: Harry N. Abrams, Inc., [1971]
- 『大系世界の美術』（全20巻）学習研究社 1971-75年 [1、4、5、13、14欠巻] [廃棄]
- 佐和隆研、梅原猛『定本 仏像 心とかたち』日本放送出版協会 1971年11月 [廃棄]
- 『新中国の出土物』中国外文出版社（北京）1972年 [廃棄]

- 『第3回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会1972年
浜田庄司、芹沢銚介、外村吉之介『世界の民芸』朝日新聞社
1972年5月
- Pierre Kjellberg, *Le guide des statues de Paris*, Paris: La
Bibliothèque des Arts, 1973
- Manuel Chamoso Lamas, *Galice Romane*, [Saint-Léger-
Vauban]: Zodiaque, [1973]
- Raymond Oursel, *Les grandes découvertes*, [Saint-Léger-
Vauban]: Zodiaque, 1973
- 佐和隆研『インドネシアの遺蹟と美術』日本放送出版協会
1973年9月
- 『第5回 中原悌二郎賞』旭川市、旭川市教育委員会[1974年]
David Macaulay, *Naissance d'une Cathédrale*, Paris: Deux
Coqs d'Or, 1974
- 『彫刻の森美術館』彫刻の森美術館 1974年
- 岩田順、窪田勝典『大分の摩崖仏』九環 1974年
- 『未来への遺産』(全5巻)学習研究社 1974-76年 [廃棄]
- 水田徹(編)『グランド世界美術 3 ギリシャとローマの美
術』講談社 1975年 [廃棄]
- 『太陽 浮世絵シリーズ』(全4巻) [歌麿、北斎、写楽、広重]
平凡社 1975年1月-10月 [廃棄]
- 『世界彫刻美術全集 7 ゴシック』小学館 1975年11月 [廃棄]
- 『世界彫刻美術全集 11 近代』小学館 1976年1月 [廃棄]
- 渡辺崋山『辛巳画稿 客坐縮写 客坐録 客坐掌記 両国橋図稿
解説書(覆刻渡辺崋山真景・写生帖集成 第2輯)』平凡
社教育産業センター [1975年9月]
- 料治熊太『明治の版画』光芸出版社 1976年3月 [廃棄]
- 伊藤廉『油絵のみかたについて』美術出版社 1976年9月
- 生田圓、東山魁夷『グランド世界美術 10 ボティチェリと
フィレンツェの絵画』講談社 1976年11月 [廃棄]
- 『NHK 日曜美術館(3)』学習研究社 1977年3月 [廃棄]
- 『日本美術全集 4 天平の美術 南都七大寺』学習研究社 1977
年10月 [廃棄]
- 『The ガラス』読売新聞社 1977年12月 [廃棄]
- Louisiana: billedreportage Pictorial reportage*, [Louisiana:
Humlebæk, 1978?]
- 高階秀爾(監修)『フジテレビ製作・映画「ルーヴル美術館」
ガイドブック』日本アイ・ビー・エム [1978年] [廃棄]
- 伊藤廉・河北倫明・河野鷹思ほか『美術3』光村図書出版
[1978年]見本版(昭和53年度用) [廃棄]
- 江原順『日本美術界腐敗の構造』サイマル出版会 1978年
『ニッコールフォトコンテスト25年の歩み 1953-1977』ニッ
コールクラブ 1978年1月
- ジョン・W. ミルズ『人体彫刻の基礎』グラフィック社 1978
年2月
- 猪飼聖紀(編)『インカ帝国』サンボウジャーナル 1978年2
月 [廃棄]
- 鈴木泰二(編)『日本の美 第2期・2集』学習研究社 1978年
9月 [十一面観音 円空仏 木喰仏] [廃棄]
- 小林格史『高麗・李朝の陶磁』太陽社 1978年11月
- 『在外日本の至宝』(全10巻)毎日新聞社 1979-81年 [廃棄]
- 石黒孝次郎(編)『世界美術史年表』[求龍堂] 1979年 [廃棄]
- Otto Schmirler, *Le fer forgé dans le Jardin et la Maison*,
Fribourg: office du Livre, 1979
- 田路周一『清代乃瓷器 研究と解説』博宝堂 1979年 [廃棄]
- 『中国の三彩陶磁』太陽社 1979年 [廃棄]
- デビッド・マコーレイ、飯田喜四郎(訳)『カテドラル』岩波
書店 1979年3月 [廃棄]
- 宮城篤正、前田孝允、祝峯恭子『沖縄の伝統工芸』沖縄県工
芸振興センター 1979年3月
- 山本勝巳『現代の民家造り』叢文社 1979年4月
- 『東地中海の贈り物』堀内紀良 1979年4月
- 『敦煌の美術』(愛蔵版)太陽社 1979年4月 [廃棄]
- 杉本秀太郎、中田聖観『古寺巡礼 奈良4 新薬師寺』淡交社
1979年4月 [廃棄]
- 窪島誠一郎(編)『信濃デッサン館』信濃デッサン館 1979年
6月 [廃棄]
- 町田甲一(監修)『美術ガイド 奈良』美術出版社 1979年6月
[廃棄]
- 『円空』小学館 1980年10月
- 西岡常一、宮上茂隆『日本人はどのように建造物をつくっ
てきたか 1 法隆寺 世界最古の木造建築』草思社 1980
年10月 [廃棄]
- マリオン・リチャードソン『リチャードソンが指導したイ
ギリスの子どもの絵』現代美術社 1980年12月
- 梶川芳友(編)『何必館 美の風景』何必出版 1981年 [廃棄]
- 『彫刻のある街づくり 市民文化と都市環境の理想を求め
て』八王子彫刻シンポジウム実行委員会 [1981年]
- 本橋清一、砂場達一郎『心にふるさとありき 石佛ロマン』
女性モード社 1981年3月 [廃棄]
- 津上昌之『ペンタックス写真年鑑1981年版』ペンタックス
ファミリー事務局 1981年6月
- 『木版画作品集「私たちからのメッセージ」重度知的障害者
の記録』旭川市つつじ学園父母の会 1981年12月 [廃棄]
- 『盲学校・土の造形20年 生と創造への連動』土の造形20年
展・同図録出版推進委員会事務局 1981年12月
- Discours prononcés dans la séance publique tenue par l'
Académie des beaux-arts pour la réception de M.
François Daulte élu associé étranger en remplacement
de M. Pier Luigi Nervi*, Paris: Institut de France,
1982
- 『写真集 MOA 美術館』メシアニカゼネラル 1982年1月 [廃
棄]
- 酒井忠康『彫刻の庭 現代彫刻の世界』小沢書店 1982年2月
[廃棄]
- 杉山二郎『大仏と正倉院 天平の夢とロマン』講談社 1982年
3月
- 高山正喜久『立体構成の基礎』美術出版社 1982年7月
- David Finn, Caroline Houser, *Greek monumental bronze
sculpture*, London: Thames & Hudson, 1983
- 窪島誠一郎『信濃デッサン館日記』平凡社 1983年3月
- 渡辺祐蔵『京の離宮 桂離宮・修学院離宮』共同通信社 1983
年6月
- 『足立美術館名品100選』足立美術館 1984年4月
- 『足立美術館大観名品100選』足立美術館 1984年9月
- Jan Meek, *The Moderns, Art Gallery of New South Wales*,
Sydney: Art Gallery of New South Wales, 1984,
- Юрий Лазаревич Алянский, *В мастерской на Петроградской
стороне*, Moskva: Советский художник, 1985 [ユーリ・
ラザレヴィチ・アリヤンスキー 『ペトログラード側の
工房にて』モスクワ: ソビエトの画家 1985年 ロシア
語]
- 『故宮の美(文物光華1・2)』国立故宮博物院 [1985年]
- 嘉門安雄『ブリヂストン美術館名作選[西洋編]』ブリヂス
トン美術館 1985年3月
- 安井収蔵『色いろ調 美術記者のコラム』美術年鑑社 1985年
5月 [廃棄]
- 『みちのく伝統文化 2 近代美術編』小学館 1985年12月 [廃棄]

『新編新しい図画工作』(1-6) 東京書籍 [1986年] 見本版
窪島誠一郎『信濃デッサン館日記2』平凡社 1986年 [廃棄]
『国際染織美術館「染織美の展観」』国際染織美術館 1986年
[廃棄]
小沢健志『日本の写真史：幕末の伝播から明治期まで』ニッ
コールクラブ 1986年3月
堀尾真紀子『画家たちの原風景 日曜美術館から』日本放送
出版協会 1986年9月 [廃棄]
今井淳『足立美術館の庭園：米寿足立全康の庭づくり』足立
美術館 1986年9月
河北倫明『美の心』河北倫明先生叙勲祝賀会実行委員会
1986年12月
中村公一『アンティック・ビスクドールの世界』彩鳳堂画廊
1987年5月 [廃棄]
藤井一雄『インサイド・ドキュメント 国際絵画市場 流転す
る名画』講談社 1987年12月 [廃棄]
本間正義『私の古美術論集』私家版 1987年11月 [廃棄]
本間正義『本間正義 私の近代美術論集』(全2巻)美術出版
社 1988年7月 [廃棄]
A. M. Hammacher, Mary Charles, *Modern Sculpture:
tradition and Innovation*, New York: H.N.Abrams,
1988
James N. Wood, *Master Paintings in The Art institute of
Chicago*, [Chicago] : Art Institute of Chicago, 1988
Yuri Kuznetsov, *The Hermitage Leningrad, Western
European Painting*, Leningrad: Aurora Art
Publishers, 1988
Marcel Joray, *Schweizer Plastik der Gegenwart*,
Neuchâtel: Editions du Griffon, [1989]
『椅子の美術館』埼玉県立近代美術館 [1989年] [廃棄]
大川榮二『美のジャーナル』形象社 1989年4月
石井鎌一『鳳林 日本美の源流を求めて』講談社第一出版セ
ンター 1990年1月
酒井忠康『遠い太鼓 日本近代美術私考』小沢書店 1990年2
月 [廃棄]
宇佐美承『池袋モンパルナス』集英社 1990年6月 [廃棄]
嘉門安雄、三木多門、弦田平八郎『素描集裸婦 下』毎日新
聞社 1990年7月
久野健、山田樹人『シルクロードの仏たち 図説釈尊伝』里
文出版 1990年7月
中島理寿『昭和・物故の美術家たち 追悼文集』大日本絵画
1990年9月
『ボストン美術館東洋美術名品集』日本放送出版協会 1991
年1月
中村伝三郎『明治の彫塑「像ヲ作ル術」以後』文彩社 1991
年3月
『ニッコール年鑑1990-91』ニッコールクラブ 1991年3月
鈴木五郎『生活のうたを描く 幼児の美術教育』チャイルド
本社 1991年5月
佐々木英也(監修)『NHK フィレンツェ・ルネサンス 6 花
の都の落日 マニエリスムの時代』日本放送出版協会
1991年10月 [廃棄]
田辺徹『美術ガイド ヨーロッパの美術館(増補改訂版)』美
術出版社 1991年11月 [廃棄]
前川誠郎『〈中世の秋〉の絵画』中央公論美術出版 1991年11
月 [廃棄]
圓城寺次郎『美の美 百粹』日本経済新聞社 1991年11月
井筒明夫『バウハウスとノールデザイン』鹿島出版会 1992
年6月

瀧佛三『日本近代美術事件史』東方出版 1993年1月 [廃棄]
『履歴なき時代の顔写真 フランク・E・シャーマンが捉えた
戦後日本の芸術家たち』アートテック 1993年1月
『ニッコール年鑑1992-93』ニッコールクラブ 1993年3月
鈴木政夫『民衆美論』実業之日本社 1993年10月
Albert C. BARNES, *Great French Paintings from the
Barnes Foundation, Impressionist, Post-impressionist,
and Early Modern*, [??] : Little, Brown and Company,
1993
『ニッコール年鑑1993-94』ニッコールクラブ 1994年3月
芥川喜好『画家たちの四季』読売新聞社 1994年4月
富山秀男、岩崎吉一、浅野徹『原色日本の美術 33 現代の美
術』小学館 1994年4月
亀倉雄策、木島俊介『女像 JOZO』講談社 1994年6月 [廃棄]
梅原猛『巨樹を見に行く 千年の生命との出会い』講談社
1994年7月
富山秀男(監)、資生堂企業文化部(編)『資生堂ギャラリー
七十五年史：1919-1994』資生堂 1995年3月 [廃棄]
杉山誠『3D museum』小学館 1996年1月
『日本美術館』小学館 1997年11月
『北御牧村立梅野記念絵画館 父子二代にわたる眼の軌跡』
北御牧村立梅野記念絵画館 1998年4月 [廃棄]
『九百年・千年式年祭手鑑 精粹』防府天満宮御神忌千百年
式年大祭事務局 1999年1月
綿貫益弘『工人聞き書』私家版 1999年6月
工藤欣弥『夜明けの美術館 道立美術館10年と建設運動の
軌跡』共同文化社 1999年12月
安井収蔵『当世美術界事情2新美術新聞コラム「色いろ調」
1990-1999』美術年鑑社 2000年2月
『良寛禅師遺墨集』万葉洞 2000年3月
吉永邦治『飛天の道』小学館 2000年11月
『現代写真の系譜』ニッコールクラブ 2000年12月
『鹿児島県霧島アートの森図録』鹿児島県 2001年3月
『ニッコール年鑑2000-2001』ニッコールクラブ 2001年3月
大矢鞆音『画家たちの夏』講談社 2001年5月 [廃棄]
『岩手県立美術館所蔵作品選』岩手県立美術館 2001年10月
[廃棄]
本間正義『美術家五十人のポートレート + a』私家版 2001
年10月
匠秀夫『匠秀夫著作集』(全3巻) 沖積舎 2001年11月-2002
年11月
『ポーラ美術館名作選 絵画』ポーラ美術振興財団 ポーラ美
術館 2002年 [廃棄]
『ポーラ美術館概要』ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
2002年 [廃棄]
下田治、下田幸『彫刻の投影 六〇年代ニューヨークの邦人
作家たち』論創社 2002年2月
土本典昭『アフガニスタンの秘宝たち カーブル国立博物館
1988』石風社 2003年8月
『画商 ダニエル・ウイルデンスタイン』ウイルデンスタ
イン東京 2003年10月
『ニッコール年鑑2003-2004』ニッコールクラブ 2004年3月
『諸橋近代美術館 The world of Salvador DALI and the
great masters of the 20th Century』諸橋近代美術館
[2005年4月]
大宇根弘司、増田彰久『山梨県立美術館という建築』白揚社
2006年10月
小田三月『美について考える』審美社 2006年11月
永井潔『戦後文化運動・一つの軌跡』光陽出版社 2008年3月

藤田観龍『日本・石の野外彫刻 ストーンアート写真集』本の泉社 2008年10月
小川智子『彌生画廊60年史』彌生画廊 2008年12月
『美連協加盟館ガイドブック』美術館連絡協議会 2009年4月 [廃棄]
柳田富美子『緑蔭小舎と作家たち』ときの忘れもの 2009年11月
『諸橋近代美術館10年報』財団法人諸橋近代美術館 2009年12月 [廃棄]
『会員名簿 2006～2009 追加版』[日本美術家連盟] [2009年]
小林剛、松本椿重『日本彫刻美術』永野鹿鳴荘 不明
パンフレット [ミツムラ・グラフィック] 不明
小川光三、飛鳥圓『国宝 十一面観世音菩薩：渡岸寺観音堂』国宝維持保存協賛会 不明

(10-1-04) 蔵書等 図書 解剖学

John H. Vanderpoel, *The human figure*, New York: Dover, 1935
Jenő Barcsay, *Anatomy for the Artist. drawings and text*, [??]: Spring Books, 1958
W. Ellenberger, H. Baum, H. Ditrach, *An atlas of animal anatomy for artists*, New York: Dover, 1956
Edmond J. Farris, *Art students' anatomy*, New York: Dover, 1961
[人体解剖] ※複写

(10-1-05) 蔵書等 図書 北海道関係

中井喜代之『目で見る北海道史』北方民生協会 1956年3月
八木治、片桐匡『スキー』新潮社 1957年12月
渡辺整『観光北海道 1961年版』北海道新聞社 1961年6月
平松敏雄『観光北海道 1964年版』北海道新聞社 1964年3月
井黒弥太郎、片山敬次『北海道のいしづえ四人 黒田・ケブロン・岩村・永山』北海道開拓功労者顕彰像建立期成会 1967年10月
『北海道百年記念祝典』[北海道 1968年]
『北海道庁建設工事』[北海道庁庁舎建築工事共同企業体 1968年]
『北海道 HOKKAIDO』北海道 1968年1月
粟谷川健一『山溪カラーガイド14 カラー北海道』山と溪谷社 1968年7月 [廃棄]
『北海道 No.78 北海道百年記念号』北海道、電通北海道支社 1968年9月
『北海道 北海道百年記念』北海道総務部知事室道民課 1968年9月
表秀雄『あさひかわ』北限 1970年9月
『観光北海道 1971年度版』北海道新聞社 1971年5月 [廃棄]
梅木通徳『蝦夷古地図物語』北海道新聞社 1974年12月 [廃棄]
森本光子『雪の町で 絵のない写生帖』札幌時計台文化協会 [1975年] [廃棄]
『北の旅 あさひかわ』旭川市・旭川観光協会 1975年
大原寛『文詩集 さようなら幣舞橋』釧路市立柏木小学校 1976年釧路市小中学生作品集 [廃棄]
『夕張』夕張市広報広聴室 [1977年] [廃棄]
三橋博、山岸喬『北海道の薬草 家庭での育て方・用い方』北海タイムス社 1977年3月 [廃棄]
『さっぽろ文庫1 札幌地名考』札幌市教育委員会文化資料室 1977年9月 [廃棄]

亀倉雄策『北海道開拓写真史 記録の原点』ニコールクラブ 1980年4月
菊池達也『北の思想』成隆出版 1985年5月
『北の食文化に灯をともして 五島軒創業110年のあゆみ』五島軒 1989年9月
『北の話 追悼 八重樫實さんの世界にふれて』[八重樫實さんを偲ぶ会]事務局 [2000年]
『受賞に輝く人々：北海道功労賞』北海道総務部人事課 2002年3月
『北海道の手織りつむぎ 優佳良織』北海道伝統美術工芸村 2009年
『はこだて』函館市商工部観光課・函館市観光協会 不明
『はこだて』函館市商工部観光課・函館市観光協会 不明
『釧路』[釧路市] 不明
『蝦夷漫画』松浦武二郎記念館 [不明]
『中札内美術村』六花亭製菓 不明
『北海道手織つむぎ 優佳良織』不明 [廃棄]
[北海道倶楽部 封筒]

(10-1-06) 蔵書等 図書 シベリア抑留・戦争関係

石川慎三『もうひとつのシベリア抑留』私家版 不明
八木義之介『シベリア散歩旅行 八木義之介漫画集6』蒼海出版 1975年7月
丸山真男『戦中と戦後の間 1936-1957』みすず書房 1976年11月
大田昌秀(編)『写真記録「これが沖縄戦だ」』琉球新報社 1977年9月 [廃棄]
若槻泰雄『シベリア捕虜収容所 ソ連と日本人(上)』サイマル出版会 1979年
佐藤清『画文集 シベリア虜囚記』未来社 1979年8月
岩手放送『続 戦争と私』北日本書房 1980年12月
三留理男(撮影)、日本ユニセフ協会(編集協力)『SALAAM 平和を!! 毎日グラフ緊急増刊』毎日新聞社 [1982年9月]
落合東朗『東方田学校』論創社 1983年12月分
布川六郎『シベリア画文集』私家版 1984年2月
イヴァニツカ・カタジナ、ドバス・マレク『子どもの目に映った戦争 第二次世界大戦ポーランド』グリーンピース出版会 1985年5月
松谷みよ子、杉野孝典『いのちが未来をもてるように』日本生活協同組合連合会 1986年6月
木谷美留『戦中病兵日記』昭森社 1989年8月
『平和の礎 シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦』平和祈念事業特別基金 1991年3月
高杉一郎『極光のかげに シベリア俘虜記』岩波書店 1991年5月
斎藤博之『死の影の兵士たち 斎藤博之のペン画集』笛田舎 1995年5月
日本水爆被害者団体協議会『被爆者からの伝言』あけび書房 1995年6月
久永強『友よねむれ シベリア鎮魂歌』福音館書店 1999年4月
戸口好太郎『シベリア墓参旅日記 第五編』私家版 2001年12月
早乙女勝元『母と子でみる A15 エルベの誓い』草の根出版会 2001年11月 [廃棄]
宮静枝『さっちゃんは戦争を知らない』熊谷印刷出版部 2001年9月 [廃棄]
さっちゃんの会(編)『「さっちゃんは戦争を知らない」よせて』熊谷印刷出版部 [2002年] [廃棄]

鶴瀬久八『消えゆくシベリア 鶴瀬久八個展』[2003年7月]
中田整一『トレイシー 日本兵捕虜秘密尋問所』講談社 2010
年4月[廃棄]

(10-1-07) 蔵書等 図書 辞書・事典類

『日英独仏 図解辞典』三省堂 1941年9月
『スタンダード英和辞典』大修館書店 1949年2月
『世界大百科事典(全26巻)』平凡社 1964-1968年[廃棄]
『最新 コンサイス英和辞典』三省堂 1966年1月
『きもの百科事典』女性モード社 1966年
『角川漢和中辞典』角川書店 1967年1月[廃棄]
『服装大百科事典』(上・下)文化服装学院出版局 1969年[廃
棄]
『新和仏中辞典』白水社 1971年1月[廃棄]
『角川 国語辞典』角川書店 1971年5月
『服飾百科事典』岩崎美術社 1971年10月
『コンサイス仏和辞典』三省堂 1972年4月
『現代独和辞典』三修社 1973年2月
『角川漢和中辞典』角川書店 1974年1月
『新和仏中辞典』白水社 1974年1月
『新世紀大辞典』学研 1976年3月
『実用新国語辞典』三省堂 1985年8月
『いざというときのOK大事典』世界文化社 1986年5月[廃棄]
『ことばの知識百科事典』三省堂 1987年5月
『暮らしの知識百科事典』三省堂 1987年9月
『カナで引く外国語辞典』三省堂 1988年5月

(10-1-08) 蔵書等 図書 観光・地図

『世界の旅18 アメリカ(2)カナダ』河出書房新社 1969年[廃
棄]
『北アメリカ2 新編 世界の旅15』小学館 1970年[廃棄]
『世界の旅1 フランス』中央公論社 1970年[廃棄]
『新編 世界の旅11 フランス2』小学館 1971年8月[廃棄]
『パリとフランス』実業之日本社 1972年[廃棄]
『ローマとイタリア』実業之日本社 1973年[廃棄]
『ジュネーブ・チューリッヒ』実業之日本社 1976年[廃棄]
『アラスカ』パン・ニューズ・インターナショナル 1978年[廃棄]
『ヨーロッパ・アルプス』実業之日本社 1979年[廃棄]
『スイス・オーストリア』実業之日本社 1979年[廃棄]
『奈良』日本交通公社出版事業局 1979年[廃棄]
『カナダ・アラスカ』日本交通公社出版事業局 1980年[廃棄]
『最新 世界地図帳』平凡社 1980年6月[廃棄]
『世界地図帳』昭文社 1983年3月[廃棄]
『オーストラリア・ニュージーランド』日本交通公社出版事
業局 1983年[廃棄]
『台湾の旅』昭文社 1984年[廃棄]
『NHK ロマンチック街道』学習研究社 1987年[廃棄]
『ブルージュ 過去の息づく町』ブリュッセル・テイル [1988
年] [廃棄]
『日本列島大地図館』小学館 1990年12月[廃棄]
『東京都23区詳細図』昭文社 [1991年] [廃棄]
『地球の歩き方71 シベリア & シベリア鉄道の旅』ダイヤモ
ンド・ビッグ社 1991年10月[廃棄]
『ギリシア エーゲ海の旅』昭文社 1994年[廃棄]
『世界&日本 地図帳』昭文社 2008年[廃棄]
“Acapulco” Litográfica Turmex S.A.
“Acapulco: Riviera de la of the Americas” Litográfica

Turmex S.A.
“озеро БайкалКарты Информация” [バイカル湖地図情報、
ロシア語]
[世界地図]
[世界地図複写 タイシェト、ハバロフスク、ナホトカに下線]
『Dell デルフィ』ギリシア政府観光局
『Greece 神々に祝福されたギリシア』ギリシア政府観光局
『京都府 新日本分県地図』和楽路屋
『大阪府 新日本分県地図』和楽路屋

(10-1-09) 蔵書等 図書 演劇関係

『劇団民藝の記録:1947-1960』劇団民藝 1960年9月
『かりそめの出発/北赤道海流』劇団ぶどう座 [1967年]
『屋根の上のヴァイオリン弾き』[帝国劇場] [1982年]
『劇団民藝の記録:1950-2000』劇団民藝 2002年7月

(10-1-10) 蔵書等 図書 絵本

木下順二、赤羽末吉(画)『わらしべ長者 日本の民話22編』
岩波書店 1962年11月
ジュリエット・キープス(文・絵)、いしいももこ(訳)『ゆ
かいなかえる』福音館書店 1964年7月[廃棄]
『えほん百科』(全12巻)平凡社1964年4月-1965年3月[廃棄]
瀬田貞二、脇田和(画)『おだんごばん ロシア民話』福音館
書店1966年5月
山室静、岩崎ひろ(画)『絵のない絵本』童心社 1966年11
月[廃棄]
神沢利子、井上洋介(絵)『くまの子ウーフ』ポプラ社 1969
年6月[廃棄]
ライナー・チムニク(文・画)、矢川澄子(訳)『クレーン』福
音館書店 1969年8月[廃棄]
谷川俊太郎、堀文子(画)『き』至光社 [1970-71年]
那須田稔、久米宏一(画)『風小屋』童心社 1971年11月[廃棄]
時田史郎、秋野不矩(画)『うらしまたろう』福音館書店
1972年11月「こどものとも」200号記念増刊号「絵本の
たのしみ」付録
わたりむつこ、中谷千代子(画)『いちごばたけのちいさな
おばあさん』福音館書店 1973年5月「こどものとも」
206号
杉みき子、村山陽(画)『火をありがとう』童心社 1973年11
月[廃棄]
姉崎一馬(写真)『はるにれ』福音館書店 1979年1月[廃棄]
舟越カンナ、井沢洋二(画)『あさ』ジー・シー 1985年9月
佐久間彪、上野泰郎(絵)『さいしょのくりすます』至光社
[1986年] [廃棄]
クレア・ターレイ・ニューベリー(作・絵)、湯浅ふみえ(訳)
『エイプリルと子ねこ』ジー・シー 1986年3月[廃棄]
村山籌子、村山知義(絵)『3びきのこぐまさん』婦人之友社
1986年3月[廃棄]
M.B.ゴフスタイン(作・絵)、谷川俊太郎(訳)『画家 AN
ARTIST』ジー・シー 1986年3月[廃棄]
M.B.ゴフスタイン(作・絵)、谷川俊太郎(訳)『作家 A
Writer』ジー・シー 1986年3月[廃棄]
舟越カンナ、井沢洋二(画)『冬の日』ジー・シー 1987年9月
やましろりゅういち『こねこねこねこ』三起商行 1988年11月
江口渉『童話 赤い風船とあざらし』[1989年] [廃棄]
長新太、富成忠夫、茂木透(写真)『ふゆめがっしょうだん』
福音館書店 1990年1月

別役実、朝倉撰(画)『モーの入院』リプロポート 1990年
 阪田寛夫、織茂恭子(絵)『イルミネこがまよなかに』福音
 館書店 1993年1月「こどものとも」442号 [廃棄]
 篠原一郎、本下いづみ、杉田明維子(絵)『お月さま』架空社
 1993年6月 [廃棄]
 わたなべしげおかとうちゃこ(絵)『まんいんでんしゃ』福
 音館書店 1993年7月「こどものとも」448号 [廃棄]
 舟越カンナ、井沢洋二(画)『そらに』すえもりブックス
 1995年10月
 ジュリアーノ・フォルナーリ、加藤季子(訳)『人体絵本 め
 くてわかるからだのしくみ』ポプラ社 1997年
 T. マーヴリナ、Yu. コヴァーリ(文)、田中泰子(訳)『ちょ
 うちょ』ブックグローブ社 1999年4月 [廃棄]
 柳瀬房子、葉祥明(絵)『サニーのゆめ ありがとう 地雷で
 はなく花をください』自由国民社 1999年7月 [廃棄]
 アン・ブレイヤール『ねこさんびき』すえもりブックス
 2000年3月
 加藤多一、長野ヒデ子(画)『やぎさんへてがみ』教育画劇
 2000年9月
 石井克『埴輪になったぼく 藺田祐樹君と私 中学校障害児
 学級藺田祐樹君の三年間』煥乎堂 2001年11月
 川浦良枝『しばわんこの和のこころ』白泉社 2002年1月 [廃棄]
 酒井忠康、滑川公一(画)『海にかえる魚』未知谷 2002年9月
 川浦良枝『しばわんこの和のこころ2 四季の喜び』白泉社
 2002年12月 [廃棄]
 M.B. ゴフスタイン(作・画)、末盛千枝子(訳)『ゴールドイー
 のお人形』すえもりブックス 2003年10月
 Yuki DeBeaux, *The Angel Dress: Art and Story*, Victoria,
 BC: Trafford, 2004
 熊谷元一『じいちゃんの子どものころ』富山房インターナ
 ショナル 2005年4月 [廃棄]
 松井エイコ(脚本・絵)『平和かみしばい 二度と』童心社
 2005年6月 [廃棄]
 小川未明(原作)、堀尾青史(脚本)、桜井誠(絵)『平和かみ
 しばい のばら』童心社 2005年6月 [廃棄]
 野見山暁治『ケムクジャーラ』ネット武蔵野 2007年3月
 荒井茂雄『いつも心が喜んでいるかな?』木耳社 2007年4
 月 [廃棄]
 田中佐知、植垣歩子(画)『木とわたし』朱鳥社 2008年6月 [廃
 棄]
 奈良康明、山田樹人、山田のりこ(画)『お釈迦さまの生涯』
 いちい書房 2010年9月

(10-1-11) 蔵書等 図書 その他

岡本東洋『花鳥寫真圖鑑 第一集』平凡社 1930年6月
 星野辰男『Changing Japan: Seen Through The Camera』
 朝日新聞社 1933年
 トルストイ、米川正夫(訳)『生ける屍』岩波書店 1938年9月
 [廃棄]
 小津茂郎『愛馬讀本』講談社 1941年4月
 山田致知『動物生態寫真集・第二輯』柳原書店 1942年2月
 船山馨『愛の孤独』共立書房 1947年9月 [廃棄]
 『岩波写真文庫』岩波書店 1950年-1957年 [13 心と顔、14 動
 物園のけもの、21 汽車、24 銅山、42 野の花、47 東京(2
 冊)、48 馬、54 水辺の鳥、63 赤ちゃん、68 東京案内、
 72 廣島、77 針葉樹、79 日本の民家、80 季節の魚、82
 新劇、84 かいこの村、85 伊豆の漁村、87 奈良、106 飛
 騮・高山、111 熊、117 伊勢、119 隠岐、121 農村の人、

126 貝の生態、144 長野県、148 忘れられた島、151 函
 館、160 伊豆の大島、166 冬の登山、236 札幌]
 理科教育研究委員会『学習植物図鑑』保育社 1951年11月
 渡辺俊雄『リコー・フレックスの前進』十字社 1954年11月
 近代日本史研究会(編)『寫真近代日本史(2) 寫真近代藝能
 史』創元社 1954年12月 [廃棄]
 『犬』角川書店 1955年3月
 渡辺俊雄『リコー・フレックスの完成』十字社 1955年6月
 『立山』富山観光社 1956年
 C. H. Gibbs-Smith, *Balloons: with an introduction and
 notes*, London: Ariel Press, 1956
 飯泉六郎『写真でみる日本人の生活全集(2) 日本人の服装』
 岩崎書店 1956年10月 [廃棄]
 小川未明『新日本少年少女文学全集(16) 小川未明集』ポプ
 ラ社 1957年12月 [廃棄]
 『べりかん写真文庫(26) 郷土玩具』平凡社 1958年8月 [廃棄]
 伊東圭一郎『人間啄木』岩手日報社 1959年5月
 加藤周一『ウズベック・クロアチア・ケララ紀行』岩波書店
 1959年8月 [廃棄]
 『写真図説日本百年の記録(1) 近代の開幕』講談社 1960年
 11月 [廃棄]
 『われら日本人(5) 生活の歴史』平凡社 1960年10月 [廃棄]
 末広恭雄、黒田新市『魚介の図鑑』小学館 1960年10月
 犬養孝『万葉の旅(中)』社会思想社 1964年 [廃棄]
 日本近代史研究会(編)『図説 国民の歴史 近代日本の百年』
 (1-4,14) 国文社 1963年6月-65年 [廃棄]
 『昆虫の図鑑』小学館 1964年4月
 坂本勝比古『明治の異人館』朝日新聞社 1965年9月 [廃棄]
 朝山英一『花と園芸の図鑑』小学館 1965年3月
 本田正次、牧野晩成『植物の図鑑』小学館 1965年3月
 佐多稲子『塑像』講談社 1966年8月
 『日本歴史シリーズ(17) 開国と攘夷』世界文化社 1966年
 11月 [廃棄]
 Daphne Machin Goodall, *Pferde der Welt*, Heidenheim:
 Hoffmann, 1966
 『国立 福島工業高等専門学校』福島工業高等専門学校 [1967
 年]
 斎藤隆介『職人衆昔ばなし』文藝春秋 1967年1月
 黒沢良彦、日高敏隆『原色昆虫百科図鑑』小学館 1967年7月
 塚本洋太郎、富士原健三、松原幸子『園芸 植物』保育社 1967
 年10月
 『考証資料図録 服飾編』日本放送協会 1967年11月
 『お庭拝見』光村推古書院 1968年 [廃棄]
 J. ハンザック、宇田川竜男『世界の鳥類百科』岩崎書店
 1968年10月
 黒田長久『鳥』旺文社 1969年1月
 宇野重吉『新劇・愉し哀し』理論社 1969年4月 [廃棄]
 飯田利行『良寛詩集譯』大法輪閣 1969年5月 [廃棄]
 『日本文化の歴史』(全16巻) 学習研究社 1969年6月-70年8
 月 [廃棄]
 『カラー東北』山と溪谷社 1969年7月 [廃棄]
 後藤竜二『新日本創作少年少女文学(1) 地平線の五人兄弟』
 新日本出版社 1969年9月 [廃棄]
 Rennie Bere, *Antelopes: The World of Animals*, [New
 York: ARCO], 1970
 佐多稲子『重き流れに』講談社 1970年3月
 三石勝五郎『撰政官行啓地 信濃関伽流山』美術年鑑社 1970
 年4月 [廃棄]
 『オリンピック 札幌大会への道』ベースボール・マガジン

社 1970年12月 [廃棄]
『帯むすび200種』婦人画報社 1970年12月 [廃棄]
船山馨『石狩平野』(上) (新潮文庫) 1971年1月 新潮社
小窪健一『図鑑 刀装のすべて』光芸出版 1971年8月 [廃棄]
船山馨『見知らぬ橋』講談社 1971年9月
高見順『高見順全集』(16) 勁草書房 1971年10月
秋岡芳夫『割りばしから車まで』柏樹社 1971年12月
新川和江(編)『日本女流詩集 翼あるうた』童心社 1971年
[廃棄]
上西晴治『ポロヌイ峠』風濤社 1971年 [廃棄]
船山馨『見知らぬ橋』講談社 1971年 [廃棄]
『日本人の100年』(2-4) 世界文化社 1972-73年 [廃棄]
佐久間英『日本人の姓』六藝書房 1972年2月 [廃棄]
戸板康二『元禄小袖からミニ・スカートまで 日本のファッション・300年絵巻』サンケイ新聞社出版局 1972年11月
山本茂実『新版 あ・野麦峠 ある製糸工女哀史』朝日新聞社
1972年12月
三好一『そばちょこ』保育社 1973年 [廃棄]
神山典之(写真)、奈良本辰也『萩・津和野』朝日新聞社
1973年 [廃棄]
船山馨『刺客の娘』角川書店 1974年 [廃棄]
『多摩中央信用金庫創立40周年記念誌 多摩の歩みとともに』多摩中央信用金庫 1974年9月 [廃棄]
深田久弥『世界百名山』新潮社 1974年11月 [廃棄]
更科源蔵『白夜』風書房 1975年2月 [廃棄]
『宇宙 星と観測』小学館 1975年2月
船山馨『船山馨小説全集』(1, 3, 4, 7-12) 河出書房新社 1975
年6月-76年3月 [廃棄]
船山馨『幕末の刃影』河出書房新社 1975年8月 [廃棄]
椋鳩十『片耳の大シカ』偕成社 1975年12月 [廃棄]
『日本の歴史(15)』研秀出版 1975年 [廃棄]
『地中海 文明と風土を訪ねてⅠ』山と溪谷社 1975年 [廃棄]
『シルクロードⅡ イラン・イラク・シリア・トルコ』山と溪
谷社 1975年 [廃棄]
『奈良 大和路』山と溪谷社 1975年 [廃棄]
『地中海 文明と風土を訪ねてⅡ』山と溪谷社 1976年 [廃棄]
野村泰三『図鑑 伊万里のすべて』光芸出版 1975年5月 [廃
棄]
『世界の山』山と溪谷社 1975年9月
『お名前シリーズ 佐藤さんの本』実業之日本社 1976年1月
[廃棄]
大井三重子『水曜日のクルト』偕成社 1976年7月 [廃棄]
板垣進助『この自由党! 後編』晩聲社 1976年9月
木下順二『歴史について』毎日新聞社 1976年 [廃棄]
橋口収『饒舌と寡黙 愚痴の随想』サイマル出版社 1976年
[廃棄]
船山馨『花と濤』(上・下) 河出書房新社 1976年 [廃棄]
大河内一郎『詩集 シオンの丘』私家版 1977年 [廃棄]
Angela Sayer, *The Beauty of Cats*, London: Hamlyn, 1977
高見順『三五歳の詩人』私家版 1977年8月
高見順『高見順詩集』私家版 1977年8月
高見順『続 高見順日記』(8) 勁草書房 1977年10月
『社の都せんだい』仙台市・仙台市観光協会 [1978年]
宮静枝『北怨の賦 宮静枝詩集』熊谷印刷出版部 1978年 [廃棄]
落合恵子、西川治(写真)『どういいうわけか、ボクはネコ』サ
ンリオ 1978年 [廃棄]
船山馨『風の中の翅のように』(上・下) 講談社 1978年3月 [廃
棄]
大佛次郎『猫のいる日々』六興出版 1978年9月

市川房枝『だいこんの花 市川房枝随想集』新宿書房 1979年
6月 [廃棄]
小西四郎(責任編集)『図説 昭和の歴史(1) 昭和史の原像』
集英社 1979年9月 [廃棄]
佐多稲子『時と人と私のこと』講談社 1979年10月
高見順『高見順 素描集』文化出版局 1979年10月
三浦綾子『毒麦の季』光文社 1978年10月 [廃棄]
中野重治『わが生涯と文学』筑摩書房 1979年11月
竹島紀元(編)『鉄道ジャーナル別冊(4) 国鉄現役車両
1980』鉄道ジャーナル社 1980年 [廃棄]
後藤全久『中国見たまま(スケッチの旅)』いわき民報社
1980年 [廃棄]
上村占魚『句集 天上の宴』東門書屋 1980年2月 [廃棄]
中野重治『中野重治詩集』筑摩書房 1980年4月
本郷隆『詩の世界』湯川書房 1980年5月 [廃棄]
『ホームコンサルタント 家庭の園芸』小学館 1980年5月 [廃棄]
高見秋子(編)『高見順とつれづれ帖(1) 東慶寺の四季』図
書出版 和幸企画 1980年8月 [廃棄]
『聖書』日本聖書協会 1980年10月
『81 四月パーティーのために』81 四月パーティー実行委員
会 1981年 [廃棄]
黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』講談社 1981年3月 [廃棄]
綿貫益弘『まとまらない話』百合出版 1981年8月 [廃棄]
高見順『故郷忘れ得べき 復刻版』人民社 1981年8月
高見順『敗戦日記』(高見順十七回忌追悼記念) 1981年8月
『365日のおつきあいと冠婚葬祭百科』主婦の友社 1981年
10月 [廃棄]
『たべごろ、日本。秋冬編』味の素 1982年 [廃棄]
加藤陸奥雄『句集 紫萍』俳句宴餐社 1982年5月
船山春子『空白の日記』河出書房新社 1982年7月 [廃棄]
宮田光雄『若き教師たちへ』(岩波ブックレット 14) 岩波書
店 1983年2月
表現研究所『西洋野菜の百科(万有ガイド・シリーズ19)』
小学館 1983年3月
更科源蔵『更科源蔵アイヌ関係著作(8) アイヌの童戯』みや
ま書房 1983年4月 [廃棄]
赤川次郎、芦部信善『80年代の日本国憲法』(岩波ブック
レット 16) 岩波書店 1983年4月
村手義治『250語でできる やさしいロシア会話』白水社
1983年6月 [廃棄]
今泉吉春『ムササビ: 小さな森のちえくらべ』平凡社 1983
年6月
船山馨『海の壁』河出書房新社 1983年9月 [廃棄]
宇野千代『青山二郎の話』中公文庫中央公論社 1983年11月
飯沢匡『もの好き世間話』毎日新聞社 1984年3月 [廃棄]
佐多稲子『随筆集 出会った縁』講談社 1984年5月
『世界』編集部『トマホークとは?』(岩波ブックレット 34)
岩波書店 1984年6月
高野伸二『フィールド図鑑 身近な野鳥』東海大学出版会
1984年6月
高見順『いやな感じ』文藝春秋 1984年6月 [廃棄]
『智永真草千字文』春潮社 1984年8月
飯沢匡『飯沢匡新狂言集』平凡社 1984年9月 [廃棄]
長谷川和夫、羽田澄子『高齢化社会の健康問題』(岩波ブッ
クレット 37) 岩波書店 1984年10月
岡本喬『理科室』同成社 1984年11月
山城隆一『猫の肖像』求竜堂 1984年12月
『EXPO '85 集英社館』国際科学技術博覧会集英社館事務局
1985年 [廃棄]

『京都精華大学 '85 大学案内』京都精華大学 1985年 [廃棄]
角田文衛『待賢門院璋子の生涯 萩庭秘抄』朝日新聞社 1985
年6月 [廃棄]
広論社出版局(編)『心の師』広論社 1985年8月 [廃棄]
堀尾輝久『教育基本法をどう読むか』(岩波ブックレット
48) 岩波書店 1985年8月
中村登流『野鳥の図鑑 陸の鳥2』保育社 1986年4月
更科源蔵『青春の原野』北海タイムス社 1987年9月 [廃棄]
『上野奏楽堂物語』東京新聞出版局 1987年10月 [廃棄]
谷尾襄『ヨーロッパ名園散歩』中央公論社 1988年3月
岡本正敏『俳句の一会』近代文藝社 1988年4月 [廃棄]
岡本喬『解剖事始め 山脇東洋の人と思想』同成社 1988年6
月
『ご案内』西京銀行 [1989年] [笹戸千津子関係資料]
杉浦宏、葛西宣宏(監)『鳥ウォッチング図鑑-どこがちが
う? どこがおなじ?』思索社 1989年1月 [廃棄]
船山馨『蘆火野』河出書房新社 1989年3月
竹之内診佐夫『ゴマライフ I 足の裏健康法』ごま書房 1989
年6月 [廃棄]
江藤文夫『チャップリンの仕事』みすず書房 1989年6月
『日本の野鳥(フィールドガイドシリーズ1)』小学館 1989
年7月
高野伸二、日本野鳥の会『フィールドガイド 日本の野鳥』
日本野鳥の会 1989年10月
佐藤朔『小詩集 大學』私家版 1989年11月
白洲正子『老木の花 友枝喜久夫の能』求竜堂 1989年11月
Mario Ambrosius, *Momentaufnahmen moderner
japanischer Literatur*, Berlin: Silver & Goldstein, 1990
山形則男、柚木修『野鳥ガイドブック』永岡書店 1990年1月
高畑勲(訳著)『木を植えた男を読む』徳間書店 1990年7月
[廃棄]
大岡信『新編 折々のうた 第四』朝日新聞社 1990年10月
綿貫益弘『沢ガニと山桜の記』私家版 1990年10月
桔梗泉(編)、今泉忠明(監)『親と子で楽しむ本 どうぶつ
おもしろ図鑑』主婦と生活社 [1991年] [廃棄]
裾野市史編さん専門委員会(編)『裾野市史 (6) 資料編 深良
用水』裾野市 1991年3月 [廃棄]
ヨシトミヤスオ(編)『マンガで世界が見えてくる「京都国
際マンガ展から」』淡交社 1991年4月 [廃棄]
鈴木五郎(編)『生活のうたを描く 幼児の美術教育』チャイ
ルド本社 1991年5月 [廃棄]
櫻井朝雄『パリの背なか 21世紀への遊歩都市論』創知社
1991年7月 [廃棄]
永田芳男『秋の野草』山と溪谷社 1991年9月
田中美智子『つれづれに』学習の友社 1991年10月 [廃棄]
加藤磐雄『おりおりの山 おりおりの河』思文閣社 1991年
10月 [廃棄]
宍戸勲『智子曼荼羅』ひまわり社 1992年3月 [廃棄]
松村美與子『パリ・メトロ物語』現代書館 1992年7月 [廃棄]
葉山登『生きる力を強めるために』はる書房 1992年9月
月刊うへの編集部(編)『創作山手線』上野のれん会 1992年
10月 [廃棄]
岡本正敏『続 俳句の一会』私家版 1992年12月 [廃棄]
The Ultimate Cat Sticker Book, London: Dorling
Kindersley, 1993
『風かがやいて ひがし50年』長崎県立長崎東高等学校 1993
年3月 [笹戸千津子《爽》]
『家庭医学大百科』主婦の友社 1993年4月 [廃棄]
中村雄二郎『考える愉しみ エッセー集成1』青土社 1993年

8月
『サハリン残留韓国・朝鮮人問題と日本の政治』サハリン残
留韓国・朝鮮人問題議員懇談会 1994年2月 [廃棄]
林進『メディア社会の現在』学文社 1994年4月 [廃棄]
上野英世『森を楽しむ 草木の博物誌』淡交社 1994年5月 [廃
棄]
伊藤信吉『上州詩集』(「利根の砂山」室生犀星、「明日は天
気だ」草野心平) 煥乎堂 1994年6月、1997年10月
石田孝吉『太陽をめざすキャラバン』(上・下) 求龍堂 1994
年7月 [廃棄]
山本れい、山本良樹『七平ガンとかく闘えり』KK ベスト
セラーズ 1994年11月 [廃棄]
倉本聰『北の国から 1995 秘密』理論社 1995年2月 [廃棄]
山城隆一『猫のいる風景』(1,2)ハローケイエンターテイン
メント 1995年11月
シェイクスピア、松岡和子(訳)『シェイクスピア全集(1)
ハムレット』筑摩書房 1996年1月 [廃棄]
植田いつ子『布に聴く』PHP 研究所 1996年3月 [廃棄]
宇佐美魚目『句集 薪水 花魁俳人選』花神社 1996年3月 [廃棄]
猿谷要『世界の都市の物語 15 アトランタ』文藝春秋 1996
年5月 [廃棄]
『はな一会 蒼風の眼と心』世界文化社 1996年5月
『サンバの町から 外国人と共に生きる 群馬・大泉』上毛新
聞社 1997年3月 [廃棄]
平田徳男『亦、たのし』私家版 1998年 [廃棄]
倉本聰『ゴールの情景』理論社 1998年4月 [廃棄]
加藤多一『猫がくる日』緑鯨社 1998年10月
笠原芳光『イエス 逆説の生涯』春秋社 1999年6月
秋山ちえ子『八十二歳のひとりごと』岩波書店 1999年9月
[廃棄]
秋山ちえ子『さよならを言うまえに』岩波書店 2000年11月
[廃棄]
倉本聰『富良野風話』理論社 2000年9月 [廃棄]
三浦光世『綾子へ』角川書店 2000年10月 [廃棄]
平島尚典『本阿弥現代俳句シリーズ8 句集 兔の眼』本阿弥
書店 2000年11月 [廃棄]
阿部武彦『言ったつもり喋ったつもり』ヒノキ新薬 2001年
[廃棄]
江口渉『詩集成 帽子と私』私家版 2001年 [廃棄]
『素描集 第142集』岐阜新聞社 2001年5月
角田文衛『薄暮の京』東京堂出版 2001年6月 [廃棄]
倉本聰『愚者の旅 わがドラマ放浪』理論社 2002年1月 [廃棄]
うのていを『オムニバス 天使と旅をして』裸形社 2002年2
月 [廃棄]
大島英太郎、唐沢孝一『みぢかな とりの ずかん』福音館書
店 2002年2月 [廃棄]
亀山郁夫『磔のロシア』岩波書店 2002年5月 [廃棄]
横須賀壽子『胸中にあり火の柱 三浦つとむの遺したもの』
明石書店 2002年8月
矢橋謙一郎、矢橋和江(編)『石の文化誌「石屋」になった
「地理屋」の記録』風媒社 2002年9月 [廃棄]
角田文衛『歐州の四季』雄山閣 2002年9月 [廃棄]
丹あずみ『100万人の20世紀シリーズ (19) 飢餓日記』アー
バンプロ出版センター 2002年10月 [廃棄]
『遙』菅野多利雄 2002年11月 [笹戸千津子《若き立像》]
本間ふみ(短歌・文)、本間岳史(編)『旅-歌文集-』私家
版 [2003年] [廃棄]
武藤紀子『句集 朱夏』花神社 2003年 [廃棄]
古館謙二(構成)『語るには若すぎますが』河出書房新社

2003年2月[廃棄]
 角田文衛『二条の後 藤原高子 業平との恋』幻戯書房 2003年3月[廃棄]
 倉本聰『富良野風話 この国のアルバム』理論社 2003年5月[廃棄]
 西川京子『ボランティア主婦の挑戦』あさ出版 2003年6月[廃棄]
 『学校案内』聖徳大学附属聖徳中学校[2004年][笹戸千津子《少女》]
 『学校案内』聖徳大学附属聖徳高等学校[2004年][笹戸千津子《少女》]
 大西廉彦『支部長日誌 丸亀支部再建の記録』私家版[2004年][廃棄]
 島田洋七『佐賀のがばいばあちゃん』徳間書店 2004年1月[廃棄]
 田中佐知『見つめることは愛』朱鳥社 2004年1月[廃棄]
 三浦綾子『氷点』を旅する』北海道新聞社 2004年6月[廃棄]
 三浦光世『二人三脚』福音社 2004年6月[廃棄]
 田中佐知『砂の記憶』思潮社 2004年8月[廃棄]
 森彪『子どものいのちを見つめて 医療・家庭・歴史』吉夏社 2004年10月[廃棄]
 宇佐美魚目『宇佐美魚目傘寿記念文集』木の山文庫 2005年[廃棄]
 森彪『医における癒し 人間関係の形成のなかから』聖徳大学出版会 2005年5月[廃棄]
 谷川俊太郎、香月泰男(画)、水内喜久雄(選・著)『詩と歩こう 谷川俊太郎詩集』理論社 2005年7月[廃棄]
 不破哲三『私の戦後六〇年 日本共産党議長証言』新潮社 2005年8月[廃棄]
 角田文衛『古代学の展開』山川出版社 2005年9月[廃棄]
 田村明『まちづくりと景観』岩波書店 2005年12月
 鯨坂二夫『心のおいし 鯨坂二夫遺文集』ヒノキ新薬 2006年3月[廃棄]
 高山彰『歌集 千本桜』短歌新聞社 2006年[廃棄]
 小橋隆一郎『検査のすべて』主婦の友社 2006年4月[廃棄]
 倉本聰『富良野風話 失われた森敵』理論社 2006年5月[廃棄]
 鄭仁敬『コバウおじさんを知っていますか 新聞マンガにみる韓国現代史』草の根出版会 2006年9月[廃棄]
 永井潔『蟬の眩し その二』光陽出版社 2008年3月
 倉本聰『風のガーデン』理論社 2008年9月[廃棄]
 大槻道明『眞代大好き』朝日新聞出版出版サービス 2008年11月[元・八千代市教育長] [廃棄]
 綿貫益弘『狸の金時計』私家版 2009年[廃棄]
 倉本聰『富良野風話 5 疾し沈黙』理論社 2009年10月[廃棄]
 大江健三郎『水死』講談社 2009年12月[廃棄]
 坂田道信(講演)『講演 ハガキ道に生きる』私家版[廃棄]
 Children for Peace [2 vols], The Permanent Committee for the Defence of Peace of the RPR

(10-1-12) 蔵書等 図書 澤地久枝

澤地久枝『私のシベリア物語』新潮社 1988年5月
 澤地久枝『遊色 過ぎにし愛の終章』文藝春秋[1989年3月] ※カバーのみ
 澤地久枝『ベラウの生と死』講談社 1990年10月
 澤地久枝『苦い蜜：わたしの人生地図』文藝春秋 1991年6月
 澤地久枝『「わたし」としての私』大和書房 1991年11月
 澤地久枝『試された女たち』講談社 1992年4月
 澤地久枝『家族の樹 ミッドウエー海戦終章』文藝春秋 1992

年6月
 澤地久枝、北御門二郎『トルストイの涙』エミール社 1992年11月
 澤地久枝『画家の妻たち』文藝春秋 1993年5月
 澤地久枝『男ありて：志村喬の世界』文藝春秋 1994年2月
 澤地久枝『時のほとりて』講談社 1994年5月
 澤地久枝『一人になった繭』文藝春秋 1995年4月
 澤地久枝『一千日の嵐』講談社 1995年5月
 澤地久枝『わたしが生きた「昭和」』岩波書店 1995年6月
 澤地久枝『心の海へ』講談社 1996年10月
 澤地久枝『昭和・遠い日近いひと』文藝春秋 1997年5月
 澤地久枝『ボルガいのちの旅』日本放送出版会 1997年7月
 澤地久枝『六十六の暦』講談社 1998年5月
 澤地久枝『私のかかげる小さな旗』講談社 2000年10月
 澤地久枝『琉球布紀行』新潮社 2000年12月
 澤地久枝『道づれは好奇心』講談社 2002年10月
 澤地久枝『自決ころの法廷』日本放送出版協会 2003年7月
 澤地久枝『昭和史のおんな：完本』文藝春秋 2003年7月
 澤地久枝『地図のない旅』主婦の友社 2005年7月
 澤地久枝『発信する声』かもがわ出版 2007年2月
 澤地久枝『家計簿の中の昭和』文藝春秋 2007年3月
 澤地久枝『希望と勇気、この一つのもの 私のたどった戦後』(岩波ブックレット 725) 岩波書店 2008年6月
 澤地久枝、佐高信『世代を超えて語り継ぎたい戦争文学』岩波書店 2009年6月
 中村哲、澤地久枝『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る：アフガンとの約束』岩波書店 2010年2月
 澤地久枝『きもの箆筒』淡交社 2010年4月

(10-1-13) 蔵書等 図書 切り抜き

[日本鳥類図説] 不明[1950年]
 『沈黙の世界史(5) 月報』[新潮社] [1969-70年]「著者角田文衛氏に聞く」
 [掲載書不明] 不明[1971年] 山崎正和「今日と明日の芸術」
 [定本吉田一穂全集 別巻] [小沢書店] [1993年4月]「童話篇(絵本童話(金井信生堂))ウシヲカフムラ」ほか
 [中川一政詩集 見なれざる人]「曇り日」
 [掲載書不明][65. Göttin mit spitzem Polos, 66. Fünf Kopffragmente einer Göttin mit Polos]
 [掲載書不明][ロダン《青銅時代》撮影?]
 [掲載書不明][作者不明《サン・マルコ広場へ向かう道》]
 [掲載書不明]美術出版社《少女像》B.C.530 年頃 ほか
 [鳥獣戯画] ※複写、巻物状

(10-1-14) 蔵書等 チラシ、パンフレットなど(展覧会を除く)

「佛蘭西派チエロの巨匠 マレシヤル獨奏會」パンフレット 2月23日、24日、26日、27日、28日 日本青年開館
 “MARINO MARINI OPERA GRAFICA” [1971]
 [『月刊美術』創刊号] チラシ [サン・アート] [1975年11月]
 「昭和57年度高岡市彫刻のあるまちづくり作品 ぎんぎんぎらぎら 岩野勇三作」パンフレット [1982年]
 「国際染織美術館」パンフレット 国際染織美術館 [1987年]
 「ミーム 1992年3月の自捨」案内[カード?] いずみホール
 [『清冽』序幕記念カード?] 東京医科歯科大学 お茶の水会
 医科同窓会 1993年7月2日 橋本堅太郎《清冽》図版部欠
 “RÉCEPTION par M. Arnaud D'HAUTERIVES, membre de la section de peintre, Conservateur du Musée

Marmottan de M. YOUJI KOBAYASHI en remplacement de M. SALVADOR DALI", Paris: Institut de France Académie des Beaux-Arts, 30 Mars 1994

「ベスト・オブ「世界遺産」10周年スペシャル」チラシ TBS [2006年]

「才能が沸騰する。2006年第75階日本音楽コンクール」チラシ [毎日新聞社、NHK 2006年]

「室生山上公園 芸術の森」パンフレット 宇陀市 2006年10月

「鳳琳」パンフレット鳳琳カントリー倶楽部

「秩父商會(0906)」ダンテ・ガブリエル・ロセッティ《愛の杯》(解説: 八重樫春樹)

「秩父商會(1260)」佐伯祐三《滞船》(解説: 浅野徹)

「秩父商會?」[佐伯祐三《靴屋(コルドヌリ)》]

「秩父商會?」[松本竣介《車庫近く》]

「秩父商會?」[松本竣介 作品名不明]

「秩父商會?」[鳥居清倍(初代)《出陣髪すき 中村源太郎の巴御前と浅尾十次郎のさかの》]

「秩父商會?」[不動明王八大童子像 鎌倉中期]

(10-2-01) 蔵書等 展覧会 図録 海外作家関係(作家名順)

Archipenko, Alexander. 『現代彫刻の先駆者-アーキベンコ展』1974年4月5日-24日 フジテレビギャラリー

———. 『アーキベンコ鑑賞展 そのキュビズムの秀作を集めて』1977年3月22日-4月9日 現代彫刻センター ほか

Arp, Hans. 『アルプ展』1975年4月14日-5月1日 現代彫刻センター ほか

———. 『ハンス・アルプ展』2005年1月15日-3月27日 神奈川県立近代美術館 ほか

Bacon, Francis. *Francis Bacon*, 27 Juin-14 Octobre 1996, Paris: Centre Georges Pompidou, etc.

Bakallar, Jozsef. 『ハンガリーの俊英画家 バカラル・ヨージェフ展』1975年8月26日-31日 東京セントラル美術館 ほか

Baldaccini, César. 『セザール・バルダッチーニ』1972年6月8日-24日 ギャラリー・キューブ

———. 『セザール展』1982年5月6日-6月5日 吉井画廊

Boccacci, Marcello. 『マルチェット・ボッカッチ油絵展』1980年5月6日-24日 ギャラリー・ユニバース

Bonnard, Pierre. et al. 『ボナール ヴェイユール ルーセル展』1974年5月16日-6月22日 ウィルデンスタイン・東京

Bourdelle, Antoine. 『近代彫刻の父 巨匠・ブールデル展』1977年3月8日-4月10日 日本橋三越

———. 『近代彫刻の父 巨匠・ブールデル展』1982年7月24日-8月29日 北海道立旭川美術館

Braque, Georges. 『世界の版画展10 ブラック』伊勢丹1976年5月13日-20日 新宿・伊勢丹本館7階クローバーホール

Brancusi, Constantin. 『Brancusi: ブランクーシ』1977年10月15日-11月19日 ギャラリー・ところ

———. 『Constantin Brancusi: Photographies』1978年10月16日-11月18日 ギャラリー・ところ

———. 『Constantin Brancusi: Sculpture Dessin Photographies』1985年6月15日-7月31日 ギャラリー・ところ

Brangwyn, Frank. 『フランク・ブラングイン展』2010年2月23日-5月30日 国立西洋美術館 [廃棄]

Bruegel, Pieter. 『ブリューゲルの世界 コペ・コレクションと世界の11美術館から』1995年3月28日-6月25日 東武美術館 [廃棄]

Calder, Alexander. 『「カルダーの世界」展 1979-80』1979年9月23日-10月29日 西武美術館 ほか

———. 『カルダー: Alexander Calder mobiles and gouaches』1978年9月4日-10月7日 ギャラリー・ところ

Capellini, Sergio. 『セルジオ・カペリーニ展』1971年10月11日-11月6日 ギャラリー・ユニバース

Carton, Jean. 『ジャン・カルトン展』1981年10月8日-24日 現代彫刻センター ほか

Carzou, Jean. 『カルズー展』1980年10月9日-10月28日 ギャラリー・ミキモト [廃棄]

Cavaliere, Alik. 『アリック・カヴァリエレ彫刻展』1974年11月7日-19日 ギャラリー・ユニバース

Cézanne, Paul. *Cézanne, les années de jeunesse, 1859-1872*, 19 Septembre 1988 - 1 Janvier 1989, Paris: Musée d'Orsay

Chadwick, Lynn. 『チャドウィックの彫刻』1991年4月20日-5月19日 富山県立近代美術館 ほか

Chagall, Marc. 『Bible: 105 eaux-fortes Originales de Marc Chagall』1973年2月12日-2月19日 梅田画廊

———. 『シャガール展』1976年8月21日-9月23日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]

———. 『追悼シャガール展』1986年4月10日-5月6日 東京・日本橋高島屋 ほか [廃棄]

———. 『シャガール展: Chagall』1989年10月13日-11月26日 Bunkamura ザ・ミュージアム ほか

———. 『愛と幻想の贈りもの-シャガール展』1998年8月12日-25日 大丸ミュージアム・東京 ほか

Chillida, Eduardo. 『Catalogue of the Exhibition of Eduardo Chillida』1992年5月25日-6月4日 Galerie Tokyo

———. 『エドゥアルド・チリーダ展』2006年2月21日-4月2日 長崎県美術館 ほか

Claudet, Camille. *Camille Claudet*, 15 Février-11 Juin 1984, Paris: Musée Rodin, Paris, etc.

———. 『カミーユ・クロデル展』1987年8月28日-9月16日 渋谷東急本店 ほか

———. 『カミーユ・クロデル展』1996年6月1日-7月14日 Bunkamura ザ・ミュージアム ほか

Clavé, Antoni. 『アントニ・クラベ展図録』1986年4月27日-6月30日 東京都庭園美術館 ほか [廃棄]

Corot, Jean-Baptiste Camille. 『コロー 光と追憶の変奏曲』2008年6月14日-8月31日 ほか [廃棄]

Couturier, Robert. 『Exhibition of R.Couturier』1968年6月10日-7月10日 ギャラリー・キューブ

———. 『ロベール・クーチュリエ展』1979年9月10日-29日 現代彫刻センター ほか

Crocetti, Venanzo. 『Venanzo Crocetti: クロチェッティ展』[1973年]9月10日-9月29日 現代彫刻センター ほか

———. 『Venanzo Crocetti クロチェッティ展』1975年6月3日-21日 現代彫刻センター ほか

———. 『クロチェッティ展-命の詩が聴こえる』2006年7月19日-8月31日 鹿児島市立美術館 ほか

Davis, Stuart. 『スチュアート・デイヴィス展』1995年7月8日-8月6日 郡山市立美術館 ほか [廃棄]

Despiau, Charles. 『近代彫刻の夜明け-デスピオ展』1974年5月7日-21日 現代彫刻センター ほか

- Degas, Edgar. 『ドガ展』1976年9月23日-11月3日 池袋・西武美術館 ほか
 ——. 『ドガ-パステル展』1978年2月13日-28日 ぎやらりー・ところ
 ——. 『ドガ・彫刻のすべて』1979年2月24日-3月25日 鎌倉近代美術館
 ——. 『ドガ展』1988年10月27日-11月15日 伊勢丹美術館 ほか [廃棄]
 ——. 『ドガ展』2010年9月18日-12月31日 横浜美術館 [廃棄]
- Derain, Andre. 『近代美術の巨星-ドラン展』1978年6月1日-6日 伊勢丹新宿店本館7階美術画廊
- Dine, Jim. 『カタログ ジム・ダイン展 身体の比喩』1996年9月14日-10月13日 宮城県美術館 ほか [廃棄]
- Delacroix, Eugène. 『ドラクロワとフランス・ロマン主義カタログ』1989年8月5日-10月1日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
- Daum Frères. 『ガラス100年 フランス・ドームの栄光』1980年7月19日-8月24日 北海道立近代美術館 [廃棄]
- Drai, Claudine. 『クロディヌ・ドレ展』1999年11月3日-27日 ギャラリー長谷川 ほか [廃棄]
- Dubuffet, Jean. 『デュビュッフェ近作展』1981年5月22日-6月26日 ウイルデンスタイン東京 [廃棄]
 ——. 『デュビュッフェ展』1986年9月1日-19日 東京銀座アートセンター ほか
- Duchamp, Marcel. 『Les 3 Duchamps』1984年11月2日-12月15日 ギャラリー・ところ
- Ernst, Max. 『マックス・エルンスト展』1983年9月15日-10月23日 北海道立近代美術館 ほか [廃棄]
 ——. *Max Ernst: retrospective*, 28 Novembre 1991 - 27 Janvier 1992, Paris: Centre G. Pompidou
 ——. 『マックス・エルンスト彫刻展』1994年10月8日-12月22日 現代彫刻センター
- Fautrier, Jean. 『フォートリエ 彫刻・素描展』1976年2月7日-3月5日 フジテレビギャラリー
- Fazzini, Pericle. 『ファッツィーニ展』1965年9月15日-10月15日 ギャラリー・キューブ
 ——. 『ファッツィーニ展』1970年11月25日-12月19日 ギャラリー・ユニバース
 ——. 『躍動のフォルム-ペリクレ・ファッツィーニ展』1973年5月8日-13日 高島屋東京店本館 ほか
- Fenosa, Apel·les. 『アペル・レ・フェノザ彫刻展-魂の塑造』1981年5月11日-6月10日 吉井画廊
- Giacometti, Alberto. 『アルベルト・ジャコメッティ』1997年2月18日-3月23日 広島県立美術館 ほか
- Gimond, Marcel. 『マルセル・ジモン展』1974年10月14日-11月2日 現代彫刻センター ほか
- Gogh, Vincent van. 『オランダ国立ヴァン・ゴッホ美術館所蔵 ヴァン・ゴッホ展』1976年10月30日-12月19日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
 ——. 『ゴッホ展』1985年10月12日-12月8日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
 ——. *Vincent van Gogh, Paintings*, 30 March -29 July 1990, Amsterdam: Rijksmuseum Vincent van Gogh
- González, Julio. 『ゴンザレス展 Exposition Julio Gonzalez au Japon』1975年10月1日-18日: 東京・現代彫刻センター ほか
- Gormley, Antony. 『Antony Gormley アントニー・ゴームリー展』2001年5月18日-7月19日 現代彫刻センター
- Goya, Francisco de. 『ゴヤ版画展 Francisco de Goya y lucientes』1973年4月3日-11日 新宿・伊勢丹本館7階クローバーホール
 ——. 『ゴヤの銅版画/カプリチオス(気まぐれ)』[1977年(会期不明)] 熊本県立美術館
 ——. 『ゴヤ連作全版画展』1985年4月13日-5月12日 熊本県立美術館 ほか [廃棄]
- Greco, Emilio. 『エミリオ・グレコ名作展 現代彫刻の最高峰』[1971年4月23日-5月5日 京王百貨店 ほか]
 ——. 『グレコ展』1972年10月25日-11月14日 大阪・現代彫刻センター
 ——. 『エミリオ・グレコ大壁画展: グレコ・ガーデン開設記念』1974年5月31日-6月5日 京成百貨店
 ——. *Emilio Greco: Castel Sant' Angelo*, 15 Giugno-10 Settembre 1983, Roma: Tipo-Litografia Chiovini
- Hepworth, Barbara. 『バーバラ・ヘップワース展』1970年6月1日-9月15日 彫刻の森美術館
- Hodler, Ferdinand. 『ホドラー展』1975年4月5日-5月25日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
- Kandinsky, Wassily. 『カンディンスキー』1978年1月17日-31日 ギャラリー・ところ
- Karavan, Dani. 『時間・空間・思索: 彫刻家 ダニ・カラヴァン展』1994年11月26日-12月25日 神奈川県立近代美術館 ほか
- Kisling, Moise. 『キスリング展』1968年11月22日-12月11日 西武百貨店渋谷店 A 館7階西武画廊 [廃棄]
- Klee, Paul. 『パウル・クレー展』1978年9月26日-10月20日 フジテレビギャラリー
 ——. 『パウル・クレー: 特別展』1986年10月1日-12月14日 何必館 京都現代美術館
- Kuper, Yuri. 『ユーリ・クーバー展』[1991年(会期不明)] 上野の森美術館 [廃棄]
- Leach, Bernard. 『バーナード・リーチ展』1977年11月3日-8日 西武池袋百貨店6階美術特設会場
- Léger, Fernand. 『純粹造形の巨匠 フェルナン・レジェ』1972年3月10日-30日 フジテレビギャラリー [廃棄]
 ——. 『レジェ展』1973年5月1日-17日 大阪・現代彫刻センターギャラリー ピッコラ
 ——. 『フェルナン・レジェ展 素描、水彩、版画、ブロンズ 1910-55』1979年5月11日-31日 フジテレビギャラリー [廃棄]
 ——. 『Fernand Léger』1986年10月9日-11月8日 Galerie Tokoro [廃棄]
- Lehmbruck, Wilhelm. 『ヴィルヘルム・レームブルック展』2003年7月5日-8月31日 芸術の森美術館 ほか
- Leonardo da Vinci. 『ウインザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ 人体解剖図』1995年6月10日-7月30日 東京都庭園美術館 ほか [廃棄]
 ——. 『イタリア・ルネサンス三大巨匠素描展 レオナルド、ミケランジェロ、ラファエロとその流派』2002年4月21日-6月23日 松本市美術館 ほか [廃棄]
- Lipchitz, Jacques. 『ジャック・リプシッツ展 1911-1973展望』1985年10月16日-12月7日 マルボロー BCC ギャラリー
- Maillol, Aristide. 『マイヨール展』1974年10月10日-11月10日 兵庫県立近代美術館 ほか
 ——. 『マイヨール デッサンと彫刻 鑑賞展』1976年10月18日-30日 現代彫刻センター ほか
 ——. 『マイヨール展: 岩手県立博物館開館<三人の妖

- 精>設置記念』MORIOKA 第一画廊1980年10月1日-19日
- . 『マイヨール展 近代彫刻の巨星』1982年3月31日-4月6日 東京 日本橋高島屋
- . 『マイヨール展』1984年4月7日-5月6日 山梨県立美術館 ほか
- . *Maillol: la méditerranée*, 9 décembre 1986 - 1 mars 1987, Paris: Musée d'Orsay
- . 『マイヨール展』1994年9月10日-10月16日 三越美術館・新宿 ほか
- Manzù, Giacomo. 『ジャコモ・マンズー展』1966年3月1日-31日 ギャラリー・キューブ
- . 『ジャコモ・マンズー展』1973年11月14日-12月23日 東京国立近代美術館
- . *Giacomo Manzù. Opere inedite. Presentazione di Inge Manzù Schabel: Raccolta amici di Manzù*, 7 Ottobre 1978 - 7 Febbraio 1979, Ardea: Raccolta amici di Manzù
- . *Giacomo Manzù*, [1979], [??]: Galleria 2RC
- . 『マンズー「子供の情景」展』1981年11月12日-30日 現代彫刻センター ほか
- . 『ジャコモ・マンズーの「子供の情景」展』1983年3月7日-4月30日 現代彫刻センター ほか
- . 『ジャコモ・マンズー展』1986年10月17日-22日 藤崎本館5階 美術工芸サロン
- Manet, Edouard. *Manet: 1832-1883*, 22 April - 8 August 1983, Paris: Galeries nationales du Grand Palais, etc.
- Marini, Marino. *Mostra di Marino Marini*, 10 Marzo - 10 Giugno 1966, Roma: Palazzo Venezia
- . 『マリノ・マリニ新作版画展』[1972年]9月2日-27日 現代彫刻センター
- . 『マリノ・マリニ版画連続展』1977年3月28日-5月21日 ギャラリー・ユニバース
- . 『マリノ・マリニ自選素描展』1978年11月10日-25日 現代彫刻センター ほか
- . 『マリノ・マリニ展』1978年4月15日-6月4日 東京国立近代美術館
- . *Marino Marini: Bilder Aus Seinem Atelier*, 4 Mai - 8 Juni 1980, Nürnberg: Albrecht Dürer Gesellschaft im Studio der Kunsthalle Nürnberg, etc.
- . *Marino Marini Ritratti: sculture, opere su carta*, Aprile-Giugno 1991, Lugano: Galleria Pieter Coray, etc.
- . 『マリノ・マリニ展: Marino Marini』1997年5月17日-7月27日 彫刻の森美術館 ほか
- Marquet, Albert. 『セーヌの哀愁の画家 マルケ展』1973年9月20日-10月2日 西武百貨店・渋谷店B館 ほか
- Marta, Pan. 『マルタ・パン 公共空間のための彫刻』1984年11月9日-12月15日 現代彫刻センター・東京 ほか
- Martini, Arturo. 『アウトウーロ・マルティーニ展』1980年12月17日-29日 現代彫刻センター ほか
- . 『アウトウーロ・マルティーニ展』1993年3月15日-4月28日 現代彫刻センター
- Mascherini, Marcello. 『マルチェロ・マスケリーニ』1968年5月1日-31日 ギャラリー・キューブ
- . 『マスケリーニ彫刻展』1972年9月11日-10月7日 ギャラリー・ユニバース
- Matisse, Henri. *Henri Matisse 1904-1917*, 25 Février - 21 Juin 1993, Paris: Centre Georges Pompidou
- Millet, Jean-François. 『ミレー、コロ、クールベ展 バルビゾン派の巨匠たち』1976年10月14日-11月9日 伊勢丹アートホール ほか [廃棄]
- . 『ミレー・コロ・クールベ展《特別展》自然との交流』1984年9月1日-10月11日 千葉県立美術館
- Miró, Joan. 『ミロとカルダー』1972年11月15日-30日 フジテレビギャラリー [廃棄]
- . 『「ミロの世界」展カタログ』1986年4月17日-5月6日 伊勢丹美術館 ほか [廃棄]
- Modigliani, Amedeo. 『モディリアーニ展』1979年9月13日-10月16日 大丸東京店 ほか [廃棄]
- . *Amedeo Modigliani: 1884-1920*, 26 Mars - 28 Juin 1981, Paris: Musée d'art moderne de la ville de Paris
- . 『モディリアーニ展』1985年7月19日-9月29日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
- . 『モディリアーニ展 Exposition Amedeo Modigliani au Japon 1992-93』1992年11月3日-12月23日 東武美術館 ほか
- . 『モディリアーニ展』2008年3月26日-6月9日 国立新美術館 ほか [廃棄]
- Mondrian, Piet. 『Mondrian in New York』1993年9月20日-11月20日 ギャラリー・ところ [廃棄]
- Monet, Claude. 『印象派100年 光と色彩の交響 モネ展』1973年3月30日-5月15日 渋谷・西武百貨店 ほか [廃棄]
- . 『モネ展』1982年10月9日-11月28日 国立西洋美術館 ほか
- Moore, Henry. 『ヘンリー・ムーア展《版画と彫刻》』1975年4月25日-5月31日 ウィルデンスタイン・東京
- . *Henry Moore: Graphics in the Making*, 21 May - 6 July 1975, London: The Tate Gallery
- . 『ヘンリー・ムーア展』1977年1月10日-22日 カサハラ画廊
- . 『ヘンリー・ムーア展』1977年10月4日-23日 日本橋三越6F 彫刻サロン
- . *The Drawings of Henry Moore*, 5 November - 31 December, 1977, London: Tate Gallery, etc.
- . 『ヘンリー・ムーア 素描と彫刻展』1978年1月21日-2月12日 いわき文化センター ほか
- . 『ヘンリー・ムーア展 彫刻の新作と版画の全て(120点)』1978年3月27日-4月14日 ほか
- . 『ヘンリー・ムーア自選展』1981年3月23日-5月2日 東京・現代彫刻センター ほか
- . 『Moore The New Work: ヘンリー・ムーア展』1983年11月1日-18日 セントラルギャラリー
- . 『ヘンリー・ムーア展: The Art of Henry Moore Sculptures Drawings and Graphics 1921 to 1984』1986年4月11日-6月5日 東京都美術館 ほか
- . 『Henry Moore Intime: ヘンリー・ムーア展 自作と収集品にみる創造の原風景』1992年9月15日-11月3日 セゾン美術館 ほか
- . 『Henry Moore: Gentenary ヘンリー・ムーア展』1998年12月10日-1999年2月6日 現代彫刻センター ほか
- . 『ヘンリー・ムーア展』2003年4月5日-5月23日 川村記念美術館 ほか
- . 『ヘンリー・ムーア 自然の気配 人のかたち』2004年3月20日-9月5日 彫刻の森美術館 [廃棄]
- Munch, Edvard. 『ムンク 版画名作展』1986年5月16日-7月4日 フジカワ画廊東京店 ほか [廃棄]
- . 『ムンク展 画家とモデルたち』1992年4月4日-5月

10日 芸術の森美術館 ほか [廃棄]

Nicholson, Ben. 『ベン・ニコルソン展』1982年10月11日-30日 東京銀座アートセンター

Nolan, Sidney. 『シドニー・ノーラン』1973年4月10日-4月28日 フジテレビギャラリー [廃棄]

Pascin, Jules. 『エコール・ド・パリの憂鬱 女性を描く パスキン展』 [1979年頃]フジカワ画廊本店 ほか [廃棄]

Picasso, Pablo. 『ピカソ 版画近作展』1961年2月17日-22日 仙台・藤崎 ほか

———. 『ピカソ展』1964年5月23日-7月5日 国立近代美術館 ほか [廃棄]

———. 『ピカソ近作版画展カタログ』1970年2月7日-3月15日 東京国立近代美術館 [廃棄]

———. 『ピカソ女性たち展 美と生命の賛歌 傑作版画1904-1968』1970年11月13日-25日 東急本店

———. 『ピカソ展』1977年10月15日-12月4日 東京都美術館 ほか [廃棄]

———. *Pablo Picasso A Retrospective*, 22 May - 16 September, 1980, New York: Museum of Modern Art, New York

———. 『ピカソ秘蔵のピカソ展: 生誕百年記念』1981年3月5日-4月7日 伊勢丹美術館

———. 『パブロ・ピカソ展 マリーナ・コレクションより生誕100年』1981年11月5日-10日 大阪・なんば高島屋 ほか

———. *Pablo Picasso : Sammlung Marina Picasso*, 14 Februar - 20 April 1981, München: Haus der Kunst München, etc.

———. 『ピカソ展 その芸術の軌跡』1983年4月2日-5月29日 東京国立近代美術館 ほか

———. 『ピカソ版画回顧展』1983年12月6日-1984年1月16日 ラフォーレミュージアム原宿

———. 『二十世紀の巨匠 パブロ・ピカソ展 (絵画編・陶芸篇分冊)』1984年4月28日-5月27日 いわき市美術館

———. 『ピカソ 版画展 リノカットを中心として』1984年5月7日-18日 東京銀座アートセンター

———. 『ピカソ展』1986年10月4日-11月3日 群馬県立近代美術館 [廃棄]

———. 『ピカソ初期の時代展』1987年3月14日-29日 日動画廊 ほか

———. 『開館1周年記念 不滅の巨匠 ピカソ展』1987年8月8日-9月2日 北海道立函館美術館

———. *Picasso, jeunesse et genèse: dessins 1893-1905*, 17 Septembre - 25 Novembre 1991, Paris: Musée picasso, Paris

———. 『ピカソ 愛とエロチシズム』1997年7月23日-8月31日 小田急美術館 ほか [廃棄]

———. 『ピカソ 天才の誕生 バルセロナ・ピカソ美術館展』2002年9月21日-12月8日 上野の森美術館

Pomodoro, Arnaldo. 『アルナルド・ポモドーロ展』1985年2月13日-3月8日 東京・現代彫刻センター ほか

Poncet, Antoine. 『アントワヌ・ボンセ展』2000年11月6日-12月22日 現代彫刻センター ほか

Ray, Man. 『マン・レイ展』1984年8月10日-22日 新宿・小田急グランドギャラリー ほか

Redon, Odilon. 『オディロン・ルドン展』1991年4月9日-27日 フジカワ画廊東京店 [廃棄]

Rembrandt van Rijn. 『レンブラント銅版画展』 [1985年]4月6日-26日 フジカワ画廊東京店 ほか

Renoir, Auguste. 『ルノアールと印象派展』1977年5月12日-17日 伊勢丹新宿店本館7階クローバーホール

———. 『ピエール＝オーギュスト・ルノワール展カタログ』1979年9月26日-11月6日 伊勢丹美術館 ほか [廃棄]

———. *Renoir*, 30 Janvier - 21 Avril 1985, London: Hayward Gallery, etc.

———. 『ルノワール 伝統と革新』2010年1月20日-4月5日 国立新美術館 ほか [廃棄]

Richier, Germaine. 『ジェルメーン・リシエ展』1976年9月6日-18日 東京・現代彫刻センター ほか

Rios, Miguel Angel. 『ミゲル・アンジェル・リオス カタログ 大地の絵画展』1980年10月22日-11月8日 ギャラリー上田 [廃棄]

Rodin, Auguste. 『Rodin 没後50周年』1966年7月23日-9月11日 国立西洋美術館 ほか

———. 『ロダン・ブールデル・マイヨール展』1972年10月10日-22日 日本橋・三越 ほか

———. 『オーギュスト・ロダン鑑賞展』1975年10月17日-25日 大阪・現代彫刻センター

———. 『ロダン展 没後六十年 代表作のすべて』1976年7月24日-8月25日 西武美術館

———. 『ロダン展 1979』1979年4月27日-5月20日 高岡市立美術館 ほか

———. *Rodin, les Mains, les Chirurgiens*, 30 Novembre 1983-9 Janvier 1984, Paris: Musée Rodin

———. 『ロダン展 1985-86』1986年2月15日-3月16日 ラフォーレミュージアム原宿

———. *1898: le balzac de Rodin*, 16 Juin - 13 Septembre 1998, Paris: Musée Rodin

———. 『ロダン展 AUGUSTE RODIN 1998-1999』1998年11月3日-12月13日 高松市美術館 ほか

———. 『ロダンの水墨画とデッサン展』1999年10月30日-12月19日 静岡県立美術館

———. 『ロダンと日本 Rodin et le Japon』2001年4月28日-6月10日 静岡県立美術館 ほか

———. 『オーギュスト・ロダン展 より秘められたロダン』三越 2006年9月5日-11日 日本橋三越本店本館6階

———. 『オーギュスト・ロダン展 永遠のロダン』2008年10月7日-13日 日本橋三越本店本館6階 ほか

Rouault, Georges. 『ルオー・ユトリロ展』1979年4月11日-28日 フジカワ画廊東京店 ほか [廃棄]

———. 『ルオーとその周辺展』 [1984年 (会期不明)] 彌生画廊

———. 『ルオー版画展図録』1995年4月8日-5月14日 北海道立函館美術館 ほか

Rousseau, Henri. 『アンリ・ルソー展 素朴派の世界』1966年9月3日-28日 西武百貨店

Segal, George. 『ジョージ・シーガル展』1982年6月12日-7月11日 西武百貨店 ほか

———. 『George Segal: Recent Painted Sculpture』1990年11月13日-12月15日 Galerie Tokoro

———. 『George Segal: street crossing & new painted sculpture』1994年3月14日-4月30日 Galerie Tokyo

Seurat, Georges. *Seurat*, 9 Avril - 12 Août 1991, Paris: Galeries nationales du Grand Palais

Shahn, Ben. 『ベン・シャーン展』1970年5月21日-7月5日 東京国立近代美術館 [廃棄]

———. 『ベン・シャーン展』1970年5月22日-6月13日 南天子画廊

———. 『ベン・シャーン展: Homage to Ben Shahn, a PARCO Exhibition』1981年[2月3日-10日 心斎橋パルコ]

———. 『ベン・シャーン展カタログ』1991年5月9日-28日 伊勢丹美術館 ほか [廃棄]

———. 『ベン・シャーン 創造のプロセサー』1996年4月27日-5月19日 刈谷市美術館 ほか [廃棄]

———. 『Ben Shahn: ベン・シャーン展』2006年2月11日-3月26日 埼玉県立近代美術館

Signori, Carlo Sergio. 『シニョーリ展』1973年10月15日-27日 現代彫刻センター ほか

Schiele, Egon. 『エゴン・シーレ展』1979年4月27日-6月6日 西武美術館

Soutine, Chaim. 『生誕100年記念 スーチン展』1992年11月18日-12月7日 小田急美術館 ほか [廃棄]

Tamayo, Rufino. 『ルフィーノ・タマヨ展』1976年4月10日-5月30日 東京国立近代美術館 [廃棄]

Toulouse-Lautrec, Henri de. 『ロートレックのパリ展』1979年3月3日-4月15日 ギャラリー・ラフォーレ

———. *Toulouse-Lautrec: les estampes et les affiches de la Bibliothèque Nationale*, 21 August - 6 October 1991, Queensland: Queensland Art Gallery, etc.

———. *Toulouse-Lautrec*, 10 Ottobre 1991- 19 Gennaio 1992, London: Hayward Gallery, etc.

Trémois, Pierre-Yves. 『トレモワ展』1982年7月1日-13日 新宿・伊勢丹美術館 ほか

Zouravliov, Vania. *Vania, réminiscences et fantasmes*, 21 Septembre - 10 Octobre 1987, Mont-Saint-Aignan: Galerie du bellay

Vermeer, Johannes. *Johannes Vermeer*, 12 November 1995 - 11 February 1996, Washington, DC: National Gallery of Art, etc.

———. 『フェルメールとその時代』2000年4月4日-7月2日 大阪市立美術館 [廃棄]

Wyeth, Andrew. *Andrew Wyeth: the Helga pictures*, 24 May - 27 September 1987, Washington, D.C.: National Gallery of Art

———. 『アンドリュー・ワイエス展』1974年4月6日-5月19日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]

———. 『ワイエス展: N.C.、アンドリュー、ジェイムズ3代のワイエスが描くアメリカの原像』1988年3月10日-4月21日 世田谷美術館 [廃棄]

———. 『ワイエス展 ヘルガ』1990年1月2日-2月25日 セゾン美術館 ほか

———. 『アンドリュー・ワイエス展』1995年2月3日-4月2日 愛知県美術館 ほか [廃棄]

Zaborov, Boris. 『ボリス・ザボロフ展』[1986年]10月27日-11月15日 ギャラリー・アート・ポイント

Zadkine, Ossip. 『ザッキン大回顧展 現代彫刻の巨峰』[1973年]2月27日-3月14日 新宿・伊勢丹 ほか

———. 『ザッキンとブラックス展』現代彫刻センター 1977年9月1日-9月24日 現代彫刻センター (東京) ほか

Zitman, Cornelis. 『Zitman ジットマン』1986年4月5日-5月2日 ギャラリー・ところ

Zúñiga, Francisco. 『フランシスコ・スニガ作「三代」設置記念 仙台市彫刻のあるまちづくり「社と彫刻」第8作品』[1985年4月11日-5月18日 現代彫刻センター (東京) ほか]

(10-2-02) 蔵書等 展覧会 図録 日本作家関係 (作家名順)

相原求一朗. 『丸広百貨店創立50周年記念企画 相原求一朗の世界展』[1999年(会期不明)] 丸広百貨店 [廃棄]

———. 『相原求一朗展 北の大地に青春の残像を探し続けた生涯』2007年1月25日-2月6日 日本橋高島屋 ほか

———. 『没後10年 北の大地ひと筋 相原求一朗の世界展』[2009年(会期不明)] 丸広百貨店 [廃棄]

赤穴宏. 『赤穴宏展』1986年5月12日-24日 東京画廊

———. 『画業55年 赤穴宏展 魂へのまなざし』2002年9月28日-11月24日 北海道立釧路芸術館 [廃棄]

秋野不矩. 『秋野不矩作品展』1988年2月22日-3月5日 彩鳳堂画廊 ほか [廃棄]

朝井閑右衛門. 『朝井閑右衛門展 横須賀田浦に住んだ戦後洋画の巨匠』1991年5月31日-6月17日 横須賀市はまゆう会館 [廃棄]

———. 『朝井閑右衛門の世界 寄贈作品展』1997年6月7日-22日 横須賀市はまゆう会館

———. 『朝井閑右衛門と仲間たち展』1997年10月4日-11月9日 平塚市美術館

朝倉響子. 『朝倉響子 Kyoko Asakura』1967年11月15日-12月6日 ギャラリー・キューブ

———. 『朝倉響子展』1973年9月10日-29日 ギャラリー・ユニバース

———. 『朝倉響子彫刻展 Kyoko Asakura』1981年9月14日-10月3日 ギャラリー・ユニバース

———. 『彫刻・朝倉響子展 Kyoko Asakura』2000年9月11日-10月30日 現代彫刻センター

———. 『朝倉響子展 ときの中で Kyoko Asakura』2003年12月20日-2004年1月25日 北九州市立美術館

安次富長昭. 『安次富長昭 抽象への展開』1980年10月5日-15日 沖縄県立博物館 [廃棄]

麻生三郎. 『麻生三郎展 1972』1972年11月22日-12月5日 元町画廊

———. 『麻生三郎アッサン展』1973年4月2日-10日 南天子画廊

———. 『麻生三郎小品展 1950 ~ 1980』1982年11月1日-14日 フジキ画廊

与勇輝. 『妖精の森 与勇輝展』1994年4月27日-5月9日 銀座・松屋 ほか

———. 『子どもの情景 与勇輝展』1996年4月18日-30日 府中・伊勢丹 ほか

———. 『Exposition Atae Yuki』[2006年3月15日-27日 松屋銀座店 ほか

———. 『EXPOSITION ATAE YUKI Les sculptures de tissu』[2006年(会期不明)] バリ・バカラ美術館 [廃棄]

吾妻兼治郎. 『吾妻兼治郎展 Kengiro Azuma』1974年4月16日-27日 現代彫刻センター ほか

———. 『吾妻兼治郎展 Kengiro Azuma』1978年5月10日-25日 現代彫刻センター ほか

———. 『吾妻兼治郎展 Azuma』1988年7月2日-25日 西武美術館 ほか

———. *Azuma La Luce di teglio*, 24 Luglio - 18 Settembre 1999, Tegio: Palazzo Besta

雨宮透. 『雨宮透 彫刻展』2003年7月1日-10日 文翔館ギャラリー

———. 『雨宮透 彫刻展』2007年8月20日-25日 藤和ギャラリー

新井淳一. 『新井淳一の布 '92 手とテクノロジー』1992年3

- 月7日-25日 有楽町朝日ギャラリー
荒井龍男.『荒井龍男展』1992年8月27日-9月23日 大分県立芸術会館 [廃棄]
- 有元利夫.『キャンバスに描かれた室内楽 有元利夫展』1986年5月23日-6月10日 小田急グランドギャラリー
———.『有元利夫展 1980』[1980年(会期不明)] 彌生画廊
———.『有元利夫展 1981』1981年9月16日-10月7日 彌生画廊
———.『有元利夫展 1983』1983年9月24日-10月22日 彌生画廊
———.『有元利夫展 1986』[1986年(会期不明)] 彌生画廊
———.『有元利夫展 1987』1987年9月24日-10月31日 彌生画廊
- 安野光雅.『国際アンデルセン作家 カリジェと安野光雅展メルヘンの世界をたずねて』1992年4月23日-5月5日 高島屋東京店 ほか
———.『安野光雅 平家物語の世界 展』1996年4月23日-5月26日 下関市立美術館 ほか
———.『安野光雅 繪本 三國志展』2008年4月16日-27日 大丸ミュージアム・梅田 ほか
- 池田龍雄.『「ねりまの美術 '97 池田龍雄・中村宏」展』1997年2月8日-3月16日 練馬区立美術館 [廃棄]
- 一色邦彦.『一色邦彦作品展』1980年2月7日-3月1日 現代彫刻センター
- 石本正.『石本正 人物展』1987年10月13日-24日 兼素洞
———.『石本正「花」展』1989年11月7日-18日 兼素洞
———.『石本正 素描展』1991年10月10日-15日 大丸ミュージアム・東京
———.『石本正展 聖なる視線のかなたに』1996年9月25日-10月7日 大丸ミュージアム・東京 ほか
———.『石正美術館開館記念 石本正展』2001年11月1日-13日 大丸ミュージアム・東京 ほか
- 井田勝己.『井田勝己展 内なる時:Katsumi Ida—Inner Time』2000年6月9日-8月10日 現代彫刻センター
- 猪熊弦一郎.『猪熊弦一郎展』1986年11月6日-14日 ミキモトホール
———.『猪熊弦一郎 表紙絵展』1987年7月18日-25日 和光ホール
———.『猪熊弦一郎展』1988年9月8日-20日 ミキモト本店
———.『猪熊弦一郎展 FACES II』1989年11月2日-14日 ミキモト本店4F ホール [廃棄]
———.『猪熊弦一郎展カタログ』1991年9月19日-10月1日 ミキモト本店6F ホール [廃棄]
———.『猪熊弦一郎展』1992年10月22日-11月3日 ミキモトホール
———.『猪熊弦一郎 卒寿記念展「心友イサム・ノグチとともに」』(分冊)1992年11月23日-1993年3月14日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
———.『猪熊弦一郎遺作展—青春の軌跡—』1994年10月9日-1995年1月8日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ほか [廃棄]
- 今西中通.『今西中通遺作展』1982年2月22日-3月13日 ギャラリー新居 [廃棄]
- いわさきちひろ.『開館記念特別展 図録 時をこえる視点 いわさきちひろ・山本正道』[2002年(会期不明)] ちひろ美術館 [廃棄]
- 岩野勇三.『岩野勇三展:Iwano Yuzo Exhibition 1986』1986年7月14日-8月8日 現代彫刻センター ほか
———.『ブロンズの詩情 岩野勇三展』2002年7月6日-9月23日 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
- 上野泰郎.『上野泰郎展:Ueno Yasuo』1991年10月1日-12日 ギャラリーカジカワ東京 ほか
- 上野山清貢.『上野山清貢展 道産子のロマン』1981年5月16日-6月14日 北海道立近代美術館 [廃棄]
- 内田巖.『没後50年 内田巖展 猪熊弦一郎・小磯良平とともに』2004年7月27日-9月26日 新見美術館 ほか
- 梅原龍三郎.『梅原龍三郎展』1974年4月19日-24日 銀座松屋
- 大桐国光.『風景をテーマに 大桐国光彫刻展』1979年11月2日-7日 天満屋岡山店
- 大須賀力.『大須賀力彫刻展:Exhibition of Tsutome Osuka』1974年2月7日-12日 日本橋高島屋
- 荻須高德.『生誕100年記念荻須高德展図録』2001年4月18日-6月3日 目黒区美術館 ほか [廃棄]
———.『荻原守衛と日本の近代彫刻—ロダンの系譜』1985年4月6日-5月6日 埼玉県立近代美術館
- 奥村土牛.『奥村土牛展図録』1985年10月10日-29日 有楽町アート・フォーラム [廃棄]
- 小野具定.『ねりまの美術 '95 刻まれた記憶 小野具定展』1995年2月11日-3月12日 練馬区立美術館 [廃棄]
- 掛井五郎.『北に東に 掛井五郎展』1999年7月31日-9月26日 中川悌二郎記念 旭川市彫刻美術館 ほか
- 片岡球子. *Kataoka Tamako*, 8 Septembre - 10 Octobre 1992, Tokyo: Mitsukoshi Etoile
———.『片岡球子展 画業75年 浮世絵師と富士』1996年12月27日-1997年1月13日 日本橋・三越本店 ほか [廃棄]
- 香月泰男.『香月泰男展』[1981年(会期不明)] 彌生画廊 [廃棄]
———.『マイナス35度の黙示録 香月泰男くシベリア・シリーズ展』1989年9月30日-10月29日 日本民俗資料館(松本)ほか [廃棄]
- 加藤唐九郎.『加藤唐九郎の世界』1982年5月20日-6月1日 新宿・伊勢丹美術館 ほか [廃棄]
———.『追悼 加藤唐九郎展』1987年1月22日-2月3日 名古屋・丸栄 ほか
- 下保昭.『下保昭 水墨画展』1988年10月11日-30日 何必館 京都現代美術館
- 亀倉雄策.『亀倉雄策のポスター』1996年8月6日-9月21日 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室 [廃棄]
- 加山又造.『加山又造 1982』[1983年(会期不明)] 村越画廊 [廃棄]
———.『加山又造屏風絵展』1988年9月15日-27日 日本橋高島屋、ほか
———.『中国巡回帰国記念加山又造展 流麗優美伝統と創造の出会い』1993年9月9日-11月9日 日本橋高島屋 ほか
———.『加山又造屏風絵展』1994年9月1日-9月20日 東京・大丸ミュージアム ほか
———.『加山又造展』1998年3月14日-5月10日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
———.『加山又造・加山哲也二人展 日本画・陶芸』2001年10月3日-16日 東京日本橋高島屋6階美術画廊 ほか
- 岸田劉生.『岸田劉生展』1970年11月14日-12月8日 新宿・小田急百貨店 [廃棄]
———.『没後50年記念 岸田劉生展図録』1979年4月6日-5月27日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
———.『生誕110年 岸田劉生展』2001年2月9日-4月1日 愛知県美術館 ほか [廃棄]
- 木内克.『木内克展 彫刻60年』1974年9月20日-10月2日

- 銀座松屋
- 木村忠太. *Kimura: paintings and works on paper, 1968-1984*. 19 January - 10 March 1985, Washington, D.C.: Phillips Collection
- .『木村忠太展』1994年5月20日-7月3日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
- 清水九兵衛.『清水九兵衛新作展 Kyubei Kiyomizu』1980年2月26日-3月28日 フジテレビギャラリー
- 国吉康雄.『国吉康雄展』1975年9月6日-10月26日 プリザストーン美術館 ほか [廃棄]
- .『国吉康雄』1978年10月25日-11月10日 ギャラリー新居 (大阪)
- .『国吉康雄と近代ヨーロッパの名画展 福武コレクションから』1985年2月23日-3月10日 下関市立美術館 ほか
- 熊谷守一.『熊谷守一 鑑賞プロムナード』1985年9月7日-15日 フジキ画廊アートサロン
- 黒田清輝.『黒田清輝展生誕120年記念』1986年5月10日-6月8日 三重県立美術館 ほか
- 桑原巨守.『桑原巨守彫刻展』1982年8月31日-9月5日 日本橋三越本店7階催物会場
- 小磯良平.『小磯良平展』1978年5月5日-17日 渋谷・東急百貨店本店
- .『小磯良平展』1980年1月8日-2月11日 山梨県立美術館 [廃棄]
- .『小磯良平のすべて 画業60年』1983年3月17日-29日 日本橋高島屋 ほか
- .『小磯良平展 偉大な業績をしのぶ』1997年9月3日-21日 大丸ミュージアム・梅田 ほか
- .『特別展 没後10年 小磯良平展』1998年9月12日-11月8日 神戸市立小磯記念美術館 兵庫県立近代美術館 [廃棄]
- 小糸源太郎.『小糸源太郎展』東急百貨店 1976年5月7日-19日 渋谷・東急百貨店
- 児島善三郎.『児島善三郎 日本的油彩画の創造者 特別展』1998年10月6日-11月23日 渋谷区立松濤美術館
- 後藤純男.『後藤純男個展』1976年10月12日-23日 ギャラリーヤエス ほか
- 後藤禎二.『後藤禎二展 1903-1970 西欧の写実に迫った孤高の画家』2007年9月12日-22日 いのは画廊
- 小西保文.『人間愛の造形 小西保文自選展』1982年10月1日-6日 藤崎5階ギャラリー [廃棄]
- 小松均.『自選小松均個展』1974年8月28日-9月10日 ギャラリーヤエス
- 近藤悠三.『近藤悠三作陶五十年近作展』1972年11月14日-19日 東京日本橋高島屋本館6階美術画廊 [廃棄]
- 齋藤悦子.『齋藤悦子展 四季の詩 人形』1992年11月25日-12月1日 和光ホール
- 齋藤真成.『齋藤真成画集 彼岸から此岸への視覚』1987年8月26日-9月13日 東京銀座アートセンター ほか
- 佐伯祐三.『没後50年記念 佐伯祐三展』1978年6月6日-7月9日 京都国立近代美術館 ほか [廃棄]
- .『生誕100年記念 佐伯祐三展』1998年4月7日-5月17日 大阪市立美術館 ほか [廃棄]
- 笹戸千津子.『彫刻 笹戸千津子展』1981年12月5日-20日 すまいギャラリー
- .『現代の気鋭 笹戸千津子彫刻展』1987年6月18日-23日 丸井今井函館支店4階ギャラリー
- .『笹戸千津子 [彫刻展] 図録』1996年11月14日-19日 大丸心齋橋店南館8階美術画廊
- .『笹戸千津子展』2000年6月12日-24日 ギャラリー新居
- 佐野ぬい.『佐野ぬい新作ドローイング展図録』1992年9月21日-10月17日 杏美画廊 [廃棄]
- .『佐野ぬい展 遠い様式・青の構図』2004年10月30日-12月5日 損保ジャパン東郷青児美術館
- 篠田桃紅. *Catalogue of an exhibition of Toko Shinoda from the Sumi*, 20 January - 22 February 1992, Tokyo: Galerie Tokoro [廃棄]
- 鈴木吾郎.『鈴木吾郎作品集 Goro Suzuki Sculpture Works 1962-2008』2008年9月30日-10月12日 鄭州美術館 ほか
- .『鈴木吾郎 彫塑艺术 第十届亚州艺术节展览系列』 [2008年9月30日-10月12日] 鄭州美術館
- 鈴木新夫.『優しさと厳しさと…具象画にかけた生涯 鈴木新夫展カタログ』1995年11月11日-12月10日 いわき市立美術館 [廃棄]
- 須田寿.『須田寿展』1977年11月22日-12月4日 東京セントラル美術館
- .『須田寿展』1982年5月27日-6月1日 東京・日本橋高島屋 [廃棄]
- .『須田寿近作展』1986年11月27日-12月2日 東京日本橋高島屋
- .『須田寿展』1990年4月26日-5月2日 東京日本橋高島屋 ほか
- 瀬辺佳子.『瀬辺佳子彫刻展 あたらしい なつかしい へうげたる者達』2006年5月15日-27日 ギャラリー新居 (大阪店) ほか
- 芹沢銈介.『型絵染の巨匠 芹沢銈介展』1985年2月7日-19日 日本橋・高島屋 ほか
- .『芹沢銈介展』西浦緑水堂 1988年2月26日-27日 東京美術倶楽部
- 高橋英吉.『高橋英吉遺作展』1975年11月1日-16日 石巻市図書館
- 高山辰雄.『特別展 高山辰雄 作品とその素描』1984年6月9日-7月8日・7月11日-8月5日 山種美術館 [廃棄]
- .『日月星辰 高山辰雄展1985』1985年9月19日-10月1日 東京・日本橋高島屋 ほか
- .『バリ展帰国記念 高山辰雄展』1996年2月27日-3月10日 日本橋三越 ほか
- .『高山辰雄展 画業70周年』2000年3月16日-28日 日本橋・高島屋 ほか
- .『日月星辰 高山辰雄展 2001』2001年10月10日-15日 日本橋高島屋 ほか [廃棄]
- .『高山辰雄展』2007年9月28日-11月25日 資生堂アートハウス [廃棄]
- 竹谷富士雄.『竹谷富士雄展』1973年8月20日-31日 ギャラリー・ためなが ほか
- .『竹谷富士雄展』1983年5月18日-31日 日動画廊
- 田沼武能.『60億の肖像 田沼武能』2004年1月17日-2月22日 東京都写真美術館
- 田淵俊夫.『田淵俊夫:鎌倉 鶴岡八幡宮襖絵「美(うるわ)しき大地」展』2004年8月1日-31日 セレネ美術館 ほか
- 田村史郎.『田村史郎展』1987年9月7日-19日 ギャラリーせいほう
- .『田村史郎展』1996年6月24日-7月6日 ギャラリーせいほう ほか
- 田村能里子.『田村能里子 素描展』1987年1月2日-13日 シブヤ西武

- 丹阿弥丹波子.『丹阿弥丹波子 メヂメント1963-82』1982年11月29日-12月11日 ギャラリー上田
- 千野茂.『千野茂 彫刻展』1980年5月8日-13日 日本橋高島屋
- 長新太.『おしゃべりな絵 長新太展 図録』2004年4月10日-5月23日 宮城県美術館 ほか [廃棄]
- 土谷武.『土谷武展 Takeshi Tsuchitani』2002年5月9日-8月9日 現代彫刻センター
- 勅使河原茜.『勅使河原茜 私の花』[2007年3月8日-13日 日本橋高島屋] [廃棄]
- 勅使河原蒼風.『草月創流70周年記念 勅使河原蒼風・宏二人展』1997年4月10日-15日 東京・日本橋高島屋 ほか
- .『戦後日本を駆け抜けた異色の前衛 勅使河原蒼風』2001年9月22日-11月25日 世田谷美術館 [廃棄]
- 東洲斎写楽.『大写楽展 図録』1995年10月26日-12月10日 東武美術館 [廃棄]
- 戸張孤雁.『戸張孤雁と大正期の彫刻』1994年1月25日-3月6日 愛知県美術館
- 長澤英俊.『長澤英俊 オーロラの向かう所』2009年7月18日-9月23日 川崎市美術館、埼玉県立近代美術館 ほか
- 中井延也.『石心 中井延也展』2000年4月8日-5月28日 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
- 中川一政.『中川一政新作展 1980』1980年2月14日-3月20日 彌生画廊
- .『中川一政近作展 1981』1981年2月14日-3月14日 彌生画廊
- .『中川一政近作展 1983』1983年2月14日-3月5日 彌生画廊
- .『中川一政墨彩展 1988』1988年1月11日-2月27日 彌生画廊
- .『中川一政と梅原流三郎展』2004年10月2日-11月28日 真鶴町立中川一政美術館
- 中谷泰.『中谷泰展 清々しいぬくもり・人と土と』1988年4月2日-5月8日 三重県立美術館 [廃棄]
- 中谷千代子.『中谷千代子 絵本の世界展 その原画とともに・遺作展』1982年12月1日-11日 サエグサ画廊
- 中西利雄.『没後50年 水彩画の革新者 中西利雄展』1997年12月13日-1998年2月1日 茨城県近代美術館 ほか [廃棄]
- 流政之.『NAGARE 1958-1981』1981年10月3日-20日 ギャラリー・ところ ほか
- 難波田龍起.『造形の詩魂 難波田龍起白選展』1974年6月18日-7月13日 フジテレビギャラリー
- .『難波田龍起・柳原義達・須田寿一三人展』1986年2月15日-3月15日 ギャラリー・ところ
- 野田哲也.『野田哲也』1981年11月24日-12月5日 シロタ画廊
- .『野田哲也展 Tetsuya Noda Works 1983-87』1987年12月7日-19日 フジテレビギャラリー
- 野田英夫.『憂愁の日系画家・野田英夫展』1985年4月28日-11月23日 信濃デッサン館
- 野見山暁治.『野見山暁治展 その、動く気配の一瞬の形を』1996年10月12日-12月1日 練馬区立美術館
- 長谷川潔.『パリに生きた銅版画の巨匠 長谷川潔展 版画・油彩・デッサンを中心に』1993年4月29日-7月7日 東京都庭園美術館 [廃棄]
- 羽生輝.『くしろの造形 1 羽生輝展』2002年5月11日-6月23日 釧路市立美術館 [廃棄]
- 浜田知明.『浜田知明の全容』1996年1月31日-2月18日 小田急美術館 ほか [廃棄]
- .『浜田知明 新作彫刻展 1997-1999』1999年10月1日-16日 ヒロ画廊 ほか
- .『浜田知明—版画と彫刻による人間の探究』2001年10月3日-11月11日 熊本県立美術館
- 林武.『生誕100年記念 林武展』1996年6月15日-7月28日 東京都庭園美術館 ほか [廃棄]
- 原勝四郎.『原勝四郎展図録』1973年10月6日-28日 神奈川県立近代美術館 [廃棄]
- 平塚運一.『85年記念 平塚運一版画展カタログ』1980年12月11日-16日 伊勢丹新宿店美術画廊
- 福王寺一彦.『福王寺一彦 1972-1999』1999年4月22日-27日 日本橋高島屋 ほか
- 福田繁雄.『福田繁雄展』1986年11月4日-22日 ギャラリー・せいほう
- 福原信三.『光の詩情 福原信三の世界』1994年9月13日-24日 資生堂ギャラリー
- 藤島武二.『藤島武二と9人の若き洋画家たち』1993年10月17日-12月19日 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 [廃棄]
- 藤田喬平.『古希記念「藤田喬平の世界」展』1991年9月5日-10日 日本橋高島屋 ほか
- 藤田吉香.『第1回宮本三郎記念賞 藤田吉香展』1982年3月23日-28日 日本橋・三越 ほっか
- 藤田嗣治.『藤田嗣治追悼展』1968年9月7日-10月20日 東京セントラル美術館 ほか [廃棄]
- 二上百合子. *Tsutsugaki-aizome-momen: (Sammlung Yuriko Futagami)*, 10 Juli - 4 September 1983, Kevelaer: Niederrheinisches Museum für Volkskunde und Kulturgeschichte
- 舟越桂.『舟越桂』1985年3月22日-4月6日 西村画廊
- .『舟越桂』1988年11月21日-12月10日 西村画廊
- 舟越保武.『舟越保武 彫刻・デッサン展』1974年6月24日-7月6日 セントラルギャラリー
- .『舟越保武展』1980年2月28日-3月6日 日動サロン、3月12日-22日 名古屋日動画廊
- .『舟越保武彫刻展』1982年9月9日-14日 日本橋高島屋
- .『舟越保武 全貌展』1989年4月17日-28日・5月8日-20日 ギャラリー・せいほう
- .『舟越保武 彫刻・デッサン '92』1992年12月7日-19日 ギャラリー・せいほう
- .『聖なる世界・美の心 舟越保武展』2003年7月5日-10月5日 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
- 船山滋生.『父・船山馨のDNA 船山滋生の彫刻と挿画』2007年4月28日-6月17日 北海道立文学館
- 細川宗英.『彫刻家 細川宗英展』1997年10月18日-11月9日 ギャラリー 82
- 堀内正和.『渋谷区松濤美術館 開館5周年記念特別展 堀内正和』1986年9月30日-11月24日 渋谷区松濤美術館
- 本郷新.『本郷新彫刻 50年展』1975年9月11日-16日 日本橋高島屋
- 前田寛治.『前田寛治展 山陰の詩魂 知られざる側面に照明』1981年11月4日-21日 ギャラリー新居(大阪)
- 前田常作.『前田常作展』1972年4月18日-30日 東京セントラル美術館 [廃棄]
- 前田青邨.『前田青邨展』1975年5月14日-7月6日 東京国立近代美術館 [廃棄]
- 前田昌良.『前田昌良展 鉄の橋 1992』[1992年12月(会期不明)] 彌生画廊
- 松本竣介.『松本竣介 '72南天子画廊特別展』1972年10月

16日-28日 南天子画廊 ほか
 ——『松本竣介展』1986年4月5日-6月15日 東京国立近代美術館 ほか〔廃棄〕
 ——『松本竣介素描シリーズ その1:Femmes(女たち)』1992年6月30日-9月27日 大川美術館
 ——『没後50年 松本竣介展』1998年10月17日-11月29日 練馬区立美術館 ほか〔廃棄〕
 丸木位里・俊『中国を描く 丸木位里・丸木俊展』1982年3月25日-31日 松坂屋上野店
 ——『ドナウ河から黒海へブルガリア スケッチ』[1982年10月18日-30日 檜画廊]
 ——『生命への熱い視線』(3分冊)1995年6月1日-8月31日 [池田20世紀美術館]
 峯田敏郎『峯田敏郎』2003年4月5日-6月8日 宗教法人長泉院付属現代彫刻美術館
 丸山正三『丸山正三展 2003 豊かな知性・魅惑の色彩 近作に至る画業の軌跡』2003年3月27日-4月6日 新潟市美術館
 三岸好太郎『三岸好太郎と三岸節子展図録』1992年6月27日-8月6日 北海道立三岸好太郎美術館 ほか〔廃棄〕
 みつはしちかこ『ロマンチックな日常展 みつはしちかこ・小池邦夫絵手紙物語』[2000年(会期会場不明)]〔廃棄〕
 宮本三郎『宮本三郎 素描展 舞妓』1982年1月20日-31日 フジキ画廊ニューギャラリー
 村井正誠『村井正誠 油彩 素描 版画』1987年10月24日-11月30日 ギャラリー・ところ〔廃棄〕
 森芳雄『森芳雄展』1975年9月12日-17日 渋谷・東急百貨店本店 ほか〔廃棄〕
 森田曠平『森田曠平作品』[1973年10月31日-11月5日 日本橋高島屋 ほか]
 ——『森田曠平展』1981年9月23日-29日 日本橋高島屋 ほか
 ——『特別展 森田曠平 作品と素描』1992年3月28日-4月26日・4月29日-5月24日 山種美術館〔廃棄〕
 ——『森田曠平展』1998年2月7日-3月8日 横浜美術館〔廃棄〕
 保田春彦『保田春彦』1982年11月8日-27日 南天子画廊
 ——『保田春彦』1995年4月4日-5月7日 神奈川県立近代美術館 ほか
 柳原義達『柳原義達展 道標 鳩の連作を中心とした近作 彫刻とデッサン』1974年10月18日-11月2日 大阪・現代彫刻センター ほか
 ——『柳原義達自選展』1986年4月23日-5月20日 現代彫刻センター ほか
 ——『現代彫刻センター創立25周年記念 柳原義達新作展』1991年10月11日-11月8日 現代彫刻センター
 ——『柳原義達展』1993年9月10日-10月17日 東京国立近代美術館 ほか
 ——『道標：生のあかしを刻む 柳原義達展』1995年11月11日-12月10日 宮城県美術館 ほか
 ——『彫刻と新作画による 柳原義達展』1999年11月5日-2000年1月25日 現代彫刻センター
 ——『卒寿記念 柳原義達展』2000年6月3日-7月20日 世田谷美術館
 山縣壽夫『武蔵野美術大学教授退任記念 山縣壽夫展』2002年9月9日-10月12日 武蔵野美術大学美術資料図書館
 山口薫『画業四十年の回顧 山口薫展』1967年6月16日-21日 銀座松屋〔廃棄〕
 ——『山口薫展』1976年10月12日-16日 祇園画廊

——『山口薫展』1978年10月16日-28日 Gallery Ueda
 ——『特別展 山口薫』1982年9月18日-10月15日 京都現代美術館〔廃棄〕
 山口長男『山口長男展』図録』1993年10月1日-31日 鹿児島市立美術館 ほか〔廃棄〕
 山下菊二『山下菊二展』1996年2月24日-3月24日 神奈川県立近代美術館 ほか〔廃棄〕
 山本丘人『二人展 山本丘人 森芳雄』[1974年(会期不明)] 彌生画廊〔廃棄〕
 山本正道『山本正道彫刻展』[1975年]1月20日-2月8日 ギャラリー・ユニバース
 ——『山本正道彫刻展』1980年10月20日-11月8日 ギャラリー・ユニバース
 ——『「山本正道」展 Masamichi Yamamoto』1999年10月30日-12月5日 宮城県美術館 ほか
 ——『退任記念 山本正道展 刻まれた時の記憶』2009年1月8日-25日 東京藝術大学美術館
 ——『開館40周年記念 山本正道展 風・記憶・かたち』2009年5月16日-7月12日 彫刻の森美術館
 ——『山本正道展 Masamichi Yamamoto』2009年10月3日-11月23日 札幌芸術の森美術館
 横山大観『横山大観記念館開館記念 横山大観展』1977年1月4日-11日 伊勢丹新宿展本館7階クローバーホール〔廃棄〕
 ——『横山大観名作展』1991年9月21日-11月4日 茨城県近代美術館〔廃棄〕
 吉田芳夫『彫刻家 吉田芳夫展 その伝統と近代』1994年4月6日-17日 小田急美術館 ほか
 萬鉄五郎『萬鉄五郎展』[1982年(会期不明)] ギャラリー新居〔廃棄〕
 良寛『良寛禅師遺墨集』2000年3月26日-30日 洋協アートホール〔廃棄〕
 若松光一郎『線と響 若松光一郎』1983年5月7日-30日 ストライプハウス美術館〔廃棄〕
 脇田和『脇田和展』1968年3月1日-14日 いと画廊
 ——『現代洋画家デッサン・シリーズ 脇田和展』1982年4月9日-14日 東京銀座・松屋 ほか
 ——『脇田和 自選展』1988年10月25日-11月5日 東京梅田画廊〔廃棄〕
 ——『脇田美術館所蔵 脇田和展 鳥と遊ぶ』2010年10月5日-12月19日 佐川美術館〔廃棄〕
 渡辺成良『渡辺成良展 魂の具現』1991年4月3日-15日 西武百貨店船橋店
 渡辺隆根『渡辺隆根展』2003年3月17日-29日 ギャラリーせいほう
 ——『渡辺隆根展』2006年4月1日-6月25日 現代彫刻美術館

(10-203) 蔵書等 展覧会 図録 その他

『メキシコ美術展』1955年9月10日-10月20日 東京国立博物館
The family of man : the greatest photographic exhibition of all time, 503 pictures from 68 countries, 24 January - 4 May 1955, New York: Museum of Modern Art, etc.
 『イタリア現代彫刻展』1961年1月17日-29日 日本橋・高島屋 ほか
Amlach Art Proto-Iranien et Tapis Anciens d'Orient, 1 Novembre 1964 - 3 Janvier 1965, Neuchâtel: Musée d'

ethnographie de Neuchâtel
 『Республиканец Художня Виставка 1963 ГОДА, МИСТЕЦТВО, [1963] 『共和党芸術展 1963』芸術社 [1963] 会期・会場不明』
 『ミロのビーナス 特別公開』1964年4月8日-5月17日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
 Musée Rodin: Troisième Exposition Internationale de Sculpture Contemporaine, [1966], Paris: Musée Rodin
 『幸画廊五周年展』1968年4月6日-8日 芝東京プリンスホテル
 『世界民族美術展』1969年8月30日-10月12日 東京国立博物館
 『ソ連所蔵名品百選展』1971年4月10日-5月30日 東京国立博物館 ほか
 『ボルドー美術館名作展』1971年11月19日-1972年1月15日 神奈川県立近代美術館 [廃棄]
 『ヨーロッパ版画の巨匠たち デューラーからゴヤまで』1972年2月14日-26日 フジテレビギャラリー
 『現代イタリア彫刻の全貌展』1972年5月27日-11月30日 彫刻の森美術館
 『メトロポリタン美術館展特別図録』1972年8月10日-10月1日 ほか [廃棄]
 『ニューギニア原始美術展: 南太平洋の秘境』1972年9月5日-10日 日本橋・三越本店 ギャラリーアネックス
 『イラン皇族シャーラム殿下コレクション展』1972年9月7日-12日 西武百貨店・渋谷
 『西洋古美術展 紀元前から中世』1972年9月7日-12日 西武百貨店・渋谷
 『江戸おんな百景 英泉浮世絵展』[1972年(会期会場不明)]
 『ペルシア先史土器と陶器展』1973年1月25日-2月6日 松坂屋五階画廊・美術サロン
 『ペルシア名器展』1973年3月13日-18日 日本橋高島屋本館 6階 美術画廊
 『20世紀美術のハイライト 第2輯: Masters of 20th Century』1973年3月20日-31日 フジテレビギャラリー
 『Japan Art Auction (4) 1973 絵画・彫刻・工芸・古美術』1973年3月22日-24日 日本洋画商ホール
 『第2回 考古と美術展 古代中近東・地中海』1973年3月27日-4月1日 日本橋・三越
 『サンパウロ美術館展』1973年4月5日-24日 東京・松坂屋上野店 ほか [廃棄]
 『第5回 フランス絵画展』1973年4月13日-24日 伊勢丹
 『19世紀フランスの巨匠たち: 世界の版画展3』1973年6月5日-10日 伊勢丹新宿店
 『第7回 東西美術特別展』1973年9月21日-23日 東京プリンスホテル プロビデンスホール
 『Japan Art Auction (5) 1973 日本画・古美術・茶道具』1973年9月27日-29日 日本洋画商ホール
 『東洋古美術逸品展』1973年9月27日-10月2日 西武百貨店・渋谷
 『世界の巨匠展: バルビゾン、印象派、エコール・ド・パリ』1973年10月6日-16日 伊勢丹新宿店
 『汎欧州美術展: 古代-近世』1973年10月18日-23日 東京日本橋高島屋8階催場
 『チェカンカ展: ソ連の伝統・鍛金芸術』[1973年10月(会期会場不明)]
 『台湾山地文物展』1973年11月4日-12月31日 [台北市立美術館]

『ティグリス=ユーフラテス文明展』1974年3月1日-4月14日 東京国立博物館 [廃棄]
 『大工道具展』1974年4月17日-6月17日 町田郷土資料館 [廃棄]
 『現代イタリア彫刻展: マンズー・グレコ・ボディーニまで 具象彫刻13傑』1974年5月2日-7日 西武百貨店・渋谷
 『東洋古美術展』1974年9月17日-23日 三越本店6階美術特選画廊
 『キュービズムの彫刻展』1974年9月19日-10月9日 現代彫刻センター ほか
 『第六回 東美特別展』1974年10月8日-12日 東京美術倶楽部
 『未知の遺産 マヤ文明の秘宝展』読売新聞社 [1974年(会期会場不明)]
 『江戸の浮世絵師 歌麿・写楽・北斎・広重展』1975年1月4日-13日 伊勢丹新宿店
 『20世紀の巨匠たち 素描と彫刻小品展』1975年1月10日-2月21日 フジテレビギャラリー
 『現代衣服の源流展 Inventive Clothes 1909-1939』1975年3月25日-5月25日 京都国立近代美術館
 『ハマー・コレクションによる 泰西名画展』1975年9月20日-11月3日 西武美術館 ほか [廃棄]
 『第3回 国際美術展 埋もれた古代文明を探る』1975年11月18日-24日 日本橋三越7階特設会場
 『ロンドンから帰って来た大浮世絵展』1975年12月12日-24日 西武百貨店・池袋
 『古今名家書蹟絵画二百選』1976年1月23日-1月28日 銀座松屋8階催場
 『ドイツ・リアリズム 1919-1933』1976年1月24日-3月21日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
 『伊万里名陶二〇〇選 栗田美術館所蔵』1976年1月30日-2月9日 伊勢丹新宿店
 『韓国美術五千年展』1976年2月24日-4月18日 京都国立博物館 ほか [廃棄]
 『中華人民共和国 古代青銅器展』1976年3月30日-5月23日 東京国立博物館 ほか [廃棄]
 『清親・五葉・深水版画展: 第三回浮世絵展 明治・大正の浮世絵師』1976年3月26日-4月7日 西武百貨店・池袋
 『近代フランス彫刻展: 巨匠とエコール・ド・パリの名作を集めて』1976年6月22日-25日 日本橋三越7階特設会場
 『ロンドンから帰って来た大浮世絵展: 西武旭川店開店一周年記念』1976年7月23日-28日 西武百貨店・旭川
 『第4回 国際美術展: 古代エーゲ海域の秘宝』1976年8月31日-9月5日 日本橋三越7階特設会場
 『エコール・ド・パリーの作家たち展』1976年10月4日-14日 フジカワ画廊東京店 ほか [廃棄]
 『第7回東美特別展』1976年10月8日-11日 東京美術倶楽部
 『ドイツ表現派展』1976年11月22日-30日 伊勢丹新宿店
 『日本の抽象絵画: アンフォルメルを中心として』1977年2月16日-3月6日 岡山県総合文化センター
 『世界の浮世絵名品展: パリ・ロンドン・ニューヨーク』1977年6月29日-7月11日 伊勢丹新宿店
 『素朴な画家たち』1977年7月9日-8月28日 東京国立近代美術館 ほか [廃棄]
 『ミュンヘン近代美術展《開館記念》世紀末から青騎士へ』1977年7月21日-8月21日 北海道立近代美術館
 『エルミタージュ美術館展』1977年9月10日-10月23日 国立西洋美術館 ほか
 『オリエント文明の十字路: 古代シリア展』1977年11月2日

-21日 愛知県美術館 [廃棄]
 『第5回 国際美術展：甦えるシリア・エジプト・ギリシャ・ローマ』 [1977年(会期不明)] 日本橋三越7階特設会場
 『新春馬の美術展：東西先史から現代』 1978年1月4日-17日 東京日本橋高島屋8階催場 [廃棄]
 『ブリヂストン美術館名作展 石橋美術館増改築落成記念特別展』 1978年1月7日-2月12日 石橋美術館
 『特別展 東洋古代ガラス』 1978年2月7日-3月12日 東京国立博物館 [廃棄]
 『ガラスの美：古代エジプトよりアール・ヌーボー期まで』 1978年5月18日-23日 東京日本橋高島屋6階 美術画廊
 『第33回 全道展』 1978年6月8日-18日 北海道立近代美術館 ほか [廃棄]
 『メキシコ文明展』 1978年7月18日-30日 日本橋・三越本店
 『第6回 国際美術展：古代文明の遺産と栄光の近代美術工芸』 1978年8月22日-27日 日本橋三越7階特設会場
 『アフリカ伝統芸術展』 [1978年(会期不明)] 西武美術館
 『現代ヨーロッパ絵画・彫刻展：馬をテーマに』 [1978年(会期不明)] 現代彫刻センター
 『彫刻の「音楽とダンス」展』 1979年4月16日-5月12日 現代彫刻センター (東京)ほか
 『イタリア印象派展 I Macchiaioli 近代絵画のあけぼの』 1979年4月26日-5月8日 伊勢丹・新宿店
 『本間美術館創立33周年記念 宋元中国絵画展』 1979年10月1日-30日 本間美術館 [廃棄]
 『ヘレニズムの神々展 ギリシア・ローマ〜ガンダーラ』 [1979年(会期不明)] 西武百貨店
 『Sotheby's Preview：サザビー・カウンター開設記念』 1980年3月7日-17日 西武百貨店・池袋
 『アンデス古代裂展：Ancient Textils of the Andes』 1980年3月24日-4月12日 ギャラリー上田
 『「現代彫刻・日本の八人」展 世界に生きる 形とこころの結晶』 1980年5月16日-27日 藤崎6階特設会場(仙台)
 『第二回 ギルガメシュ・グループ展』 1980年6月25日-7月5日 彌生画廊
 『ペルー移住80周年記念 謎のインカ黄金秘宝展』 1980年1月22日-2月3日 大阪・北浜・三越大阪支店 [廃棄]
 『第三回 ギルガメシュ・グループ展』 1980年11月25日-30日 芝公園 ギャラリー三日月
 『近世巨匠名品展』 [1980年(会期不明)] 彌生画廊
 『景德鎮古陶磁展：清代から近代まで』 1981年1月8日-13日 東京日本橋高島屋8階催場 ほか
 『北京の秘蔵美術展』 1981年4月23日-29日 伊勢丹新宿店
 『ジェイコ現代彫刻作品集』 1981年7月6日-15日 ギャラリージェイコ
 『謎の絵師 写楽と傑作浮世絵展：海外から発掘された幻の名作』 1981年8月29日-9月15日 岩手県民会館
 『はこで考える - あそびの木箱 -』 1981年10月31日-12月25日 北海道立近代美術館 [廃棄]
 『第四回 ギルガメシュ・グループ展』 1981年11月28日-12月5日 芝公園 ギャラリー三日月
 『Ancient Oriental Art』 [1981年(会期不明)] ギャラリー上田
 『第31回 五都展図録』 [1982年(会期会場不明)] [廃棄]
 『三重県立美術館開館記念 サンパウロ美術館展』 1982年9月25日-10月24日 三重県立美術館 [廃棄]
 『第9回 創画展』 [1982年] 10月8日-24日 東京都美術館 ほか
 『印象派からエコール・ド・パリへ』 1982年11月3日-12月12日 埼玉県立近代美術館 [廃棄]
 『北海道の大自然を綴る 優佳良織・木内綾展』 1982年11月

6日-7日 東京紀尾井町福田屋
 『ボストン美術館像 日本絵画名品展』 1983年3月15日-5月8日 東京国立博物館 ほか
 『弘法大師と密教美術』 1983年3月19日-5月5日 京都国立博物館 ほか [廃棄]
 『10人の巨匠によるヨーロッパ絵画名作展』 1983年5月10日-6月30日 ウイルデンスタイン東京
 『日本美術交流会による 洋画一世紀展』 1983年9月29日-10月4日 上野・松坂屋本館6階 [廃棄]
 『印象派・後期印象派展 ロンドン大学コートールド・コレクション』 1984年1月12日-2月28日 日本橋高島屋 ほか
 『パキスタン ガンダーラ美術展 図録』 1984年2月25日-5月6日 西武美術館 ほか [廃棄]
 『インド古代彫刻展』 1984年3月20日-5月6日 東京国立博物館 ほか
 『世界の巨匠彫刻展』 1984年3月30日-4月9日 秋田市文化会館
 『現代イタリア巨匠彫刻展』 1984年4月5日-27日 かわさき IBM 市民文化ギャラリー
 『ドイツ表現派展：ブーフハイム・コレクションによる』 1984年4月7日-5月6日 神奈川県立近代美術館 ほか
 『東京藝術大学所蔵名作展』 1984年4月19日-5月1日 上野・松坂屋
 『幕末・明治 KANBAN 展』 1984年4月19日-5月8日 日本橋高島屋 ほか
 『現代彫刻の展開 1930-80 第3回 塑造彫刻の展開1』 1984年5月15日-26日 [ギャラリーせいほう]
 『現代彫刻の展開 1930-80 第9回 現代彫刻の展開5』 1984年9月3日-14日 [ギャラリーせいほう]
 『中国陶俑の美』 1984年9月22日-11月4日 名古屋市博物館 ほか
 『特別展「大和の埴輪」』 1984年10月9日-11月18日 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 [廃棄]
 『志野 黄瀬戸 織部 桃山と唐九郎』 1984年10月31日-11月13日 丸栄スカイル ほか
 『ヨーロッパ巨匠彫刻展 ロダンからムアまで』 1984年11月3日-12月2日 村内美術館
 『Textile Art-From The Silk Road [ペルシャの絹織物展]』 [1984年(会期不明)] ギャラリー上田
 『親と子で見るフランス名画展』 1985年6月1日-23日 姫路市立美術館 ほか [廃棄]
 『ガンダーラの彫刻：東洋の古典的人間像の源流』 1985年9月6日-10月6日 大和文華館展示室
 『ヨーロッパ近代彫刻の巨匠たち ロダンからヘンリー・ムアまで』 1985年10月1日-13日 新潟三越
 『第2回 東京野外現代彫刻展』 1986年3月29日-5月18日 砧公園
 『江戸の民芸展』 1986年1月2日-28日 有楽町アート・ファラム
 『芸術と素朴』 1986年3月30日-6月15日 世田谷美術館 ほか [廃棄]
 『「国宝」吉祥天女と「国宝」三神像展』 1986年4月27日-5月6日 国際染織美術館開館 [廃棄]
 『特別展 北方民族・鮮麗な織の文化展』 [1986年5月10日-8月25日 国際染織美術館]
 『ヨーロッパ近代彫刻の巨匠たち』 1987年9月18日-27日 稚内総合文化センター小ホール
 『「THE TOHOKU IMAGE みちのくの造形」図録』 1987年10月10日-11月29日 宮城県美術館 [廃棄]

- 『Space conception スペースコンセプト』1987年12月15日-27日 東京セントラルアネックス
- 『タピスリー・女神の凱旋：ペトラルカの詩・名声の凱旋をテーマに』[1987年(会期不明) 国際染織美術館]
- 『蛸崎波響「夷酋列像」フランスからの里帰り展』[1988年(会期不明)] 丸井今井函館支店[廃棄]
- 『ジャポニスム展図録』1988年5月17日-8月15日 グラン・パレ(パリ)ほか[廃棄]
- 『20世紀イタリア具象彫刻展』1988年6月8日-7月31日 岐阜県美術館 ほか
- 『「古代からの贈り物」II Selected by N.Horiuchi』[1988年] 6月25日-7月5日 フジギ画廊モダン
- 『戦後美術の原像展<戦争の刻印と鎮魂>』1988年7月30日-8月28日 いわき市立美術館
- 『コンド族の真鍮工芸』[1988年7月(会期会場不明)]
- 『古代ギリシャ・ローマ展：オランダ国立ライデン古代博物館所蔵』1989年3月15日-4月16日 小田急ランドギャラリー ほか
- 『ヴァチカン美術館 特別展 古代ギリシャからルネッサンス、バロックまで』1989年3月21日-5月21日 国立西洋美術館 ほか[廃棄]
- 『「古代からの贈り物」III Selected by N.Horiuchi』[1989年] 4月15日-5月14日 アート・ミュージアム・ギンザ
- 『ブリューゲルとネーデルラント風景画 プラハ国立美術館所蔵』1990年3月20日-5月27日 国立西洋美術館 ほか
- 『「古代からの贈り物」IV Selected by N.Horiuchi』1990年3月29日-4月2日 Tokyo Art Expo
- 『浮遊する彫刻』1990年5月3日-6月10日 練馬区立美術館
- 『古代ギリシャ美術展』1990年8月18日-9月23日 東京都庭園美術館[廃棄]
- 『ドイツ フォン・デア・ハイト美術館所蔵 水彩・素描・版画に見る20世紀西洋の絵画展』1991年3月7日-26日 新宿・伊勢丹美術館 ほか[廃棄]
- 『Human Figures From Ancient to Modern』1991年4月1日-27日 ギャラリー上田
- 『「THE TOHOKU IMAGE みちのくの造形II 人のかたち」図録』1992年4月4日-6月7日 宮城県美術館[廃棄]
- 『横浜・コンスタンツァ姉妹都市提携15周年記念 現代日本の版画と写真の展開～いまヨコハマから～展』1992年6月20日-7月4日 コンスタンツァ美術館 ほか[廃棄]
- 『花宇宙 生命樹 アジアの染め・織り・飾り』1992年8月11日-23日 福岡市博物館 ほか[廃棄]
- Award-Winning Works : From The International Biennial Print Exhibition : 国際版画双年展*, 8 October - 6 November 1992, Taipei: Taipei Gallery
- The Exquisite Art of Contemporary Japanese Prints : 現代日本版画精鋭展*, 17- 28 October 1992, Taipei: HOWARD SALON
- 『印象派とヨーロッパ近代絵画展』1993年4月21日-5月10日 大丸ミュージアム・梅田[廃棄]
- 『新潟県立近代美術館開館記念展 大光コレクション展』1993年7月15日-9月5日 新潟県立近代美術館[廃棄]
- 『第7回神戸具象彫刻大賞展』1993年9月1日-10月11日 神戸ハーバーランド特設会場
- 『「近代の文人画」展図録』1993年9月23日-10月24日 宮城県美術館[廃棄]
- Les Etrusques et l'Europe*, 15 Septembre - 14 Décembre 1992, Paris: Galeries Nationales du Grand Palais, etc.
- 『洲之内コレクション 気まぐれ美術館 図録』1994年2月5日-3月21日 宮城県美術館[廃棄]
- 『聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵 アーヘン市立ズエルモント＝ルートヴィヒ美術館所蔵』1994年4月26日-6月26日 国立西洋美術館 ほか
- 『第49回 全道展』1994年6月22日-7月3日 札幌市民ギャラリー ほか
- 『日本美の精華 琳派』1994年11月24日-12月6日 京都・高島屋 ほか
- 『「クラブボン・コレクション 浮世絵名品展」図録』[1995年(会期不明) 松坂屋上野店 ほか] [廃棄]
- 『東寺国宝展：創建1200年記念』1995年4月11日-5月14日 京都国立博物館 ほか
- 『西洋近代彫刻の巨匠展：スミソニアン・ハーシュホーン美術館所蔵』1995年7月1日-8月6日 滋賀県立近代美術館 ほか
- Les champs de la sculpture le catalogue*, 11 Avril - 9 Juin 1996, Paris: Avenue des Champs-Élysées
- 『大英博物館「アッシリア大文明展 芸術と帝国」図録』1996年4月13日-6月2日 山口県立美術館 ほか[廃棄]
- 『エルミタージュ美術館特別名品展 神と人間』1996年8月1日-10月17日 新潟県立近代美術館 ほか[廃棄]
- Ancient Art from the Shumei Family Collection*, 20 June - 1 September, 1996, New York: The Metropolitan museum of Art, etc.
- 『特別展「瓦と喜怒哀楽」』1997年10月10日-11月9日 高浜市やきものの里かわら美術館[廃棄]
- 『日本近代美術の潮流 東京国立近代美術館名品』1997年11月1日-12月14日 宇都宮美術館[廃棄]
- 『ピュリツァー賞写真展：20世紀の証言』1998年2月13日-3月8日 Bunkamura ザ・ミュージアム ほか[廃棄]
- 『具象彫刻の現在』1999年3月3日-10日 日本橋高島屋
- 『比叡山延暦寺の名宝と国宝・梵鐘』1999年4月17日-5月30日・9月11日-10月17日 佐川美術館
- 『特別展 浮世絵師たちの神仏 錦絵と大絵馬に見る江戸の庶民信仰』1999年6月8日-7月25日 渋谷区松濤美術館
- 『上海博物館 青銅器名宝展』[2000年(会期不明)] 佐川美術館[廃棄]
- 『グラフィック・デザインのモダニズム』2000年1月29日-3月20日 サントリーミュージアム ほか
- 『日本国宝展 文化財保護法50年記念』2000年3月25日-5月7日 東京国立博物館
- 『2000 国際マンガ展 インニューヨーク』2000年5月1日-30日 ニューヨーク国連本部ビル[廃棄]
- 『北海道美術の20世紀II 美術はなにを記録してきたか』2000年10月6日-11月29日 北海道立帯広美術館[廃棄]
- 『中国国宝展』2000年10月24日-12月17日 東京国立博物館[廃棄]
- 『アートになった動物たち』2001年4月20日-6月3日 福島県立美術館 ほか
- 『イタリア彫刻の20世紀』2001年4月21日-6月10日 横浜美術館 ほか
- Vanzago Arte Senza Confini Italia Giappone*, 12 Maggio - 17 Giugno 2001, [??] : Fondazione Ferrario
- 『ウィーン分離派 1898 - 1918』2001年11月3日-12月24日 宮城県美術館 ほか[廃棄]
- 『第5回京都国際マンガ展2002』2002年9月10日-22日 京都市美術館別館[廃棄]
- 『第57回 全道展』2002年6月19日-30日 札幌市民ギャラリー
- 『ポーラ美術館開館記念展 光のなかの女たち』2002年9月6

日-2003年6月3日 ポーラ美術館 [廃棄]
 『コレクションにみる画家たちのパリ』2003年6月7日-9月23日 ポーラ美術館 [廃棄]
 『コレクションにみるベル・エポック』2003年9月27日-2004年1月27日 ポーラ美術館 [廃棄]
 『コレクションにみる 子どもの世界』2004年6月5日-2005年1月10日 ポーラ美術館 [廃棄]
 『国宝中尊寺展 奥州藤原氏三代の黄金文化と義経の東下り』2004年10月9日-11月28日 佐川美術館 [廃棄]
 『Shinwa Art Auction: platinum Edition』 [2004年] シンワアートオークション
 『AJC オークション』2004年12月11日 AJC ギャラリー
 『始皇帝と彩色兵馬俑展』2006年8月1日-10月9日 江戸東京博物館1階企画展示室 ほか [廃棄]
 『ウルビーノのヴィーナス』2008年3月4日-5月18日 国立西洋美術館 [廃棄]
 『ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画』2009年2月28日-6月14日 国立西洋美術館 ほか [廃棄]
 『誕生！中国文明』2010年7月6日-9月5日 東京国立博物館 ほか [廃棄]
 『第18回 東美特別展』2010年10月15日-17日 東京美術倶楽部
 『ガンダーラ美術展 Gandhran Art』 (開催年不明) 9月27日-29日 赤坂プリンスホテル
 『シルクロード美術展 The Art of Silkroad』 (開催年不明) 12月19日-20日 帝国ホテル新館2階 菊の間
 『シルクロード美術展』 (開催年不明) 3月18日-3月30日 玉川高島屋6階ホール
 『ペルシャの市場 The Art of Iran』 (開催年不明) 8月1日-6日 上野・京成8階催場
 『ヨーロッパ・アンティーク・フェア 第6回西洋伝統工芸美術逸品展』 (開催年不明) 10月17日-22日 西武百貨店・池袋
 『ガンダーラ彫刻展』 [会期不明・松屋]
 『ガンダーラ彫刻展』 [会期不明・松屋]
 『ガンダーラ彫刻展』 [会期不明・欧亜美術]

(10-2-04) 蔵書等 展覧会 図録 切り抜き

[掲載書不明] 4種

(10-2-05) 蔵書等 展覧会 チラシ、パンフレットなど

『川上澄生版画展』案内ハガキ [1959年2月24日-3月1日] 日本橋白木屋5階画廊
 『朝倉文夫遺作展』パンフレット [1966年4月19日-24日] 東京日本橋高島屋
 『松島正幸展』案内ハガキ 1973年4月3日-9日 日動サロン
 『ヘンリー・ムアによるヘンリー・ムア展』チラシ [1974年5月18日-6月16日] 鎌倉近代美術館
 『開廊5周年記念 フランス絵画名品展』案内ハガキ [1975年5月19日-6月14日] ギャラリー・アート・ポイント
 『脇田和版画素描自選展』パンフレット [1976年4月23日-5月1日] 東京銀座和光
 『マイヨール版画と彫刻 鑑賞展』案内ハガキ 1976年6月7日-19日 [現代彫刻センター]
 『染布と服展 グループ「華」』案内ハガキ 1976年6月29日-7月5日 越後屋美術サロン
 『後藤純男個展』案内状 1976年10月12日-23日 ギャラリーヤエス

『世界の版画シリーズ12 エドヴァルト・ムンク展』案内ハガキ 1977年2月3日-8日 新宿伊勢丹本館7階美術画廊
 『染布と服展 第3回 グループ「華」』案内ハガキ 1977年6月28日-7月4日 越後屋美術サロン
 『ヘンリー・ムア展 彫刻の新作と版画の全て (120点)』案内ハガキ [1978年3月27日-4月14日] フジカワ画廊
 『小磯良平展』招待券 [1978年5月5日-17日] 渋谷東急百貨店本店
 『炎の凍結 ガラスの美 エミール・ガレとナンシー派によるガラス工芸』案内ハガキ [1978年6月8日-8月6日] 北海道立近代美術館
 『染布と服展 第4回 グループ「華」』案内ハガキ 1978年6月13日-19日 越後屋美術サロン
 『ガンダーラ美術展』案内ハガキ 1978年9月7日-12日 伊勢丹新宿店本館7階美術画廊
 『作品集出版記念 マリノ・マリーニ自選素描展』案内ハガキ 1978年11月10日-25日 現代彫刻センター
 『サンパウロ美術館所蔵 ドガ・彫刻のすべて』招待券 1979年2月24日-3月25日 鎌倉近代美術館
 『没後50年記念 岸田劉生展』招待券 1979年4月6日-5月27日 東京国立近代美術館
 『ヘレニズムの神々展』案内ハガキ [1979年6月21日-26日] シブヤ西武 A 館7階=美術画廊
 『サンパウロ美術館所蔵 ドガ・彫刻のすべて』招待券 1979年7月3日-11日 旭川西武8階特設会場
 『仙台市彫刻のあるまちづくり「杜と彫刻」第3作品“夏の思い出”完成記念 エミリオ・グレコ展』チラシ 1979年10月25日-30日 仙台市民ギャラリー
 『日本の洋陶器フェア』パンフレット [1979年11月2日-7日] 京王5階特設会場
 『ダウントウン その哀愁とロマン 国吉康雄/ベン・シャーン展』チラシ 1981年8月28日-9月16日 シブヤ東急百貨店本店6階
 『ピーター・カンベル展』案内ハガキ 1984年2月13日-25日 ギャラリー上田
 『ウィーン美術史美術館展 ハプスブルク家収集の名画』案内状 [1984年9月15日-11月4日] 国立西洋美術館 ※切り抜き
 『野見山暁治 宮崎進 脇田和 新作三人展』パンフレット [1984年11月1日-21日・11月22日-12月12日] 杏美術館
 『LES 3 DUCHAMPS』パンフレット 1984年11月2日-12月15日 ギャラリー・ところ
 『柳原義達展「孤独なる彫刻」(筑摩書房) 出版記念』案内ハガキ 1985年4月23日-5月4日 ギャラリーせいほう
 『ピカソ陶芸展』パンフレット 1985年5月4日-19日 おかざき世界子ども美術博物館
 『ガンダーラ彫刻展』パンフレット [1985年9月10日-15日] 月刊美術画廊
 『ガンダーラ出土美術小品展』1985年10月22日-27日 ギャラリー ロイヤル サロン ギンザ ※切り抜き
 『第4回 ベン・ニコルソン展 油彩18点・版画』案内ハガキ 1985年12月2日-21日 カサハラ画廊
 『マチス・ポスター展』案内ハガキ [1986年2月5日-22日] Galerie 412
 『イタリア古代陶器展 紀元前六世紀～四世紀』案内ハガキ [1986年2月12日-28日] ギャラリー上田
 『笹戸千津子展』封筒 1986年6月18日-7月19日 原画廊
 『白根美代子展』 [1986年6月19日-7月8日] ギャラリーオーリーブ ※切り抜き

「エミリオ・グレコ鑑賞展 創立20周年記念」[1987年2月23日-3月28日 現代彫刻センター?] ※切り抜き
「龍星閣コレクション 李朝の絵画展」特別優待割引券[1988年9月2日-19日] 船橋・西武美術館
「ドガ展」チラシ 1988年10月27日-11月15日 伊勢丹美術館
「岩野勇三追悼展」チラシ 1989年3月22日-4月1日 みずさわ画廊
「猪熊弦一郎展」案内ハガキ 1989年11月13日-22日 ギャラリーミキモト
「笹戸千津子彫刻展」チラシ 1990年3月3日-25日 山形美術館
「すまい第132回シリーズ 彫刻 笹戸千津子展」案内ハガキ 1991年1月5日-31日 すまいギャラリー
「マリノ・マリーニ展」案内状 1992年5月28日-6月25日 朝倉美術館
「齋藤悦子展 四季の詩・人形」案内状 [1992年11月25日-12月1日] 東京銀座和光
「舟越保武彫刻・デッサン '92」案内ハガキ 1992年12月7日-19日 ギャラリーせいほう
「岩野勇三展」チラシ 1993年3月16日-5月9日 宮城県美術館 佐藤忠良記念館アートホール
「アフリカ彫刻展 カルロ・モンズィーノ コレクション」チラシ 1993年4月3日-5月9日 宮城県美術館
「没後20年 海の聖母 詩人 吉田一穂展」チラシ 1993年7月13日-9月21日 市立小樽文学館
「岩野勇三彫刻展」チラシ [1993年10月9日-11月7日] 上越市立総合博物館
「妖精の森 与勇輝展」チラシ [1994年4月27日-5月9日] 松屋銀座8階大催事場
「パリ・ロダン美術館所蔵 ロダン・大理石彫刻展」案内ハガキ 1994年10月4日-1995年1月16日 静岡県立美術館
「上野泰郎 多摩美術大学退職記念展」案内ハガキ 1996年5月8日-6月8日 多摩美術大学付属美術館
「所蔵品展 船山馨の文学世界」チラシ 1997年1月14日-3月16日 北海道文学館
「シャルル・デスピオ展」チラシ 1997年6月7日-7月13日 宮城県美術館
「燐光の巨頭から九相へ 東千賀展」案内ハガキ 1999年6月17日-22日 ぎゃるり・しらの
「三春のシャツ、2001年秋展」案内ハガキ 2001年10月25日-11月3日 目白・三春堂ギャラリー
「開廊吉岡堅二展」案内ハガキ 2002年6月17日-28日 夢土画廊
「岩野勇三展」チラシ 2002年7月6日-9月23日 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
「アドルフ・ゴットリーブ展」案内状 2002年11月5日-12月14日 ウィルデンスタイン東京
「杉山惣二テラコッタの世界 '02」2002年12月3日-9日 泰明画廊
「伊藤馨一彫刻展」案内ハガキ 2002年12月10日-23日 日本橋三越本店6階アートスクエア
「字家天童大人 Letter Space 展」案内ハガキ 2003年1月6日-18日 ギャラリーミヤハラ
「鴨下葉子展」案内ハガキ 2003年1月10日-26日 アートサロン ロロ
「島剛展」案内ハガキ 2003年1月10日-2月15日 村松画廊
「SQUEEKS スクィークス the 2nd」案内ハガキ 2003年2月10日-15日 銀座東和ギャラリー
「ジョン・インキョン個展」案内ハガキ 2003年7月8日-15

日 The Cartoon Gallery
「生誕100周年記念 猪熊弦一郎展」案内ハガキ [2003年11月23日-2004年2月8日] 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
「小黒幸太郎 中国を往く 油彩 こころの旅路展」案内ハガキ 2004年4月1日-13日 たましんギャラリー
「春真風 大村富彦 彫刻展」案内ハガキ 2006年5月15日-6月16日 しずおか信用金庫本店1階ギャラリー
「異邦人たちのパリ 1900-2005」チラシ 2007年2月7日-5月7日 国立新美術館
「伊藤太一 EXHIBITION」案内ハガキ 2008年7月22日-9月9日 スパイラルマーケット
「フランク・ブラングイン」チラシ 2010年2月23日-5月30日 国立西洋美術館
「朝倉展展 アバンギャルド少女」チラシ 2010年9月10日-11月7日 Bank ART Studio NYK 全館
「阿部誠一 彫塑展」パンフレット [(開催年不明) 10月15日-24日] [今治] 市民会館談話室
「地中海・オリエン特 古代美術展」パンフレット [(開催年不明) 5月13日-22日] 松坂屋本店8階美術画廊
「ガンダーラ地方出土 ヘレニズムの佛教美術展」パンフレット [(開催年不明) 4月16日-28日] 芝公園
「藤江孝の木遊展」礼状? 不明
「展覧会チラシか」不明 ※切り抜き

(10-2-06) 蔵書等 展覧会 ポスター

「近代彫刻の三大巨匠 ロダン・プールデル・マイヨール展」[1972年] 10月10日-10月22日 日本橋三越
「現代イタリア彫刻の巨匠 ジャコモ・マンズー展」1972年 11月14日-12月23日 東京国立近代美術館
「ジャコモ・メッティ展 現代彫刻の巨星展」(2種) [1973年9月1日-18日 西武百貨店・池袋店 ほか]
「柳原義達展 道標・鳩の連作を中心とした近作 彫刻とデッサン」[1974年10月18日-11月2日 大阪・現代彫刻センター ほか]
「ロンドンから帰って来た大浮世絵展 展示即売会」[1975年] 12月12日-24日 西武池袋店
「エミリオ・グレコ 彫刻とデッサン展」[1976年] 4月20日-25日 日本橋三越
「没後60年・代表作のすべて ロダン展」1976年7月24日-8月25日 西武美術館
「生命の美と人間愛に祈りをこめて 彫刻・舟越保武展」[1977年5月28日-6月12日 岩手県民会館展示場]
「ヘンリー・ムーア素描と彫刻展: 生命の讃歌」(2種) [1978年1月21日-2月12日 いわき市文化センター ほか]
「笹戸千津子彫刻展」1984年6月8日-20日 近鉄松下百貨店
「現代彫刻界の気鋭 笹戸千津子展」1984年8月14日-19日 福岡天神岩田屋
「現代彫刻界の気鋭 笹戸千津子展」1985年2月15日-27日 藤崎
「BRANCUSI」1985年6月5日-7月31日 ギャラリーとこ
「仙台市彫刻のあるまちづくり「杜と彫刻」第11作品『牧歌』設置記念 岩野勇三展」1987年11月6日-11日 藤崎
“Picasso jeunesse et genèse”, 18 Septembre - 25 Novembre 1991, Paris: Musée Picasso
「ブロンズの華 笹戸千津子展」1997年9月11日-16日 丸井今井札幌
「シャルル・デスピオ展」1998年2月14日-3月22日 茨城県近代美術館

『笹戸千津子彫刻展』2004年2月4日-29日 杉並会館ギャラリー

(10-3) 蔵書等 逐次刊行物

『旭川市民文芸』(23) 第34回市民文化祭実行委員会 1981年11月 [廃棄]
『アサヒグラフ』(1550) 朝日新聞社 1954年5月
『アサヒグラフ別冊』1(1), 15(3) 朝日新聞社 1975年8月、1989年3月 [廃棄]
『朝日クロニクル週刊20世紀』(88) 朝日新聞社 2000年10月 [廃棄]
『朝日ジャーナル』(1169, 1047) 朝日新聞社 1981年7月10日、1977年4月1日
『アート グラフ美術展望 創刊号』(1) アートシティ社 1982年 [廃棄]
『アート・トップ』(14, 46-48, 51, 83) 芸術新聞社 1973年1月、1978年6月、8月、10月、1979年4月、1984年10月 [14, 47を除いて廃棄]
『アートビジョン』30(1) ビジョン企画出版社 2002年9月 [廃棄]
『アトリエ』(15-18, 324, 368, 726, 692, 697, 698, 731, 732) アトリエ社 1938年12月、1957年9月、10月、1987年8月、10月、1985年3月、4月、1988年1月、2月 [15-18, 324, 368, 726を除いて廃棄]
『aprire アプリーレ』(1) 岩手県立美術館 [2002年4月] [廃棄]
『Amica アミカ』6(9) 文化出版局 1976年9月 [廃棄]
『一枚の繪』(53) 銀座美術館 1976年3月号
『いんなあととりつぶ』4(13) いんなあととりつぶ社 1975年1月 [廃棄]
『美しいキモノ』(110) 婦人画報社 1979年 [廃棄]
『繪』(41, 192, 339, 409) 日動画廊 1975年11月、1980年2月、1992年5月、1998年3月 [廃棄]
『SD 別冊』(14) 鹿島出版会 1981年11月 [廃棄]
『EQUIPE DE CINEMA』(30) 岩波ホール 1979年 [廃棄]
『NHK ラジオ ロシア語講座』41(2) 日本放送出版協会 2003年5月 [ロシア民話の世界 かぶ]
『OPEN-AIR 彫刻の森美術館・美ヶ原高原美術館ニュース』彫刻の森美術館 2003年7月
『風の子』(33) 劇団風の子協議会 2001年 [廃棄]
『神奈川県立近代美術館 新館準備ニュース』(2) 神奈川県立近代美術館 2003年4月1日
『画報風俗史』(6-14) 国際文化情報社 1958年11月-1959年5月
『画報近代百年史』(1-3, 5, 12) 国際文化情報社 1951年11月、1952年6月、1959年12月、1960年1月、4月
『画報現代史』(4, 7, 8, 11) 国際文化情報社 1954年10月-1955年5月 ※欠損あり
『カメラ毎日』29(1), 30(12), 31(7), 32(4) 毎日新聞社 1982年1月、1983年12月、1984年7月、1985年4月 [廃棄]
『畫論』(15) 造形藝術社 1939年11月 (特集: 寫實論)
『季刊アニメ』(3) 平凡社 1975年12月
『季刊 銀花』(22, 23, 26, 27, 134) 文化出版局 1975年6月、9月、1976年6月、9月、2003年6月 [廃棄]
『季刊 古美術』(43) 三彩社 1973年12月 [廃棄]
『季刊現代彫刻』(3, 8, 11, 13, 43, 61, 78, 100) 聖豊社 1973年3月、1975年3月、1976年12月、1977年6月、1980年12月、1982年7月、1983年12月、1988年3月
『季刊 薔』(1, 3, 4) 創樹社美術出版 1975年12月、1976年6月、9月 [1を除いて廃棄]

『北の話』(56, 160, 171, 184, 187, 189, 199, 201) 凍原社 1973年5月、1990年12月、1992年10月、1994年12月、1995年6月、10月、1997年6月、10月
『郷土誌「あさひかわ」』18(3, 5) あさひかわ社 1977年3月、5月
『暮しの設計』16(2) 中央公論社 1978年4月 [廃棄]
『クロワッサン』(136, 167) 平凡出版 1983年7月10日、1984年10月25日 [廃棄]
『芸術グラフ』6(6) 日本美術出版販売 1985年11月 [廃棄]
『藝術新潮』(281, 296, 299, 301-304, 306-311, 314, 315, 316, 318, 319, 321, 324, 325, 327, 330, 332, 333, 335, 336, 341, 357, 406, 415, 416) 新潮社 1973年5月、1974年8月、11月、1975年1月-4月、6月-11月、1976年2月-4月、1976年6月、7月、9月、12月、1977年1月、3月、6月、8月、9月、11月、12月、1978年5月、1979年9月、1983年10月、1984年7月、8月 [415を除いて廃棄]
『月刊絵手紙』(58) 日本絵手紙協会 2000年10月 [廃棄]
『月刊広告批評』(100) マドラ出版 1987年11月 [廃棄]
『月刊 渋谷手帖』9(9, 10) 渋谷 CM センター 1968年1月、2月
『月刊「創」』4(2, 9) 総合評論社 1974年2月、9月 [廃棄]
『研鑽 けんさん』(295) ヤマギシ会本部 1994年3月25日
『国際文化画報』12(12) 国際文化情報社 1960年12月
『古美術』(44) 三彩社 1974年4月
『古美術緑青』(19) マリア書房 1996年5月 [廃棄]
『財団法人札幌市芸術文化財団 事業年報 平成17年度』札幌市芸術文化財団 2006年 [廃棄]
『The lion』27(4) ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所 1984年4月 [廃棄]
『三彩』(292, 293, 297, 300, 337-345, 349-357, 359-362, 364, 367, 369, 377, 380, 395, 398, 402, 413, 424, 431, 451, 460) 三彩社 1972年9月、10月、1973年1月、3月、1975年9月-1976年5月、6月-1977年5月、7月-10月、12月、1978年2月、4月、1979年2月、5月、1980年3月、8月、11月、1981年3月、1982年2月、1983年1月、2月、8月、1985年4月、1986年1月 [廃棄]
『サンデー毎日』(4169, 4439) 毎日新聞社 1996年10月13日、2001年4月8日 [廃棄]
『市民のグラフ こうべ』(79) 神戸市広報課 1979年4月
『ジェット・トラベル』(193) 日本航空 1978年1月 [廃棄]
『室内』(257) 工作社 1976年5月 [廃棄]
『週刊朝日』(3372, 4164, 4165) 朝日新聞出版 1982年8月20日、1996年10月18日、1996年10月25日 [廃棄]
『週刊アニマルライフ』(3) 日本メール・オーダー社 1971年3月9日
『週刊新潮』(1169) 新潮社 1978年9月21日 [廃棄]
『週刊美術館』(8) 小学館 2000年3月 (特集: フェルメール)
『週刊文春』(1906) 文藝春秋 1996年11月14日
『週刊読売』(1510, 1875) 読売新聞社 1977年9月17日 [特集: 天晴れ!! 王貞治]、1984年9月30日
『白い国の詩』(平成11年度版、平成12年度版) 東北電力 2000年、2001年
『晨(しん)』(2) 晨發行所 1984年
『新建築』43(7) 新建築社 1968年7月
『新潮45』(83, 121) 新潮社 1989年3月、1992年5月
『新生』3(1) 新生社 1985年1月
『新日本文学』(316) 新日本文学会 1973年7月
『新美術新聞』(164, 165, 593, 753, 781) 1978年7月1日、7月11日、1991年2月1日、1995年12月11日、1996年11月1日
『成城文藝』(108) 成城大学文芸学部 1984年8月

『世界動物百科』(40, 41) 朝日新聞社 1971年3月21日、12月19日
『造形芸術』(194) 造形芸術研究会 1976年1月
『草月』(253) 草月出版 2000年12月
『ダイヤモンド』(373) 明治生命保険相互会社 1982年1月[あなたのバイオリズム]
『太陽』(54, 84, 88, 90, 94, 101, 103, 115, 141, 146, 157, 158, 190, 198 平凡社 1967年11月、1970年6月、10月、12月、1971年4月、11月、1972年1月、1973年1月、1975年2月、7月、1976年6月、7月、1979年2月、10月
『旅』(566) 日本交通社 1974年6月
『中央公論』(1138) 中央公論社 1981年7月
『長陽 福祉と健康』46(7) 北村社会保険出版 2007年5月
『筑波大学芸術研究報』(17) 抜刷 筑波大学芸術学系 1996年 峯田敏郎「木を素材とした彫刻表現 制作体験をもとにして」
『東京藝術大学美術学部杜の会会報 杜』(13) 東京藝術大学美術学部杜の会編集委員会 1999年10月15日
『トレンズ』(19, 20) アメリカ大使館広報文化局 発行年月不明
『日本美術』(133) 日本美術社 1976年10月
『日本の美術』(10, 15, 21) 至文堂 1967年2月、7月、1968年1月(特集:肖像彫刻)[奈良市内寺社のパンフレットを含む]
『日本の歴史』(13, 14, 16, 22) 国際文化情報社、国文社 1960年5月-1961年5月(表紙:朝倉撰)
『ノーザン・ヴォイス 日本航空・北海道マルチ情報誌』(2) 日航商事 札幌店 1993年
『母の友』(660) 福音館書店 2008年5月
『馬術(はみ)』(30) 日本中央競馬会 1985年3月
『林』(244) 北海道造林振興協会 1972年7月
『版画芸術』10(38) 阿部出版 1982年4月
『美術』(2, 6) 日本美術出版社 1944年2月、7月
『美術運動』(55) 日本美術会 1958年4月[特集:丸木位里・俊子・共同制作 原爆之圖]
『美術グラフ』(25) 日本美術出版社 1983年11月
『美術ジャーナル』(復刊21) 美術ジャーナル 1974年7月
『美術手帖』(456, 559) 美術出版社 1979年11月、1986年3月
『美術の窓』(205, 208, 211, 286, 327) 生活の友社 2000年8月、11月、2001年1月、2006年11月、2009年5月
『Vision』4(9, 12), 5(2, 5, 7), 6(3) ビジョン企画出版社 1974年9月、12月、1975年2月、6月、8月、1976年5月
『ビューすぎなみ』(15) 杉並区 1993年6月[笹戸千津子「想」]
『婦人画報』(858, 859) 婦人画報社 1975年2月、3月
『文藝春秋』60(10), 66(6) 文藝春秋 1982年9月[読者投稿「シベリア強制収容所の記録」優秀作5篇]、1988年5月
『文藝春秋デラックス』2(4), 3(9), 5(3) 文藝春秋 1975年3月、1976年9月、1978年2月
『別冊アトリエ』(3) アトリエ社 1950年5月
『別冊一枚の繪』(7, 23) 一枚の繪 1982年12月、1987年1月
『別冊週刊読売』(5) 読売新聞社 1970年7月
『別冊太陽:日本のこころ』(6, 7, 13, 15, 110) 平凡社 1974年3月、6月、1975年11月、1976年1月、2000年7月
『別冊みづゑ』(14, 28) 美術出版社 1956年12月[特集:ロダン・ブールデル・マイヨール]、1961年2月[特集:イタリア現代彫刻]
『北海道立近代美術館 年報(昭和53年度)』北海道立近代美術館 1979年10月
『北海道立近代美術館 紀要』(7) 北海道立近代美術館 1985

年3月
『ほうずき』(159) ほうずき編集室 1990年5月
『ミセス』(405) 文化出版局 1990年1月
『みづゑ』(545, 682, 832, 870, 900) 美術出版社 1951年3月、1962年1月、1974年7月、1977年9月、1980年3月
『民藝の仲間』(350, 408) 劇団民藝 1983年6月1日、1989年1月
『ニッコールクラブ会報』(70, 72-76, 79-85, 87, 88, 93, 94, 135-140, 142-144, 148, 176, 188, 191, 199) ニッコールクラブ 1974年10月、1975年3月-1976年3月、1977年1月-1978年6月、1979年1月、4月、1980年6月、9月、1990年12月-1992年4月、9月、1993年1月、3月、1994年3月、2001年3月、2004年3月、12月、2006年12月
『ニッコールクラブ』(ニッコールクラブ撮影会フォトコンテスト入賞作品特集号 1974年度、1975年度) ニッコールクラブ 1975年3月、1976年2月
『ニッコールクラブジュニア』(18, 29, 30, 33, 34) ニッコールクラブ 1975年3月、1978年1月、3月、1979年1月、3月
Lettre de l'Académie des beaux-arts, nos. 41, 46, Paris: Institut de France, 2005 été [Camille Claudel], 2006 automne [Académie des Beaux-Art, les partenariats]
NOTIZIARIO SEMESTRALE, no. 24, Rome: Accademia Nazionale di San Luca, 2010
XXe siècle. Nouvelle série, nos. 8, 9, Paris: Les Nourritures terrestres, Janvier, Juin 1957

(10-4) 蔵書等 逐次刊行物 切り抜き

『東京朝日新聞』1912年7月4日[佐藤忠良の誕生日の紙面]
『毎日新聞』1951年10月25日「社会党 事実上分裂す」
『彫塑』(17-29) 日本彫塑家倶楽部 [1954年9月-1955年9月] 朝倉文夫「彫塑技法(13-24)」
『朝日新聞』1958年9月18日「チョゴリザ山頂を踏む」
[掲載紙不明][1958年]「建設に暮れ、建設にあけた朝鮮=写真は平壤の労働者アパートの建設」
[掲載紙不明][1960年]「喪章をつけて静かなデモ「安保批判の会」の文化人ら」
[掲載紙不明][1960年]三山洞「文化人の葬列 喪章を胸に 安保反対デモ」
[掲載紙不明][1960年]横山泰三「社会戯評 波の花 喪章をつけて静かなデモ」
『旭の塩安』(12) 旭硝子 1960年5月 表紙
『東京新聞』1961年1月22日夕刊 今泉篤男「近代様式への共通な自身 イタリア現代彫刻展をみて」
『毎日新聞』1961年1月23日 本郷新「物と人間の格闘—イタリア現代彫刻展—」
[掲載紙不明]1964年7月16日 白井健三郎「F・モーリアック著「内面の記録」」
『アカハタ』1965年4月25日「ベトナム美術家同盟のよびかけにこたえる日本美術会の手紙」
『朝日新聞』[1965年夕刊] 具島兼三郎「米の錯誤と幻想—気になるベトナム政策—」
『総合演劇雑誌 テアトロ』(277) テアトロ社 1966年9月 表紙
[掲載紙不明][1967年]野口富士男「船山馨「石狩平野」」[挿絵を佐藤忠良が担当しているが言及なし]
『東京新聞』[1970年5月20日夕刊]久保貞次郎「ベン・シャーン展から(3)」
『地上』27(7) 家の光協会 1973年7月 表紙
『地上』28(2) 家の光協会 1974年2月 表紙

- 『朝日新聞』[1974年9月]小川正隆「ヨーロッパ美術の旅から(上)」
- 『掲載紙不明』[1975年]「ヒューマンリストの素顔 風雪刻む本郷新氏の自選回顧展」
- 『掲載紙不明』[1975年]「本郷新(彫刻) 森芳雄(洋画) 両氏の回顧展」
- 『掲載紙不明』[1975年]「本郷新作品集」
- 『東京新聞』[1976年5月]寺田千壘「威圧、永遠感はあるか 中華人民共和国古代青銅器展 峻厳な秩序の要求」
- 『掲載紙不明』[1976年5月]「出光・白鶴両美術館 交換展の試みに成果」
- 『北海道新聞』1976年11月22日、25日、26日「道東の四季 釧路・幣舞橋の彫像」(4回連載のうちの3回) [舟越保武《春》、柳原義達《秋》、本郷新《冬》]
- 『掲載紙不明』1977年4月22日 林邦雄「桑沢洋子さんをしのぶ」
- 『毎日新聞』1977年10月29日「タウン☆待合せ」
- 『山形新聞』[1977年10月29日]「エミリオ・グレコ名作展」
- 『山形新聞』[1977年11月6日-10日、13日]「エミリオ・グレコ展への招待」(6回連載)
- 『山形新聞』[1977年11月9日]「エミリオ・グレコ名作展」
- 『山形新聞』[1977年11月9日夕刊]「優美に五十余点 山形グレコ名作展ひらく」
- 『山形新聞』[1977年11月10日] 染谷英五「うたい上げる量塊 エミリオ・グレコ名作展」
- 『山形新聞』[1977年11月11日]「グレコ展 魅惑する世界の名作 山形 開幕を前ににぎわう」
- 『朝日新聞』[1979年] [女性の写真]
- 『現代の眼』(282) 東京国立近代美術館 1978年5月 細川宗英「マリノ・マリーニとの出会い」
- 『現代の眼』(298) 東京国立近代美術館 1979年9月 浜田知明「サルバドール・ダリの一点」
- 『文化評論』(221) 新日本出版社 1979年9月 口絵 [笹戸千洋子《若い座像》]
- 『読売新聞』1979年9月18日 堀内正和「カルダーの世界展」
- 『掲載紙不明』1979年10月11日 坂崎乙郎「新美術時評 批評家の墮落」
- 『東京新聞』1979年10月29日「この二十面相はいったい何だ? 「ガンダーラ仏」から出てきた”二つの顔”」
- 『北海タイムス』1979年11月2日「本郷新彫刻記念館” 彫刻芸術の拠点に”」
- 『掲載紙不明』[1979年?] 中牟田佳彰「むしばまれるブロンズ像」
- 『いわき民報』[1979年]「いわき抄いわき市民ギャラリー」
- 『掲載誌不明』[1980年] 若松光一郎「市民ギャラリーと美術館のこと等」
- 『オール讀物』35(3) 文藝春秋 1980年3月 表紙
- 『東京新聞』1980年4月30日(伸)「太郎とにらめっこ」
- 『週刊朝日』(3257) 朝日新聞出版 1980年8月15日「値段のうつつりかわり 乾海苔」
- 『サンケイ新聞』1980年10月23日 佐藤欣子「われら” 食いつぶし世代” わが子らに何を残せるか」
- 『いわき民報』1980年11月4日夕刊「畠山院長らを表彰 共立病院 盛大に30年記念式典」
- 『いわき民報』1980年11月8日、15日夕刊 若松紀志子「生きている (34, 35)」
- 『掲載紙不明』[1980年] 飯田善国「ヘンリー・ムアとの対話」
- 『東京新聞』1981年1月5日 佐多稲子「私の一冊 人間洞察の深さ チェーホフの短編集」
- 『石巻かほく』(258) [1981年2月18日]「ブロンズ像で「潮音」 帰る 雪のなか総合体育館へ」[高橋英吉]
- 『石巻新聞』1981年2月20日「今秋10月22日除幕式 ソロモン平和公園 潮音のブロンズ像6月下旬舟で」[高橋英吉]
- 『東京新聞』1981年3月24日「常用漢字 1945字音訓語例一覧」
- 『いわき民報』1981年3月24日夕刊「地方文化の夜明け いわき市立美術館のなかみ (4)」
- 『赤旗』[1981年4月12日] 匠秀夫「彫刻家・本郷新 虐げられた民衆への愛」
- 『いわき民報』1981年4月14日夕刊「地方文化の夜明け いわき市立美術館のなかみ (7)」
- 『赤旗』[1981年5月] 岡田知子「社会空間を求めた本郷彫刻」
- 『日本経済新聞』[1981年6月9日]「人仕事 匠秀夫」
- 『朝日新聞』1981年6月24日「” 丹下建築” アフリカに ナイジェリアの新首都建設」
- 『掲載紙不明』1981年7月29日 鈴木敬「柳原義達の彫刻 具象への起爆剤」
- 『東京新聞』1981年8月5日夕刊「激励に包まれ” 終章” 舟越馨さん (67歳) 安らかに逝く」
- 『赤旗』[1981年8月9日] 山口泰二「柳原義達著 柳原義達作品集」
- 『東京新聞』1981年8月5日夕刊「船山先生に見ていただき たかった」[船山馨]
- 『朝日新聞』1981年8月5日「「茜いろの坂」登りつめ 船山馨さん死去」
- 『東京新聞』1981年8月8日夕刊 小松伸六「船山馨氏の人と文学」
- 『掲載紙不明』[1981年9月]「故吉田首相銅像、除幕へ」[舟越保武]
- 『朝日ジャーナル』(1179) 朝日新聞社 1981年9月25日(剣) 「専門分野では批判を避ける 絵画評論家」
- 『読売新聞』1981年9月17日「常用漢字表一覧」
- 『婦人生活』35(10) 婦人生活社 1981年10月 古城一明「愛と芸術に生きる わが青春の 池田満寿夫」
- 『新具象』(2) 1981年11月15日「柳原義達先生に聞く」
- 『掲載誌不明』[1982年?] [パブロ・ピカソ《役者》]
- 『朝日新聞』1982年7月10日夕刊「新人国記 '82 北海道 (38) 風土が育てる 古典 (304) [伊福部昭]
- 『北海道新聞』[1982年8月9日]「没後一周年「船山馨文学展」」[ポスター同封]
- 『朝日新聞』1983年2月28日夕刊「違法投票は患者のため わたしの言い分 東北大学医学部付属病院長 葛西森夫さん (60)」
- 『赤旗』[1983年5月29日] (江)「山根基世さん 世の中が見えてきた感じ」
- 『三彩』(429) 三彩社 1983年6月 末永照和「連載ピカソの道化師たち 第8章 道化服のポール」、千足伸行「名作を語る ポール・ゴーギャン「ヨセフとポテパルの妻」をめぐって」
- 『朝日新聞』1983年7月14日 小松秀司「赤い鳥文学賞を受けた童話作家 杉みき子さん」
- 『朝日新聞』[1983年7月18日夕刊] 亀倉雄策「東京の美観 損なう電柱の林立 なくす運動推進しよう」
- 『朝日新聞』1983年7月31日 雑喉潤「ゴジラ三十年目” に 怪獣映画音楽を集大成した 伊福部昭さん」
- 『一枚の繪』(142) 一枚の繪 1983年8月 エドガー・ドガ《ギド・モーパッサン「テリエの家」より》
- 『サンケイ新聞』1983年10月5日 日野耕之祐「第3回高村光太郎大賞展」

- 『北海道新聞』1983年11月3日「社会文化賞 木内綾さん」
『福島民報』1983年11月22日 若松紀志子「「おしん」に思う」
『海燕』2(12)ベネッセコーポレーション 1983年12月 佐藤朔「ジャコメッティ展を観る」
『北海タイムス』1984年1月23日「和田武雄さん」
『北海道新聞』1984年1月30日 ホクレン、パウルライス広告[木内綾]
『朝日新聞』1984年4月8日「狭い校庭公園とドッキング」
『赤旗』1984年6月10日 藤田観龍「彫刻のある風景 ふたり 朝倉響子・作 仙台市・西公園」
『朝日新聞』1984年10月8日夕刊 米倉守「いま伝統は・美術(2) 高山辰雄氏」
『朝日新聞』1984年10月17日夕刊 澤地久枝「中野重治のぬくさ」
『福島民報』1984年10月21日 芳見弘一「マチの中の彫刻」[笹戸千津子《若き立像82》]
『いわき民報』1984年10月27日夕刊「市役所前に「若き立像'82」すまいの山崎さんが寄贈」[笹戸千津子]
『朝日新聞』1984年10月27日「市役所前に彫刻」[笹戸千津子《若き立像'82》]
『福島民報』1984年10月28日「市役所前にブロンズ像立つ」[笹戸千津子《若き立像'82》]
『福島民報』1984年10月29日「いわき市庁舎前に設置された若き立像の製作者 笹戸千津子さん(36)」
『掲載紙不明』[1984年11月]「仙台革新市長 島野武氏が死去」
『日本経済新聞』1984年11月26日夕刊 小嶋英熙「日本の百人 三沢千代治」
『日本経済新聞』1984年12月17日夕刊 小山博之「日本の百人 井上靖」
『朝日新聞』1984年12月17日夕刊 大島清次「地方美術館と行政の本質 10余年の運営経験で感じたこと」
『毎日夫人』(302)毎日新聞社 1985年3月 本間正義「虞美人」
『日本経済新聞』1985年1月1日(第3部) 森田曠平「献寿」
『日本経済新聞』1985年1月7日夕刊 金指正雄「日本人の百人 奥村土牛」
『朝日新聞』1985年1月10日「沖縄ムーンビーチ・フェスティバル」
『朝日新聞』1985年1月21日 今泉恂之介「日本の百人 大山康晴」
『県政だより』埼玉県広聴広報課 1985年2月1日
『日本経済新聞』1985年2月4日夕刊 小嶋英熙「日本の百人 小田滋」
『日本経済新聞』1985年2月18日夕刊 小山博之「日本の百人 石橋政嗣」
『朝日新聞』1985年2月18日 米倉守「性と表現(3) 加山又造氏(画家)」
『朝日新聞』1985年2月24日 外岡秀俊「世界名画の旅 ルソー」
『日本経済新聞』1985年2月25日夕刊 柴崎信三「日本の百人 杉村隆」
『日本経済新聞』1985年3月4日夕刊 島田昌幸「日本の百人 伊藤昌寿」
『日本経済新聞』1985年3月18日夕刊 金指正雄「日本の百人 春日野清隆」
『日本経済新聞』1985年3月25日夕刊 今泉恂之介「日の百人 坂東玉三郎」
『総合演劇雑誌 テアトロ』(506)テアトロ社 1985年4月 表紙
『日本経済新聞』1985年4月1日夕刊 小嶋英熙「日本の百人 竹内道雄」
『朝日新聞』1985年5月19日 高木敏行「世界名画の旅 マネ」
『朝日新聞』1989年5月26日 宮下展夫「世界名画の旅 ルブリョーフ」
『オール読物』40(5) 文藝春秋 1985年6月 山藤章二「アタクシ絵日記」
『朝日新聞』1985年6月9日 高木敏行「世界名画の旅 ゲインズボロ」
『朝日新聞』1985年6月16日 宮下展夫「世界名画の旅 ブリュエール」
『朝日新聞』1985年6月23日 富川盛之「世界名画の旅 ルーベンス」
『朝日新聞』1985年6月30日 高木八太郎「世界名画の旅 セガンチーニ」
『日本経済新聞』1985年7月1日夕刊 金指正雄「日本の百人 古葉竹識」
『朝日新聞』1985年7月14日 高木八太郎「世界名画の旅 キリコ」
『朝日新聞』1985年7月21日 松田生雄「世界名画の旅 ポス」
『日本経済新聞』1985年7月22日夕刊 小嶋英熙「日本の百人 堤清二」
『北海タイムス』[1985年8月6日]「故船山馨さん生誕地に」
『河北新報』1985年9月8日 土屋瑞穂「近代巨匠彫刻展(3)」
『サンケイ新聞』[1985年9月15日] 松村寿雄「私の創作風景 彫刻家 舟越保武」
『赤旗』1985年10月27日(泰)「理想の聖女像を求めて 舟越保武さん」
『新美術新聞』(447) 1986年10月1日(中)「第17回中原悌二郎賞を受賞した 岩野勇三さん」
『河北新報』1986年4月2日夕刊「彫刻の街 仙台(2) 茉莉花[舟越保武]」
『日本経済新聞』1986年4月23日 木内和博「肌で知る衣文化のぬくもり」、瀧悌三「童画的な詩を歌い続ける 脇田和展」
『朝日新聞』[1986年4月25日]「26回日本児童文学者協会賞 童話作家 加藤多一さんに」
『北海タイムス』[1986年4月25日]「加藤多一さんに児童文学者協会賞」
『朝日新聞』1986年4月29日 宇田川宏「藤崎教諭の処分は妥当か いじめ問題解決の教訓を引き出せ」
『月刊全生』(268) 社団法人整体協会 1986年6月 表紙
『北海道新聞』1986年6月25日夕刊「お手柄 新通商協組自警団」
『北海道新聞』1986年7月21日、23日-25日 夕刊 竹岡和田男「森との対話 札幌芸術の森・野外美術館の作品から」(5回連載のうち4回) [(1) ライモ・ウトゥリアイネン《昇》(3) 環境造形Q《北斗まんだら》(4) 宮脇愛子《うつろひ》(5) 柳原義達《道標・鴉》]
『掲載紙不明』[1986年9月25日]「札幌 12月から首席客演指揮者 秋山和慶に聞く」
『読売新聞』1986年9月29日夕刊(雅)「型破りと安定と 秋の団体展四つから」
『下野新聞』1986年9月29日 真室佳武「秋の公募展 第二陣から」
『朝日新聞』[1986年9月29日]「月見する犬に侵し難い世界」
『読売新聞』1986年10月17日夕刊 篠原大「与勇輝(1) 内面見抜く鋭い表現」
『週刊読売』45(52) 読売新聞社 1986年12月「Oh! Pet 連載 49 私とは同居人 舟越保武さん」
『掲載紙不明』1987年1月6日「ブロンズのモデルで現代女

性の躍動感を [笹戸千津子]
『社会新報』1987年1月16日-12月25日「この人と」(47回連載) [笹戸千津子関連記事を含む]
『日本経済新聞』1987年3月26日 飯田善国「私のピカソ十選(5)」
『朝日新聞』1987年5月16日夕刊「鳥と猫？」
『読売新聞』1987年5月26日夕刊 荒川洋治「81歳、詩の春を謳歌 佐藤朔の詩集「青銅の首」」
『福島民友』1987年6月23日 若松紀志子「素敵な5月の夜」
『朝日新聞』1987年6月26日夕刊 黛哲郎「余白を語る 佐藤朔さん(仏文学者)」
『毎日新聞』1987年7月3日 佐藤朔「老境の処女詩集」
『毎日新聞』1987年12月6日「余録「舟越保武」」
[掲載誌不明] [1988年]「追悼：宇野重吉さん」
『財界ふくしま』17(2) 行政問題研究所 1988年2月「これが田畑市政の実態なのだ 美術館に愛人！？」
『学燈』85(3) 丸善雄松堂出版 1988年3月 佐藤朔「これはパイプではない」
『東京新聞』1988年4月25日夕刊 小川達郎「音楽にも国籍がありますねエ 映画音楽作曲300本の伊福部昭さん」
『新潮45』(75) 新潮社 1988年7月 舟越保武「生命の証しの音を聞く」
『朝日新聞』1988年8月20日夕刊「朝倉撰さんの報告 新作含め世界中から参加」
[掲載紙不明] [1988年9月] 蛇川宏倫「秋の公募展から」
『朝日新聞』1988年12月7日夕刊(米)「静かさを保つ生命の動き 舟越桂展 ゆっくりと「夢」の力動感 高田洋一展」
『日本経済新聞』1989年1月7日「天皇陛下崩御」
『北海道新聞』1989年3月25日「作家を育成する美術館の実現を」
『朝日新聞』1989年6月16日 柳原義達(談) 米倉守(聞き手)「余白を語る カラスとハト素材 わが道に道標刻む」
『赤旗』1989年8月6日 小宮多美江「評価すすむ伊福部音楽ゴジラから「釈迦まで」」
『日本経済新聞』1989年10月13日 猪熊弦一郎「半世紀ぶり今昔のバリ」
『日刊 新周南』1989年11月6日「徳山 劉生の胸像除幕 終えん記念碑横に [高田博厚]」
『新しいばらき』1989年11月23日 座談会：和知忠雄、一色邦彦、坂田豊秀、戸祭勝夫、岩間マハ、酒泉松枝、布施富美、吉江伸元、大津肇、網代茂「不戦の誓い「平和の像」に託して」
『朝日新聞』1990年1月1日『朝日賞の人々』
『朝日新聞』1990年3月22日夕刊 米倉守「眼の刻印 リアルな人形のこびない美しさ」
[掲載紙不明] 1990年3月30日「ふるさと創生のシンボル」
『北海道新聞』1990年4月13日夕刊「本郷新さん 没後10年目の“真相” 遺骨の一部 自作台座に」
『JACIC 情報』(21) 日本建設情報総合センター 1991年1月 山下葉「シビックデザインを学ぶ」
『福島民報』1991年2月6日「中川一政氏が死去」
『産経新聞』1991年3月4日 松村壽雄「知られざる巨匠 メダルド・ロッシ」
『産経新聞』1991年6月10日 中原佑介「知られざる巨匠 メダルド・ロッシ(3)」
『朝日新聞』1991年12月28日夕刊「多彩で粒ぞろいのワクワク正月映画」
[掲載紙不明] [1992年] 別役実「肩透かしの戦術を 正しい参院選への臨み方」

『大分合同新聞』1992年8月23日「極寒のシベリア、第二の故郷よ」
『日本経済新聞』1992年7月1日-31日 加山又造「私の履歴書」(30回連載)
『読売新聞』1992年8月31日夕刊「現代俳句協会賞 西野理郎氏(宇部)が受賞」
『毎日新聞』1992年9月4日「現代俳句協会賞に西野さん」
『毎日新聞』1992年10月31日「宇部市芸術文化功労章に4氏 [西野正哲]」
『朝日新聞』1992年11月22日「オークション最新事情」
『日刊ウベニチ』1992年11月25日「「生きざまを言葉に」西野さんのダブル受賞祝福」
『毎日新聞』1993年1月19日「第34階毎日芸術賞 受賞に寄せて [猪熊弦一郎]」
『朝日新聞』1993年3月16日(虻)「会場全体を作品化する試み 朝倉響子展」
『朝日新聞』1993年3月21日「触って楽しむ美術館 館長夫妻を不況直撃 手で見るギャラリー・TOM」
『河北新報』1993年4月22日夕刊「えっイタリア通り？ 仙台・定禅寺通 巨匠の彫刻、ケヤキと調和」
『徳島新聞』1993年8月10日-12月15日夕刊 谷田匡「山下菊二」(105回)
『北海道新聞』1993年8月20日「読者の声「吉田一穂展」にぜひ足を運んで」
[掲載紙不明] [1993年8月]「特別展順調な伸び 小樽市の教育施設「吉田一穂展」」
『もにゅまん 札幌彫刻美術館館報』札幌彫刻美術館 1994年3月 本郷新「「泉の像」によせて」
『朝日新聞』1994年9月(PR版)「“ゴッホとその時代”展Ⅱ」ほか展覧会案内
『母の友』(503-508) 福音館書店 1995年4月-9月 表紙？
『文藝春秋』73(8) 文藝春秋 1995年6月「日本の顔 朝倉撰」
[朝日新聞ほか] 1996年7月13日-2000年4月22日 塚元唯志による寄稿の集成
『しんぶん赤旗』1999年2月21日 玄間太郎「今週のひと アナウンサー山根基世さん」
[掲載誌不明] [2000年頃] 表紙「パブロ・ピカソ《女の花瓶》」
『岩手日報』[2001年] (菊)「野見山暁治「四百字のデッサン」 — 「自由美術」の画家たち 松本竣介追悼」
[しんぶん赤旗] 2001年7月24日 小嶋悠司「海の人々と生きた画家 渡辺学さんのこと」
『朝日新聞』2001年10月24日夕刊 加藤周一「ソムリエの妻」
『朝日新聞』2001年10月27日夕刊「石正美術館開館記念 石本正展」
『北海道新聞』2001年11月3日「道新文化賞 受賞者の業績美術館の運営と普及に務めた元館長 工藤欣弥さん」
[掲載紙不明] [2001年11月]「脇田和コレクション展 1950年代から最近作まで」
『新美術新聞』(944) 2001年11月21日
『本』講談社 2001年12月 表紙[安野光雅《サン、カルロ劇場》]
『新美術新聞』(947) 2001年12月11日・21日合併号
『朝日新聞』2002年2月6日「舟越保武氏死去」
『産経新聞』2002年2月10日 萩原朔美「舟越保武氏を悼む」
『朝日新聞』2002年5月31日「烈々四天王の美 東大寺のすべて展」
『しんぶん赤旗』2002年7月14日「アルゼンチン サンファン州 州立公園？」
『東京新聞』2002年8月6日「「秋山ちえ子の談話室」 TBSラジオ 今秋、45年の歴史に幕」

『山梨日日新聞』2002年8月13日「平和、福祉語り続けた45年
ラジオ番組「談話室」を終える 評論家・秋山ちえ子さん」
『東京新聞』2002年8月15日「ラジオ番組『談話室』終了へ
秋山ちえ子さん」
『しんぶん赤旗』2002年8月18日「ラジオ「談話室」45年 今
秋終了へ 秋山ちえ子さん」
『読売新聞』2002年11月3日 岩永芳人「浜田知明さん 戦地
での現実 生々しく」
『朝日新聞』2003年5月21日「「声欄」カット担当 船山さん
が彫刻個展「船山滋生」
『しんぶん赤旗』2003年6月4日「何に似てる？」
[美術館ニュース「アマリリス」] (73)静岡県立美術館[2004
年4月]表紙:ロダン《バラの髪飾りの少女》
『朝日新聞』2010年3月20日[日本プロ野球関連記事]

[掲載誌不明]不明「開設期の思い出」[佐藤忠行関連記事]
[新美術新聞]不明 安井收藏「芸大、美大卒無情」
[北海道新聞] [3月15日] 奥津義広「舞台美術家 朝倉撰さ
ん いい劇場多くつくりたい」
[掲載紙不明]不明 太田弘「教科書は無償がよいのか」
[掲載紙不明]不明 [パウルライス広告、木内綾]
[掲載紙不明]不明 木内和博「館長の死」
[掲載紙不明]不明「遅すぎた処女詩集を祝う 佐藤朔氏の
教え子や後輩集合」
[掲載誌不明]不明「澤地久恵さん」
[東京新聞]不明 寺田千壘「舟越保武彫刻展」
[日本経済新聞]不明 舟越保武「ドガ 自画像〈美の美〉」
[東京新聞]不明 寺田千壘「美しい舟越作品 六月の会」
[掲載紙不明]不明 柳原義達「ロダン」
[掲載誌不明]不明「彫刻 柳原義達」
[掲載紙不明]不明 山根基世「ひとこと 思いを率直に」
『朝日新聞』不明「天声人語」
[日本経済新聞]不明 今泉篤男「チャドウィック 踊る二人
〈美の美〉」
[掲載紙不明]不明 東久保研一「わが家の庭仕事 ハナミズキ」
[掲載紙不明]不明「父親に執行猶予 開成校生殺し温情判
決」[同姓同名の佐藤忠良が被告]
[掲載紙不明]不明 倉本聰「アーティスト育成は、農業より林
業に近い」
[経済ジャーナル] [麹町出版]不明「美術往来 伊勢正義」
[日本経済新聞]不明 難波田竜起「ピカソ ジュノヴェヴァ
〈美の美〉」
[掲載紙不明]不明「『石狩平野』のドラマ化を」
[掲載紙不明]不明 嬉野京子「“真実のペン”に訴える」
[掲載紙不明]不明「中教審が答申案」[加藤陸奥雄]
『農振センターだより』不明 羽田野一郎「文夫の生涯 (72)」
[朝倉文夫]
[掲載紙不明]不明 小泉信一「記録映画監督 土本典昭さん」
[掲載紙不明]不明 伊東傀「沖縄に残る仁王像」
[掲載紙不明]不明 北村隆博「「心を耕す」授業に力を」
[掲載紙不明]不明「プームのサティを FM でたっぷりと」
[掲載紙不明]不明 山住正己「東京の教育行政」
[掲載紙不明]不明 6月30日「幻の楼蘭 最新の出土」
[掲載紙不明]不明「増える95字[常用漢字]」
[朝日新聞]不明 米倉守「自然の中の美術館」
[掲載誌不明]不明 土門拳「白い石、さわらぬ神にたたりなし」
[経済ジャーナル] [麹町出版]不明「美術往来 竹谷富士雄」
『西日本新聞』不明「自分で育てる 心とからだ」
[週刊朝日] (号数不明) [朝日新聞社] 南川三治郎「アトリ

エの画家たち10 原精一」
[朝日新聞]不明「美術館と市民」(全8回)
[朝日新聞]不明 大岡信「折々のうた」
[掲載紙不明]不明「少年が卵をかえした」
[掲載誌不明]不明 村田幸造「「風の中の旗手たち」の片影
を追って(その一)」ほか
[掲載誌不明]不明「Melka's Report: AZZEDINE ALAÏA」
[掲載誌不明]不明「「黒い女」1956年」
[掲載紙不明]不明 高塚省吾《ドレッシーな帽子》
[掲載誌不明]不明 [Z.Nishizono 作品名不明]
[掲載誌不明]不明「くもん教育レポート第19回 特別養護
老人ホームでの挑戦」
[掲載誌不明]不明「古美術品の切り抜き?厚紙に貼り付け」
[掲載誌不明]不明 M. ユトリロ《雪のミミ・バンワン》
[掲載紙不明]不明「公・私で共同運営『森の児童館』」
[掲載紙不明]不明「ホノルル港についた幸吉(北大路欣也)」
[掲載紙不明]不明 [樹木の写真]
[掲載誌不明]不明 アリステード・マイヨール《河》
[掲載誌不明]不明 薬師如来坐像 獅子窟寺(大阪)平安時代
[掲載誌不明]不明 フェルメール《手紙を書く女性》
[掲載誌不明]不明 SEATED CAT WITH EARRING
Bronze and gold, Egypt
[掲載誌不明]不明 [樹木の切り抜き、複写5枚]
[掲載誌不明]不明 [黒と白の鳥の絵]
[掲載誌不明]不明 [封筒に CHANEL 等の広告5枚]

(10-5-01) 蔵書等 ポストカード (順不同)

「雪の高田」8種、3種
「ゆうばり」8種 夕張市・夕張観光協会
「85はくたちの作ったもの」7種 ギャラリー TOM
「北鎌倉女子学園創立五十周年記念絵はがき」2種
浅井忠 1種
与勇輝 3種
吾妻兼治郎 1種 (連翹会第5回展)
梅原龍三郎 1種
岩野勇三「岩野勇三作「牧歌」序幕記念 仙台市」1987年11月
梅原龍三郎 1種(年賀状、原水爆被害者に全国民の愛の手を)
小磯良平 1種
笹戸千津子 1種(とうや湖ぐるっと彫刻公園)
佐藤玄々 1種
中川一政か 1種(万葉洞 新潟店関係の切り抜きか)
速水御舟 1種
舟越保武「彫刻のある町づくり 舟越保武作「シオン」序幕
記念 北九州市」1982年11月、ほか3種
安井曾太郎 2種
柳原義達 1種
脇田和 4種
「世界初公開 ギリシア 大理石 アルカイック 若い女性頭部」
「秋篠寺 伎芸天」
「インド古代彫刻展 手紙を書く婦人像カジュラーホ出土」
「Museum of Delphi, The Charioteer (475 B.C.)」
Cézanne, Paul. 3種
Kandinsky, Wassily. 1種
Klee, Paul. 1種
Laurencin, Marie. 1種
Maillol, Aristide. 1種
Manzù, Giacomo. 1種
Michelangelo Buonarroti. 1種

Moreau, Gustave. 1種
Picasso, Pablo. 7種(内1枚は原水爆禁止世界大会)
Piero della Francesca. [しおり?]
Shahn, Ben. 1種
Ray, Man. 1種
Renoir, Auguste. 2種
Vermeer, Johannes. [メッセージカード?]1種
Whistler, James McNeill. 1種
ほか、詳細不明のものは除く

(10-5-02) 蔵書等 ポスター (展覧会を除く、順不同)

“Pablo Picasso “To Sylvette” 1954” Copenhagen: Minerva
Reproduktioner [1969]
“MARINO MARINI OPERA GRAFICA” [1971年]
“The Justin K. Thannhauser Collection” New York: The
Solomon R. Guggenheim Museum [Pablo Picasso
“Woman Ironing” 1904]
“marino marini “il cavaliere” 1940” Torino: albra editrice
“I GRANDI BRONZI DI RIACE, Status A” Firenze: Scala
“I GRANDI BRONZI DI RIACE, Status B” Firenze: Scala
“Raccolta Amici di Manzù” Ardea-Roma
[劇団民藝公演 その妹] [1978年] 6月15日-28日 国立小劇
場 舟越保武(画)
[劇団民藝公演 イルクーツク物語] [1989年] 6月18日-7月
3日 紀伊國屋ホール 舟越保武(画)
『日経 Woman』(2) 中吊り広告 1988年6月 [笹戸千津子]

(10-5-03) 蔵書等 カレンダー (順不同)

[エミリオ・グレコ カレンダー 1974年] 現代彫刻センター
[12 DEI MIEI MASTRI Giacomo Manzù ALMANACCO
1977] Raccolta amici di Manzù
[芹沢銈介 カレンダー 1979]
[Picasso 1982] Time-Life Gallery
[Marc Chagall Calender 1988] Allemagne Fédérale
[カレンダー?] ルソー 《椅子工場とアルフォーヴィルの
セーヌ河岸の眺め》ほか2枚 ※切り抜き
[カレンダー?] 日動画廊 ルノワール《マドモアゼル・フラ
ンソワーズ》ほか1枚 ※切り抜き
[カレンダー?] 日本テレビ放送網 ゴッホ《糸杉と星の見
える道》ほか7枚 ※切り抜き

(10-6-01) 蔵書等 佐藤オリエ関連 プログラム、チラシなど

『ザ・パイロット』1965年4月5日-25 劇団俳優
[若者たち(森川時久監督第1回映画作品)] チラシ [劇団俳
優座、新星映画社] [1967年]
『山内久 脚本 若者はゆく 続若者たち シナリオ』映画「若
者たち」全国上映委員会 [1969年9月]
『オホーツクの女 三幕』1979年4月6日-13日 東横劇場 佐
藤オリエ「折れた鉛筆」
[CLOUD 9] チラシ [1982年] 7月10日-27日 PARCO 西武
劇場]
『若者たち』映画「若者たち」全国配給委員会、瑞野企画 [1983
年以降か] (シリーズ第1作~第3作)
[ロンリー・ハート] チラシ 1988年1月31日-2月14日 PARCO
SPACE PART 3
[れすとらん自由亭] チラシ 1990年1月20日-30日 シアター

サンモール

「東京 YMCA 建築募金のために ピアノと朗読の夕べ」チラ
シ 1990年4月17日 東京 YWCA カフマンホール
「ラヴ・レターズ」チラシ 1990年8月19日、26日、9月16日、
23日 PARCO 劇場
「薔薇の花束の秘密」チラシ 1991年3月9日-4月14日 ベニ
サン・ピット
「薔薇の花束の秘密」パンフレット 1991年3月9日-4月14
日 ベニサン・ピット 1991年3月
「スイート・スウ」チラシ [1992年] 4月16日-5月3日 東京
芸術劇場
「血の婚礼」チラシ 1993年11月29日-12月23日 銀座セゾン
劇場
『血の婚礼』1993年11月29日-12月23日 銀座セゾン劇場
『ヘッダ・ガブラー T.P.T. Vol. 4』1994年5月13日-29日 ベ
ニサン・ピット 1994年5月
[T.P.T. '94 2nd season イブセン・プロジェクト] チラシ
1994年5月13日-29日 ベニサン・ピット ほか
[エンジェルズ・イン・アメリカ] チラシ 1994年11月24日
-12月23日 銀座セゾン劇場
[T.P.T. Vol.11 三島由紀夫作『近代能楽集』より 葵上 班女』
案内ハガキ [1995年] 9月14日-27日・10月5日-8日 ベ
ニサン・ピット ほか
[エンジェルズ・イン・アメリカ] チラシ 1995年10月9日
-1996年1月15日 銀座セゾン劇場
[T.P.T. Vol.13 エレクトラ] 1996年3月14日-4月29日 ベニ
サン・ピット ほか
[T.P.T. Vol.14 フューチャーズ・プログラム1 ピアノ] チラ
シ [1996年] 6月27日-7月28日 ベニサン・ピット
[松本幸四郎 in マクベス] チラシ 1996年9月6日-10月6日
銀座セゾン劇場
[『松本幸四郎 in マクベス』公演プログラム] 1996年9月6
日-10月6日 銀座セゾン劇場
[東京 YMCA 砂土原センター 5周年記念観劇会 松本幸四
郎 in マクベス] チラシ 1996年9月7日 銀座セゾン劇場
[龍を撫でた男] チラシ 1999年4月3日-22日 シアターラム
[おそるべき親たち] チラシ 2010年10月21日-11月3日 東
京芸術劇場小ホール2

(10-6-02) 蔵書等 佐藤オリエ関連 逐次刊行物(切り抜きを
含む)

[掲載紙不明] [1963年] 「浦山監督に催眠術かけられ」 「非
行少女」起用された佐藤オリエ」
[掲載紙不明] [1967年] 「第7回日本放送作家協会女性演技
者賞を受ける佐藤オリエ」
[掲載紙不明] 1967年2月 [『若者たち』に出演の佐藤オリエ”
いっしょに考えられる作品に—」
[掲載紙不明] [1967年] 「新劇花の素顔(12) 佐藤オリエ—
俳優座」
『ライラック会』(3) ライラック会事務所 1968年7月「対談
新劇界の若手女優のホープ 佐藤オリエさんにきく」
[掲載紙不明] [1970年] 「佐藤オリエ「若者たち」で清楚な
イメージ決定」
『サンデー毎日』(3094) 毎日新聞社 1977年10月9日 表紙
に佐藤オリエ、「編集長のカバー・インタビュー」
『ミセス』(238) 文化出版局 1978年4月 表紙に佐藤オリエ
[朝日新聞] [1981年4月24日] 「先生役には四苦八苦 佐藤
オリエ」

『サンデー毎日』(3398)毎日新聞社 1982年2月6日「日本酒・83(72)女優・佐藤オリエさん」
 『週刊朝日』(3371)朝日新聞社 1982年8月「30代色香研究 今を盛りのいい女列伝(20)佐藤オリエ」
 『東京 労演 会報』(319)東京勤労者演劇協議会 1983年1月(金井記)「はりきりインタビュー 佐藤オリエさん」
 [掲載紙不明]1985年8月9日「夕張っ子生き生きと「たくましく」と熊谷監督」
 『東京新聞』1986年6月30日夕刊「幻の名作 12年ぶり初演 清水邦夫氏の『幻に心もそぞろ狂おしのわれらの将門』」
 [掲載誌不明][1986年7月]「主夫物語」うけてます 働きバチの変身願望？」
 『婦人公論』(860)中央公論社 1986年10月「ひとり暮らしに思う家族への憧れ 佐藤オリエ」
 [北海道新聞][1987年3月3日夕刊]「雪の乱」男と女の悲しい宿命」
 『文藝春秋』67(11)文藝春秋 1989年10月「中上氏絶賛。ドージン氏率いるソ連演劇の衝撃性」
 『朝日新聞』1991年3月28日(昭)「鋭く、こまやかな演出 共感を誘う佐藤の演技「薔薇の花の秘密」」
 『日本経済新聞』1991年11月8日夕刊(川)「心の動きを巧みに《薔薇の花束の秘密》」
 [毎日新聞][1992年1月27日]「ベテラン、ダブル受賞めだつ [紀伊国屋演劇賞] ※切り抜き」
 『読売新聞』1992年3月2日 杉山弘「密度の濃い舞台を演じる 佐藤オリエ 本物志向の時代」
 [掲載誌不明][1992年] 扇田昭彦「蜷川幸雄の転換「三人姉妹」」
 『河北新報』1992年7月31日夕刊「イプセンの珍しい作品を上演へ 東京の小劇場 主演は佐藤オリエ」
 『朝日新聞』1993年3月3日夕刊「ルポーが「危険な関係」再演 4日からバルコ劇場 東京であと3本演出」
 『読売新聞』1994年3月15日夕刊 杉山弘「芸談87 佐藤オリエ 自分の生き方を芸術に」
 『朝日新聞』1994年5月17日夕刊「TPT 「ヘッダ・ガブラー」刻々変わるヘッダが魅力的」
 『朝日新聞』1994年7月26日夕刊「TPT 「エリーダ～海の婦人」佐藤オリエ、絶妙 わき役陣も成長」
 『MORE』(210)集英社 1994年12月 佐藤友紀「エイズ時代の愛のあり方を問う『エンジェルス・イン・アメリカ』」
 『読売新聞』1996年1月11日「第3回読売演劇大賞 ノミネート決まる」
 『朝日新聞』1998年2月27日夕刊「変わらない鮮烈な衝撃力 TPT 「テレーズ・ラカン」」
 『日本経済新聞』1998年3月1日 内田洋一「劇場の住人たち 私ってアルマジロ？鮮烈な「目だけの演技」」
 『朝日新聞』2000年6月8日 竹久岐史「母死す 三姉妹に何が演劇「水の記憶」神戸と東京で」
 [シアターガイド][モーニングデスク][2010年]「劇顔140 写真 十文字美信 佐藤オリエ」
 『朝日新聞』2010年10月22日夕刊 山口宏子「tpt 骨太2作連続上演 3女優共演「おそろべき親たち」」

(10-6-03) 蔵書等 佐藤オリエ関連 ポスター

「看護婦のオヤジがんばる」[1980年]
 「れすとらん自由亭」1990年1月20日-30日 シアターサンモール
 「薔薇の花束の秘密」1991年3月9日-4月14日 ベニサン・ピット

宮城県美術館
令和6年度 年報
令和7年度 研究報告

発行日 令和8年3月10日

編集・発行 宮城県美術館
980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL 022-221-2111
FAX 022-221-2115

印刷 今野印刷株式会社
984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-10

©宮城県美術館 2026 printed in japan

この年報は350部作成し、1部あたりの印刷単価は2,970円となっています。